公益財団法人 慈愛会

年　報

第6号

2021年度

公益財団法人 慈愛会

医療理念

医療の原点は、慈愛にあり。

母が子を慈しみ育てる心、愛を持って病める人の苦しみを除く。
慈しみ、愛する心、その素朴で純粋な気持ちが慈愛会の医療理念です。

患者様を肉親と思い医療の達人（プロフェッショナル）を目指します。
同時に
全職員の物心両面の幸せを追求します。

基本方針

公益財団法人慈愛会は「医療理念」を実践するために
５つの項目を掲げて質の向上を図っています。

１．医療を通して地域社会へ貢献します。
２．良心的な高度医療を提供します。
３．心に届く慈愛の看護を実践します。
４．快適な医療環境を提供します。
５．働きがいのある職場環境を目指します。

目次

巻頭言

公益財団法人慈愛会　理事長　今村英仁 …… 2
公益財団法人慈愛会　会長　納光弘 …… 3

総　括

今村総合病院 …… 5
いづろ今村病院 …… 6
谷山病院 …… 7
奄美病院 …… 7
徳之島病院 …… 8
介護老人保健施設　愛と結の街 …… 9
鹿児島中央看護専門学校 …… 10
慈愛会クリニック …… 11
七波クリニック …… 11
高麗町クリニック …… 12
かごしまオハナクリニック …… 12

概　要

法人・病院施設概要 …… 13
病院施設別職員数 …… 18
職種別常勤換算人員表 …… 19

病院施設指標

今村総合病院 …… 20
いづろ今村病院 …… 27
谷山病院 …… 35
奄美病院 …… 41
徳之島病院 …… 46
介護老人保健施設　愛と結の街 …… 49
高麗町クリニック …… 54
慈愛会クリニック …… 55
七波クリニック …… 56
かごしまオハナクリニック …… 56
鹿児島中央看護専門学校 …… 57

法人業績一覧

論文 …… 59
学会発表 …… 69
第 1 回慈愛会学会学術集会 …… 80
研究会・講演会 …… 83
受賞 …… 94
マスメディア …… 95
公的研究 …… 96

医師育成への取り組み

初期研修プログラム「錦江湾プログラム」 …… 97
慈愛会専門研修プログラム …… 98

部門別　事業報告(PDCA)　総括　指標　業績一覧

看護部門 …… 99
リハビリテーション部門 …… 119
薬剤部門 …… 134
画像診断 / 放射線治療部門 …… 140
臨床検査部門 …… 145
栄養管理部門 …… 150
ソーシャルワーカー部門（JSW） …… 155
臨床工学部門（CE） …… 171
総務人事部門 …… 173
医療情報室　慈愛会総合情報システム（J-TIS） … 178
教育開発センター …… 180

2021 年度　新たな取り組み

慈愛会学会学術集会開催 …… 189

一年のあゆみ

1．慈愛会の新型コロナ対応 …… 191
2．新型コロナウイルス感染症陽性患者（入院）、診療・検査医療機関（発熱外来）の受け入れ、ワクチン接種（個別接種、職域・集団接種）への対応 …… 194
3．地域医療機関支援等コロナ対応にかかる人材派遣 …… 195
4．慈愛会各施設の一年のあゆみ …… 198

編集後記

巻頭言

公益財団法人　慈愛会
理事長　**今村　英仁**

新型コロナ禍は予想をはるかに超えて３年目に入りました。この間、現場では新型コロナ禍への対応と日常の業務の両方の業務をしっかりと遂行してくれました。新型コロナ禍の１年目は、ウイルスの正体が不明な中で、手探りで、試行錯誤と工夫を重ねながら対処してくれました。２年目に入ると、対応の仕方がある程度出来るようになったようですが、初年度を超える大きな感染症の波が襲って来ました。行政の要請にしっかりと応じて、数多くの感染者の受け入れと治療にあたってくれました。また、クラスター発生場所への派遣依頼にも積極的に応じて、感染症対応だけでなく、心のケアでも大きな役割を果たしてくれました。

この法人年報もコンスタントに発行できるようになってから６年目を迎えました。有事の中にあってもしっかりと年報を発行してくださりありがとうございます。むしろ、有事だからこそ有事の際に何が起こったのか、何をしたのか記録にしっかりと留めておくことは非常に大事になります。私たちの後輩スタッフが有事に遭遇した際に先輩たちが有事に対してどのように対応したのか、もしかすると技術的な部分は古くなり役に立たないかもしれませんが、過去に慈愛会スタッフがどのような心構え、考え方で有事に向かったのか、“こころ”の部分は必ず役に立ちます。

毎年毎年の業績を、平時も有事も関係なく積み重ね記録していくことが、当法人がこれからも持続していくために大事だと改めて心に刻むところです。

巻頭言

公益財団法人　慈愛会
会長　**納　光弘**

今年も今村英仁理事長の絶妙のリーダーシップのもと、慈愛会の全ての組織が一丸となって頑張った一年でした。新型コロナ禍のなかにあって、それを乗り越えてここまで前進できたことは、評価に値すると言えましょう。

今村総合病院は帆北修一院長のスピード感あふれる精力的な取り組みのもと、新型コロナ禍という困難の中にあって、さらなる病院の発展につなげたことは、特筆すべきことでした。コロナ禍の制約のなかでも、病院見学の学生が鹿児島大学からのみならず、県外の大学からも多数来てくれたことも、今村総合病院の底力を示すものと言えましょう。

いづろ今村病院も黒野明日嗣院長によりさらなる飛躍をとげ、常盤光弘次期院長へのバトンタッチの地固めをしました。福迫剛院長も谷山病院をコロナ禍から守り抜き、次への発展の土台を築きました。杉本東一名誉院長も奄美病院の、コロナ禍のなかで、さまざまな困難に解決策を見出し、明日への道筋を作りました。末満純一院長は徳之島病院を本年度も守りぬき、発展させました。

野村秀洋施設長は介護老人保健施設：愛と結の街をコロナ禍から守り発展させました。鹿児島中央看護専門学校も今村英仁校長のもとで、コロナ禍にもかかわらず学生への対面授業を様々な工夫で実現させ、また、国家試験の合格率も100％を保っています。慈愛会クリニック（今村尚子院長）、七波クリニック（鮫島久子院長）、高麗町クリニック（斧渕泰裕院長）、かごしまオハナクリニック（林恒存院長）に於いてもこの一年も大きな発展がありました。

今村理事長のリーダーシップのもと、全職員が、スクラムを組んで頑張っている姿に私は感動を禁じえません。

皆でさらなる夢の実現に向けて頑張りますので、皆さま方のご支援よろしくお願いいたします。

総　　括

今村総合病院

院長　**帆北　修一**

2021年の今村総合病院の言葉として、「**和光同塵**（老子）」を選びました。

「この世の中を生きていくには、鋭い部分はなくしたほうがいい。複雑な事ばかり考えるのもよくない。きらびやかに光るものがあったら、意識的にそれをぼかして塵と溶け合うように生きなさい」という意味です。

医療関係の環境変化のスピードはますます速くなっております。今村総合病院は、急性期病院としてこの変化に対してスピード感をもって2021年度も的確に対応したと思います。職員の皆さんも、新型コロナウイルス感染症に対する対応を行いつつ、医療人としての誇りをもって地域の皆さんのための医療提供を行ったと考えます。

新型コロナウイルス感染症に対する対応も２年目となり、発熱外来・ワクチン接種・感染陽性者の受け入れと病院全体で対応いたしました。受入病床を20床に増して対応した時には、慈愛会各施設から多くの人的支援をいただきました。７月には、感染対策をしっかりと行った東京オリンピックが開催され、当院の職員数名がボランティアとして東京で競技の支援を行いました。

今村総合病院のハード面では､2021年４月から回復期病棟が14床増床して､一般330床､回復期50床､精神科48床となり、全体で428床となりました。Ａ棟３Ｆのアンギオ室は2021年４月１日に運用を開始し、Ｂ棟ではIVR-CTの導入、皮膚科外来の移転、耳鼻科外来の改修工事、図書室の移転等が行われました。

人事では、脳神経外科･泌尿器科が４月から１名増員となり、耳鼻科は鹿児島大学の先生方（非常勤）による体制となりました。消化器内科は４月から鹿児島大学からの先生方を中心にしたメンバーとなり、IBDセンターがいづろ今村病院より移設した新体制となりました。

総合内科・脳卒中センターを中心に、消化器内科・消化器外科、循環器内科、放射線科による救急医療や、血液内科・泌尿器科・腎臓内科・透析・スポーツ整形外科・皮膚科・リハビリ科・精神科・眼科等専門医療の提供をしっかりと行いました。今後も各部門のQualityをますます高いものとし、スピード感をもってかつ確実に対応していきたいと考えております。

教育面では、鹿児島大学からの医学生の院外研修受け入れ、初期研修医（毎年10名）の教育、看護学生の実習の受け入れを行い、看護師特定行為研修センターでの研修は３年目が終了しました。

災害対策に関しては、事業継続計画（BCP）をしっかりと策定し患者さん・職員・地域の皆さんの安全確保をしっかりと確立していきたいと考えております。

2022年５月に垂水市と包括連携協定を提携しました。法人内各施設を含め地域全体との連携をしっかりと構築し、病院全体で断らない医療の提供を心がけていきたいと思います。明るく希望のある職場にするための職場環境を整備していきたいと思います。

2022年の言葉として、「**天長地久**（老子）」を選びました。「天と地が永久に存在するように、物事がいつまでも変わらないこと、また永遠の存在であること」という意味です。

2022年11月4－5日に日本医療マネジメント学会第20回九州・山口連合大会をかごしま県民交流センターで開催する予定です。テーマは「医療マネジメントの維新～燃ゆる思いで～」です。維新（restoration）という言葉は外国の革命（Revolution）という言葉と意味合いが異なり、日本国の伝統に基づく“徳”による進化という意味があります。“進化・深化”は公益財団法人慈愛会の第3次5カ年計画のテーマでもあります。

今村総合病院でも2022年度からの第3次5カ年計画（中長期計画）を策定しました。2022年度の事業計画で目標設定を作成し、有事でもびくともしない組織作りを行っていく予定です。2022年度も地域医療に貢献できるように頑張りますので宜しくお願いします。

2022年5月

いづろ今村病院

前院長　**黒野　明日嗣**

2021年度は慢性疾患を最期までみる病院としての地固めができた年でした。

慢性疾患患者は感染症に弱い為、新型コロナウイルス感染症に対して当院が発熱者外来とワクチン接種で貢献することは大変重要な仕事でした。少ないマンパワーを現場が必死に通常業務との両立をしてくれたおかげです。

また、2021年度は慢性疾患のレスパイト入院や環境調整についてスポットライトが当たり、需要が大きいことが分かりました。病気の治療だけではなく、スタッフのマネジメント力が問われる症例が多かったと思います。それに伴い、クリニックからの受け入れ要請も増え、これもおかげさまで病床が逼迫して現場はコントロールするのが大変で嬉しい悲鳴が上がる状態となりました。いづろ今村病院とはどのような病院なのか、スタッフが理解し、行動し始めたことによってまわりに存在が知られてきたからではないかと思っています。診療体制も総合診療部が立ち上がり、すべての診療科が悪戦苦闘しながらもなんとか引き受けようという医師の奮闘が全体に良い影響を生んでいると思います。（先生方は謙遜するかもしれませんが…）

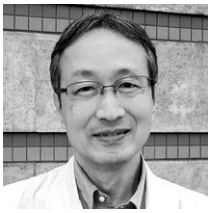
慢性疾患の予防、急性期、回復期、維持期、終末期すべてのステージをみられる病院としての地位を確立する第一歩が確実に踏み出された一年だったと思います。

さて、来年度はどう発展するのか、大変楽しみな病院になりました。

スタッフの皆様、一年間ありがとうございました。

谷山病院

院長　**福迫　剛**



2021年度の谷山病院は、前年同様に順調とは言い難い一年でした。原因は、新型コロナウイルスの色々な影響による病床稼働率の低下。入院の受け入れに慎重になるのみならず、職員の感染があり、患者さんの感染もあり、冷や冷やの繰り返しでした。そして、診療収入は減りましたが、今年度もそれを補う補助金のお陰で、収益は何とか維持できました。また、感染もクラスターに至らなかったのは不幸中の幸いでした。それも皆さんが日頃から感染対策を行っているからだと感謝しています。

その他は、精神科救急の地域拠点病院として時間外を222件（内165件入院）受け入れたり、認知症疾患医療センターとしてかかりつけ医や地域包括支援センターと連携を図ったり、結核の代わりに新型コロナウイルス感染症を合併した精神障害者38名を受け入れたり、社会復帰施設と連携して長期入院患者さんの地域移行・地域定着を支援したりと、いつものように頑張りました。職員全員が患者さんのため、慈愛会のために、一生懸命働きました。結果は、数字にも表れていると思います。

2022年度も結果が残せるように、数字に表れない部分も含めて、努力を継続していきたいと思います。

奄美病院

名誉院長　**杉本　東一**

2021年度も新型コロナウイルスの長いトンネルの中、緊張の糸を張りっぱなしで、本当に苦労の絶えない毎日でした。2022年1月には、当院でも地域での感染拡大に比例するように職員の感染、濃厚接触者等が30数名に達しましたが、慈愛会各施設からのアドバイス等あり何とか乗り切ることができました。本当にありがとうございました。

さて、2021年度は、入院患者の減少が懸念される中スタートを切りました。しかしながら、目標には及ばなかったものの、前期に比べ、高い水準で病床利用率をキープすることができました。これは奄美病院グループ内外の連携が密になったことに加え、「断らない体制」などスタッフの運営に対する意識の変化の賜物だと感じております。

2022年度も、利用者も職員も少なくなる中、良質の医療、サービスを提供に加え、健全経営を維持できるよう、ＩＴ化、それに併せ業務改善を進めながら、生産性を向上させ、利用者本位の生活を第一に考えると同時にスタッフの物心両面の幸福を追求しながら地域医療に貢献してまいりたいと思います。

３月には地元の県立大島高等学校が選抜甲子園出場を実力で勝ちとり、奄美でもやれることを体現してくれました。わたしたちもこの若者たちに見習い、奄美の皆様に喜んでいただけるよう地道に努力を重ねてまいります。

徳之島病院

院長　**末満　純一**

昭和40年、地域からの要望に応える形で開院したこの徳之島病院です。数年前からの医師、看護職員、パラメディカル等の慢性的な不足に悩まされ、その上人口も減少し高齢化も進んでいます。つまり患者さんも減少・高齢化し、その家族も高齢化しております。このことはそれを支える医療従事者も相対的に減ってきているということです。特にここ数年は看護師不足が甚だしく慈愛会の皆様の協力がないと病院として機能しない状況に陥ってしまいました。しかし皆様のお陰でなんとか乗り切ることは出来ましたが、この状況をどう乗り切るかは次年度の課題でもあります。また患者さんの減少に関して、看護職員減少も鑑み、１つの病棟を休床として２つの病棟での対応を検討しました。患者さんの高齢化では身体合併症への対応が必至となりますが、徳之島徳洲会病院等の他院の協力のもと滞る事なく行えたと思います。

沖永良部島・与論島への巡回診療・相談、訪問看護も好評で、コロナの影響で計画の変更はありましたが要望通り行えました。

次が一番の問題で「病院経営の赤字」でした。その大きな要因が入院患者数の減少です。入院患者の大半を占めるのは「統合失調症」ですが、その発症率は約100人に１人と言われています。分母が減少すれば当然分子も減少します。この傾向は我々の手に負えるものではありません。そこで「我々の手に負えるものは何か？」をテーマに、毎月の各部署の代表者たちによる「戦略会議」を開いていますが、そのなかで今まで経営ということに無関心だった職員にも意識付けを行うことが出来たと思います。「経営」ということだけに限らず色んな意見が聞けた事は、別の意味からもこの会議は貴重なものでした。この意見が働き方改革、ひいては物・時間の効率的な使い方に繋がっていけば、健全な「病院経営」に繋がっていくものと考えます。その意味からもこの「戦略会議」を継続し、全職員で知恵を出し合っていきたいと思います。

最後に南三島の精神医療を担っている徳之島病院として離島訪問看護は欠かせないと思っています。人・モノ・カネ・時間を共有し、こちらから患者さんが生活している地域に出向いていく「訪問看護部門」の独立も視野に入れていきたいと思います。

皆さん本当にありがとうございました。

介護老人保健施設 愛と結の街

施設長　**野村　秀洋**

今年度も昨年同様に「超強化型老健」としての更なる機能アップを目標に、１．在宅復帰、在宅療養支援のための地域拠点となる施設、２．リハビリテーションを提供する機能維持―改善の役割などを担う施設として→「地域包括ケアシステムの拠点・街創り」に取り組みました。

本年度はコロナ災禍の中で乗り越える事が出来て、老健の入所利用率も年間95.7％（平均在所日数213.5日）の高稼働率を維持できて、グループの全体の事業利益も2,800万円の黒字決算でした。また超強化型老健として評価（在宅復帰・在宅療養支援機能に対する評価70ポイント以上）も76ポイントの指標を維持取得出来ています。

更に本年度「デイサービスはなぶさ」の跡地を利用して、老健の入所者に対して、①退所後も安心出来る住み慣れた環境（住まい、ケア体制）を提供することで、シームレスな支援体制を構築出来る、②在宅復帰の課題解決に向けたトライアルの場として活用出来る、といった目的を持った住宅型有料老人ホーム「あいゆいの家：10名定員」を新設・開設致しました。管理者中馬健一氏を中心に順調に発展し、現在７名の入所者を獲得出来ております。

我々は、老健を中心に愛結グループ（居宅介護支援センター・訪問看護ステーション・デイサービスセンター・グループホームなど）多職種協働の下、谷山地区を中心とした「地域包括ケアシステムの拠点」を目指して、地域活動に貢献する所存です。

「超強化型老健」としての「在宅復帰と生活支援」の機能強化に職員一丸となって取り組み、人生100歳時代の生活支援の場として地域の皆様方にご利用頂ければと願っております。

鹿児島中央看護専門学校

校長　**今村　英仁**

３年課程看護科　副校長　**久徳　美鈴**

３年課程看護科では、2021 年度「あらゆる場で主体的に看護を創造、発展させていける看護職者の育成」の事業目標を継続し、新カリキュラムに向けた教育課程の編成、学生が主体的・能動的に学ぶ教育活動の推進等６つの戦略目標に沿い取り組みを行いました。

新型コロナ感染症拡大の影響を受ける中での学校運営でしたが、各講師の方々や慈愛会関連施設の協力もあり、年間教育課程を無事終えることができました。本年度の主な業績は、本校の目指す新教育課程が承認されたこと、学生や卒業生、慈愛会職員のキャリア支援の一助となる放送大学との併修制度が開始できたことです。初年度で 22 名の学生が放送大学に入学しました。

また、主体的・能動的に学ぶ教育活動の推進において、授業評価の取り組み、ICT・シミュレーション教育の充実を目指した研究授業に取り組みました。さらに、1・3 年目の卒業生サポートキャンパスも開催できました。本校の強みを活かした教育活動の成果は、入学生の確保（45 名）、第 111 回看護師国家試験全員合格（40 名）、県内就業率（92.1％）、退学率（0.7％）に繋がりました。本年度は、様々な事業計画に全教職員でチーム活動を展開しました。組織が一丸となって力を結集することの意義を実感した１年でした。

2022 年度は、新カリキュラムが本校の価値をさらに高めるものとなるよう、教育活動を実施していきます。今後も理念に掲げる「時代の変化に対応できる看護実践力の高い看護人材の育成」に力を注いでいきます。

２年課程（通信制）看護科　副校長　**南　ひとみ**

２年課程（通信制）看護科は、2006 年に３年課程に併設後 16 年間にわたり准看護師から看護師へのキャリアアップを支援し、南九州地域の看護の質向上に取り組み、2022 年３月 31 日に閉課程いたしました。2021 年度は在籍学生全員修了を目標に職員一丸となって取り組み、全員修了を達成することができました。

2021 年度のカリキュラムは主に臨地実習でした。コロナ禍の状況での臨地実習となり度重なる変更がありましたが、実習施設の協力のもとスケジュール調整、オンライン授業や学内実習への変更により実施することができました。

判断力、応用力、問題解決力を高める能力を養うという教育目標については、これまで自己評価において達成度が低かった看護計画立案の理解を強化していく教育内容の構築を行いました。面接授業を通して疾患の病態を復習し、看護を個別性へどのように応用していくのか教授し、授業後は学生の能力向上に繋がり総評価も上昇しました。また、健康教育において効果的なコミュニケーションを学ぶ授業については、科目ごとに関心の高いテーマを掲げてグループ演習や個人ワークを取り入れ、活

発な意見交換ができており重要ポイントと看護の役割について学びを得ました。

学びの成果は看護師免許取得率にも表れ、修了生の92.5%は免許を取得することができました。免許を取得した修了生が今後、南九州地域で看護の質向上に貢献してくれることを願います。

慈愛会クリニック

院長　**今村　尚子**

2021年度は、引き続きコロナウイルス感染の流行の影響を受けた年でした。

外来患者数は、昨年からは幾分増加しているもののコロナ禍以前の人数には達しませんでした。引き続きこの状況を辛抱しつつ、過度にコロナウイルス感染を恐れて受診を控えがちな患者様へ、治療中断が糖尿病悪化につながることや正しい感染防止の知識を伝達することに尽力してきました。

2021年は透析予防指導で、昨年と比べていい結果が出ています。HbA1c、クレアチニン、血圧の改善または維持が認められた割合が71%～82%と前年より高くなりました。受診時に毎回医師、看護師、管理栄養士が地道に指導を行い、それが患者様に正しく伝わっていることを表していると思います。今後も活動が制限されている中で患者様と向き合い支えていくことに努めます。

七波クリニック

院長　**鮫島　久子**

2021年は新型コロナウイルスワクチン接種を3回実施、例年のインフルエンザワクチンを合わせ、年に4回の接種を行いました。通常の診療を行いながらのため、待合場所、待ち時間、スタッフの確保等においてうまくいかないところもあり、職員全員でカバーを行いましたが、時間の制限からミーティングや勉強会が行えず、問診、医師診察、多方面での診療面の遅れを感じています。

糖尿病治療とその合併症治療は毎年新薬発売や指導の見直しなど変化があります。今年はしっかりと時間を確保してスタッフ勉強会を行いたいと思います。

高麗町クリニック

院長　**斧渕　泰裕**

2021 年度は、訪問診療延べ患者数、訪問リハ延べ患者数ともに前年度を下回りました。

事業収益は、前年比 102.5%、事業費は同 107.5%で、利益は同 64.8%となりました。

訪問診療契約者数が 100 名（2020 年度末）から 84 名（2021 年度末）に減少しています。2021 年 9 月末に 24 名の契約解除があり影響しました。

かごしまオハナクリニック

院長　**林　恒存**

2021 年度も「慈愛会のかかりつけ医療機関」の旗印のもと、定期外来診療と、24 時間 365 日体制の在宅医療を実践中です。開設後 2 年半で当院の役割が浸透し、また高齢者の医療介護需要の経年的増加も相俟って、法人内外から 2021 年度も数多く紹介いただき、約 140 名（昨年度約 100 名）の訪問診療契約者に対する定期訪問診療と緊急往診を 1 日あたり 10-15 件行いながら（月総数平均 250 件。昨年度は平均 200 件）、医師によるオンコール体制で昼夜、休日問わず対応しました。また約 900 人の当院かかりつけの方の定期外来診療を平日午前、第 1，3 土曜で行い、組織規模にみあった事業収益を確保できました。

2021 年度は「量より質」というテーマを掲げたものの、その成果を目に見える形で提示できませんでした。かかりつけ医としての質とは何かを熟慮し、その維持・向上を示せる指標を設定した上で、達成のための具体策を 2022 年度は実践したいと思います。

概　　要

公益財団法人　慈愛会

主たる事務所
〒892-0822
鹿児島県鹿児島市泉町1番15号
従たる事務所
〒890-0064
鹿児島県鹿児島市鴨池新町6番4号

理事長　今村　英仁
事業所　5病院
1介護老人保健施設
1看護師養成所
4診療所
18併設事業所

職員数　2,410名（2022年3月1日現在）
病床　1,589床
うち病院ベッド数1,489床
介護老人保健施設入所定員100床

今村総合病院

管　理　者　帆北　修一
所　在　地　〒890-0064　鹿児島県鹿児島市鴨池新町11番23号
T　E　L　099-251-2221
病　床　数　428床（一般330床、回復50床、精神48床）
（2021年4月　414床→428床へ増床）
標榜診療科　内科、救急科（総合内科）、血液内科、糖尿病内科、腎臓内科、人工透析内科、脳神経内科、外科、消化器外科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、皮膚科、ペインクリニック内科、リハビリテーション科、眼科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、気管食道・耳鼻咽喉科、脳神経外科、整形外科、放射線科、精神科、病理診断科、麻酔科、小児科、産科、婦人科、歯科口腔外科、腫瘍内科、感染症内科、肝臓内科（2021年6月増科）

指定医療機関等
・臨床研修病院
・救急告示病院
・生活保護法による医療機関
・被爆者一般疾病医療機関
・労働者災害補償保険法による医療機関
・公害健康被害補償法による医療機関
・障害者自立支援法による医療機関（更生医療・精神通院医療）
・特定疾患治療研究事業委託医療機関
・小児慢性特定疾患治療研究事業委託医療機関
・鹿児島県がん診療指定病院

学会等認定施設
・日本プライマリ・ケア連合学会認定新家庭医療後期研修プログラム
・日本透析医学会専門医制度認定施設
・日本血液学会認定専門研修認定施設
・日本HTLV-1学会登録医療機関
・日本消化器病学会専門医制度認定施設
・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
・日本外科学会外科専門医制度修練施設
・日本消化器外科学会専門医制度専門医修練施設
・日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
・日本麻酔科学会麻酔科認定病院
・日本ペインクリニック学会ペインクリニック専門医指定研修施設
・日本脳卒中学会専門医制度研修教育施設
・日本神経学会専門医制度教育施設
・日本リハビリテーション医学会研修施設
・日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
・日本皮膚科学会認定専門医研修施設
・日本精神神経学会精神科専門医研修施設
・日本がん治療認定医機構認定研修施設
・日本臨床腫瘍学会認定研修施設（連携施設）
・日本輸血・細胞治療学会認定臨床輸血看護師制度指定研修施設
・日本輸血・細胞治療学会輸血機能評価認定制度(I&A制度)認証施設
・日本病理学会病理専門医制度研修登録施設
・日本臨床神経生理学会認定施設準教育施設(筋電図・神経伝導分野)
・日本腎臓学会研修施設
・日本臨床細胞学会認定施設
・日本眼科学会専門医制度研修施設

概要

・日本脳卒中学会認定一次脳卒中センター
・日本腹部救急医学会腹部救急認定医・教育医制度認定施設
・日本外科感染症学会外科周術期感染管理教育施設
・日本脳神経外科学会専門研修プログラム連携施設
・日本造血・免疫細胞療法学会非血縁者間造血幹細胞移植認定診療科
—認定カテゴリー１（血液内科）
・日本骨髄バンクならびに日本造血・免疫細胞療法学会非血縁者間骨髄採取認定施設
・日本内分泌学会内分泌代謝科専門医制度認定教育施設
・日本胆道学会日本胆道学会認定指導医制度認定指導施設

その他の認定施設
・公益財団法人日本医療機能評価機構認定病院（３rdG:Ver.2.0）
・日本診療放射線技師会医療被ばく低減施設
・日本診療放射線技師会臨床実習指導施設
・痛風協力病院
・消化器がん検診精密検査医療機関
・特定行為に係る看護師の研修制度指定研修機関
・日本専門医機構専門医制度総合診療領域専門研修プログラム

いづろ今村病院

管　理　者　（2022年 3月まで）黒野　明日嗣
（2022年 4月から）常盤　光弘
所　在　地　〒892-0824 鹿児島県鹿児島市堀江町17番1号
Ｔ　Ｅ　Ｌ　099-226-2600
病　床　数　115床（一般42床、地域包括ケア53床、緩和ケア20床）
（2021年 1月　130床→115床へ減床：今村総合病院へ一般病床15床移設）
標榜診療科　内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、血液内科、外科、消化器外科、大腸・肛門外科、婦人科、放射線科、眼科、緩和ケア内科、皮膚科（2021年 4月増科）

指定医療機関等
・厚生労働省協力型臨床研修指定病院
・開放型病院
・救急告示病院
・緊急指定病院
・生活保護法指定医療機関
・被爆者一般疾病指定医療機関
・結核予防法指定医療機関
・特定疾患医療指定医療機関
・母体保護法指定医療機関
・母子保健法指定医療機関
・小児慢性特定疾患医療指定医療機関
・労働者災害補償保険法指定医療機関
・人間ドック指定病院

学会等認定施設
・日本血液学会認定血液研修施設
・日本糖尿病学会専門医修練施設
・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
・日本大腸肛門病学会専門医修練施設
・日本消化器病学会専門医制度審議委員会認定施設
・日本眼科学会専門医制度研修施設
・日本がん治療認定医機構認定研修施設
・日本緩和医療学会認定研修施設

その他の認定施設
・公益財団法人日本医療機能評価機構認定病院（3rdG：Ver. 1.1）
・日本人間ドック学会　人間ドック健診施設機能評価認定（Ver. 3.0）
・全日病病院協会日帰り人間ドック実施施設
・人間ドック健診専門医研修施設
・鹿児島県救急災害医療情報システム参加登録病院

通所リハビリテーション　ウェルネスじあい

所　在　地　〒892-0824 鹿児島県鹿児島市堀江町17番1号
Ｔ　Ｅ　Ｌ　099-226-5206

指定訪問リハビリテーション　ウェルネスじあい

所　在　地　〒892-0824 鹿児島県鹿児島市堀江町17番1号
T　E　L　099-226-2600

指定居宅介護支援事業所　ウェルネスじあい

所　在　地　〒892-0824 鹿児島県鹿児島市堀江町17番1号
T　E　L　099-226-5207

谷山病院

管　理　者　福迫　剛
所　在　地　〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番1号
T　E　L　099-269-4111
病　床　数　392床
標榜診療科　精神科
認定・指定

- 公益財団法人日本医療機能評価機構認定施設（3rdG：Ver2.0）
- 生活保護法指定医療機関
- 身体障害者福祉法による医療機関
- 被爆者一般疾病医療機関（原爆被爆者援護法）
- 難病医療費助成指定医療機関
- 結核指定医療機関
- 結核患者収容モデル事業（A2病棟5床）
- 肝炎治療特別促進事業
- 自立支援医療機関（精神通院医療）
- 精神保健福祉法第19条の8に基づく病院（10床）
- 精神保健福祉法応急入院指定病院
- 医療観察法指定通院医療機関
- 鹿児島県指定認知症疾患医療センター
- 協力型臨床研修病院（医師臨床研修制度）
- 精神科専門医制度認定研修施設（日本精神神経学会）
- 精神科救急地域拠点病院（鹿児島県）
- 災害時支援中心病院（日本精神科病院協会）
- 精神科認定看護師教育課程 実習施設（日本精神科看護協会）
- DPAT登録病院（鹿児島県）
- 労働者災害補償保険法指定医療機関

就労支援センター　ステップ

所　在　地　〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番1号
T　E　L　099-260-5810

地域活動支援センター　ひだまり

所　在　地　〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番1号
T　E　L　099-260-5865

グループホーム　しらゆりの郷

所　在　地　〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町6番1号
T　E　L　099-266-3214

奄美病院

管　理　者　杉本　東一
所　在　地　〒894-0044 鹿児島県奄美市名瀬浜里町170番地
T　E　L　0997-53-1200
病　床　数　348床
標榜診療科　精神科
認定・指定

- 公益財団法人日本医療機能評価機構認定施設（3rdG：Ver.2.0）
- 生活保護法指定医療機関
- 原爆被爆者医療法一般疾病医療取扱病院
- 精神科専門医制度認定研修施設
- 臨床研修医制度臨床研修病院（協力型）
- 自立支援医療機関（精神通院医療）
- 精神保健福祉法第19条の8に基づく病院（10床）
- 医療観察法にかかる指定通院医療機関
- 鹿児島県指定認知症疾患医療センター

概要

訪問看護ステーション　イルカ
指定特定相談支援事業所　あゆみ

所　在　地　〒894-0044 鹿児島県奄美市名瀬浜里町171番1号
T　E　L　0997-57-6750（イルカ）
0997-57-6633（あゆみ）

指定障害福祉サービス事業所　あらいぐま

所　在　地　〒894-0046 鹿児島県奄美市名瀬小宿佐仁金久2838
T　E　L　0997-54-8911

グループホーム　ひまわり

所　在　地　〒894-0046 鹿児島県奄美市名瀬小宿砂田2879番1号
T　E　L　0997-54-8787

徳之島病院

管　理　者　末満　純一
所　在　地　〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津5190番地
T　E　L　0997-83-0275
病　床　数　206床
標榜診療科　精神科
認定・指定
・公益財団法人日本医療機能評価機構認定病院（3rdG：Ver.2.0）
・生活保護法指定医療機関
・自立支援医療機関（精神通院医療）
・精神保健福祉法第19条の8（指定病床数８床）
・医療観察法指定通院医療機関

グループホーム　うんばた

所　在　地　〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津5210番1号
T　E　L　0997-83-2840

介護老人保健施設 愛と結の街

施　設　長　野村　秀洋（いづろ今村病院　名誉院長）

所　在　地　〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番3号
T　E　L　099-260-6060
入所定員数　100床

指定居宅介護支援センター　愛と結の街
笹貫訪問看護ステーション　愛の街
ヘルパーステーション　結の街

所　在　地　〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町9番1号
T　E　L　099-267-6818（居宅）
099-210-0150（訪問看護）
099-267-0177（ヘルパー）

グループホーム　愛と結の街
デイサービスセンター　あしたの風（認知症対応型）

所　在　地　〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町9番28号
T　E　L　099-267-0533（グループホーム）
099-263-6630（あしたの風）

デイサービス　はなぶさ
（通常規模型通所介護事業所）

所　在　地　〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番3号
T　E　L　099-284-5663

住宅型有料老人ホーム　あいゆいの家

所　在　地　〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町9番1号
T　E　L　099-260-6060

慈愛会クリニック

管　理　者　今村　尚子
標榜診療科　内科，糖尿病内科

所　在　地　〒892-0822 鹿児島県鹿児島市泉町1番15号1F
T　E　L　099-239-0588

七波クリニック

管　理　者　鮫島　久子
標榜診療科　内科

所　在　地　〒890-0067 鹿児島県鹿児島市真砂本町51番1号
ニシムタスカイマーケット鴨池内テナント
T　E　L　099-284-0610

高麗町クリニック

管　理　者　斧渕　泰裕
標榜診療科　内科
・在宅療養支援診療所

所　在　地　〒890-0051 鹿児島県鹿児島市高麗町39番11号
T　E　L　099-812-7712

かごしまオハナクリニック

管　理　者　林　恒存
標榜診療科　内科

所　在　地　〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新町6番4号
T　E　L　099-263-8787

鹿児島中央看護専門学校

校　　長　今村　英仁

3 年課程看護科

所　在　地　〒892-0822 鹿児島県鹿児島市泉町12番7号
T　E　L　099-227-5330

2 年課程（通信制）看護科
（2022 年 3 月 31 日閉課程）

所　在　地　〒892-0822 鹿児島県鹿児島市泉町1番15号4F
T　E　L　099-226-1201

病院施設別職員数　2022年3月1日現在　（　）は非常勤・パート

	医師		看護部		診療支援部		事務員		その他職員		合計：実働
今村総合病院	110	(69)	462	(28)	223	(11)	110	(16)	23	(14)	1066
七波クリニック	1	(6)	4	(4)	1	(1)	5	(2)			24
かごしまオハナクリニック	2	(1)	3				3				9
いづろ今村病院	25	(28)	132	(12)	60	(5)	42	(6)	2		312
慈愛会クリニック	1	(3)	2	(3)	1		4				14
谷山病院	10	(23)	188	(7)	64	(9)	22		2	(1)	326
就労支援センターステップ			4		9		1				14
地域活動支援センターひだまり			3		7					(1)	11
グループホームしらゆりの郷			4		2		2				8
奄美病院	6	(4)	119	(2)	44	(13)	14		6	(1)	209
指定特定相談支援事業所あゆみ			1		3						4
訪問看護ステーションイルカ			9				1				10
グループホーム ひまわり			3								3
指定障害福祉サービス事業所 あらいぐま			11		1		1				13
徳之島病院	4	(3)	65	(7)	29	(4)	8		8	(4)	132
グループホームうんばた			2				1				3
介護老人保健施設愛と結の街	2	(2)	44	(13)	25.8	(6)	6		3	(3)	104.8
居宅介護支援センター 愛と結の街			7.2				1	(1)			9.2
グループホーム愛と結の街			14	(1)							15
ヘルパーステーション結の街			5	(8)							13
デイサービスあしたの風			4	(2)							6
デイサービスはなぶさ			6.5	(4)							10.5
笹貫訪問看護ステーション愛の街			12.5	(3)	3		1				19.5
住宅型有料老人ホーム あいゆいの家				(4)							4
高麗町クリニック	1	(1)	3		2		3				10
鹿児島中央看護専門学校							4	(1)	23	(2)	30
法人事業本部	2		5				21	(2)			30
合計	164	(140)	1113.2	(98)	474.8	(49)	250	(28)	67	(26)	2410

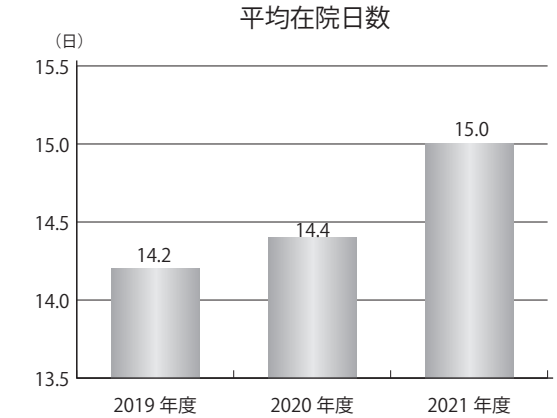
職種別常勤換算人員表（年度推移：人）

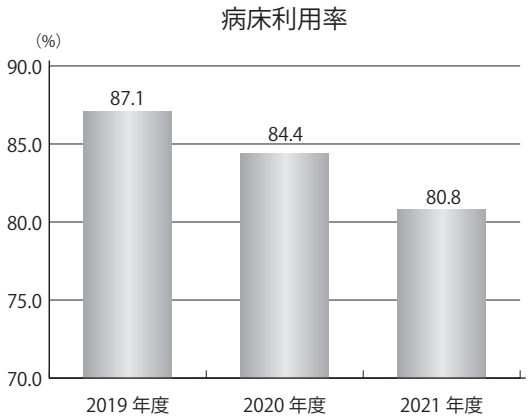
	職種	2019年度	2020年度	2021年度
1	医師	176.7	184.8	188.8
2	歯科医師	1.7	1.6	1.6
	診療部	178.3	186.4	190.4
3	保健師	6.0	6.4	5.9
4	助産師	15.6	13.8	11.1
5	看護師	781.6	803.4	827.4
6	専任教員	24.4	24.3	23.2
7	准看護師	52.2	48.5	46.7
8	看護助手	116.4	118.5	122.9
9	介護福祉士	172.8	168.3	169.7
10	介護支援専門員	12.2	10.0	9.8
11	ケアワーカー	0.8	0.0	0.0
12	ヘルパー	2.6	2.1	2.3
13	歯科衛生士	3.0	3.0	2.2
	看護部	1187.4	1198.2	1221.1
14	薬剤師	44.6	46.1	47.4
15	薬剤師助手	11.7	13.4	13.7
16	診療放射線技師	27.1	28.6	29.4
17	臨床検査技師	38.8	40.7	39.7
18	一般臨床検査士	0.0	0.0	0.0
19	臨床検査助手	1.7	1.7	2.0
20	臨床心理士	7.6	6.6	6.7
21	公認心理師			5.0
22	理学療法士	63.0	63.2	66.7
23	作業療法士	50.8	53.9	53.6
24	作業療法士助手	0.0	0.0	0.0
25	言語聴覚士	19.8	20.0	20.1
26	音楽療法士	0.3	0.4	0.4
27	リハビリ助手	4.5	4.6	4.6
28	臨床工学技士	17.7	18.0	21.3
29	消化器内視鏡技師	3.5	3.0	3.3
30	視能訓練士	4.1	3.1	3.0
31	管理栄養士	26.9	26.3	27.1
32	栄養士	16.6	14.5	15.0
33	調理師	60.9	63.0	61.1
34	調理員	25.6	26.1	26.5
35	社会福祉士	19.8	13.9	14.9
36	セーフティーマネージャー	0.0	0.0	0.0
37	精神保健福祉士	43.1	45.9	48.2
38	精神保健福祉士助手	0.0	0.0	0.0
39	柔道整復師	0.0	0.0	0.0
	診療支援部	489.2	493.9	505.5
40	事務員	235.5	239.6	244.5
41	診療情報管理士	12.0	12.8	12.3
42	システムエンジニア	5.0	5.0	5.0
43	売店	5.3	4.8	5.0
44	施設係	35.1	35.0	33.3
45	世話人	0.0	0.0	0.0
46	保育士	18.4	18.6	16.9
47	保育士助手	0.6	7.8	8.6
48	ピアサポーター	1.0	1.0	0.8
49	その他	0.0	0.0	0.0
	事務部	312.9	324.6	326.4
	合計	2167.7	2203.1	2243.6

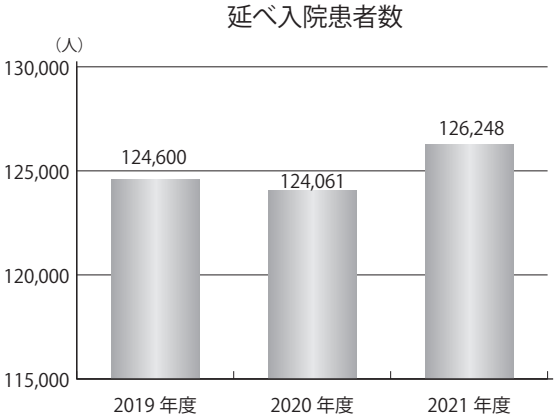
※公認心理師を2021年度より計上。複数資格保有者については、各病院職員配置表での記載に基づいて換算。

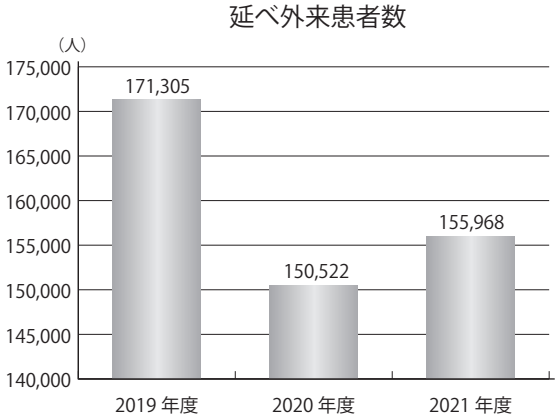
病院施設指標

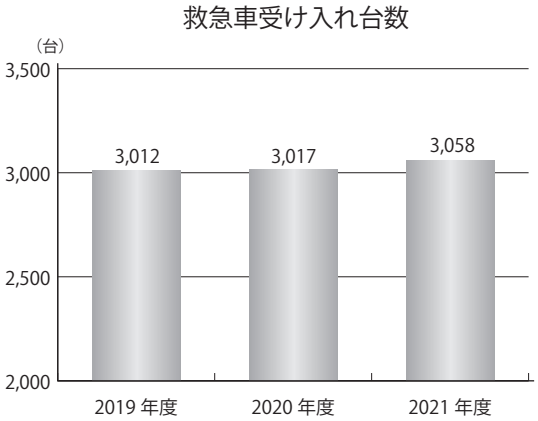
今村総合病院

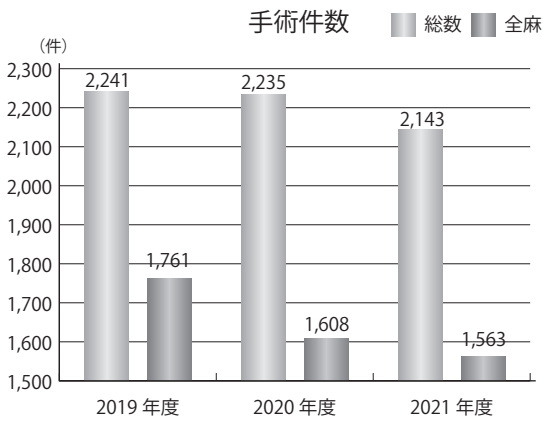


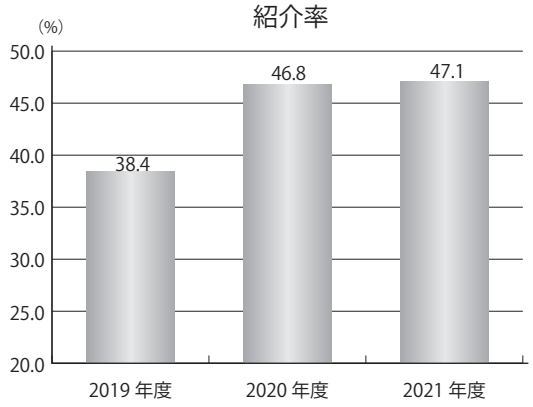


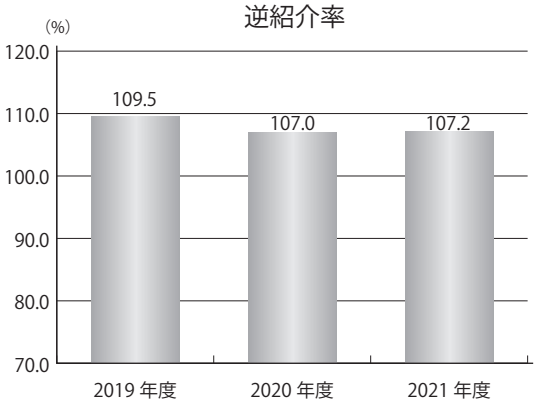




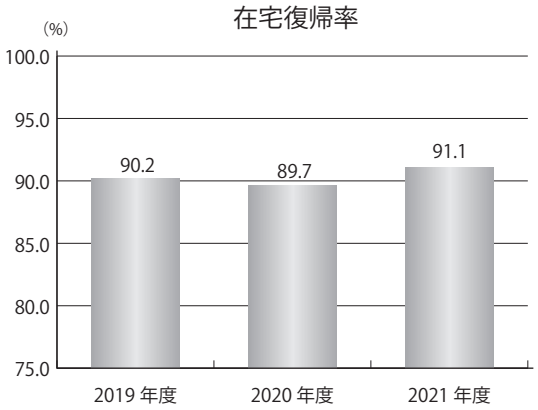






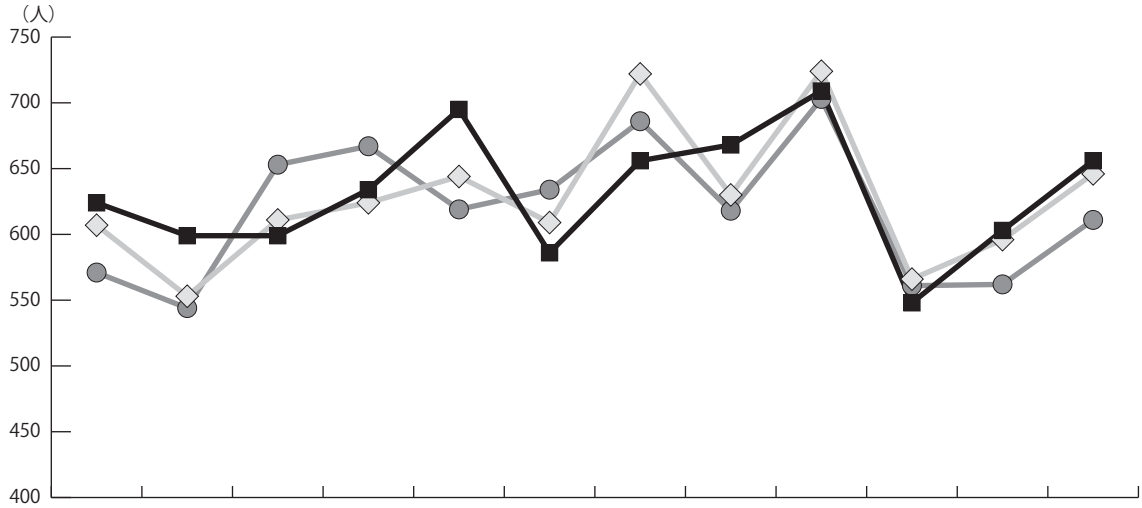


※紹介率、逆紹介率は2019年度より計算方法を変更（地域医療支援病院の計算式による）



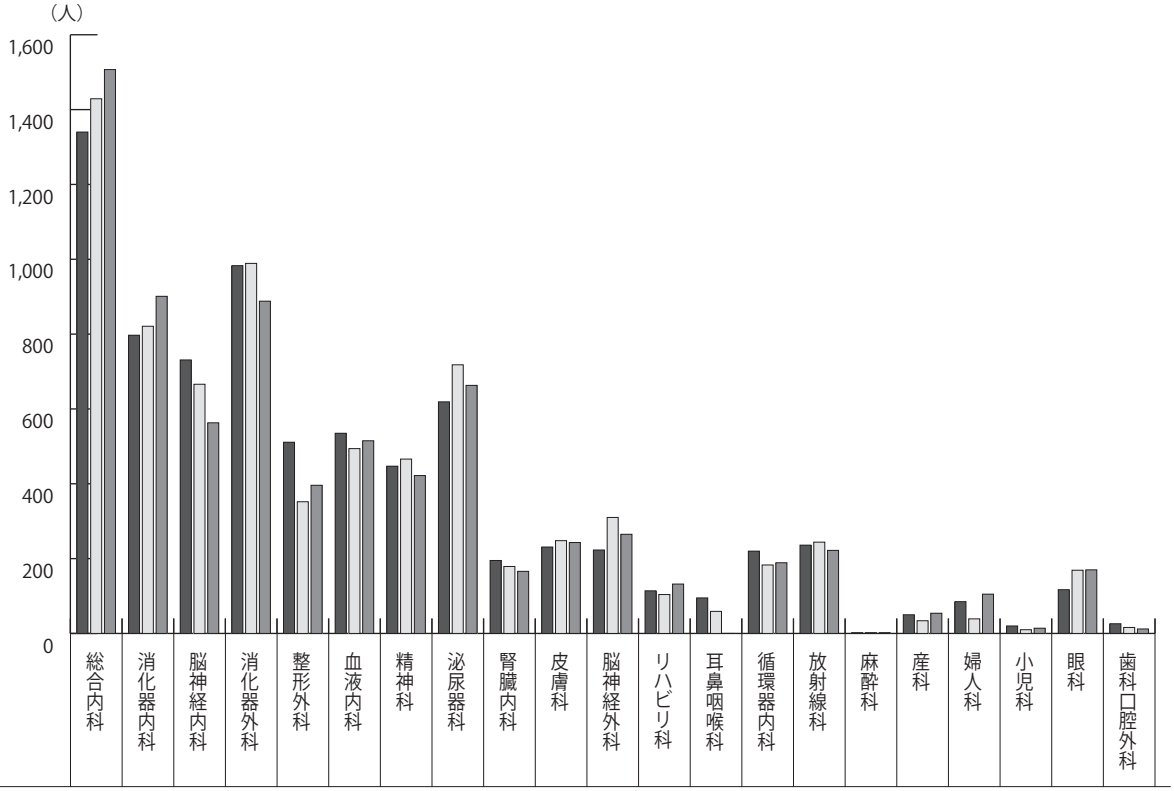
患者動向

年度別月別退院患者数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年度	624	599	599	634	695	586	656	668	709	548	603	656
2020年度	607	553	611	624	644	609	722	630	724	566	596	646
2021年度	571	544	653	667	619	634	686	618	703	561	562	611

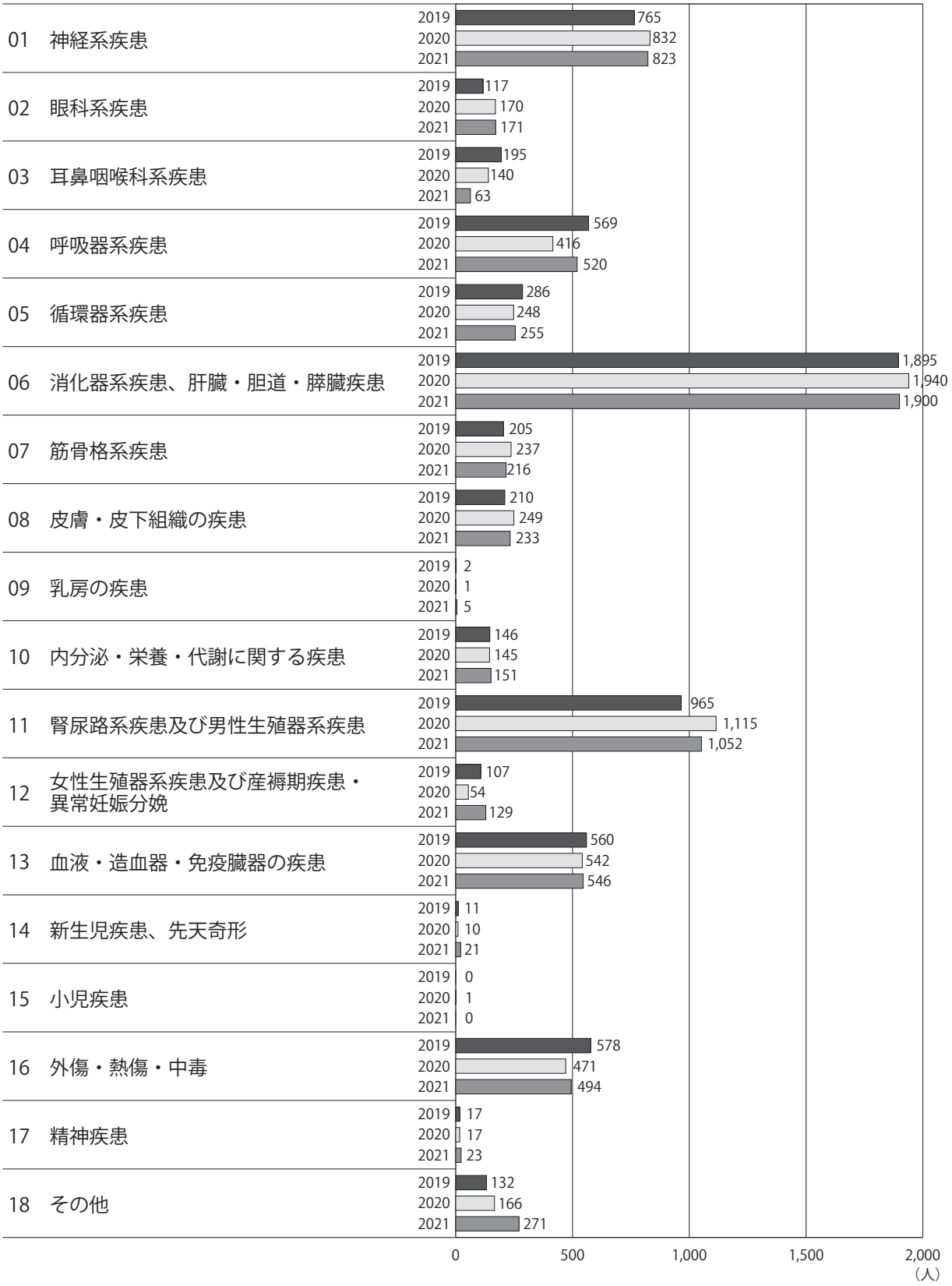
年度別診療科別退院患者数



	総合内科	消化器内科	脳神経内科	消化器外科	整形外科	血液内科	精神科	泌尿器科	腎臓内科	皮膚科	脳神経外科	リハビリ科	耳鼻咽喉科	循環器内科	放射線科	麻酔科	産科	婦人科	小児科	眼科	歯科口腔外科
2019年度	1,340	797	731	983	511	535	447	619	195	231	223	114	95	220	236	2	50	85	20	117	26
2020年度	1,429	821	666	989	352	494	466	718	179	248	310	104	59	183	244	2	34	39	10	169	16
2021年度	1,507	901	563	888	396	515	422	663	166	243	265	132	0	189	222	2	54	105	14	170	12

DPC 統計（MDC、ICD）

年度別MDC別退院患者数



ICD-10　大分類による診療科別統計（2019 年度）
2019 年４月～ 2020 年３月までの退院患者

大分類			総合内科	腎臓内科	血液内科	消化器内科	脳神経外科	泌尿器科	皮膚科	耳鼻咽喉科	放射線科	脳神経内科	リハビリ科	整形外科	循環器内科	消化器外科	精神科	産科	婦人科	小児科	麻酔科	眼科	歯科口腔外科	計
1	感染症および寄生虫症	(A00-B99)	132	4	20	22	1	0	49	1	2	8	2	0	1	6	11	1	1	0	0	0	2	263
2	新生物	(C00-D48)	27	0	446	239	17	137	73	7	178	3	1	1	0	439	32	0	61	0	0	0	1	1,662
3	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	(D50-D89)	22	2	25	4	0	0	2	0	1	0	1	0	3	4	5	0	2	0	0	0	0	71
4	内分泌、栄養および代謝疾患	(E00-E90)	65	4	1	2	3	1	0	0	1	22	0	0	0	8	18	0	0	6	0	0	0	131
5	精神および行動の障害	(F00-F99)	15	0	0	8	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	121	0	0	1	0	0	0	148
6	神経系の疾患	(G00-G99)	32	0	2	11	17	1	0	59	0	136	5	2	1	1	27	0	0	0	1	0	0	295
7	眼および付属器の疾患	(H00-H59)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	18	0	0	0	0	113	0	133
8	耳および乳様突起の疾患	(H60-H95)	4	0	0	0	5	0	0	0	0	49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58
9	循環器系の疾患	(I00-I99)	73	14	4	25	98	5	2	0	13	467	93	0	194	3	5	0	0	0	0	1	0	997
10	呼吸器系の疾患	(J00-J99)	508	13	13	8	0	1	1	26	20	7	5	0	8	5	62	0	0	9	0	0	0	686
11	消化器系の疾患	(K00-K93)	86	9	3	457	0	1	0	1	18	1	1	0	1	478	55	0	0	0	0	0	14	1,125
12	皮膚および皮下組織の疾患	(L00-L99)	30	0	1	0	0	1	91	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	5	137
13	筋骨格系および結合組織の疾患	(M00-M99)	99	6	1	2	0	0	5	0	1	4	2	70	0	2	3	0	0	0	1	0	0	196
14	腎尿路生殖器系の疾患	(N00-N99)	191	131	2	4	1	439	1	0	1	2	0	0	6	8	38	0	20	1	0	0	0	845
15	妊娠、分娩および産じょく	(O00-O99)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43	0	0	0	0	0	43
16	周産期に発生した病態	(P00-P96)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	3	0	0	0	8
17	先天奇形、変形および染色体異常	(Q00-Q99)	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4
18	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	(R00-R99)	17	1	0	0	0	16	0	1	1	3	0	0	0	2	10	0	0	0	0	0	0	51
19	損傷、中毒およびその他の外因の影響	(S00-T98)	39	9	7	14	81	17	7	0	0	26	4	409	6	9	33	0	0	0	0	3	4	668
20	傷病および死亡の外因	(V01-Y98)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	(Z00-Z99)	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	17	0	1	0	0	0	0	0	56
計			1,340	195	535	797	223	619	231	95	236	731	114	511	220	983	447	50	85	20	2	117	26	7,577

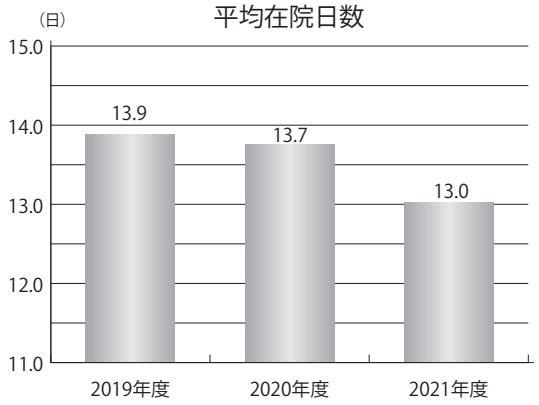
ICD-10　大分類による診療科別統計（2020 年度）
2020 年 4 月～ 2021 年 3 月までの退院患者

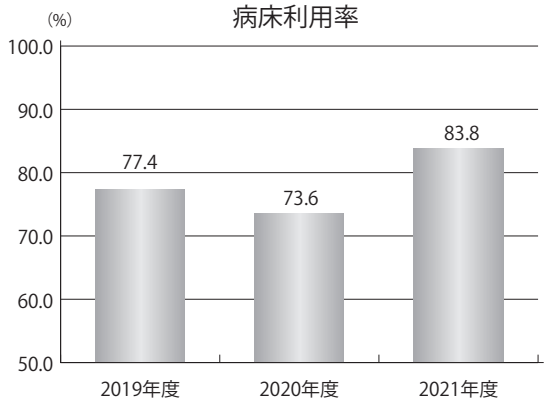
大分類			総合内科	腎臓内科	血液内科	消化器内科	脳神経外科	泌尿器科	皮膚科	耳鼻咽喉科	放射線科	脳神経内科	リハビリ科	整形外科	循環器内科	消化器外科	精神科	産科	婦人科	小児科	麻酔科	眼科	歯科口腔外科	計
1	感染症および寄生虫症	(A00-B99)	153	3	11	14	0	1	69	0	0	2	0	0	0	9	9	0	1	1	0	0	1	274
2	新生物	(C00-D48)	35	1	411	269	20	193	62	1	176	3	0	3	4	405	46	0	25	0	0	0	1	1,655
3	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	(D50-D89)	27	1	22	6	0	1	4	0	5	0	0	0	0	5	10	0	0	0	0	0	0	81
4	内分泌、栄養および代謝疾患	(E00-E90)	74	6	3	3	3	1	1	0	1	5	0	0	2	9	15	0	0	7	0	0	0	130
5	精神および行動の障害	(F00-F99)	19	0	2	1	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	144	0	0	0	0	0	0	171
6	神経系の疾患	(G00-G99)	39	0	1	1	42	0	0	41	2	101	2	0	2	1	16	0	0	0	2	0	0	250
7	眼および付属器の疾患	(H00-H59)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	0	0	0	0	166	0	191
8	耳および乳様突起の疾患	(H60-H95)	11	0	0	0	3	0	0	0	1	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45
9	循環器系の疾患	(I00-I99)	83	17	2	6	129	6	4	0	13	481	96	0	165	1	12	0	0	0	0	1	0	1,016
10	呼吸器系の疾患	(J00-J99)	351	3	7	2	2	1	2	15	8	4	1	0	2	4	47	0	0	0	0	0	0	449
11	消化器系の疾患	(K00-K93)	97	12	8	461	0	2	2	0	31	0	1	0	2	499	71	0	1	1	0	0	11	1,199
12	皮膚および皮下組織の疾患	(L00-L99)	43	0	0	0	0	2	99	1	1	0	0	2	0	1	9	0	0	0	0	0	2	160
13	筋骨格系および結合組織の疾患	(M00-M99)	164	4	1	0	1	2	4	0	0	6	0	60	0	2	12	0	0	0	0	0	0	256
14	腎尿路生殖器系の疾患	(N00-N99)	248	126	6	3	2	449	0	0	2	1	0	0	3	9	23	0	11	0	0	0	0	883
15	妊娠、分娩および産じょく	(O00-O99)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	1	0	0	0	0	30
16	周産期に発生した病態	(P00-P96)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
17	先天奇形、変形および染色体異常	(Q00-Q99)	0	3	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	11
18	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	(R00-R99)	23	0	0	39	0	41	0	1	0	3	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	110
19	損傷、中毒およびその他の外因の影響	(S00-T98)	60	3	10	15	106	16	1	0	3	26	4	260	3	23	27	0	0	0	0	2	1	560
20	傷病および死亡の外因	(V01-Y98)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	(Z00-Z99)	0	0	10	1	0	0	0	0	0	0	0	27	0	18	0	4	0	0	0	0	0	60
計			1,429	179	494	821	310	718	248	59	244	666	104	352	183	989	466	34	39	10	2	169	16	7,532

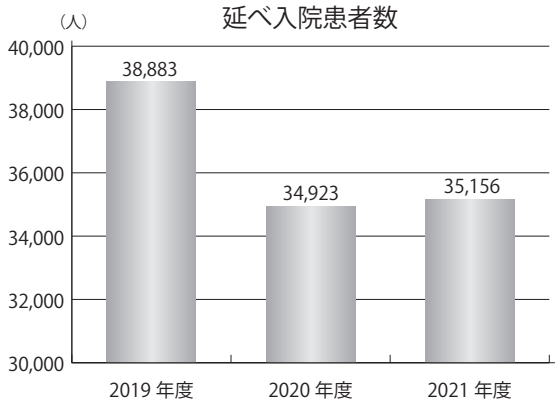
ICD-10　大分類による診療科別統計（2021 年度）
2021 年 4 月～ 2022 年 3 月までの退院患者

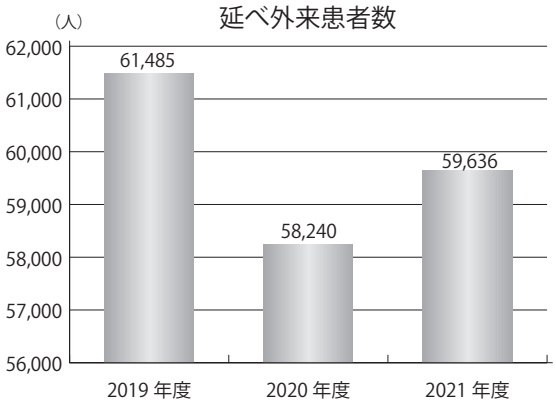
大分類			総合内科	腎臓内科	血液内科	消化器内科	脳神経外科	泌尿器科	皮膚科	放射線科	脳神経内科	リハビリ科	整形外科	循環器内科	消化器外科	精神科	産科	婦人科	小児科	麻酔科	眼科	歯科口腔外科	計
1	感染症および寄生虫症	(A00-B99)	112	4	17	18	0	0	43	8	3	0	0	0	10	6	0	2	1	0	0	0	224
2	新生物	(C00-D48)	36	6	443	269	10	192	69	160	2	1	2	2	379	48	0	71	0	0	0	0	1690
3	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	(D50-D89)	21	1	24	3	0	0	1	2	0	1	0	3	3	7	0	1	0	0	0	0	67
4	内分泌、栄養および代謝疾患	(E00-E90)	73	7	2	3	2	0	0	1	4	0	0	2	11	17	0	2	6	0	0	0	130
5	精神および行動の障害	(F00-F99)	17	0	0	0	1	0	0	0	5	0	0	0	0	107	0	1	1	0	0	0	132
6	神経系の疾患	(G00-G99)	41	1	0	0	32	0	0	0	84	1	0	3	0	18	0	0	0	2	0	0	182
7	眼および付属器の疾患	(H00-H59)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	169	0	193
8	耳および乳頭突起の疾患	(H60-H95)	5	0	0	0	5	0	0	0	23	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	34
9	循環器系の疾患	(I00-I99)	61	16	0	4	101	0	0	17	417	102	0	160	0	22	0	0	0	0	0	0	900
10	呼吸器系の疾患	(J00-J99)	412	5	12	5	2	0	0	11	5	7	0	7	1	39	0	0	0	0	0	0	506
11	消化器系の疾患	(K00-K93)	76	1	3	546	2	1	0	18	1	3	0	0	450	56	0	0	0	0	0	9	1166
12	皮膚および皮下組織の疾患	(L00-L99)	42	3	0	0	0	1	114	0	0	0	0	0	1	10	0	0	0	0	0	2	173
13	筋骨格系および結合組織の疾患	(M00-M99)	135	4	0	0	1	0	6	1	3	4	55	1	1	13	0	0	0	0	0	0	224
14	腎尿路生殖器系の疾患	(N00-N99)	228	107	4	3	1	439	1	1	3	0	0	6	7	33	0	23	0	0	0	0	856
15	妊娠、分娩および産じょく	(O00-O99)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43	2	0	0	0	0	46
16	周産期に発生した病態	(P00-P96)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	4	0	0	0	11
17	先天奇形、変形および染色体異常	(Q00-Q99)	0	2	0	1	2	2	1	0	0	0	0	0	2	0	0	1	2	0	0	0	13
18	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	(R00-R99)	33	0	0	36	2	14	1	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	90
19	損傷、中毒およびその他の外因の影響	(S00-T98)	57	9	4	13	104	14	7	2	11	13	308	5	8	22	0	2	0	0	1	1	581
20	傷病および死亡の外因	(V01-Y98)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	健康状態の影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	(Z00-Z99)	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	31	0	13	0	4	0	0	0	0	0	54
22	原因不明の新たな疾患の暫定分類 抗菌薬及び抗腫瘍薬への耐性	(U00-U49) (U82-U85)	157	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	157
計			1507	166	515	901	265	663	243	222	563	132	396	189	888	422	54	105	14	2	170	12	7429

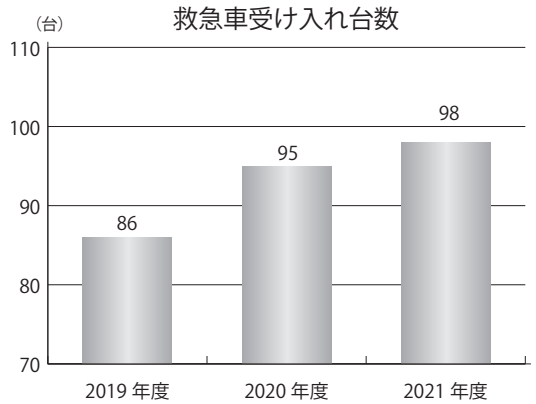
いづろ今村病院

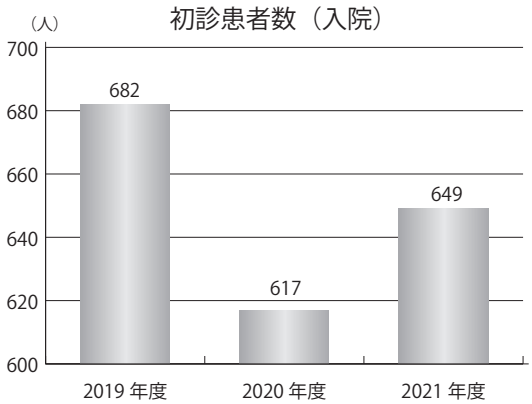

平均在院日数
（日）
15.0
14.0
13.0
12.0
11.0
13.9
13.7
13.0
2019年度
2020年度
2021年度

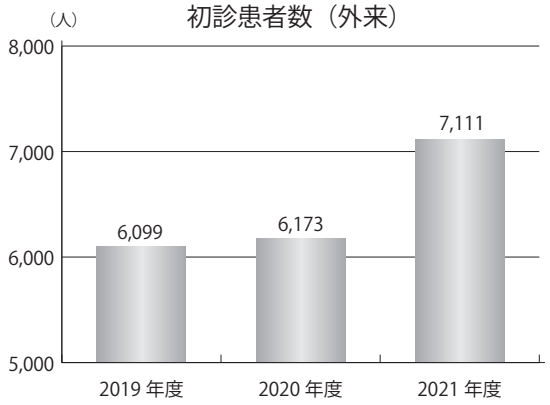

病床利用率
（%）
100.0
90.0
80.0
70.0
60.0
50.0
77.4
73.6
83.8
2019年度
2020年度
2021年度

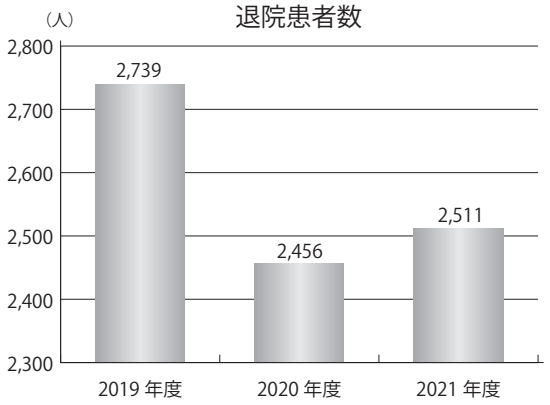

延べ入院患者数
（人）
40,000
38,000
36,000
34,000
32,000
30,000
38,883
34,923
35,156
2019 年度
2020 年度
2021 年度

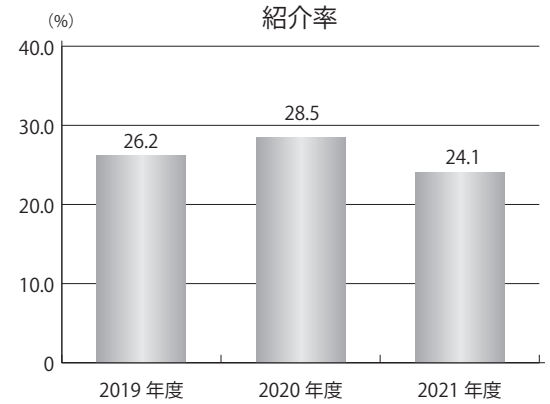

延べ外来患者数
（人）
62,000
61,000
60,000
59,000
58,000
57,000
56,000
61,485
58,240
59,636
2019 年度
2020 年度
2021 年度

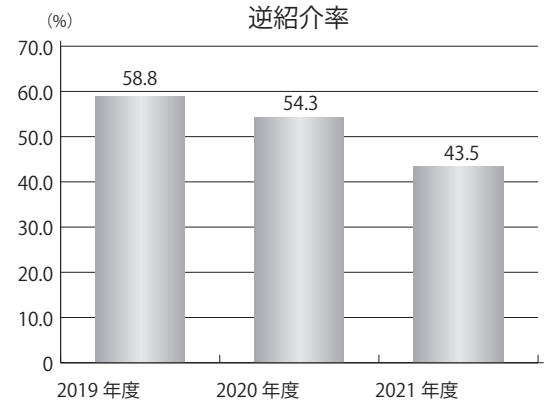

救急車受け入れ台数
（台）
110
100
90
80
70
86
95
98
2019 年度
2020 年度
2021 年度

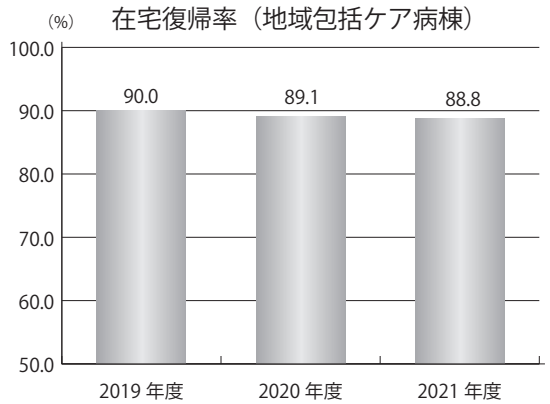

初診患者数（入院）
（人）
700
680
660
640
620
600
682
617
649
2019 年度
2020 年度
2021 年度


初診患者数（外来）
（人）
8,000
7,000
6,000
5,000
6,099
6,173
7,111
2019 年度
2020 年度
2021 年度


退院患者数
（人）
2,800
2,700
2,600
2,500
2,400
2,300
2,739
2,456
2,511
2019 年度
2020 年度
2021 年度

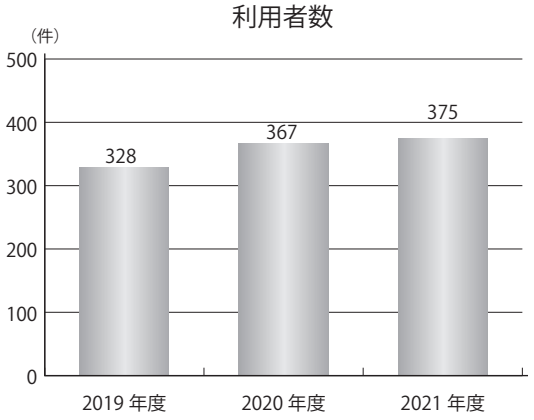

紹介率
（%）
40.0
30.0
20.0
10.0
0
26.2
28.5
24.1
2019 年度
2020 年度
2021 年度


逆紹介率
（%）
70.0
60.0
50.0
40.0
30.0
20.0
10.0
0
58.8
54.3
43.5
2019 年度
2020 年度
2021 年度


在宅復帰率（地域包括ケア病棟）
（%）
100.0
90.0
80.0
70.0
60.0
50.0
90.0
89.1
88.8
2019 年度
2020 年度
2021 年度

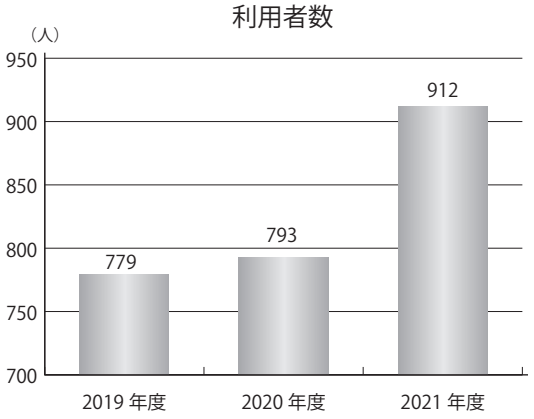
指定居宅介護支援事業所　ウェルネスじあい

利用者数

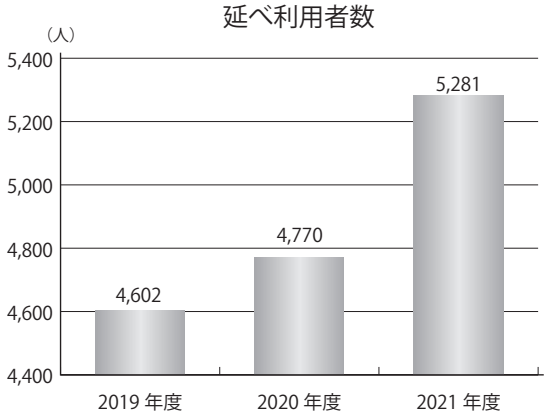


通所リハビリテーション　ウェルネスじあい

利用者数

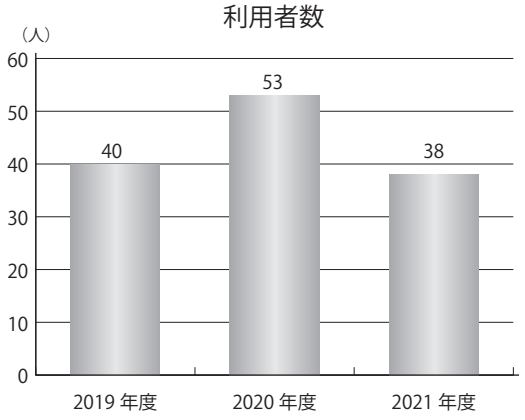


延べ利用者数

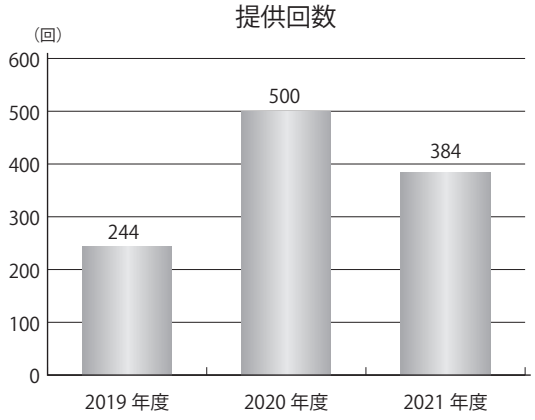


指定訪問リハビリテーション　ウェルネスじあい

利用者数

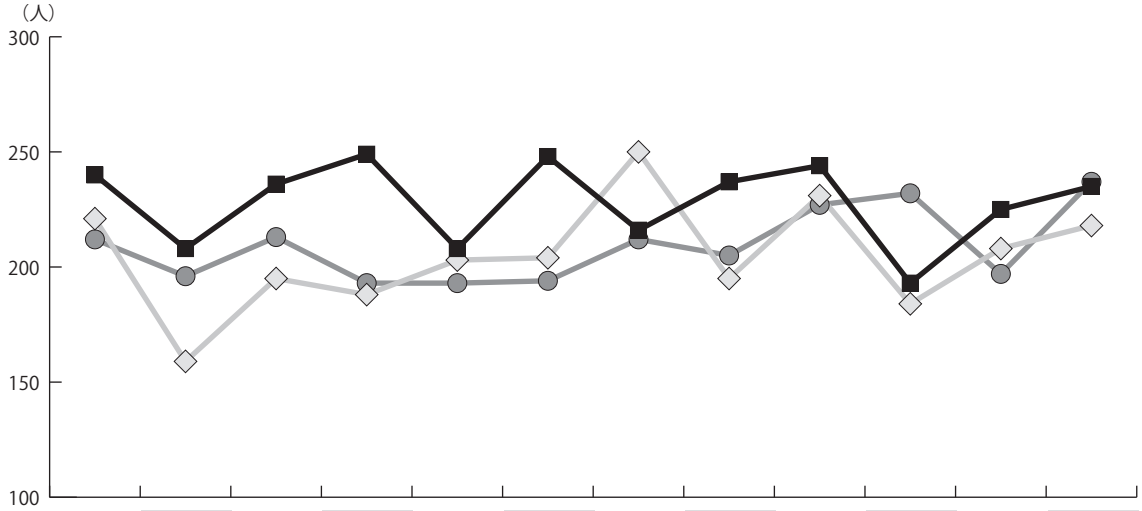


提供回数



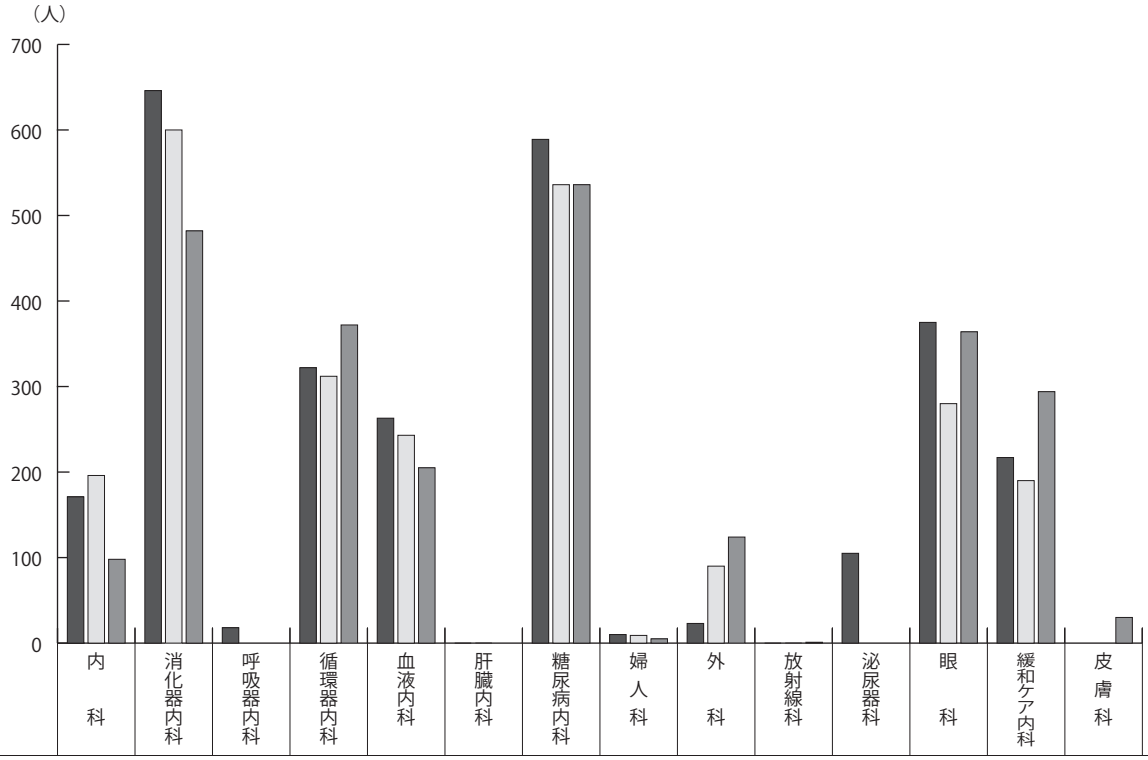
患者動向

年度別月別退院患者数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年度	240	208	236	249	208	248	216	237	244	193	225	235
2020年度	221	159	195	188	203	204	250	195	231	184	208	218
2021年度	212	196	213	193	193	194	212	205	227	232	197	237

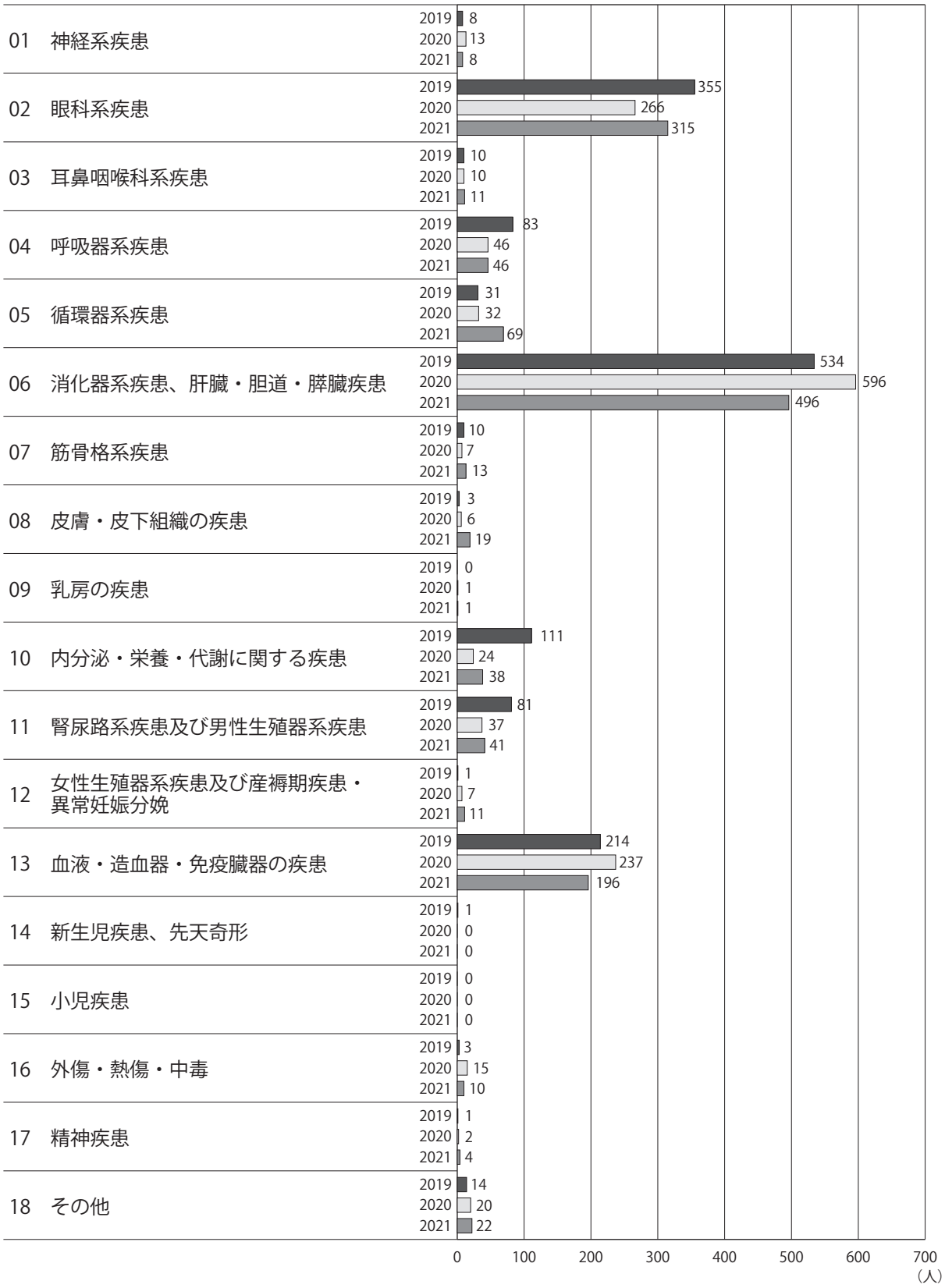
年度別診療科別退院患者数



	内科	消化器内科	呼吸器内科	循環器内科	血液内科	肝臓内科	糖尿病内科	婦人科	外科	放射線科	泌尿器科	眼科	緩和ケア内科	皮膚科
2019年度	171	646	18	322	263	0	589	10	23	0	105	375	217	—
2020年度	196	600	—	312	243	0	536	9	90	0	—	280	190	—
2021年度	98	482	—	372	205	—	536	5	124	1	—	364	294	30

DPC 統計（MDC、ICD）

年度別MDC別退院患者数



ICD-10　大分類による診療科別統計（2019 年度）
2019 年４月～ 2020 年３月までの退院患者

大分類			内科	消化器内科	血液内科	糖尿病内科	外科	婦人科	呼吸器内科	泌尿器科	循環器内科	緩和ケア内科	眼科	計
1	感染症および寄生虫症	A00-B99	4	23	12	2			1		1			43
2	新生物	C00-D48	13	192	206	2	5	10	6	36	2	215	1	688
3	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	D50-D89	5	7	24									36
4	内分泌，栄養および代謝疾患	E00-E90	9	4	1	545					2			561
5	精神および行動の障害	F00-F99	6	2		1	1				6			16
6	神経系の疾患	G00-G99	7	1			2		2	2	1			15
7	眼および付属器の疾患	H00-H59				12					250		373	635
8	耳および乳様突起の疾患	H60-H95	5			2								7
9	循環器系の疾患	I00-I99	15	3	1	3	1			2	45			70
10	呼吸器系の疾患	J00-J99	49	15	11	11			9		11			106
11	消化器系の疾患	K00-K93	23	383	3	1	11			1	1			423
12	皮膚および皮下組織の疾患	L00-L99	2	1	1	1								5
13	筋骨格系および結合組織の疾患	M00-M99	19	7	3	1	2			1		2		35
14	腎尿路生殖器系の疾患	N00-N99	10		1	6				62				79
15	妊娠，分娩および産褥	O00-O99												
16	周産期に発生した病態	P00-P96												
17	先天奇形，変形および染色体異常	Q00-Q99		1										1
18	症状，徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	R00-R99												
19	損傷，中毒およびその他の外因の影響	S00-T98	4	7		2	1			1	3		1	19
20	傷病および死亡の外因	V01-Y98												
21	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	Z00-Z99												
計			171	646	263	589	23	10	18	105	322	217	375	2,739

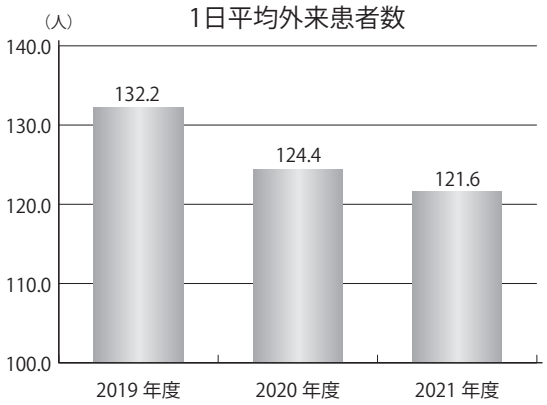
ICD-10　大分類による診療科別統計（2020 年度）
2020 年 4 月～ 2021 年 3 月までの退院患者

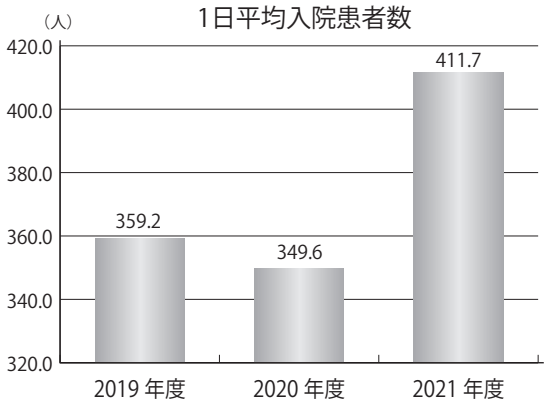
大分類			内科	消化器内科	血液内科	糖尿病内科	外科	婦人科	循環器内科	緩和ケア内科	眼科	計
1	感染症および寄生虫症	A00-B99	4	20		1	1		3			29
2	新生物	C00-D48	77	191	208		33	9	7	190		715
3	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	D50-D89	1	6	22							29
4	内分泌，栄養および代謝疾患	E00-E90	6			501	1		4			512
5	精神および行動の障害	F00-F99	11	2					14			27
6	神経系の疾患	G00-G99	3	1					3			7
7	眼および付属器の疾患	H00-H59		1		8			184		280	473
8	耳および乳様突起の疾患	H60-H95	4	1					2			7
9	循環器系の疾患	I00-I99	8	2	1	3			56			70
10	呼吸器系の疾患	J00-J99	24	3	7	7	1		12			54
11	消化器系の疾患	K00-K93	11	356	2	2	51		6			428
12	皮膚および皮下組織の疾患	L00-L99	2	1		6	1		1			11
13	筋骨格系および結合組織の疾患	M00-M99	4	1	2	3			8			18
14	腎尿路生殖器系の疾患	N00-N99	31	4		3			3			41
15	妊娠，分娩および産褥	O00-O99										
16	周産期に発生した病態	P00-P96										
17	先天奇形，変形および染色体異常	Q00-Q99										
18	症状，徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	R00-R99				1						1
19	損傷，中毒およびその他の外因の影響	S00-T98	10	11	1	1	2		9			34
20	傷病および死亡の外因	V01-Y98										
21	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	Z00-Z99										
計			196	600	243	536	90	9	312	190	280	2,456

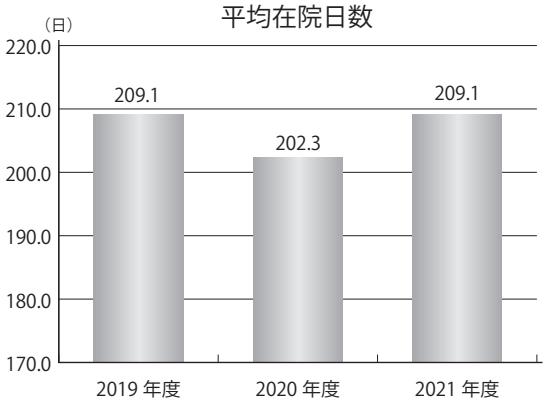
ICD-10　大分類による診療科別統計（2021 年度）
2021 年 4 月～ 2022 年 3 月までの退院患者

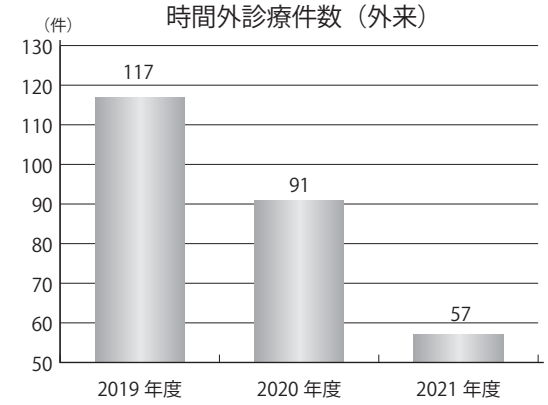
大分類			内科	消化器内科	血液内科	糖尿病内科	外科	婦人科	放射線科	循環器内科	緩和ケア内科	眼科	皮膚科	計
1	感染症および寄生虫症	A00-B99	4	17	5	2	1			3			8	40
2	新生物	C00-D48	16	161	171	1	47	5		10	255	1	5	672
3	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	D50-D89	4	6	18	1							1	30
4	内分泌，栄養および代謝疾患	E00-E90	2	2		500	3			2				509
5	精神および行動の障害	F00-F99	15	1			3			7				26
6	神経系の疾患	G00-G99	5			2				4				11
7	眼および付属器の疾患	H00-H59				5				207		362		574
8	耳および乳様突起の疾患	H60-H95	3			2				1				6
9	循環器系の疾患	I00-I99	5	2		4	4			110	1	1		127
10	呼吸器系の疾患	J00-J99	15	1	6	4	2			11	1			40
11	消化器系の疾患	K00-K93	3	280	1	3	55			3	1			346
12	皮膚および皮下組織の疾患	L00-L99	1			5	2			1			15	24
13	筋骨格系および結合組織の疾患	M00-M99	9	2		2	1			8	5			27
14	腎尿路生殖器系の疾患	N00-N99	7	1	1	5				1	32			47
15	妊娠，分娩および産褥	O00-O99												
16	周産期に発生した病態	P00-P96												
17	先天奇形，変形および染色体異常	Q00-Q99												
18	症状，徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	R00-R99												
19	損傷，中毒およびその他の外因の影響	S00-T98	9	10	2		6		1	4				32
20	傷病および死亡の外因	V01-Y98												
21	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	Z00-Z99												
計			98	483	204	536	124	5	1	372	295	364	29	2511

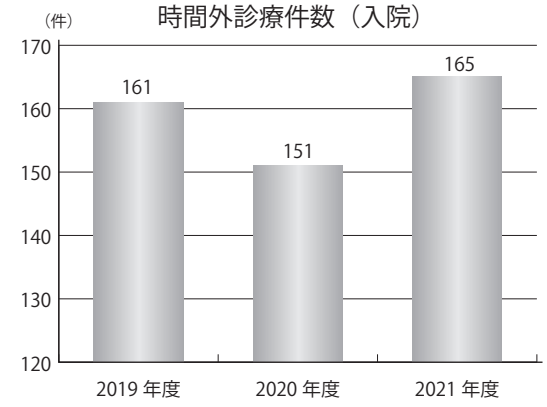
谷山病院

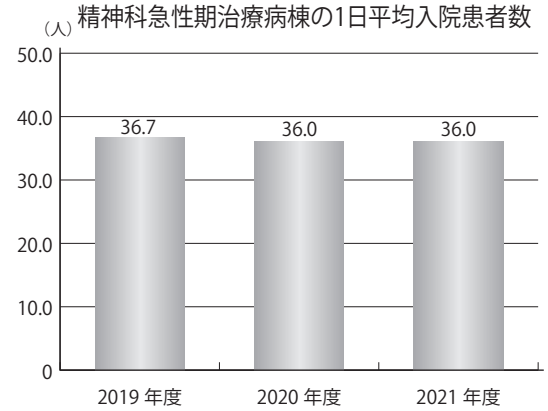

1日平均外来患者数
（人）
140.0
130.0
120.0
110.0
100.0
132.2
124.4
121.6
2019 年度
2020 年度
2021 年度

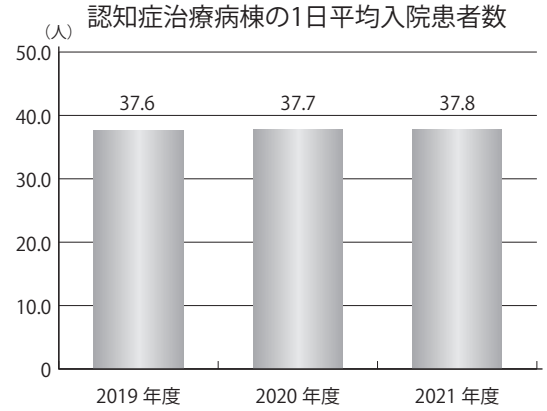

1日平均入院患者数
（人）
420.0
400.0
380.0
360.0
340.0
320.0
359.2
349.6
411.7
2019 年度
2020 年度
2021 年度


平均在院日数
（日）
220.0
210.0
200.0
190.0
180.0
170.0
209.1
202.3
209.1
2019 年度
2020 年度
2021 年度

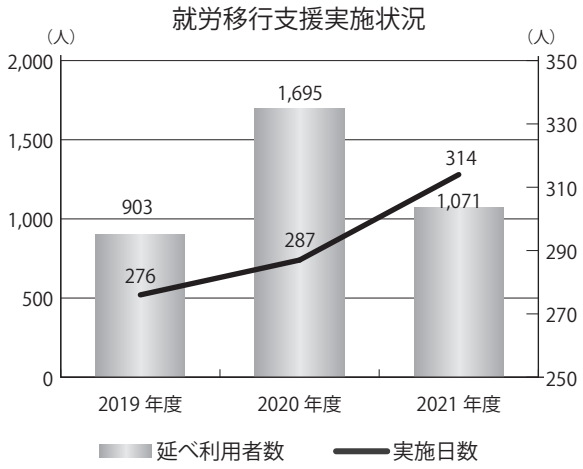

時間外診療件数（外来）
（件）
130
120
110
100
90
80
70
60
50
117
91
57
2019 年度
2020 年度
2021 年度

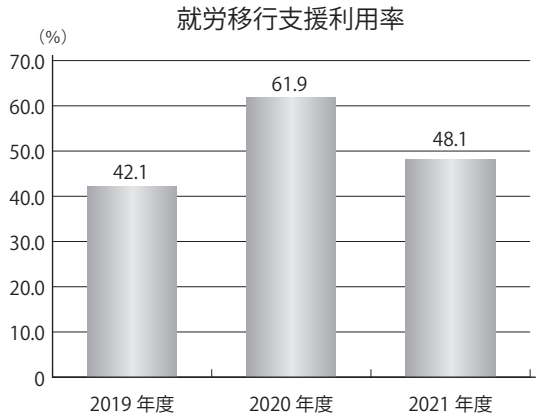

時間外診療件数（入院）
（件）
170
160
150
140
130
120
161
151
165
2019 年度
2020 年度
2021 年度

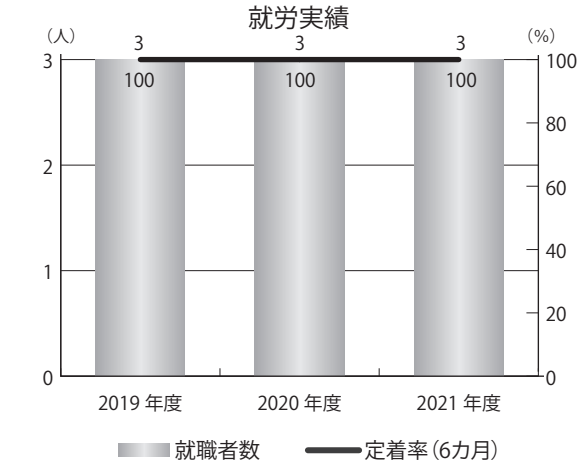

精神科急性期治療病棟の1日平均入院患者数
（人）
50.0
40.0
30.0
20.0
10.0
0
36.7
36.0
36.0
2019 年度
2020 年度
2021 年度

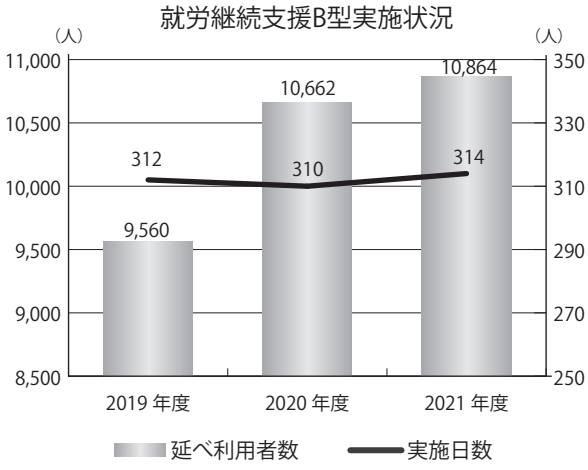

認知症治療病棟の1日平均入院患者数
（人）
50.0
40.0
30.0
20.0
10.0
0
37.6
37.7
37.8
2019 年度
2020 年度
2021 年度

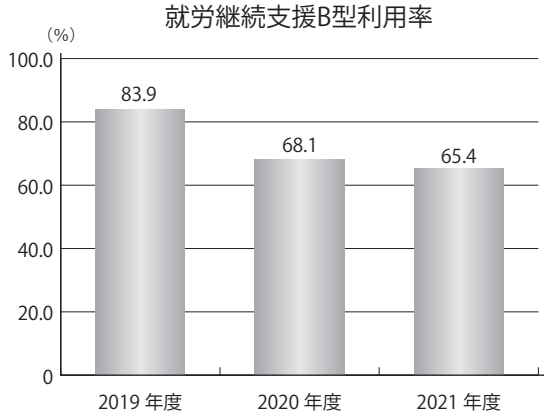
就労支援センター　ステップ

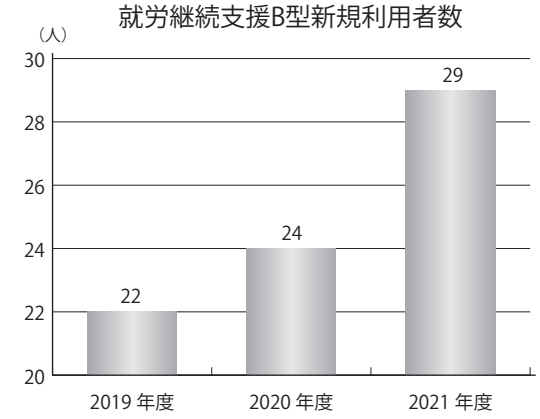






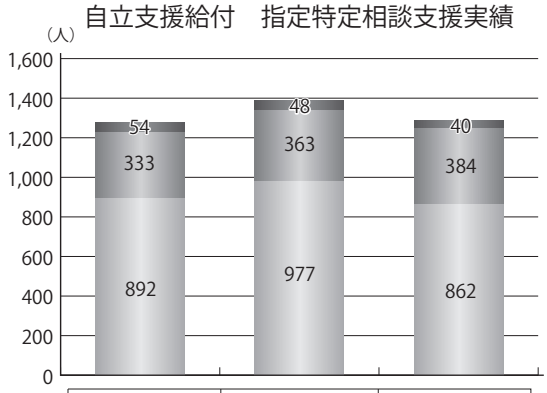






地域活動支援センター　ひだまり

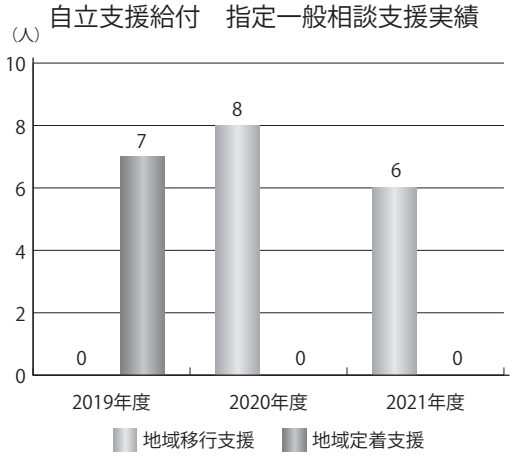
自立支援給付　指定特定相談支援実績



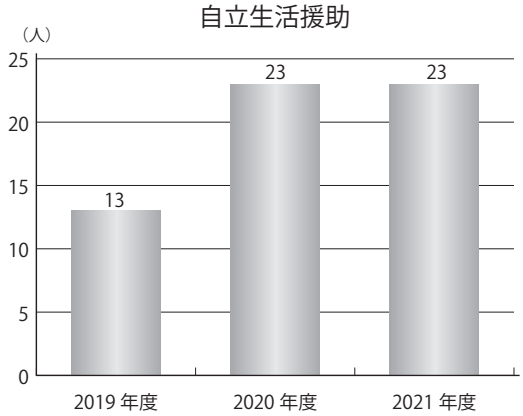
	2019年度	2020年度	2021年度
利用支援（新規）	54	48	40
利用支援（更新）	333	363	384
継続支援（モニタリング）	892	977	862

継続支援（モニタリング）　利用支援（更新）　利用支援（新規）

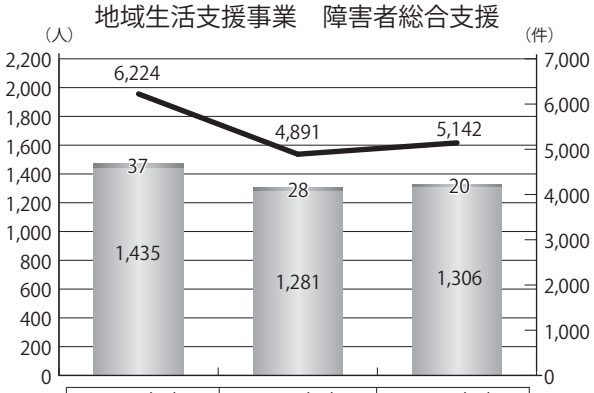
自立支援給付　指定一般相談支援実績



自立生活援助



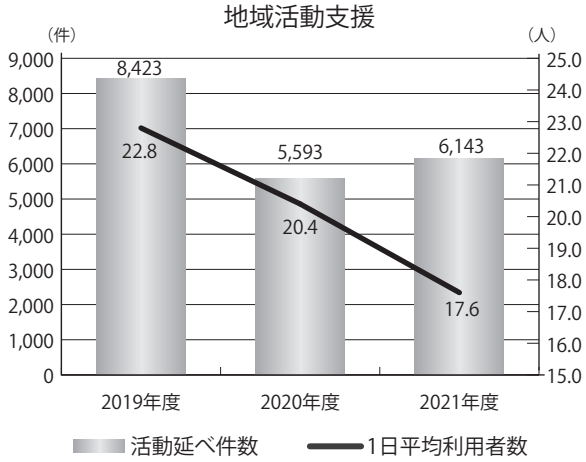
地域生活支援事業　障害者総合支援



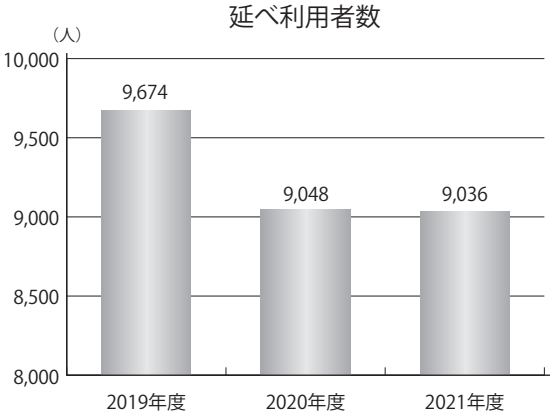
	2019年度	2020年度	2021年度
新規相談者	37	28	20
相談継続者数	1,435	1,281	1,306
相談延べ件数	6,224	4,891	5,142

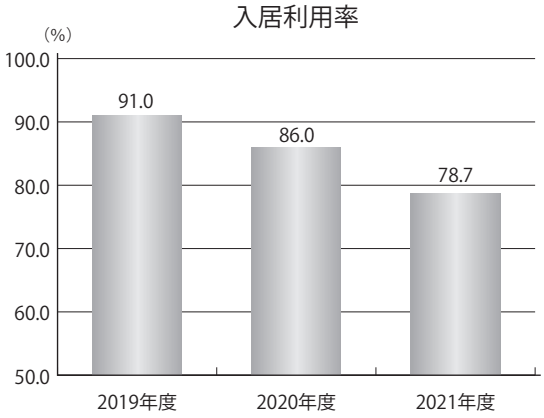
相談継続者数　新規相談者　相談延べ件数

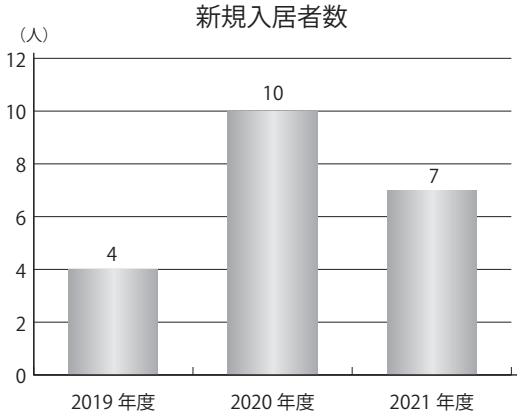
地域活動支援

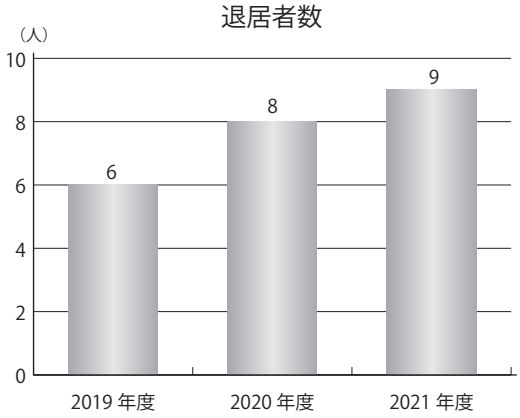


グループホーム　しらゆりの郷









３精神科病院（谷山・奄美・徳之島）との人事交流者数（延べ人数）

		2021 年									2022 年			
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
谷山→徳之島	精神保健福祉士	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
	作業療法士	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	看護師	0	0	2	2	0	0	0	1	0	0	0	1	6
谷山→奄美	薬剤師	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5

認定看護師養成コース修了、臨床実習指導者養成人数

	2019 年度	2020 年度	2021 年度
臨 床 実 習 指 導 者	2	2	0

630 調査（在院患者の疾患別割合と退院患者の退院先）

a. 6 月 30 日現在の在院患者数

	2019 年度	2020 年度	2021 年度
Ｆ 00　アルツハイマー病型認知症	25	22	20
Ｆ 01　血管性認知症	3	1	4
Ｆ 02-09　上記以外の症状性を含む器質性精神障害	33	31	33
Ｆ１　Ｆ 10 アルコール使用による精神及び行動の障害	13	12	13
Ｆ１　覚せい剤による精神及び行動の障害	1	0	0
Ｆ１　アルコール、覚せい剤を除く精神作用物類使用による精神及び行動の障害	0	1	0
Ｆ２　統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	252	231	218
Ｆ３　気分（感情）障害	13	37	34
Ｆ４　神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	15	13	16
Ｆ５　生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	1	1	1
Ｆ６　成人のパーソナリティ及び行動の障害	1	1	1
Ｆ７　精神遅滞〔知的障害〕	5	6	4
Ｆ８　心理的発達の障害	2	2	2
Ｆ９　小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	0	0	0
てんかん（Ｆ０に属さないものを計上する）	3	1	0
その他	0	0	1
計	367	359	347

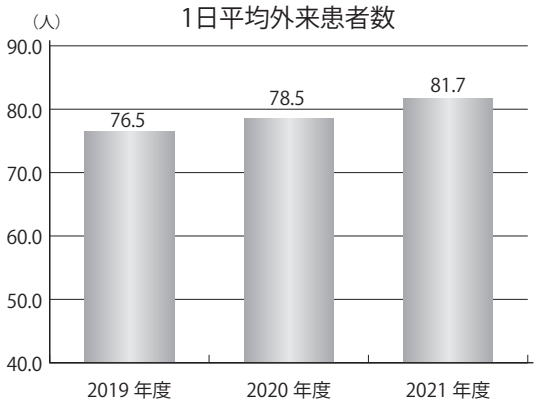
b. 6 月中に退院した患者の退院先

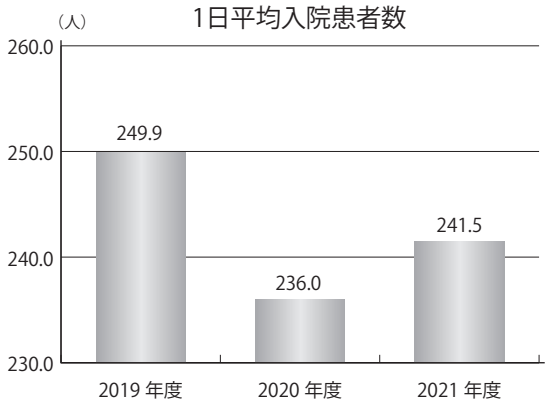
	2019 年度	2020 年度	2021 年度
家庭復帰等	31	33	27
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	2	5	2
高齢者福祉施設	10	9	5
転院・院内転科	9	6	9
死亡	0	0	2
その他			
計	52	52	45

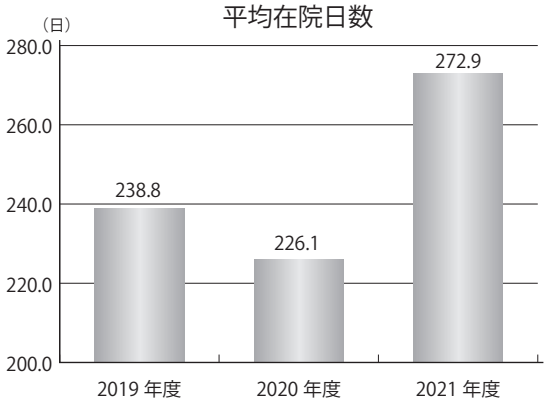
630 調査（1 年前の 6 月中に入院した患者の 1 年後の残存率）

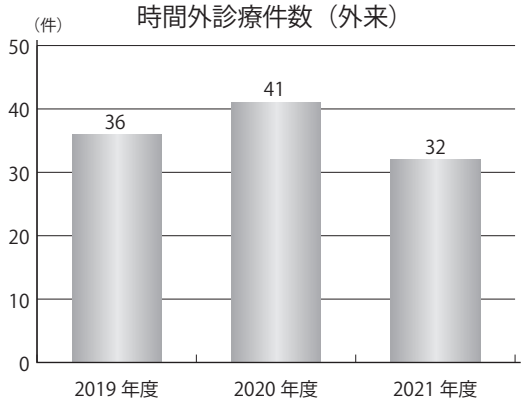
	2019 年度	2020 年度	2021 年度
入院患者数（前年の 6 月中）	54	50	42
↓			
〔退院先〕			
家庭復帰等	26	30	21
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	7	6	4
転院・院内転科	4	3	5
死亡	2	0	1
計	39	39	31
↓			
残留患者数（当該年の 6 月末）	15	11	11

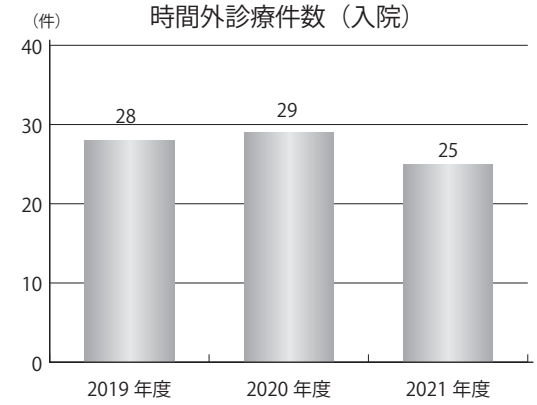
奄美病院

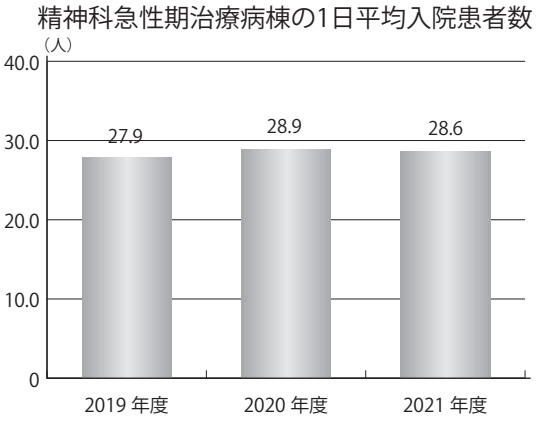

1日平均外来患者数
（人）
90.0
80.0
70.0
60.0
50.0
40.0
76.5
78.5
81.7
2019 年度
2020 年度
2021 年度

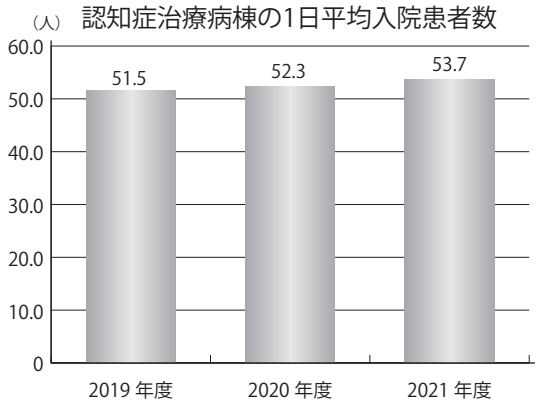

1日平均入院患者数
（人）
260.0
250.0
240.0
230.0
249.9
236.0
241.5
2019 年度
2020 年度
2021 年度


平均在院日数
（日）
280.0
260.0
240.0
220.0
200.0
238.8
226.1
272.9
2019 年度
2020 年度
2021 年度

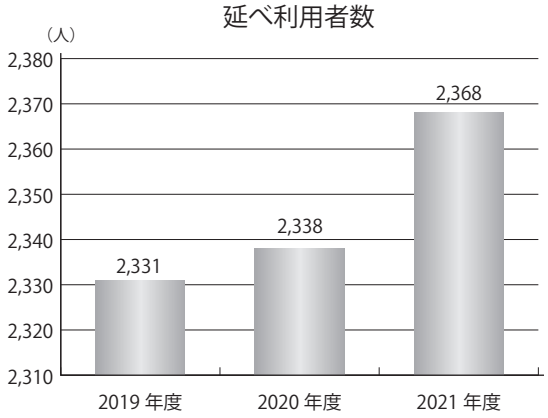

時間外診療件数（外来）
（件）
50
40
30
20
10
0
36
41
32
2019 年度
2020 年度
2021 年度

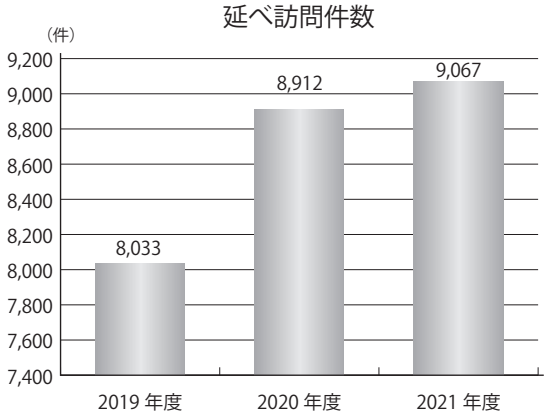

時間外診療件数（入院）
（件）
40
30
20
10
0
28
29
25
2019 年度
2020 年度
2021 年度

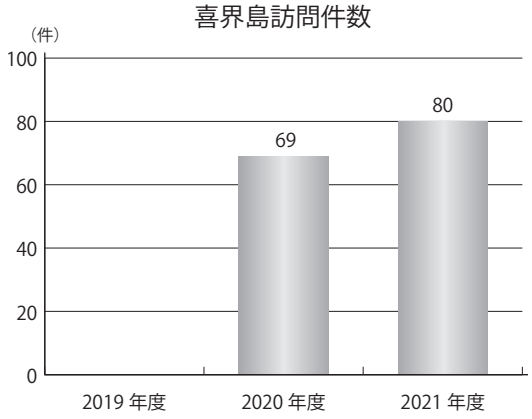

精神科急性期治療病棟の1日平均入院患者数
（人）
40.0
30.0
20.0
10.0
0
27.9
28.9
28.6
2019 年度
2020 年度
2021 年度


認知症治療病棟の1日平均入院患者数
（人）
60.0
50.0
40.0
30.0
20.0
10.0
0
51.5
52.3
53.7
2019 年度
2020 年度
2021 年度

訪問看護ステーション　イルカ

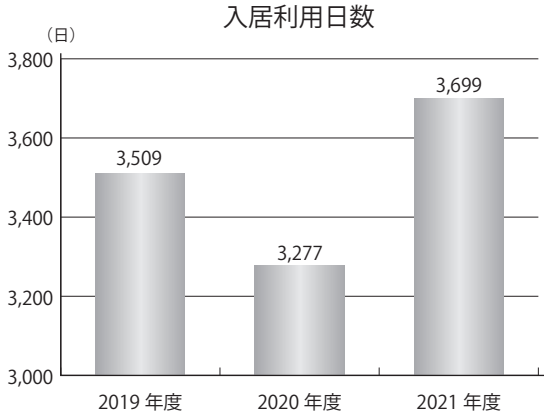


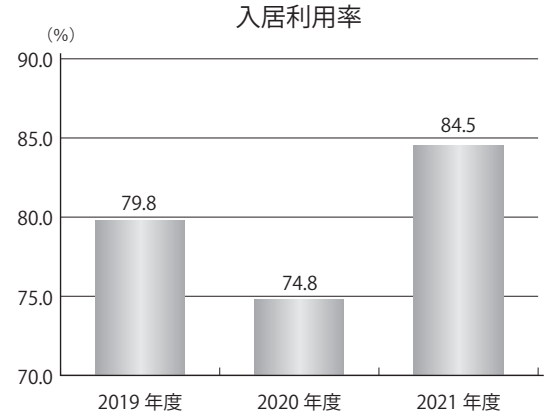




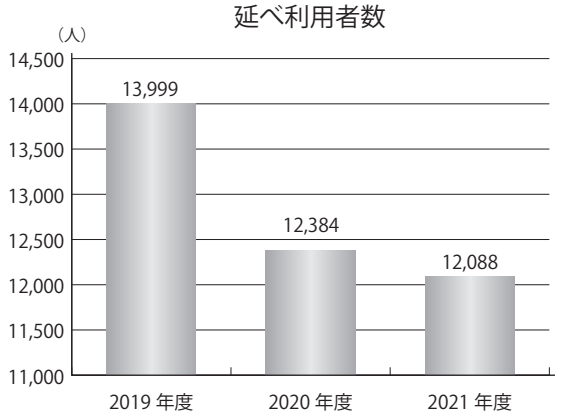
※2020年度より喜界島へ展開

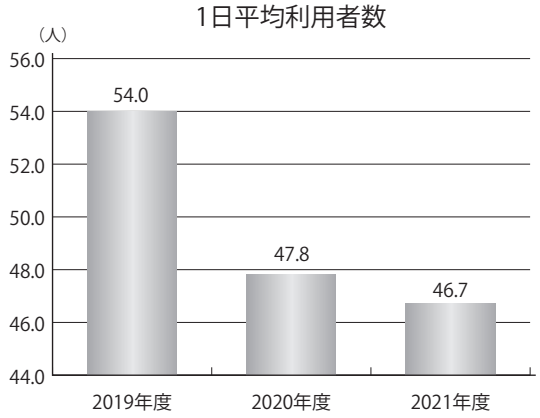
グループホーム　ひまわり



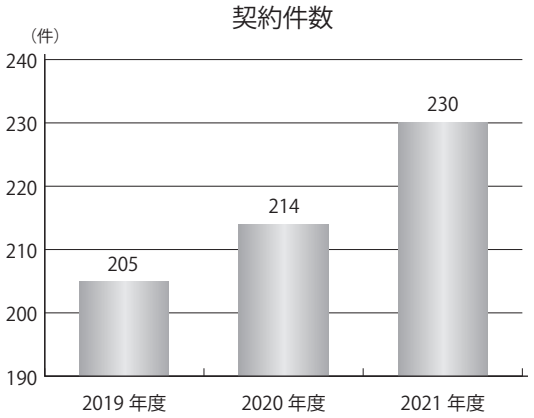


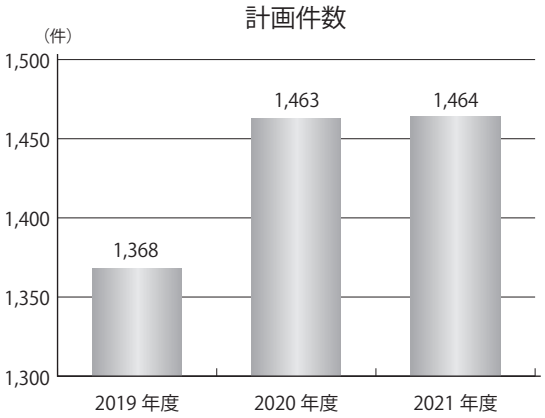
指定障害福祉サービス事業所　あらいぐま





指定特定相談支援事業所　あゆみ





３精神科病院（谷山・奄美・徳之島）及びいづろ今村病院との人事交流者数（延べ人数）

		2021 年									2022 年			
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
奄美→徳之島	看護師	2	3	2	0	0	0	1	0	2	0	0	0	10
谷山→奄美	薬剤師	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5
いづろ→奄美	薬剤師	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

無医地区への医師派遣回数（へき地医療支援）

2019 年度	2020 年度	2021 年度
13	14	20

630 調査（在院患者の疾患別割合と退院患者の退院先）

a.　6 月 30 日現在の在院患者数

	2019 年度	2020 年度	2021 年度
Ｆ 00　アルツハイマー病型認知症	31	25	25
Ｆ 01　血管性認知症	6	10	15
Ｆ 02-09　上記以外の症状性を含む器質性精神障害	20	19	22
Ｆ 1　Ｆ 10 アルコール使用による精神及び行動の障害	13	14	14
Ｆ 1　覚せい剤による精神及び行動の障害	2	2	1
Ｆ 1　アルコール、覚せい剤を除く精神作用物類使用による精神及び行動の障害	0	0	1
Ｆ 2　統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	158	142	142
Ｆ 3　気分（感情）障害	17	15	13
Ｆ 4　神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	6	2	2
Ｆ 5　生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0	1	0
Ｆ 6　成人のパーソナリティ及び行動の障害	1	0	1
Ｆ 7　精神遅滞〔知的障害〕	6	6	4
Ｆ 8　心理的発達の障害	0	3	0
Ｆ 9　小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	0	1	1
てんかん（Ｆ 0 に属さないものを計上する）	1	1	0
その他	1	0	1
計	262	241	242

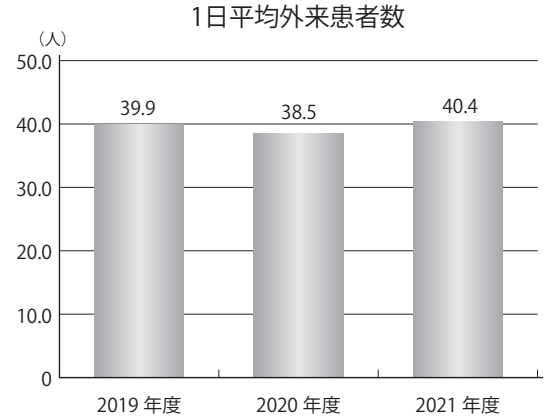
b. 6 月中に退院した患者の退院先

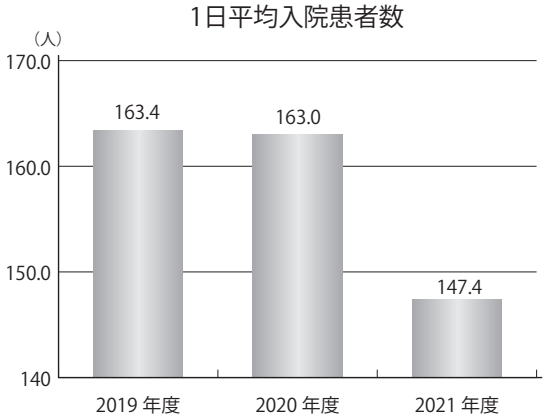
	2019 年度	2020 年度	2021 年度
家庭復帰等	20	15	20
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	3	0	5
高齢者福祉施設	2	2	0
転院・院内転科	5	5	7
死亡	0	0	0
その他	0	0	0
計	30	22	32

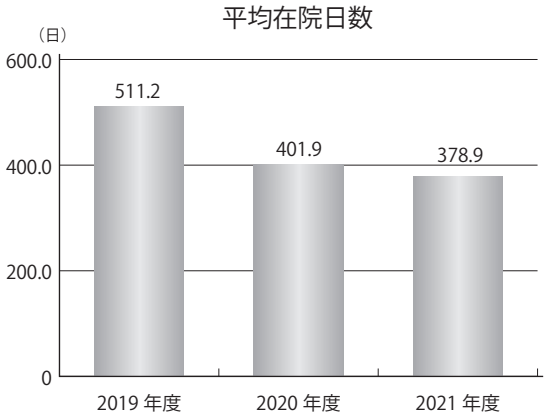
630 調査（1 年前の 6 月中に入院した患者の 1 年後の残存率）

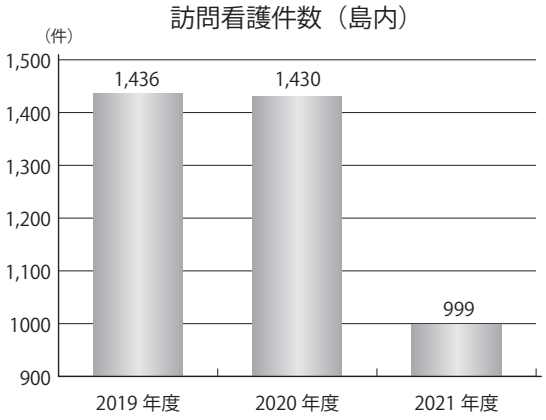
	2019 年度	2020 年度	2021 年度
入院患者数（前年の 6 月中）	36	36	33
↓			
〔退院先〕			
家庭復帰等	26	25	18
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	3	3	7
転院・院内転科	6	7	5
死亡	0	0	0
計	35	35	30
↓			
残留患者数（当該年の 6 月末）	6	1	3

徳之島病院

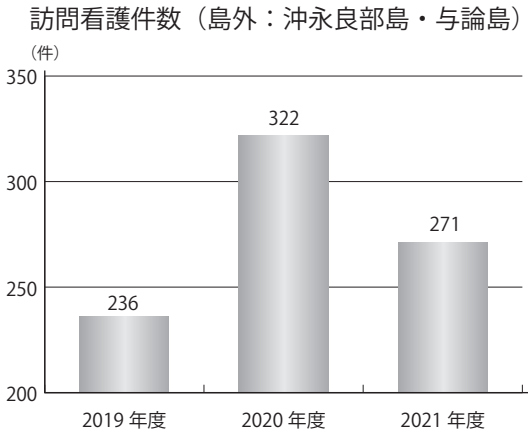


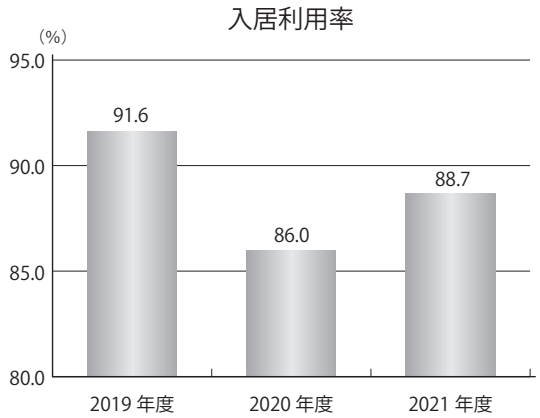






グループホーム　うんばた





３精神科病院（谷山・奄美・徳之島）との人事交流者数（延べ人数）

		2021 年									2022 年			
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
谷山→徳之島	精神保健福祉士	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
	作業療法士	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	看護師	0	0	2	2	0	0	0	1	0	0	0	1	6
奄美→徳之島	看護師	2	3	2	0	0	0	1	0	2	0	0	0	10

無医地区への医師派遣回数（へき地医療支援）

2019 年度	2020 年度	2021 年度
5	5	10

630 調査（在院患者の疾患別割合と退院患者の退院先）

a.　6 月 30 日現在の在院患者数

	2019 年度	2020 年度	2021 年度
Ｆ 00　アルツハイマー病型認知症	1	0	0
Ｆ 01　血管性認知症	0	0	0
Ｆ 02-09　上記以外の症状性を含む器質性精神障害	3	7	7
Ｆ１　Ｆ 10 アルコール使用による精神及び行動の障害	2	1	1
Ｆ１　覚せい剤による精神及び行動の障害	0	0	0
Ｆ１　アルコール、覚せい剤を除く精神作用物類使用による精神及び行動の障害	0	0	0
Ｆ２　統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	149	147	137
Ｆ３　気分（感情）障害	0	5	5
Ｆ４　神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	0	0	0
Ｆ５　生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0	1	0
Ｆ６　成人のパーソナリティ及び行動の障害	0	0	0
Ｆ７　精神遅滞〔知的障害〕	1	1	1
Ｆ８　心理的発達の障害	0	0	0
Ｆ９　小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	0	1	1
てんかん（Ｆ０に属さないものを計上する）	3	1	1
その他	5	0	2
計	164	164	155

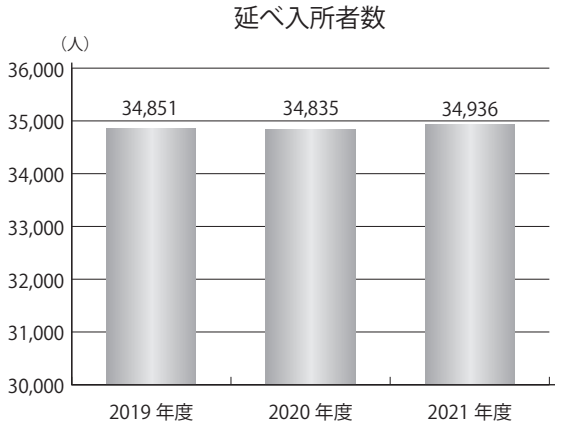
b. 6 月中に退院した患者の退院先

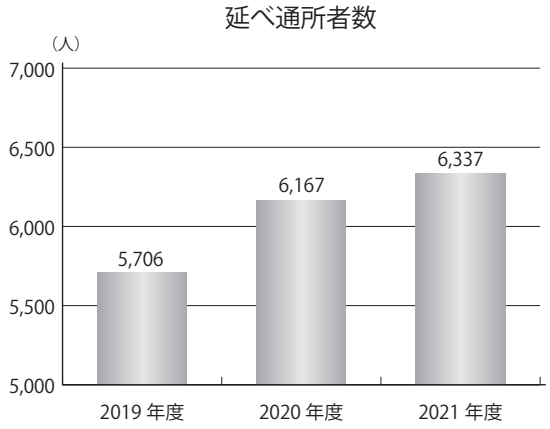
	2019 年度	2020 年度	2021 年度
家庭復帰等	6	7	3
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	0	0	2
高齢者福祉施設	1	2	1
転院・院内転科	1	2	3
死亡	0	1	1
その他	0	0	0
計	8	12	10

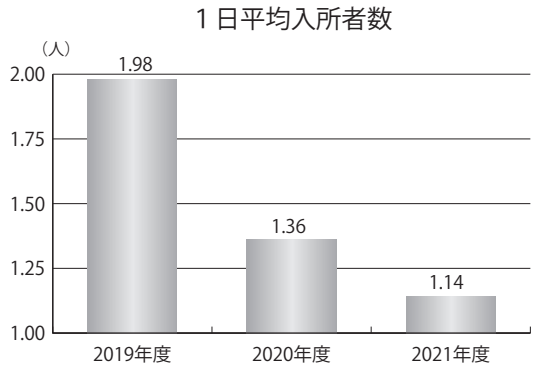
630 調査（1 年前の 6 月中に入院した患者の 1 年後の残存率）

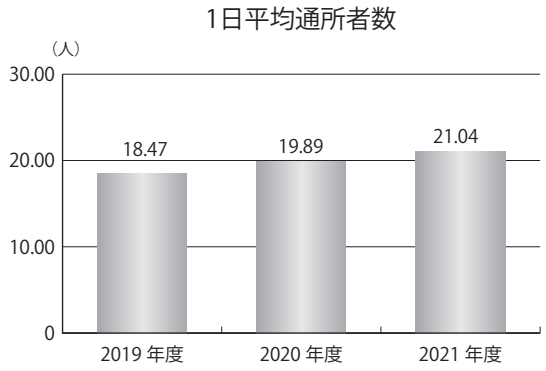
	2019 年度	2020 年度	2021 年度
入院患者数（前年の 6 月中）	10	11	6
↓			
〔退院先〕			
家庭復帰等	5	8	2
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	1	1	0
転院・院内転科	0	1	3
死亡	0	0	0
計	6	10	5
↓			
残留患者数（当該年の 6 月末）	4	1	1

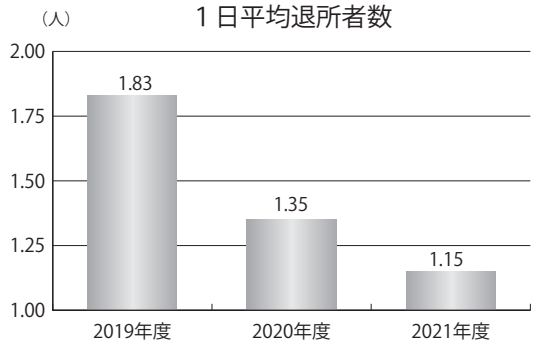
介護老人保健施設 愛と結の街

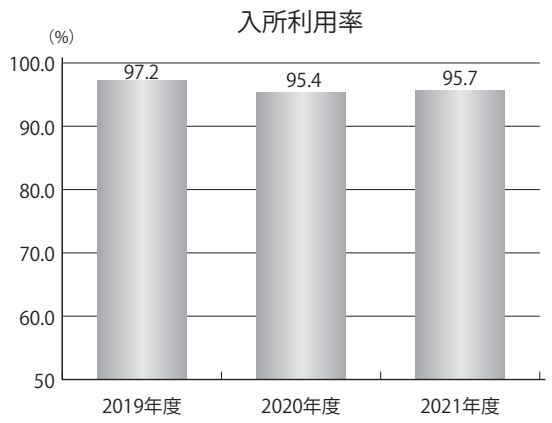


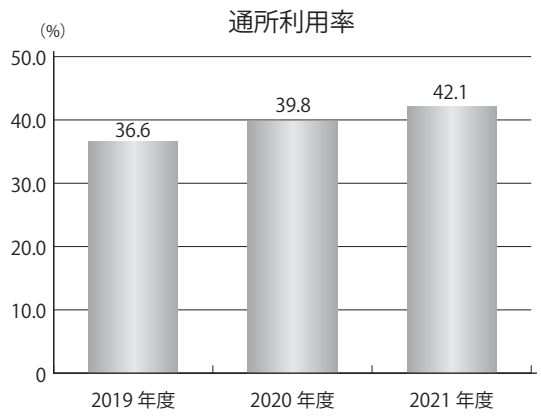


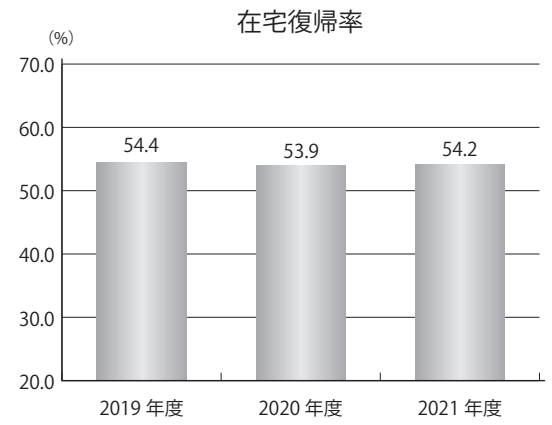


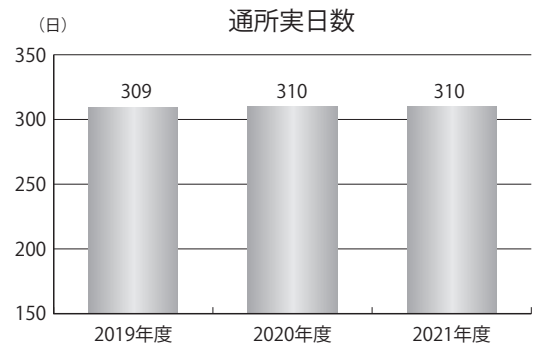


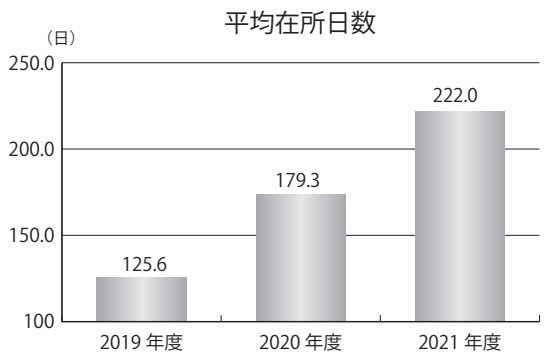


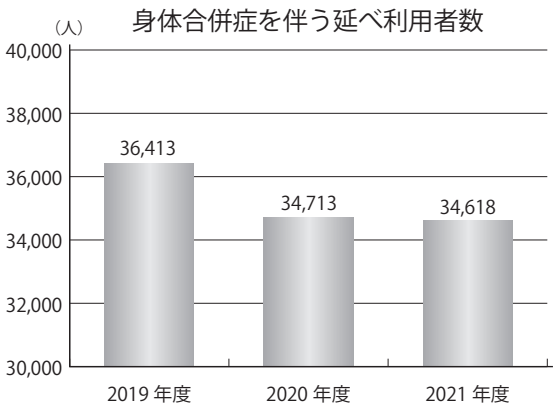

入所利用率
(%)
100.0
90.0
80.0
70.0
60.0
50
97.2
95.4
95.7
2019年度
2020年度
2021年度

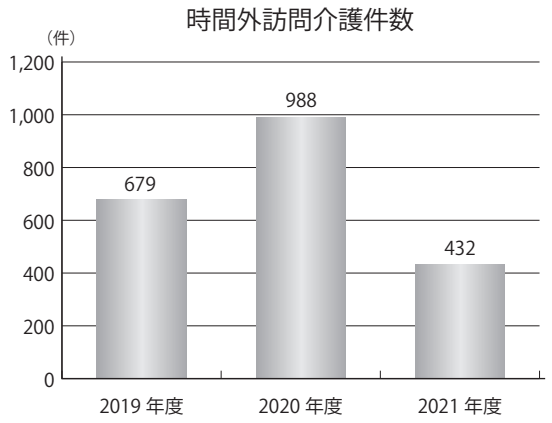

通所利用率
(%)
50.0
40.0
30.0
20.0
10.0
0
36.6
39.8
42.1
2019 年度
2020 年度
2021 年度

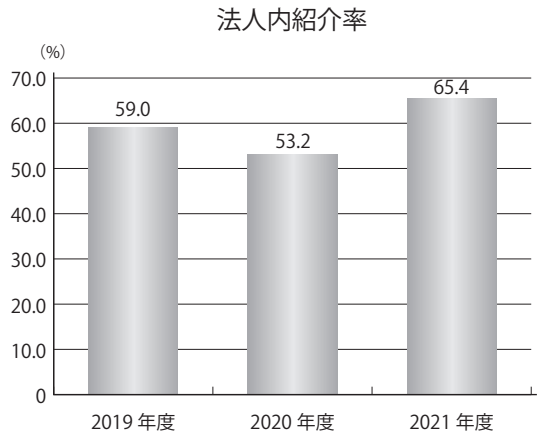

在宅復帰率
(%)
70.0
60.0
50.0
40.0
30.0
20.0
54.4
53.9
54.2
2019 年度
2020 年度
2021 年度


通所実日数
(日)
350
300
250
200
150
309
310
310
2019年度
2020年度
2021年度


平均在所日数
(日)
250.0
200.0
150.0
100
125.6
179.3
222.0
2019 年度
2020 年度
2021 年度

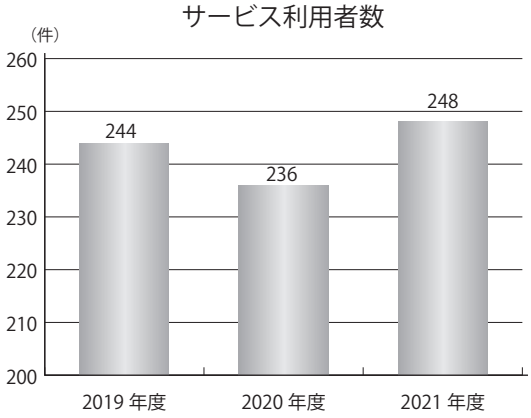

身体合併症を伴う延べ利用者数
(人)
40,000
38,000
36,000
34,000
32,000
30,000
36,413
34,713
34,618
2019 年度
2020 年度
2021 年度


時間外訪問介護件数
(件)
1,200
1,000
800
600
400
200
0
679
988
432
2019 年度
2020 年度
2021 年度

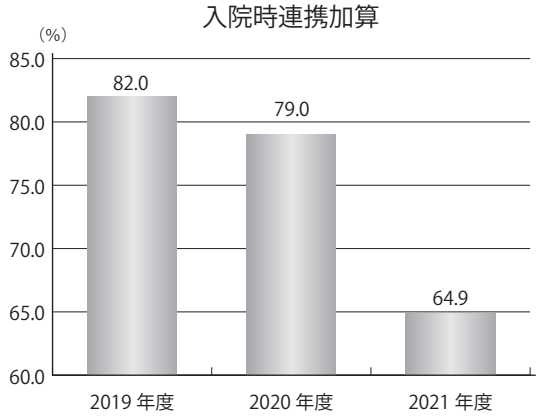

法人内紹介率
(%)
70.0
60.0
50.0
40.0
30.0
20.0
10.0
0
59.0
53.2
65.4
2019 年度
2020 年度
2021 年度

指定居宅介護支援センター　愛と結の街

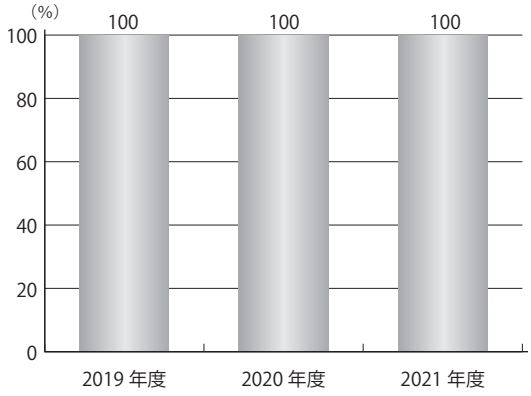
サービス利用者数



入院時連携加算

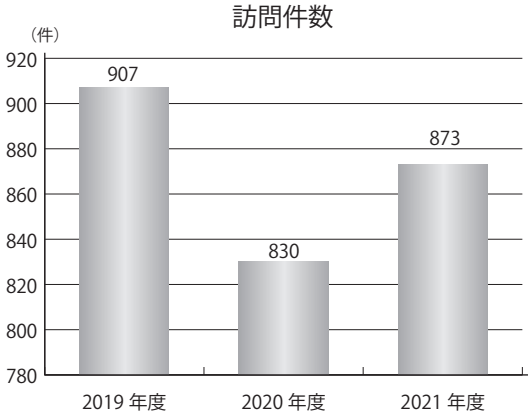


居宅事業所加算 II



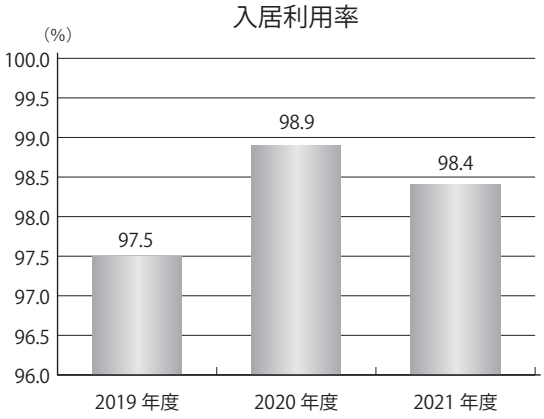
ヘルパーステーション　結の街

訪問件数



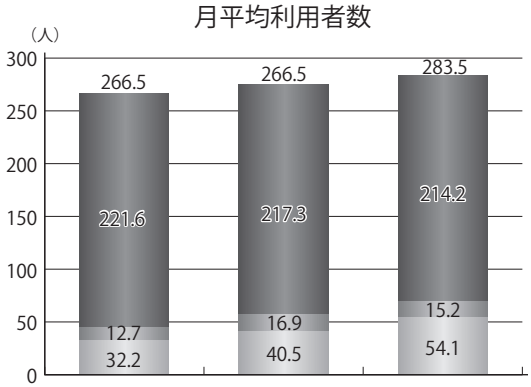
グループホーム　愛と結の街

入居利用率



笹貫訪問看護ステーション　愛の街

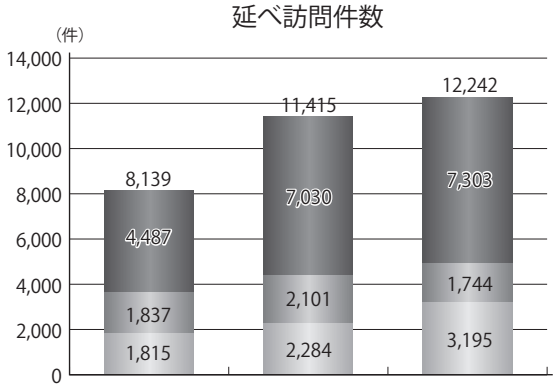
月平均利用者数



	2019年度	2020年度	2021年度
精神	221.6	217.3	214.2
医療	12.7	16.9	15.2
介護	32.2	40.5	54.1

介護　医療　精神

延べ訪問件数



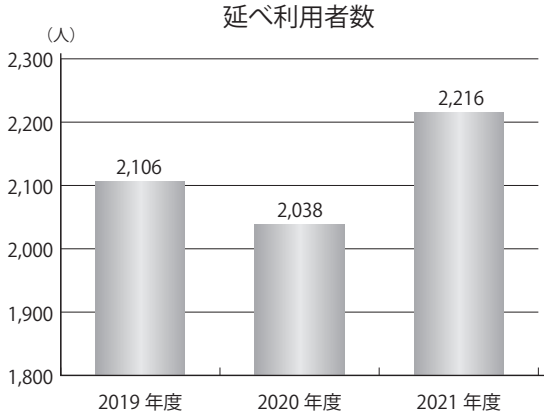
	2019年度	2020年度	2021年度
精神	4,487	7,030	7,303
医療	1,837	2,101	1,744
介護	1,815	2,284	3,195

介護　医療　精神

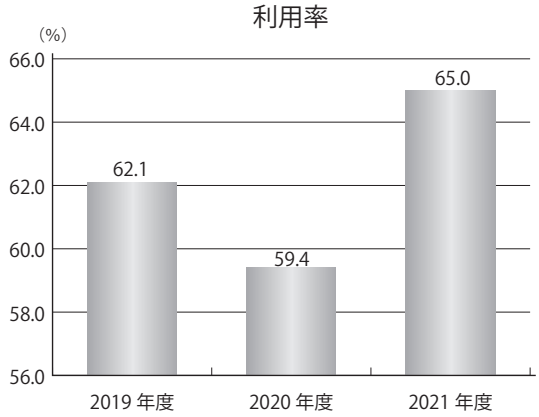
※一般の訪問看護のうち医療保険利用の訪問看護を「医療」、介護保険利用の訪問看護を「介護」として集計。

デイサービスセンター　あしたの風

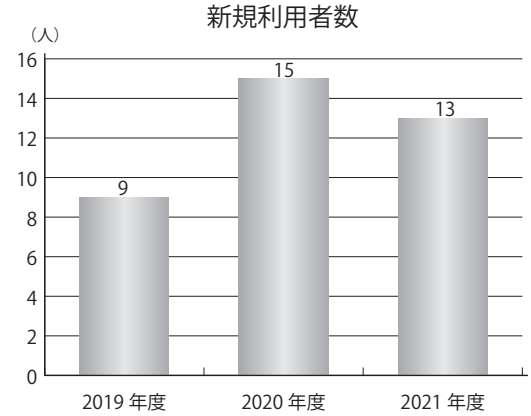
延べ利用者数



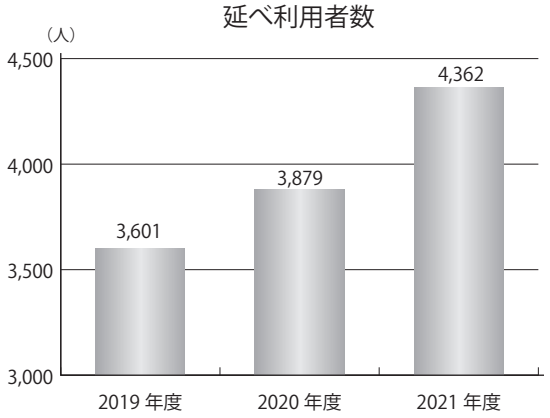
利用率

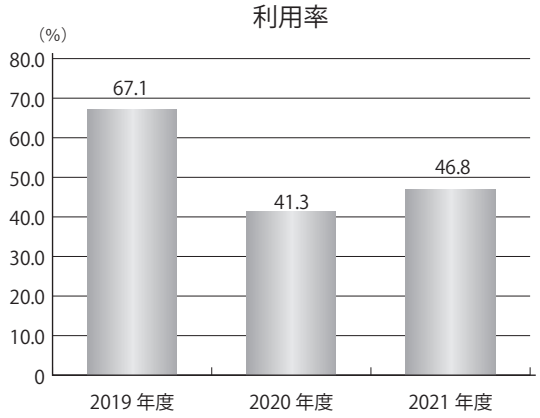


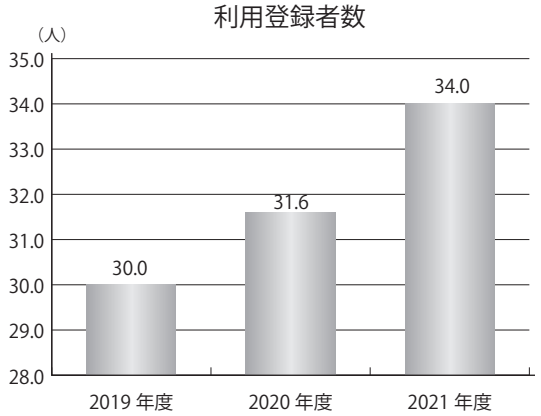
新規利用者数

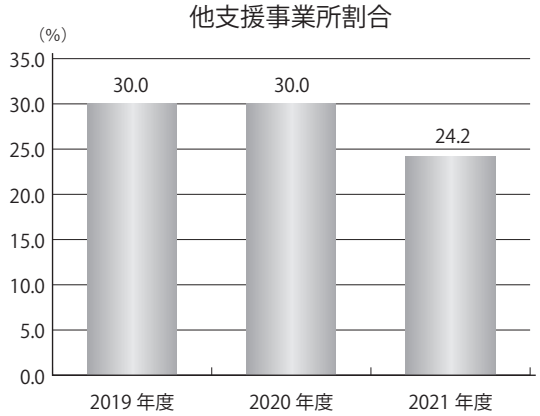


デイサービス　はなぶさ


延べ利用者数
（人）
4,500
4,000
3,500
3,000
3,601
3,879
4,362
2019 年度
2020 年度
2021 年度

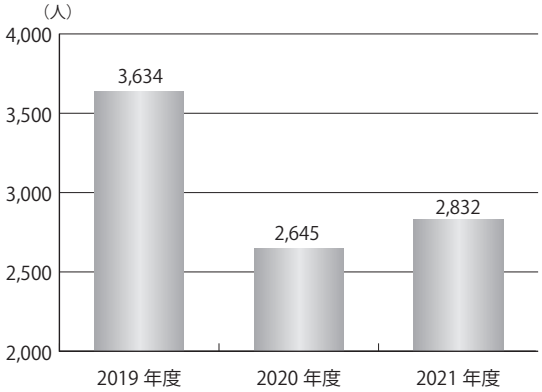

利用率
（%）
80.0
70.0
60.0
50.0
40.0
30.0
20.0
10.0
0
67.1
41.3
46.8
2019 年度
2020 年度
2021 年度


利用登録者数
（人）
35.0
34.0
33.0
32.0
31.0
30.0
29.0
28.0
30.0
31.6
34.0
2019 年度
2020 年度
2021 年度

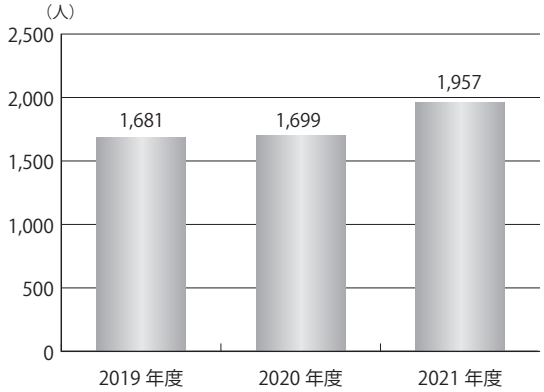

他支援事業所割合
（%）
35.0
30.0
25.0
20.0
15.0
10.0
5.0
0.0
30.0
30.0
24.2
2019 年度
2020 年度
2021 年度

高麗町クリニック

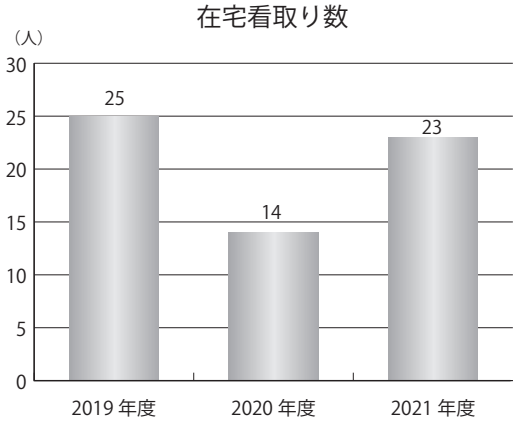
訪問診療延べ患者数



訪問リハ延べ患者数

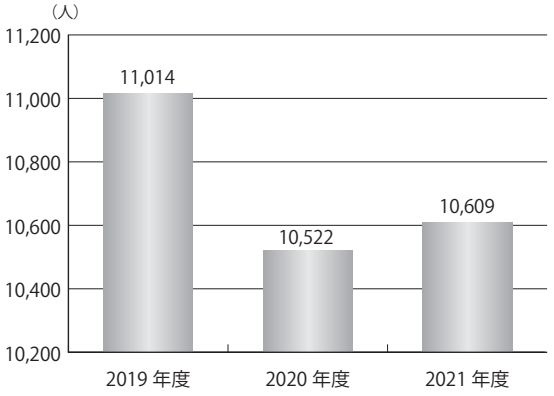


在宅看取り数

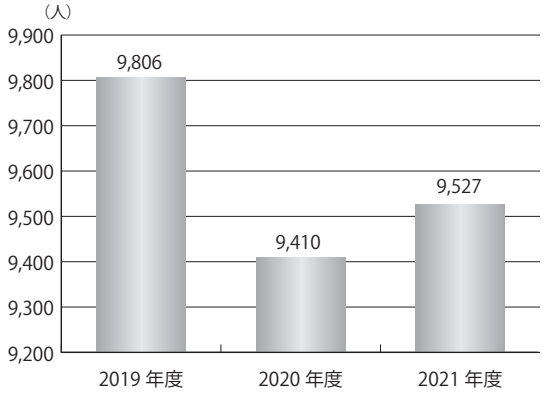


慈愛会クリニック

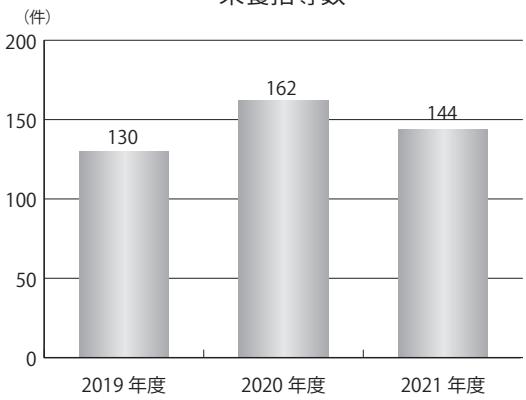
外来患者数



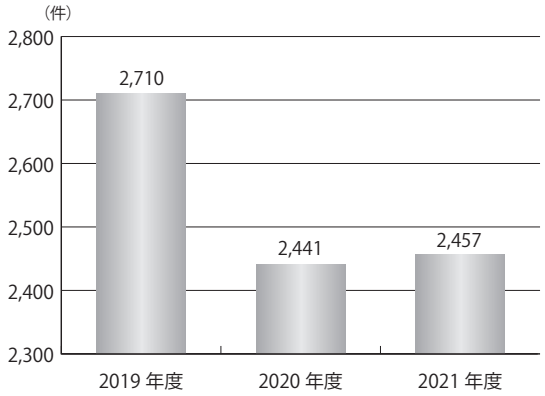
糖尿病患者延べ数



栄養指導数

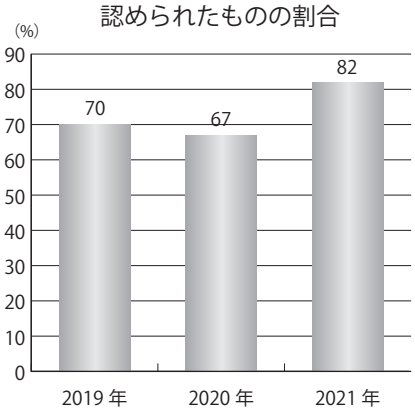


透析予防に関する指導数

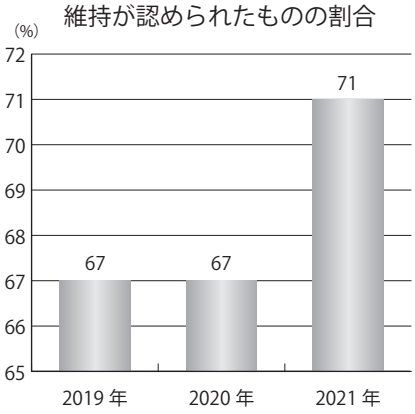


上記の透析予防に関する指導を行った患者における割合

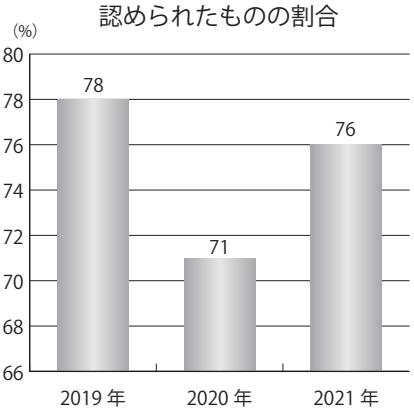
HbA1cの改善または維持が認められたものの割合



クレアチニン・eGFRの改善または維持が認められたものの割合

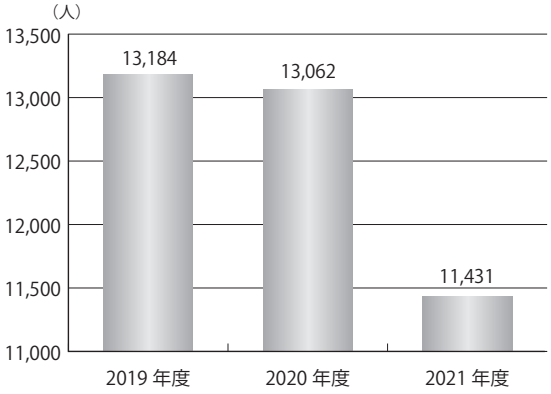


血圧の改善または維持が認められたものの割合

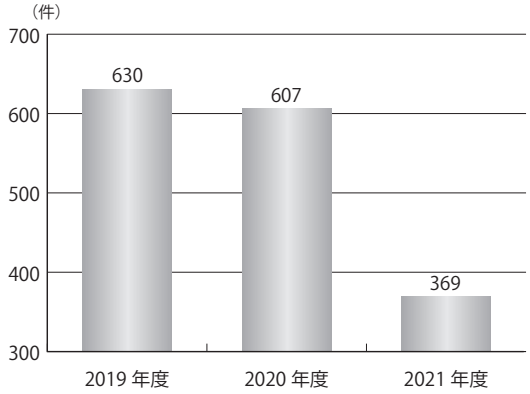


七波クリニック

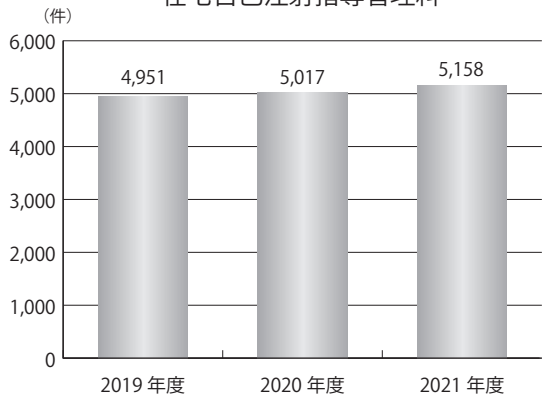
延べ外来患者数



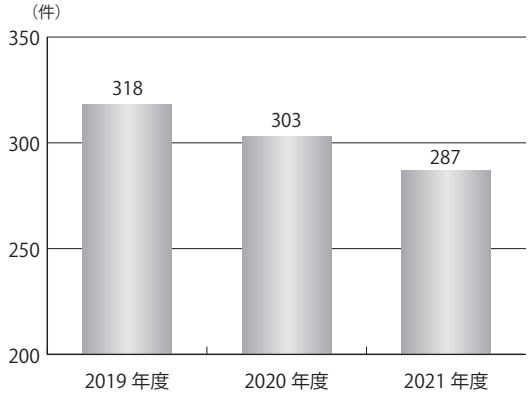
個別栄養食事指導件数



在宅自己注射指導管理料

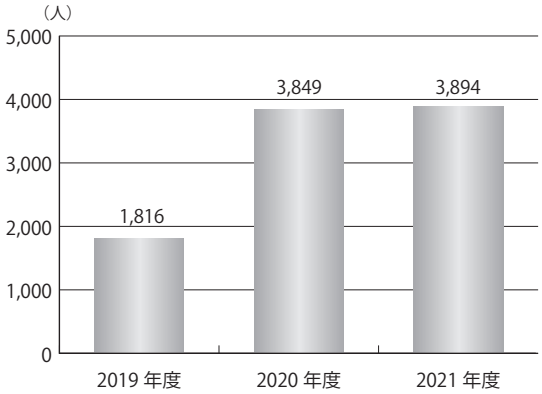


特定健診実施数



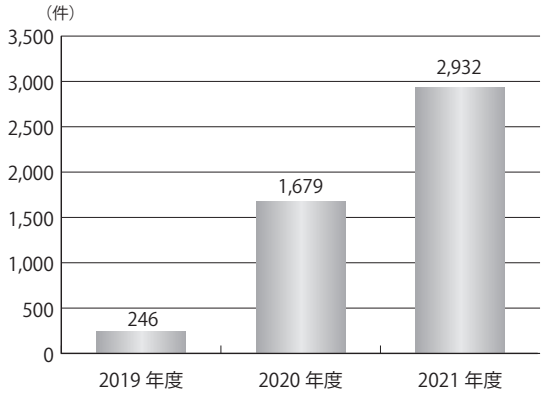
かごしまオハナクリニック

外来患者数



※2019年10月開院

訪問診療件数

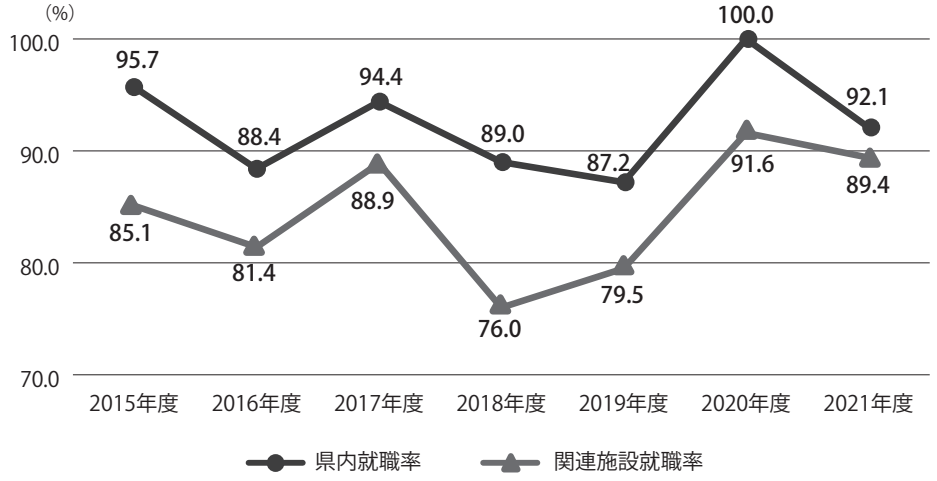


※2019年10月開院

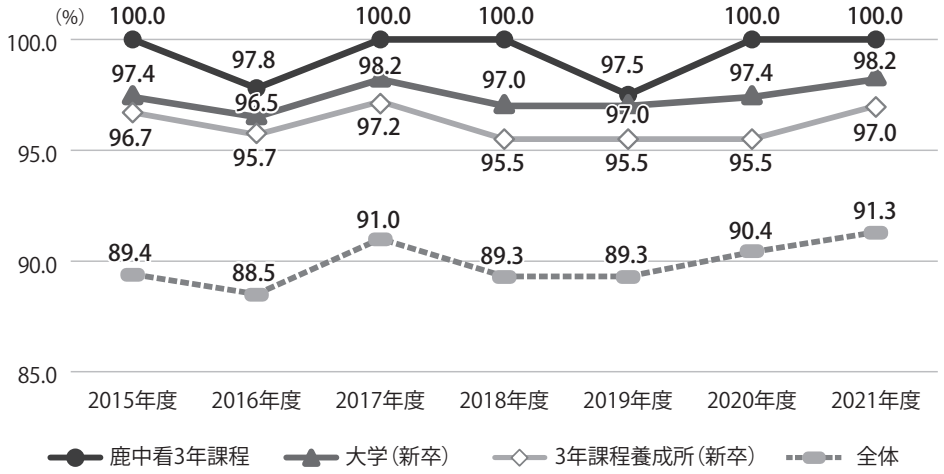
鹿児島中央看護専門学校

〈３年課程看護科〉

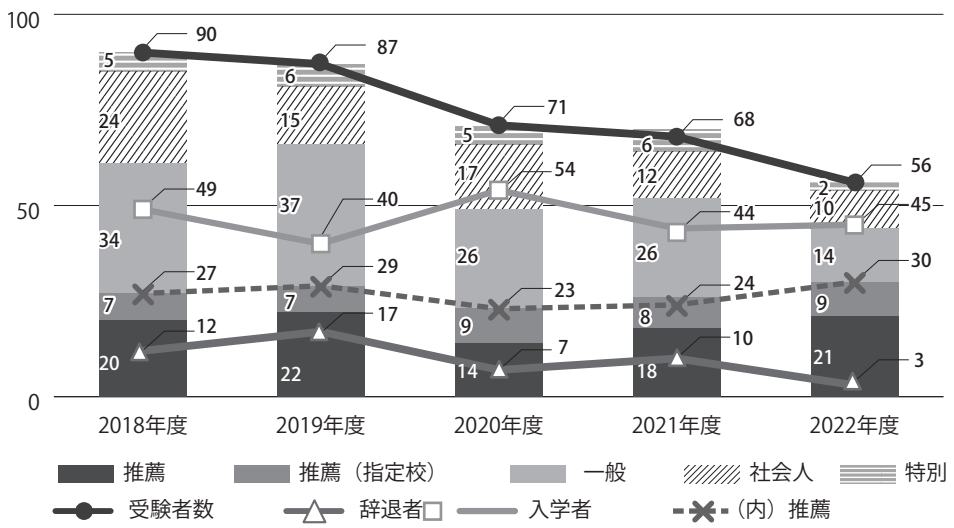
県内就職率・関連施設就職率



国家試験合格率の推移

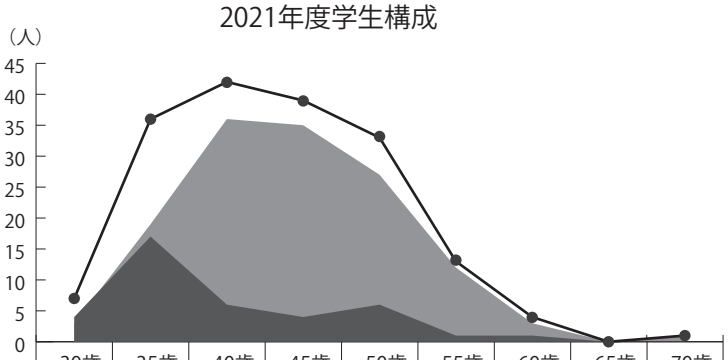


区分別受験者、入学者数推移（定員40名）



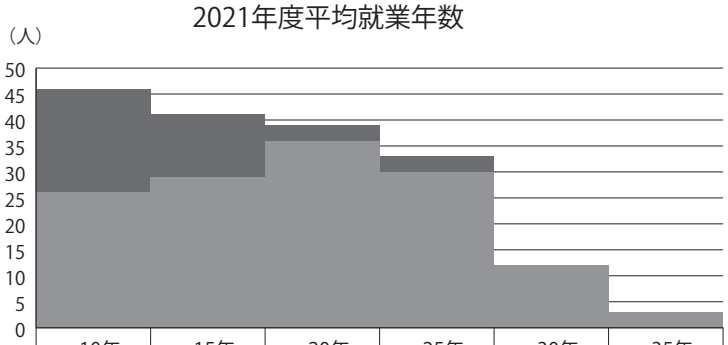
〈２年課程（通信制）看護科〉

2021年度学生構成



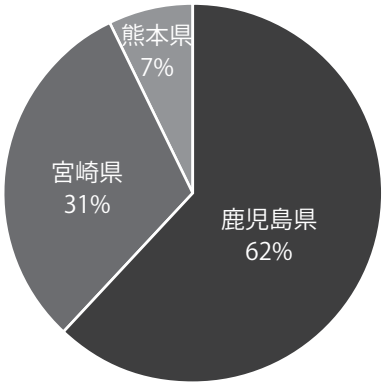
	~30歳	~35歳	~40歳	~45歳	~50歳	~55歳	~60歳	~65歳	~70歳
女性	3	19	36	35	27	12	3	0	1
男性	4	17	6	4	6	1	1	0	0
計	7	36	42	39	33	13	4	0	1

2021年度平均就業年数



	~10年	~15年	~20年	~25年	~30年	~35年
男性	20	13	3	3	0	0
女性	26	29	36	30	12	3
計	46	42	39	33	12	3

2021年度修了生県別構成



2021年度修了生県別構成

	女性	男性	総計
鹿児島県	80	28	108
宮崎県	43	11	54
熊本県	12	0	12
総　計	135	39	174

法人業績一覧

【論文】

血液内科

今村総合病院

＜欧文＞

1．Fujii K, Sakamoto Y, Masaki A, Murase T, Tashiro Y, Yonekura K, Utsunomiya A, Ito A, Kusumoto S, Iida S, Ueda R, Ishida T, Inagaki H：Immunohistochemistry for CCR4 C-terminus predicts CCR4 mutations and mogamulizumab efficacy in adult T-cell leukemia/lymphoma. J Pathol Clin Res 7(1)：52-60, 2021

2．Sakamoto Y, Ishida T, Masaki A, Takeshita M, Iwasaki H, Yonekura K, Tashiro Y, Ito A, Kusumoto S, Utsunomiya A, Iida S, Ueda R, Inagaki H：Clinical significance of CD28 gene-related activating alterations in adult T-cell leukaemia/lymphoma. Br J Haematol 192(2)：281-291, 2021

3．Nakano N, Utsunomiya A, Matsuo K, Yoshida N, Seto M, Ohshima K, Fujiwara H, Fuji S, Takatsuka Y, Ito A, Miyamoto T, Suehiro Y, Nakamae H, Sawayama Y, Yuasa M, Miyazaki Y, Ota S, Imada K, Fukuda T, Ichinohe T, Atsuta Y, and Kato K：Chromosomal defects and survival in patients with adult T-cell leukemia/lymphoma after allogeneic HSCT. Blood Adv 5(2)：475-486, 2021

4．Muranushi H, Shindo T, Hishizawa M, Tokunaga M, Wake A, Nakano N, Eto T, Hidaka M, Choi I, Miyamoto T, Uchida N, Moriuchi Y, Miyazaki Y, Fukuda T, Ichinohe T, Atsuta Y, ATL Working Group of the Japanese Society for Hematopoietic Cell Transplantation; Koji Kato：GVHD-free, relapse-free survival provides novel clues for optimizing allogeneic-HSCT for adult T-cell leukemia/lymphoma. Bone Marrow Transplant 56(1)：155-166, 2021

5．Nakahata S, Syahrul C, Nakatake A, Sakamoto K, Yoshihama M, Nishikata I, Ukai Y, Matsuura T, Kameda T, Shide K, Kubuki Y, Hidaka T, Kitanaka A, Ito A, Takemoto S, Nakano N, Saito M, Iwanaga M, Sagara Y, Mochida K, Amano M, Maeda K, Sueoka E, Okayama A, Utsunomiya A, Shimoda K, Watanabe T, Morishita K：Clinical significance of soluble CADM1 as a novel marker for adult T-cell leukemia/lymphoma. Haematologica 106(2)：532-542, 2021

6．Nakano K, Chihara Y, Kobayashi S, Iwanaga M, Utsunomiya A, Watanabe T, Uchimaru K：Overexpression of aberrant Wnt5a and its effect on acquisition of malignant phenotypes in adult T-cell leukemia/lymphoma (ATL) cells. Sci Rep 11(1)：4114, 2021

7．Ishizawa M, Ganbaatar U, Hasegawa A, Takatsuka N, Kondo N, Yoneda T, Katagiri K, Masuda T, Utsunomiya A, Kannagi M：Short-term cultured autologous peripheral blood mononuclear cells as a potential immunogen to activate Tax-specific CTL response in adult T-cell leukemia patients. Cancer Sci 112(3)：1161-1172, 2021

8．Penova M, Kawaguchi S, Yasunaga JI, Kawaguchi T, Sato T, Takahashi M, Shimizu M, Saito M, Tsukasaki K, Nakagawa M, Takenouchi N, Hara H, Matsuura E, Nozuma S, Takashima H, Izumo S, Watanabe T, Uchimaru K, Iwanaga M, Utsunomiya A, Tabara Y, Paul R, Yamano Y, Matsuoka M, Matsuda F：Genome wide association study of HTLV-1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis in the Japanese population. Proc Natl Acad Sci U S A 16；118(11)：e2004199118, 2021

9．Nakano N, Takatsuka Y, Kubota A, Tokunaga M, Miyazono T, Tabuchi T, Odawara J, Tokunaga M, Makino T,

Takeuchi S, Ito Y, Utsunomiya A：Cord blood transplantation with a reduced-intensity conditioning regimen using fludarabine and melphalan for adult T-cell leukemia/lymphoma. Int J Hematol 113(6)：861-871, 2021

10. Sakamoto Y, Ishida T, Masaki A, Murase T, Takeshita M, Muto R, Iwasaki H, Ito A, Kusumoto S, Nakano N, Tokunaga M, Yonekura K, Tashiro Y, Iida S, Utsunomiya A, Ueda R, Inagaki H：Clinical significance of TP53 mutations in adult T-cell leukemia/lymphoma. Br J Haematol 195(4)：571-584. 2021
11. Ito S, Iwanaga M, Nosaka K, Imaizumi Y, Ishitsuka K, Amano M, Utsunomiya A, Tokura Y, Watanabe T, Uchimaru K, Tsukasaki K：Collaborative investigators. Epidemiology of adult T-cell leukemia-lymphoma in Japan：an updated analysis, 2012-2013. Cancer Sci 112(10)：4346-4354. 2021
12. Konuma T, Aoki J, Ozawa Y, Uchida N, Kobayashi T, Onizuka M, Katayama Y, Ohta T, Nakano N, Ota S, Onishi Y, Kobayashi H, Fukuda T, Kanda Y, Atsuta Y, Adult Myelodysplastic Syndrome Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation：Pretransplantation Red Blood Cell and Platelet Transfusion Burden in De Novo Myelodysplastic Syndrome Undergoing Allogeneic Transplantation. Transplant Cell Ther 27(8)：671-678. 2021
13. Shimomura Y, Hara M, Hirabayashi S, Kondo T, Mizuno S, Uchida N, Mukae J, Kawakita T, Fukuda T, Kanda Y, Ota S, Ozawa Y, Eto T, Maruyama Y, Tanaka M, Nakano N, Kimura T, Ichinohe T, Atsuta Y, Yanada M：Comparison of fludarabine, a myeloablative dose of busulfan, and melphalan vs conventional myeloablative conditioning regimen in patients with relapse and refractory acute myeloid leukemia in non-remission status. Bone Marrow Transplant 56(9)：2302-2304, 2021
14. Nosaka K, Kusumoto S, Nakano N, Choi I, Yoshimitsu M, Imaizumi Y, Hidaka M, Sasaki H, Makiyama J, Ohtsuka E, Jo T, Ogata M, Ito A, Yonekura K, Tatetsu H, Kato T, Kawakita T, Suehiro Y, Ishitsuka K, Iida S, Matsutani T, Utsunomiya A, Ueda R, Ishida T：Clinical significance of the immunoglobulin G heavy-chain repertoire in peripheral blood mononuclear cells of adult T-cell leukaemia-lymphoma patients receiving mogamulizumab. Br J Haematol 196(3)：629-638. 2021
15. Koya J, Saito Y, Kameda T, Kogure Y, Yuasa M, Nagasaki J, McClure MB, Shingaki S, Tabata M, Tahira Y, Akizuki K, Kamiunten A, Sekine M, Shide K, Kubuki Y, Hidaka T, Kitanaka A, Nakano N, Utsunomiya A, Togashi Y, Ogawa S, Shimoda K, Kataoka K. Share：Single-Cell Analysis of the Multicellular Ecosystem in Viral Carcinogenesis by HTLV-1. Blood Cancer Discov 13；2(5)：450-467, 2021
16. Kogure Y, Kameda T, Koya J, Yoshimitsu M, Nosaka K, Yasunaga JI, Imaizumi Y, Watanabe M, Saito Y, Ito Y, McClure MB, Tabata M, Shingaki S, Yoshifuji K, Chiba K, Okada A, Kakiuchi N, Nannya Y, Kamiunten A, Tahira Y, Akizuki K, Sekine M, Shide K, Hidaka T, Kubuki Y, Kitanaka A, Hidaka M, Nakano N, Utsunomiya A, Sica RA, Acuna-Villaorduna A, Janakiram M, Shah UA, Ramos JC, Shibata T, Takeuchi K, Takaori-Kondo A, Miyazaki Y, Matsuoka M, Ishitsuka K, Shiraishi Y, Miyano S, Ogawa S, Ye BH, Shimoda K, Kataoka K：Whole-genome landscape of adult T-cell leukemia/lymphoma. Blood 139(7)：967-982, 2021
17. Ito A, Nakano N, Tanaka T, Fuji S, Makiyama J, Inoue Y, Choi I, Nakamae H, Nagafuji K, Takase K, Machida S, Takahashi T, Sawayama Y, Kamimura T, Kato K, Kawakita T, Ogata M, Sakai R, Shiratori S, Uchimaru K, Inamoto Y, Utsunomiya A, Fukuda T：Improved survival of patients with aggressive ATL by increased use of allo-HCT：a prospective observational study. Blood Adv 26；5(20)：4156-4166, 2021
18. Tanaka T, Nakamae H, Ito A, Fuji S, Hirose A, Eto T, Henzan H, Takase K, Yamasaki S, Makiyama J, Moriuchi Y, Choi I, Nakano N, Hiramoto N, Kato K, Sato T, Sawayama Y, Kim SW, Inoue Y, Inamoto Y, Fukuda T：A Phase I/II Multicenter Trial of HLA-Haploidentical PBSCT with PTCy for Aggressive Adult T Cell Leukemia/Lymphoma. Transplant Cell Ther 27(11)：928. e1-928. e7, 2021
19. Hiyoshi M, Takahashi N, Eltalkhawy YM, Noyori O, Lotfi S, Panaampon J, Okada S, Tanaka Y, Ueno T,

Fujisawa JI, Sato Y, Suzuki T, Hasegawa H, Tokunaga M, Satou Y, Yasunaga JI, Matsuoka M, Utsunomiya A, Suzu S：M-Sec induced by HTLV-1 mediates an efficient viral transmission. PLoS Pathog 29；17(11)：e1010126, 2021

20. Tan BJ, Sugata K, Reda O, Matsuo M, Uchiyama K, Miyazato P, Hahaut V, Yamagishi M, Uchimaru K, Suzuki Y, Ueno T, Suzushima H, Katsuya H, Tokunaga M, Uchiyama Y, Nakamura H, Sueoka E, Utsunomiya A, Ono M, Satou Y：HTLV-1 infection promotes excessive T cell activation and transformation into adult T cell leukemia/lymphoma. J Clin Invest 15；131(24)：e150472, 2021
21. Nakamura H, Sagara Y, Yamamoto M, Utsunomiya A, Watanabe T, Satake M, Irita K：Improvement of the understanding of blood donors with human T-cell leukaemia virus type 1 using a new information booklet. Transfus Med 31(6)：481-487, 2021(Dec)
22. Sakamoto Y, Ishida T, Masaki A, Takeshita M, Iwasaki H, Yonekura K, Tashiro Y, Ito A, Kusumoto S, Iida S, Utsunomiya A, Ueda R, Inagaki H：Clinicopathological significance of CD28 overexpression in adult T-cell leukemia/lymphoma. Cancer Sci 113(1)：349-361, 2022
23. Utsunomiya A, Tokunaga M, Nakano N, Fujiwara H, Miyamoto T, Ogata M, Miyazaki Y, Ishitsuka K, Sakaida E, Taji H, Wakayama T, Ichinohe T, Fukuda T, Atsuta Y, Kato K, Yoshimitsu M：Long-term follow-up of patients with ATL after autologous stem cell transplantation. Bone Marrow Transplant 57(2)：323-325, 2022

＜和文＞

1．大木浩，古川良尚，竹原哲彦，西迫裕昭，宮下幸一郎，寺野玉枝，花牟禮豊，奥沙織，大塚眞紀，森 千奈美，宮園卓宜，藤山裕輝，中島彩乃，原口安江，原純，清武貴子，園田大敬，中野秀人，義永文一，田中朝志：離島の中核病院における血液製剤利用に対して 複数の連携医療機関が支援を行う運用の研究．Japanese Journal of Transfusion and Cell Therapy 67(3)：414-424，2021
2．宇都宮與：ヒトＴ細胞白血病ウイルスＩ型（HTLV-1）臨床検査を使いこなす．日本医師会雑誌 150(1)：287，2021

＜その他の論文、著述＞

1．宇都宮與：学会探訪 第７回日本 HTLV-1 学会学術集会．血液学 NAVI 12：14-15，2022

HTLV-1 研究センター

今村総合病院

＜欧文＞

1．Nakamura H, Sagara Y, Yamamoto M, Utsunomiya A, Watanabe T, Satake M, Irita K：Improvement of the understanding of blood donors with human T-cell leukaemia virus type 1 using a new information booklet. Transfus Med 31(6)：481-487，2021
2．Utsunomiya A, Tokunaga M, Nakano N, Fujiwara H, Miyamoto T, Ogata M, Miyazaki Y, Ishitsuka K, Sakaida E, Taji H, Wakayama T, Ichinohe T, Fukuda T, Atsuta Y, Kato K, Yoshimitsu M. Long-term follow-up of patients with ATL after autologous stem cell transplantation. Bone Marrow Transplant 57(2)：323-325，2022

＜その他の論文、著述＞

1．宇都宮與：学会探訪 第７回日本 HTLV-1 学会学術集会．血液学 NAVI 12：14-15，2022

皮膚科

今村総合病院

＜欧文＞

1．Fujii K，Sakamoto Y，Masaki A，Murase T，Tashiro Y，Yonekura K，Utsunomiya A，Ito A，Kusumoto S，Iida S，Ueda R，Ishida T，Inagaki H：Immunohistochemistry for CCR4 C ‐ terminus predicts CCR4 mutations and mogamulizumab efficacy in adult T ‐ cell leukemia/lymphoma．J Pathol Clin Res 7(1)：52-60，2021

2．Sakamoto Y，Ishida T，Masaki A，Takeshita M，Iwasaki H，Yonekura K，Tashiro Y，Ito A，Kusumoto S，Utsunomiya A，Iida S，Ueda R，Inagaki H：Clinical significance of CD28 gene-related activating alterations in adult T-cell leukaemia/lymphoma．Br J Haematol 192(2)：281-291，2021

3．Ohtsuka M，Hamada T，Miyagaki T，Shimauchi T，Yonekura K，Kiyohara E，Fujita H，Izutsu K，Okuma K，Kawai K，Koga H，Sugaya M：Outlines of the Japanese guidelines for the management of primary cutaneous lymphomas 2020．J Dermatol 48(2)：e49-e71，2021

4．Kawai H，Ando K，Maruyama D，Yamamoto K，Kiyohara E，Terui Y，Fukuhara N，Miyagaki T，Tokura Y，Sakata-Yanagimoto M，Igarashi T，Kuroda J，Fujita J，Uchida T，Ishikawa T，Yonekura K，Kato K，Nakanishi T，Nakai K，Matsunaga R，Tobinai K：Phase II study of E7777 in Japanese patients with relapsed/refractory peripheral and cutaneous T-cell lymphoma．Cancer Sci，112(6)：2426-2435，2021

5．Tsuruta N，Imafuku S; Western Japan Inflammatory Disease Research Group：Establishment of the Western Japan Psoriasis Registry and first cross-sectional analysis of registered patients．J Dermatol 48(11)：1709-1718，2021

6．Sakamoto Y，Ishida T，Masaki A，Takeshita M，Iwasaki H，Yonekura K，Tashiro Y，Ito A，Kusumoto S，Iida S，Utsunomiya A，Ueda R，Inagaki H：Clinicopathological significance of CD28 overexpression in adult T-cell leukemia/lymphoma．Cancer Sci 113(1)：349-361，2022

7．Ohata C，Tsuruta N，Yonekura K，Higashi Y，Saito K，Katayama E，Imafuku S; Western Japan Inflammatory Disease Research Group：Clinical characteristics of Japanese pustular psoriasis：A multicenter observational study．J Dermatol 49(1)：142-150，2022

8．Hamada T，Morita A，Suga H，Boki H，Fujimura T，Hirai Y，Shimauchi T，Tateishi C，Kiyohara E，Muto I，Nakajima H，Abe R，Fujii K，Nishigori C，Nakano E，Yonekura K，Funakoshi T，Amano M，Miyagaki T，Makita N，Manaka K，Shimoyama Y，Sugaya M：Safety and efficacy of bexarotene for Japanese patients with cutaneous T-cell lymphoma：Real-world experience from post-marketing surveillance．J Dermatol 49(2)：253-262，2022

9．Nosaka K，Kusumoto S，Nakano N，Choi I，Yoshimitsu M，Imaizumi Y，Hidaka M，Sasaki H，Makiyama J，Ohtsuka E，Jo T，Ogata M，Ito A，Yonekura K，Tatetsu H，Kato T，Kawakita T，Suehiro Y，Ishitsuka K，Iida S，Matsutani T，Utsunomiya A，Ueda R，Ishida T：Clinical significance of the immunoglobulin G heavy-chain repertoire in peripheral blood mononuclear cells of adult T-cell leukaemia-lymphoma patients receiving mogamulizumab．Br J Haematol 196(3)：629-638，2022

10. Yonekura K：Current treatment strategies and emerging therapies for cutaneous lymphoma．J Dermatol 49(2):223-231，2022

11. Yonekura K，Ichiki M，Takeda K，Uchiyama N，Nishida H，Dokiya T：Successful treatment of tumor stage mycosis fungoides with total skin helical tomotherapy．J Dermatol 49(2)：289-293，2022

＜和文＞

1．上塘葉子，武田浩一郎，玉井真理子，佐藤浩子，二之宮謙次郎，田代幸恵，島田辰彦，米倉健太郎，金蔵拓郎：開腹術後の瘻孔部に発症した基底細胞癌の１例．Skin Cancer 36(1)：33-37，2021

2．上塘葉子，米倉健太郎，田代幸恵，二之宮謙次郎，金蔵拓郎：CD4/CD8 double-negative 菌状息肉症の１例．Skin

Cancer 36(3)：230-234，2021

3．金子栄，鶴田紀子，伊藤宏太郎，山口和記，宮城拓也，高橋健造，東裕子，森実真，野村隼人，山口道也，日野亮介，澤田雄宇，中村元信，大山文悟，大畑千佳，米倉健太郎，林宏明，柳瀬哲至，松阪由紀，杉田和成，菊池智子，三苫千景，中原剛士，古江増隆，岡崎布佐子，小池雄太，今福信一，西日本炎症性皮膚疾患研究会：乾癬の生物学的製剤治療に対する結核対策実態の多施設共同調査．日本皮膚科学会雑誌 131(6)：1525-1532，2021

4．米倉健太郎：菌状息肉症に対する新規治療．皮膚科 1(3)：378-385，2022

＜著書＞

1．米倉健太郎：成人 T 細胞白血病リンパ腫．皮膚疾患最新の治療 2021-2022．南江堂，2021，pp259-260

2．米倉健太郎：Indolent type ATL の治療方針．日本臨牀（増刊）「皮膚悪性腫瘍（第 2 版）下版」別刷．日本臨牀社，2021

3．米倉健太郎：Aggressive type ATL の治療方針．日本臨牀（増刊）「皮膚悪性腫瘍（第 2 版）下版」別刷．日本臨牀社，2021

＜その他の論文、著述＞

1．米倉健太郎：臨床所見による鑑別診断のポイント第 88 回「皮膚リンパ腫をどのように診るか」．Clinical Derma 23(3)：メディカルレビュー社，2021，pp7-8

外科・消化器外科

今村総合病院

＜欧文＞

1．Matsushita D，Uenosono Y，Arigami T，Yanagita S，Okubo K，Kijima T，Miyazono F，Hamanoue M，Hokita S，Nakashima S，Ohtsuka T，Natsugoe S：Clinical significance of circulating tumor cells in the response to trastuzumab for HER2-negative metastatic gastric cancer．Cancer Chemother Pharmacol 87(6)：789-797，2021

2．Arigami T，Matsushita D，Okubo K，Sasaki K，Tsuruda Y，Kita Y，Mori S，Yanagita S，Uenosono Y，Kurahara H，Ohtsuka T：Prognostic Significance of HER2 Expression for Gastric Cancer With Clinically Para-aortic Lymph Node Metastasis．Anticancer Res 41(6)：3099-3107，2021

3．Nepal P，Mori S，Kita Y，Tanabe K，Baba K，Sasaki K，Kurahara H，Arigami T，Ohtsuka T：Anatomical study of the inferior mesenteric vein using three-dimensional computed tomography angiography in laparoscopy-assisted surgery for left-sided colorectal cancer．Surg Today 51(10)：1665-1670，2021

4．Okubo K，Arigami T，Matsushita D，Uenosono Y，Yanagita S，Kijima T，Tsuruda Y，Noda M，Sasaki K，Mori S，Kurahara H，Ohtsuka T：The Clinical Significance of CA19-9 and Tumor Size Ratios for Predicting Prognosis After Conversion Surgery in Patients With Stage IV Gastric Cancer．Anticancer Res 41(11)：5643-5649，2021

5．Arigami T，Matsushita D，Okubo K，Sasaki K，Noda M，Kita Y，Mori S，Kurahara H，Yanagita S，Uenosono Y，Ishigami S，Ohtsuka T：Prognostic impact of surgery after chemotherapy for type 4 gastric cancer．Surg Today 51(11)：1851-1859，2021

6．Nakada K，Ikeda M，Takahashi M，Kinami S，Yoshida M，Uenosono Y，Terashima M，Oshio A，Kodera Y：Defecation disorders are crucial sequelae that impairs the quality of life of patients after conventional gastrectomy．World J Gastrointest Surg，27;13(11)：1484-1496，2021

7．Nakada K，Kawashima Y，Kinami S，Fukushima R，Yabusaki H，Seshimo A，Hiki N，Koeda K，Kano M，Uenosono Y，Oshio A，Kodera Y：Comparison of effects of six main gastrectomy procedures on patients' quality

of life assessed by Postgastrectomy Syndrome Assessment Scale-45. World J Gastrointest Surg, 27;13(5)：461-475, 2021

＜和文＞

1．中田浩二，池田正視，高橋正純 , 木南伸一，吉田昌，上之園芳一，小寺泰弘：【外科医が知っておくべき術後 QOL 評価のすべて】術後 QOL 評価の今までとこれから．外科 83(4)：301-307，2021

消化器内科

今村総合病院

＜欧文＞

1．Taguchi H, Otsuka T, Shimokawa M, Arima S, Hashimoto S, Ido A, Koga F, Ueda Y, Nakazawa J, Komori A, Otsu S, Fukahori M, Makiyama A, Honda T, Shibuki T, Mizuta T, Mitsugi K, Nio K, Ide Y, Ureshino N, Shirakawa T：Gemcitabine Plus Nanoparticle Albumin–bound Paclitaxel Versus FOLFIRINOX for Recurrent Pancreatic Cancer After Resection. Anticancer Research 41：3573-3582, 2021

2．Arima S, Kawahira M, Shimokawa M, Ido A, Koga F, Ueda Y, Nakazawa J, Komori A, Otsu S, Fukahori M, Makiyama A, Taguchi H, Honda T, Shibuki T, Mitsugi K, Nio K, Ide Y, Ureshino N, Mizuta T, Shirakawa T, Otsuka T：Gemcitabine Plus Nab-Paclitaxel Versus FOLFIRINOX in Locally Advanced, Unresectable Pancreatic Cancer: A Multicenter Observational Study (NAPOLEON Study). Pancreas 50(7)：957-964, 2021

3．Otsuka T, Shirakawa T, Shimokawa M, Koga F, Kawaguchi Y, Ueda Y, Nakazawa J, Komori A, Otsu S, Arima S, Fukahori M, Okabe Y, Makiyama A, Taguchi H, Honda T, Shibuki T, Nio K, Ide Y, Mizuta T, Mitsugi K, Ureshino N：Correction to：A multicenter propensity score analysis of FOLFIRINOX vs gemcitabine plus nab-paclitaxel administered to patients with metastatic pancreatic cancer：results from the NAPOLEON study. Int J Clin Oncol 26(5)：951-953, 2021

4．Koga F, Kawaguchi Y, Shimokawa M, Murayama K, Nakashita S, Oza N, Ureshino N, Takahashi H, Ueda Y, Nakazawa J, Komori A, Otsu S, Arima S, Fukahori M, Makiyama A, Taguchi H, Honda T, Shibuki T, Nio K, Ide Y, Mizuta T, Shirakawa T, Otsuka T, Mitsugi K：Gemcitabine plus nab-paclitaxel in older patients with metastatic pancreatic cancer：A post-hoc analysis of the real-world data of a multicenter study (the NAPOLEON study). J Geriatr Oncol 13(1)：82-87, 2022

5．Shibuki T, Mizuta T, Shimokawa M, Koga F, Ueda Y, Nakazawa J, Komori A, Otsu S, Arima S, Fukahori M, Makiyama A, Taguchi H, Honda T, Mitsugi K, Nio K, Ide Y, Ureshino N, Shirakawa T, Otsuka T：Prognostic nomogram for patients with unresectable pancreatic cancer treated with gemcitabine plus nab-paclitaxel or FOLFIRINOX：A post-hoc analysis of a multicenter retrospective study in Japan (NAPOLEON study). BMC Cancer 22(19)：doi：10.1186/s12885-021-09139-y, 2022

＜著書＞

1．田口宏樹：超音波内視鏡での幽門輪突破に困ったら．教科書では教えてくれない！私の消化器内視鏡 Tips vol.2. 医学書院，2021，p16

泌尿器科

今村総合病院

＜欧文＞

1．Okamura S，Yoshino H，Kuroshima K，Tsuruda M，Osako Y，Sakaguchi T，Yonemori M，Yamada Y，Tatarano S，Nakagawa M，Enokida H：EHHADH contributes to cisplatin resistance through regulation by tumor-suppressive microRNAs in bladder cancer．BMC Cancer；21(1)：48-61，2021

2．Tatarano S，Enokida H，Yonemori M，Eura R，Yoshino H，Nishimura H，Yamada Y，Nakagawa M：Significance of preoperative screening of deep vein thrombosis and its indications for patients undergoing urological surgery．Investig Clin Urol；62(2)：166-171，2021

3．Kawamoto K，Okino ST，Place RF，Urakami S，Hirata H，Kikuno N，Kawakami T，Tanaka Y，Pookot D，Chen Z，Majid S，Enokida H，Nakagawa M，Dahiya R：Editor's Note：Epigenetic Modifications of RASSF1A Gene through Chromatin Remodeling in Prostate Cancer．Clin Cancer Res；27(9)：2665，2021

4．Tobu S，Udo K，Nishihara K，Miyajima S，Ando T，Onizuka C，Itesako T，Ashikari A，Hakariya T，Igawa T，Tanaka M，Shin T，Kamoto T，Nakagawa M，Saito S，Sakai H，Eto M，Kamba T，Fujimoto N，Noguchi M：Surveillance of urachal abscess in the Kyushu-Okinawa area of Japan．Int J Urol；10：1008-1011，2021

5．Tamai M，Tatarano S，Okamura S，Fukumoto W，Kawakami I，Osako Y，Sakaguchi T，Sugita S，Yonemori M，Yamada Y，Nakagawa M，Enokida H，Yoshino H：microRNA-99a-5p induces cellular senescence in gemcitabine-resistant bladder cancer by targeting SMARCD1．Mol Oncol；16(6)：1329-1346，2022

6．Kawakami I，Yoshino H，Fukumoto W，Tamai M，Okamura S，Osako Y，Sakaguchi T，Inoguchi S，Matsushita R，Yamada Y，Tatarano S，Nakagawa M，Enokida H：Targeting of the glutamine transporter SLC1A5 induces cellular senescence in clear cell renal cell carcinoma．Biochem Biophys Res Commun；611：99-106，2022

＜和文＞

1．松岡弘文，坪内和女，田中正利，羽賀宣博，山口孝則，鯉川弥須宏，宮里実，斎藤誠一，木原敏晴，宮田康好，望月保志，酒井英樹，榎田英樹，速見浩士，中川昌之，森健一，秦聡孝，上村敏雄，向井尚一郎，賀本敏行，猪口淳一，江藤正俊，藤本直浩，末金茂高，松尾光哲，井川掌，東武昇平，野口満，西一彦，神波大己，石井龍：逆流性腎症の術後長期予後に関わる要因の検討 第18回九州泌尿器科連合地方会共同研究．西日本泌尿器科 82(6)：570-578，2021

病理診断科

今村総合病院

＜欧文＞

1．Fujii K，Sakamoto Y，Masaki A，Murase T，Tashiro Y，Yonekura K，Utsunomiya A，Ito A，Kusumoto S，Iida S，Ueda R，Ishida T，Inagaki H：Immunohistochemistry for CCR4 C‐terminus predicts CCR4 mutations and mogamulizumab efficacy in adult T‐cell leukemia/lymphoma．J Pathol Clin Res 7(1)：52-60，2021

2．Sakamoto Y，Ishida T，Masaki A，Takeshita M，Iwasaki H，Yonekura K，Tashiro Y，Ito A，Kusumoto S，Utsunomiya A，Iida S，Ueda R，Inagaki H：Clinical significance of CD28 gene-related activating alterations in adult T-cell leukaemia/lymphoma．Br J Haematol 192(2)：281-291，2021

3．Sakamoto Y，Ishida T，Masaki A，Murase T，Takeshita M，Muto R，Iwasaki H，Ito A，Kusumoto S，Nakano N，Tokunaga M，Yonekura K，Tashiro Y，Iida S，Utsunomiya A，Ueda R，Inagaki H：Clinical significance of TP53 mutations in adult T-cell leukemia/lymphoma．Br J Haematol 195(4)：571-584．2021

4．Sakamoto Y，Ishida T，Masaki A，Takeshita M，Iwasaki H，Yonekura K，Tashiro Y，Ito A，Kusumoto S，

Iida S，Utsunomiya A，Ueda R，Inagaki H：Clinicopathological significance of CD28 overexpression in adult T-cell leukemia/lymphoma．Cancer Sci 113(1)：349-361，2022

＜和文＞

1．上塘葉子，武田浩一郎，玉井真理子，佐藤浩子，二之宮謙次郎，田代幸恵，島田辰彦，米倉健太郎，金蔵拓郎：開腹術後の瘻孔部に発症した基底細胞癌の１例．Skin Cancer 36(1)：33-37，2021

2．上塘葉子，米倉健太郎，田代幸恵，二之宮謙次郎，金蔵拓郎：CD4/CD8 double-negative 菌状息肉症の１例．Skin Cancer 36(3)：230-234，2021

循環器内科

今村総合病院

＜和文＞

1．吉村あきの，肥後建樹郎，松本紀彰，樋渡沙和子，伊藤加菜絵，窪田歩，大石充：Sjögren 症候群による心タンポナーデを伴う急性心外膜炎の１例．心臓 53(7)：728-735，2021

救急総合内科

今村総合病院

＜その他の論文、著述＞

1．西垂水和隆（高齢者肺炎研究グループ）：高齢者肺炎におけるインフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンの予防効果に関する症例対照研究．厚生労働行政推進調査事業費補助金（新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業）ワクチンの有効性・安全性と効果的適用に関する疫学研究：55-60，2021

2．伊藤貴祥，西垂水和隆：[連載] 悩むケースに立ち向かう！臨床推論のススメ方～全国 GIM カンファレンスより～第 20 回　階下に潜む原因．臨床雑誌内科 128（1）：151-158，南江堂，2021

小児科

今村総合病院

＜欧文＞

1．Nakamura T，Kakimoto H，Morita S，Mizota M，Iwamoto J：Subacute thyroiditis presenting with creeping in a 6-year-old boy．Clin Pediatr Endocrinol 30(1)：75-78，2021

糖尿病内科

いづろ今村病院

＜欧文＞

1．Komorizono Y，Hosoyamada K，Imamura N，Kajiya S，Hashiguchi Y，Ueyama N，Shinmaki H，Koriyama N，Tsukasa M，Kamada T：Metformin dose increase versus added linagliptin in non-alcoholic fatty liver disease and type 2 diabetes：An analysis of the J-LINK study．Diabetes Obes Metab 23(3)：832-837，2021

＜和文＞

1．郡山暢之，鎌田哲郎，出口尚寿，西尾善彦：鹿児島方式による糖尿病治療の標準化の試みと『SDM カスタマイズド鹿児島』の作成．糖尿病　64(6)：341-349，2021

輸血管理部

今村総合病院

＜和文＞

1．大木浩，古川良尚，竹原哲彦，西迫裕昭，宮下幸一郎，寺野玉枝，花牟禮豊，奥沙織，大塚眞紀，森千奈美，宮園卓宜，藤山裕輝，中島彩乃，原口安江，原純，清武貴子，園田大敬，中野秀人，義永文一，田中朝志：離島の中核病院における血液製剤利用に対して 複数の連携医療機関が支援を行う運用の研究．Japanese Journal of Transfusion and Cell Therapy　67(3)：414-424，2021

2．清武貴子，園田大敬，中野秀人，大木浩，舞木弘幸，外室喜英，宮元珠華，原口安江，古城剛，江口奈津希，奥沙織，森千奈美，中島彩乃，藤山裕輝，竹原哲彦，古川良尚，田中朝志：輸血検査技師の現場視点における，奄美ブラッドローテーション確立経過と問題点．Japanese Journal of Transfusion and Cell Therapy 67(3)：455-462，2021

リハビリテーション部

谷山病院　作業療法士

＜和文＞

1．中山陽平：当院のアディクションに対するプログラムの現状と課題．作業療法鹿児島 27（1）：17-22，2021

薬剤部

いづろ今村病院

＜和文＞

1．遠矢素子：チェックシートを活用したタクロリムス使用 UC 患者に対する薬剤師の関わり．鹿児島県病院薬剤師会誌 61：14，2021

画像診断 / 放射線治療部

今村総合病院

＜共著＞＜欧文＞

1．Yonekura K，Ichiki M，Takeda K，Uchiyama N，Nishida H，Dokiya T：Successful treatment of tumor stage mycosis fungoides with total skin helical tomotherapy：J Dermatol 49(2)：289-293，2022

＜その他の論文、著述＞

1．馬場隆行：補助具を活用すれば胸部ポータブル撮影や手術室撮影の再現性と精度は向上する．INNERVISION，2021，pp82-86

2．馬場隆行：高精度 X 線撮影機器とプレショットの融合で X 線画像は劇的進化を遂げるか．映像情報 Medical，2021，pp9-13

事務部

今村総合病院

＜和文＞

1．鈴木大輔，有島尚亮：有事下でもゆるぎない病院経営を目指して－ COVID-19 禍における「病院経営の BCP」への一考察－．医療経営士情報誌　理論と実践 No.42：一般社団法人日本医療経営実践協会，2021，pp40-50

谷山病院

＜和文＞

1．大内田頼春：事務職員の人材育成．日本精神科病院協会雑誌 41（2）：46-52，2022

法人事業本部

＜和文＞

1．今村英仁：ポストコロナ時代に病院が向き合う在宅支援．病院 80（7）：574-579，2021

＜その他の論文、著述＞

1．猪口正孝，今村英仁：対談 急性期病院が在宅まで視野に入れるべき理由．病院 80（7）：559-564，2021

2．今村英仁：新型コロナウイルス感染症への対応．令和 3 年版介護白書 - 老健施設の立場から -：42-50，2021

【学会発表】

血液内科

今村総合病院

＜国際＞

1．Kusumoto S，Izutsu K，Maruyama D，Makita S，Jacobsen E.D，Horwitz S，Ishitsuka K，Allen P，Porcu P，Imaizumi Y，Yamauchi N，Morishima S，Kawamata T，Foss M.F，Utsunomiya A，Nosaka K，Serbest G，Kato K，Adachi N，Tsukasaki K，Tobinai K：First-in-human study of the ezh1 and ezh2 dual inhibitor valemetostat tosylate (DS-3201B) in patients with relapsed or refractory non-Hodgkin lymphomas．25th European Hematology Association Congress，Vienna，Austria，17-19 June，2021 (Web)

2．Ishitsuka K，Izutsu K，Maruyama D，Makita S，Jacobsen E.D，Horwitz S，Kusumoto S，Allen P，Porcu P，Imaizumi Y，Yamauchi N，Morishima S，Kawamata T，Foss F.M，Utsunomiya A，Nosaka K，Serbest G，Kato K，Adachi N，Tsukasaki K，Tobinai K：First-in-Human Study of the EZH1 and EZH2 Dual Inhibitor Valemetostat Tosylate (DS-3201b) in Patients With Relapsed or Refractory Non-Hodgkin Lymphomas．16th International Conference on Malignant Lymphoma，Lugano，Switzerland，15-19 June，2021 (Web)

3．Izutsu K，Utsunomiya A，Jo T，Yoshida S，Ando K，Choi I，Imaizumi Y，Kato K，Kurosawa M，Kusumoto S，Miyagi T，Ohtsuka E，Sasaki O，Shibayama H，Shimoda K，Takamatsu Y，Takano K，Tsukasaki K，Makita S，Yonekura K，Taguchi J，Gillings M，Onogi H，Tobinai K：A Phase 2b study to evaluate the efficacy and safety of Tucidinostat (HBI-8000) in Japanese patients with relapsed or refractory adult T-cell leukemia/lymphoma (ATL)．16th International Conference on Malignant Lymphoma，Lugano，Switzerland，15-19 June，2021 (Web)

4．Yoshimitsu M，Izutsu K，Makita S，Nosaka K，Utsunomiya A，Kusumoto S，Morishima S，Tsukasaki K，Kawamata T，Ono T，Rai S，Katsuya H，Ishikawa J，Yamada H，Kato K，Tachibana M，Kakurai Y，Adachi N，Tobinai K，Yonekura K，Ishitsuka K：Pivotal Phase 2 Study of the EZH1 and EZH2 Inhibitor Valemetostat Tosylate (DS-3201b) in Patients with Relapsed or Refractory Adult T-Cell Leukemia/Lymphoma (ATL)．63rd American Society of Hematology，Atlanta，USA，11-14 December，2021 (Web)

＜国内＞

1．宮園卓宜，中島彩乃，藤山裕輝，松山淳史，新屋果蓮，小田原千里，牧野桃子，兼石知香，久保友恵，小田原淳，中野伸亮，宇都宮與，帆北修一：ヒト骨髄由来間葉系幹細胞テムセル HS 注に対する当院での運用体制について．第 69 回日本輸血・細胞治療学会学術総会，2021 年 6 月 4-6 日，東京（Web）

2．坂本祐真，石田高司，正木彩子，村瀬貴幸，竹下盛重，岩崎浩己，田代幸恵，米倉健太郎，徳永雅仁，伊藤旭，楠本茂，飯田真介，宇都宮與，上田龍三，稲垣宏：Clinical significance of TP53 mutations in adult T-cell leukemia/lymphoma．第 61 回日本リンパ網内系学会総会，2021 年 6 月 25 日，岡山（Web）

3．宇都宮與：ATL 治療の現状と今後．（ランチョンセミナー）第 83 回日本血液学会学術集会，2021 年 9 月 23-25 日，Web

4．中野伸亮，田代幸恵，藤野聡司，小田原淳，徳永雅仁，宮園卓宜，米倉健太郎，伊藤能清，宇都宮與：当院における成人 T 細胞白血病 / リンパ腫に対するブレンツキシマブ・ベドチンの使用経験．第 83 回日本血液学会学術集会，2021 年 9 月 23-25 日，Web

5．Jo T，Utsunomiya A，Izutsu K，Yoshida S，Ando K，Choi I，Imaizumi Y，Kato K，Kurosawa S，Miyagi T，Hotsuka E，Sasaki O，Shibayama H，Shimoda K，Takamatsu Y，Takano K，Ttsukasaki K，Taguchi J，Yonekura K，Makita S，Gillings M，Gloria L，Onogi H，Tobinai K：A Phase 2b study of an oral HDAC inhibitor HBI-8000 in patients with relapsed or refractory ATL．第 83 回日本血液学会学術集会，2021 年 9 月 24 日，Web

6．中野伸亮，田代幸恵，藤野聡司，小田原淳，徳永雅仁，宮園卓宜，米倉健太郎，伊藤能清，宇都宮與：当院におけ

る成人 T 細胞白血病 / リンパ腫に対するブレンツキシマブ・ベドチンの使用経験．第 7 回日本 HTLV-1 学会学術集会，2021 年 11 月 5-7 日，熊本（Web）

7．宇都宮與，中野伸亮，徳永雅仁，小田原淳，宮園卓宜，藤野聡司，伊藤能清，米倉健太郎，田代幸恵，高塚祥芝，竹内昇吾，内丸薫，渡邉俊樹：同種造血幹細胞移植後長期生存している ATL 患者の移植後の末梢血 HTLV-1 プロウイルス量の推移．第 7 回日本 HTLV-1 学会学術集会，2021 年 11 月 5-7 日，熊本（Web）

8．古屋淳史，斎藤優樹，亀田拓郎，湯浅光博，木暮泰寛，田平優貴，秋月渓一，上運天綾子，幣光太郎，久冨木庸子，北中明，中野伸亮，宇都宮與，小川誠司，下田和哉，片岡圭亮：マルチオミクス単一細胞解析による HTLV-1 感染状態および ATL における細胞動態の網羅的解明．第 7 回日本 HTLV-1 学会学術集会，2021 年 11 月 5-7 日，熊本（Web）

9．吉田真一郎，宇都宮與，伊豆津宏二，城達郎，大塚英一，崔日承，今泉芳孝，宮城敬，安藤潔，楠本茂，髙松泰，塚崎邦弘，柴山浩彦，黒澤光俊，加藤光次，下田和哉，高野久仁子，佐々木治，中島潤，米倉健太郎，蒔田真一，田口潤，Mireille Gillings，Gloria Lee，大野木浩，飛内賢正：P-IIb study of oral HDAC inhibitor HBI-8000 in relapsed or refractory adult T-cell leukemia/lymphoma．第 7 回日本 HTLV-1 学会学術集会，2021 年 11 月 5-7 日，熊本（Web）

10. 伊藤歩，勝俣宏伸，佐藤奈津子，土屋加寿美，渡辺恵理，井上明威，中野伸亮，田中喬，藤重夫，崔日承，川俣豊隆，稲本賢弘，内丸薫，宇都宮與，福田隆浩：マルチカラーフローサイトメトリーを用いたアグレッシブ ATL の同種移植後微小残存病変モニタリング．第 7 回日本 HTLV-1 学会学術集会，2021 年 11 月 5-7 日，熊本（Web）

11. 横溝明香里，山岸誠，久世裕太，宇都宮與，福田隆浩，渡邉俊樹，鈴木穣，内丸薫：ATL 細胞のクローン進化における VAV1/PLCG1 遺伝子異常の機能的意義．第 7 回日本 HTLV-1 学会学術集会，2021 年 11 月 5-7 日，熊本（Web）

12. 古屋淳史，斎藤優樹，亀田拓郎，湯浅光博，木暮泰寛，田平優貴，秋月渓一，上運天綾子，幣光太郎，久冨木庸子，北中明，中野伸亮，宇都宮與，小川誠司，下田和哉，片岡圭亮：単一細胞 T 細胞受容体レパトア解析による ATL クローンの追跡．第 7 回日本 HTLV-1 学会学術集会，2021 年 11 月 5-7 日，熊本（Web）

13. 菅田謙治，Benjy Jek Yang Tan，Reda Omnia，Md Samiul Alam Rajib，徳永雅仁，佐藤知雄，宇都宮與，山野嘉久，佐藤賢文：TCR 配列に基づいた末梢血と脳脊髄液中の HTLV-1 特異的 CD8+T 細胞の包括的解析．第 7 回日本 HTLV-1 学会学術集会，2021 年 11 月 5-7 日，熊本（Web）

14. 山田麻美，安永純一朗，野坂生郷，中川正法，岩見真吾，砂川純也，中岡慎治，岩永正子，内丸薫，宇都宮與，高起良，渡邉俊樹，松岡雅雄：宿主免疫応答とプロウイルス量による HTLV-1 関連疾患発症リスク群の同定．第 7 回日本 HTLV-1 学会学術集会，2021 年 11 月 5-7 日，熊本（Web）

15. 中畑新吾，チルミ シャルー，中武彩子，吉浜麻生，鵜飼由範，武本重毅，中野伸亮，斎藤益満，岩永正子，相良康子，前田宏一，宇都宮與，下田和哉，渡邊俊樹，森下和広：sCADM1 は ATLL の新規のバイオマーカー候補となる．第 7 回日本 HTLV-1 学会学術集会，2021 年 11 月 5-7 日，熊本（Web）

16. タン ベンジー ジェック ヤン，菅田謙治，Omnia Reda，松尾美沙希，宮里パオラ，Vincent Hahaut，鈴島仁，勝屋弘雄，徳永雅仁，内山良一，中村秀明，末岡榮三朗，宇都宮與，小野昌弘，佐藤賢文：HTLV-1 hijacks T-cell activation mechanisms for leukemic transformation as revealed by scRNA-seq．第 7 回日本 HTLV-1 学会学術集会，2021 年 11 月 5-7 日，熊本（Web）

17. 石澤未来，長谷川温彦，高塚奈津子，近藤伸世，米田建，片桐邦子，増田貴夫，宇都宮與，神奈木真理：HDAC 阻害剤は ATL 細胞の免疫原性を増大し抗腫瘍 Tax 特異的 CTL 応答を活性化させる．第 7 回日本 HTLV-1 学会学術集会，2021 年 11 月 5-7 日，熊本（Web）

18. 宮園卓宜，中島彩乃，藤山裕輝，新屋果蓮，小田原千里，牧野桃子，兼石知香，久保友恵，小田原淳，中野伸亮，宇都宮與，帆北修一：鹿児島県内輸血医療の向上を目的とした輸血ラウンド動画の作成．日本輸血・細胞治療学会九州支部会第 68 回総会・第 89 回例会，2021 年 12 月 11 日，大分（Web）

HTLV-1 研究センター

今村総合病院

1．宇都宮與，中野伸亮，徳永雅仁，小田原淳，宮園卓宜，藤野聡司，伊藤能清，米倉健太郎，田代幸恵，高塚祥芝，竹内昇吾，内丸薫，渡邉俊樹：同種造血幹細胞移植後長期生存している ATL 患者の移植後の末梢血 HTLV-1 プロウイルス量の推移．第 7 回日本 HTLV-1 学会学術集会，2021 年 11 月 5-7 日，熊本（Web）

皮膚科

今村総合病院

＜国際＞

1．Izutsu K，Utsunomiya A，Jo T，Yoshida S，Ando K，Choi I，Imaizumi Y，Kato K，Kurosawa M，Kusumoto S，Miyagi T，Ohtsuka E，Sasaki O，Shibayama H，Shimoda K，Takamatsu Y，Takano K，Tsukasaki K，Makita S，Yonekura K，Taguchi J，Gillings M，Onogi H，Tobinai K：A Phase 2b study to evaluate the efficacy and safety of Tucidinostat (HBI-8000) in Japanese patients with relapsed or refractory adult T-cell leukemia/lymphoma (ATL)．16th International Conference on Malignant Lymphoma，Lugano，Switzerland，15-19 June，2021 (Web)

2．Yoshimitsu M，Izutsu K，Makita S，Nosaka K，Utsunomiya A，Kusumoto S，Morishima S，Tsukasaki K，Kawamata T，Ono T，Rai S，Katsuya H，Ishikawa J，Yamada H，Kato K，Tachibana M，Kakurai Y，Adachi N，Tobinai K，Yonekura K，Ishitsuka K：Pivotal Phase 2 Study of the EZH1 and EZH2 Inhibitor Valemetostat Tosylate (DS-3201b) in Patients with Relapsed or Refractory Adult T-Cell Leukemia/Lymphoma (ATL)．63rd American Society of Hematology，Atlanta，USA，11-14 December，2021 (Web)

＜国内＞

1．宮崎研斗，玉井真理子，上塘葉子，武田浩一郎，佐藤浩子，米倉健太郎，西正行：反応性穿孔性膠原線維症の 1 例．第 187 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会，2021 年 4 月 18 日，Web

2．上塘葉子，武田浩一郎，玉井真理子，佐藤浩子，二之宮謙次郎，田代幸恵，米倉健太郎：CD4/CD8 double-negative 菌状息肉症の 1 例．第 187 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会，2021 年 4 月 18 日，Web

3．武田浩一郎，上塘葉子，玉井真理子，佐藤浩子，米倉健太郎，西正行：ブシラミンによる薬疹の 1 例．第 187 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会，2021 月 4 月 18 日，Web

4．米倉健太郎，上塘葉子，武田浩一郎，玉井真理子，佐藤浩子，田代幸恵:頭部皮膚腫瘤で発症し、リンパ節、末梢血、骨髄にも病変を認めた芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍の 1 例．第 187 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会，2021 年 4 月 18 日，Web

5．上塘葉子，武田浩一郎，玉井真理子，佐藤浩子，米倉健太郎：水疱性類天疱瘡の治療中に MRSA 菌血症，人工血管感染を合併した 1 例．　第 120 回日本皮膚科学会総会，2021 年 6 月 10-13 日，横浜（Web）

6．米倉健太郎，鶴田紀子，今福信一：西日本乾癬レジストリ（WJPR）参加施設における HTLV-1 抗体陽性乾癬患者への対応状況．第 120 回日本皮膚科学会総会，2021 年 6 月 10-13 日，横浜（Web）

7．上塘葉子，武田浩一郎，玉井真理子，佐藤浩子，二之宮謙次郎，田代幸恵，米倉健太郎：CD4/CD8 double-negative 菌状息肉症の 1 例．第 37 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会，2021 年 7 月 8-10 日，長野県松本市

8．米倉健太郎，上塘葉子，武田浩一郎，玉井真理子，佐藤浩子，田代幸恵：急速に増大する頭部皮膚腫瘤で発症した芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍の 1 例．第 37 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会，2021 年 7 月 8-10 日，長野県松本市

9．上塘葉子，武田浩一郎，玉井真理子，佐藤浩子，米倉健太郎：左耳甲介腔に生じた有棘細胞癌の 1 例．第 188 回日本皮膚科学会鹿児島地方会，2021 年 7 月 18 日，Web

10．上塘葉子，武田浩一郎，玉井真理子，佐藤浩子，田辺寛，馬場研二，米倉健太郎：爪楊枝誤飲による上行結腸、腸

壁穿孔から皮膚腫瘍を形成した1例．第73回日本皮膚科学会西部支部学術大会, 2021年10月30-31日, 宮崎（Web）

11. 米倉健太郎，鶴田紀子，今福信一：西日本乾癬レジストリ（WJPR）参加施設におけるHTLV-1抗体陽性乾癬患者への対応状況．第7回日本HTLV-1学会学術集会，2021年11月5-7日，熊本
12. 武田浩一郎，上塘葉子，玉井真理子，佐藤浩子，米倉健太郎，青木恵美：側頭動脈領域に生じたAngiolymphoid Hyperplasia with Eosinophiliaの1例．日本皮膚科学会第189回鹿児島地方会，2021年12月12日，Web

外科・消化器外科

今村総合病院

1．山下裕玄, 國崎主税, 吉田和弘, 高橋正純, 池田正視, 木南伸一, 上之園芳一, 吉田昌, 小寺泰弘, 布部創也, 寺島雅典, 滝口伸浩，瀬戸泰之，中田浩二：国内における食道胃接合部癌に対する術式：PGSAS NEXT試験の結果から．第121回日本外科学会定期学術集会，2021年4月8日，千葉
2．中田浩二, 池田正視, 高橋正純, 木南伸一, 吉田昌, 上之園芳一, 小寺泰弘, 國崎主税, 吉田和弘, 山下裕玄, 瀬戸泰之：有志の研究グループによる多施設共同臨床研究の実現可能性とその意義について．第121回日本外科学会定期学術集会，2021年4月9日，千葉
3．中嶋太極，福久はるひ，田辺寛，馬場研二，上之園芳一，今村博，帆北修一，大塚隆生：当院における人工肛門閉鎖術の真皮縫合法と環状皮膚縫合法の検討．第121回日本外科学会定期学術集会，2021年4月10日，千葉
4．福久はるひ，上之園芳一，永峯佳尚，田辺寛，馬場研二，帆北修一，田代幸恵，二之宮謙次郎，瀧川譲治，有馬豪男，中野静雄：術後6年目に甲状腺転移を来した胃GISTの一例．鹿児島市外科医会春季例会，2021年4月23日，鹿児島
5．藤崎宗春，野村尚，山下裕玄，上之園芳一，福永哲，大辻英吾，高橋昌宏，松本英男，小塩真司，中田浩二：癌占拠部位の違いが胃全摘および噴門側胃切除後のQOLに及ぼす影響の検討．第76回日本消化器外科学会総会，2021年7月7日，京都
6．馬場研二，上之園芳一，冨田実代，福久はるひ，平野拓郎，有馬豪男，帆北修一：発光尿管カテーテルを用いた大腸癌尿管温存手術の経験．第31回九州内視鏡・ロボット外科手術研究会，2021年9月11日，宮崎(Web)
7．木許広太郎（初期研修医），平野拓郎，冨田実代，福久はるひ，馬場研二，瀧川譲治，上之園芳一，帆北修一，二之宮謙次郎，田代幸恵：腹膜播種と鑑別を要した石灰化線維種を伴ったSclerosing angiomatoid nodular transformationの1例．鹿児島県臨床外科学会，2021年9月25日，鹿児島
8．上之園芳一，馬場研二，平野拓郎，福久はるひ，冨田実代，瀧川譲治，帆北修一：当院における80才以上の高齢者胃癌例の検討．第57回胃外科・術後障害研究会，2021年11月11日，東京（Web）
9．鮫島一基，平野拓郎，福久はるひ，馬場研二，上之園芳一，帆北修一，大塚 隆生：閉鎖孔ヘルニアに対する腹腔鏡下修復術(TAPP法)で逆M法を施行した2例．鹿児島市外科医会秋季例会2021年11月12日，鹿児島
10. 馬場研二，上之園芳一，鮫島一基，福久はるひ，平野拓郎，有馬豪男，帆北修一，盛真一郎，大塚隆生：潰瘍性大腸炎に対する手術タイミング別の手術成績の検討．第83回日本臨床外科学会，2021年11月18日，東京(Web)
11. 帆北修一，吉森みゆき，有島尚亮，北原美代子，中谷明実，飯ヶ谷尚美，鈴木大輔，東雅美：当院における新型コロナウイルス感染症対策について．日本医療マネジメント学会第19回九州・山口連合大会，2021年11月20-21日，福岡（Web）
12. 馬場研二, 鮫島一基, 福久はるひ, 平野拓郎, 有馬豪男, 上之園芳一, 帆北修一:結腸癌に対する体内吻合法とその工夫．第34回日本内視鏡外科学会総会，2021年12月2日，神戸
13. 福久はるひ，上之園芳一，冨田実代，平野拓郎，馬場研二，帆北修一，大塚隆生：人工肛門閉鎖術の真皮縫合法と環状皮膚縫合法の検討．第34回日本外科感染症学会，2021年12月18日，北九州
14. 上之園芳一，陶山浩一，小林和真，勝屋弘雄，伊澤直樹，胡慶江，楠本哲也，大津甫，折田博之，川中博文，柴

尾和徳，古賀聡，下川元継，牧山明資，佐伯浩司，沖英次，馬場秀夫，森正樹：A phase II study of first line S-1+ramucirumab for elderly patient with G8 screening (KSCC1701). 第 94 回日本胃癌学会総会, 2022 年 3 月 4 日，横浜（Web）

15. 馬場研二，上之園芳一，鮫島一基，福久はるひ，平野拓郎，有馬豪男，瀧川譲治，帆北修一：当院における大腸癌手術 DST 再建法に対する工夫と成績．第 83 回鹿児島県臨床外科学会医学会，2022 年 3 月 19 日，鹿児島
16. 平野拓郎, 富田実代, 福久はるひ, 馬場研二, 瀧川譲治, 上之園芳一, 帆北修一, 二之宮謙次郎, 田代幸恵：盲腸が脱出・嵌頓した双肛式回腸人工肛門の 1 例．第 58 会腹部救急医学会総会，2022 年 3 月 24 日，東京

消化器内科

今村総合病院

1．坂江貴弘，田口宏樹，嶋田淳之介，小野陽平，大井秀久，井戸章雄：当院における SpyGlass　DS の使用経験．第 112 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会，2021 年 12 月 3-4 日，長崎
2．柴田隆佑，藤田俊浩，金丸紗千，市田泰海，大井貴之，福森光，青崎眞一郎，嵜山敏男，岩下祐司，田ノ上史郎，田口宏樹，橋元慎一，井戸章雄：超音波内視鏡下胆嚢ドレナージの有用性と安全性の検討．第 112 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会，2021 年 12 月 3-4 日，長崎
3．嶋田淳之介，田口宏樹，坂江貴弘，小野陽平，大井英之，井戸章雄：完全型膵管癒合不全が原因と考えられた急性膵炎の一例．第 112 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会，2021 年 12 月 3-4 日，長崎
4．濱田嵩史，田ノ上史郎，児島一成，樋之口真，有馬志穂，岩下祐司，田口宏樹，橋元慎一，佐々木文郷，上村修司，井戸章雄：当科における自己免疫性膵炎と発癌リスクに関する検討．第 112 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会，2021 年 12 月 3-4 日，長崎

泌尿器科

今村総合病院

1．西村博昭, 山田保俊, 榎田英樹, 中川昌之：抗体除去療法不施行化に血液型不適合生体腎移植を行った透析患者の検討．第 66 回日本透析医学会学術集会・総会，2021 年 6 月 5 日，横浜（Web）
2．坂口大，見附明彦，枦木太郎，松下良介，吉野裕史，鑪野秀一，西村博昭，山田保俊，榎田英樹，中川昌之：転移性腎癌に対するニボルマブ単独療法により長期間奏功状態を維持している血液透析患者の 1 例．第 66 回日本透析医学会学術集会・総会，2021 年 6 月 5 日，横浜（Web）

病理診断科

今村総合病院

1．上塘葉子，武田浩一郎，玉井真理子，佐藤浩子，二之宮謙次郎，田代幸恵，米倉健太郎：CD4/CD8 double-negative 菌状息肉症の 1 例．第 187 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会，2021 年 4 月 18 日，Web
2．米倉健太郎，上塘葉子，武田浩一郎，玉井真理子，佐藤浩子，田代幸恵：頭部皮膚腫瘤で発症し、リンパ節、末梢血、骨髄にも病変を認めた芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍の 1 例．第 187 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会，2021 年 4 月 18 日，Web
3．坂本祐真，石田高司，正木彩子，村瀬貴幸，竹下盛重，岩崎浩己，田代幸恵，米倉健太郎，徳永雅仁，伊藤旭，楠本茂，飯田真介，宇都宮與，上田龍三，稲垣宏：Clinical significance of TP53 mutations in adult T-cell leukemia/lymphoma．第 61 回日本リンパ網内系学会総会，2021 年 6 月 25 日，岡山（Web）

4．上塘葉子，武田浩一郎，玉井真理子，佐藤浩子，二之宮謙次郎，田代幸恵，米倉健太郎：CD4/CD8 double-negative 菌状息肉症の 1 例．第 37 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会，2021 年 7 月 8-10 日，長野県松本市（Web）
5．米倉健太郎，上塘葉子，武田浩一郎，玉井真理子，佐藤浩子，田代幸恵：急速に増大する頭部皮膚腫瘤で発症した芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍の 1 例．第 37 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会，2021 年 7 月 8-10 日，長野県松本市（Web）
6．中野伸亮，田代幸恵，藤野聡司，小田原淳，徳永雅仁，宮園卓宜，米倉健太郎，伊藤能清，宇都宮與：当院における成人 T 細胞白血病 / リンパ腫に対するブレンツキシマブ・ベドチンの使用経験．第 83 回日本血液学会学術集会，2021 年 9 月 23-25 日，Web
7．中野伸亮，田代幸恵，藤野聡司，小田原淳，徳永雅仁，宮園卓宜，米倉健太郎，伊藤能清，宇都宮與：当院における成人 T 細胞白血病 / リンパ腫に対するブレンツキシマブ・ベドチンの使用経験．第 7 回日本 HTLV-1 学会学術集会，2021 年 11 月 5-7 日，熊本（Web）
8．宇都宮與，中野伸亮，徳永雅仁，小田原淳，宮園卓宜，藤野聡司，伊藤能清，米倉健太郎，田代幸恵，高塚祥芝，竹内昇吾，内丸薫，渡邉俊樹：同種造血幹細胞移植後長期生存している ATL 患者の移植後の末梢血 HTLV-1 プロウイルス量の推移．第 7 回日本 HTLV-1 学会学術集会，2021 年 11 月 5-7 日，熊本（Web）

循環器内科

今村総合病院

＜国内＞

1．肥後建樹郎，立志公史郎，鮫島光平，樋渡沙和子，大石充：ペースメーカー移植後に発症したこつぼ心筋症の回復過程において心尖部肥大型心筋症様の形態を示した一例．第 131 回日本循環器学会九州地方会，2021 年 12 月 4 日，福岡（Web）
2．肥後建樹郎，立志公史郎，鮫島光平，樋渡沙和子，大石充：維持透析患者においてその後のドライウエイト（DW）減量イベントを予測する因子の検討．第 131 回日本循環器学会九州地方会，2021 年 12 月 4 日，福岡（Web）

小児科

今村総合病院

1．関祐子，堀口達史，柿本令奈，森田智，玉田泉，溝田美智代：学校検診の成長曲線で発見された胚細胞腫の 11 歳女児例．第 54 回日本小児内分泌学会学術集会，2021 年 10 月 28-30 日，Web
2．三浦希和子，関祐子，森田智，溝田美智代，辻井利弥，佐藤秀夫：新生児期に骨形成不全症と診断されていた周産期良性型低ホスファターゼ症．第 178 回日本小児科学会鹿児島地方会，2022 年 2 月 6 日，Web
3．関祐子，三浦希和子，森田智，溝田美智代，玉田泉，奥章三，天野直子，内田登，長谷川奉延：発症時期の異なった DAX1 異常症の一家系例．第 5 回日本小児内分泌学会九州・沖縄地方会，2022 年 2 月 11 日，Web

脳神経内科

今村総合病院

1．森拓馬，牧美充，石川文，野村美和，渡邊修：当科における意識障害等に対する初期対応でのアプローチ．第 62 回日本神経学会学術大会，2021 年 5 月 19-22 日，京都（Web）
2．森拓馬，有水琢朗，浜田恭輔，山下ひとみ，濱田陸三，神田直昭：透析導入を契機にてんかん発作を繰り返した脳卒中後てんかんの一例．第 234 回日本神経学会九州地方会，2021 年 12 月 4 日，Web

3．森拓馬，有水琢朗，牧野隆太郎，浜田恭輔，山下ひとみ，町田明理，谷口歩，濱田陸三，神田直昭：当院における透析患者の脳出血の特徴について．第 47 回日本脳卒中学会学術集会，2022 年 3 月 17-19 日，大阪（Web）

脳神経外科

今村総合病院

1．牧野隆太郎，藤尾信吾，花田朋子，米永理法，有田和徳，吉本幸司：先端巨大症における遅発性術後低ナトリウム血症の予測因子．第 21 回日本内分泌学会九州支部学術集会，2021 年 9 月 4 日，Web
2．牧野隆太郎，藤尾信吾，花田朋子，米永理法，有田和徳，吉本幸司：腫瘍再発後に補充療法の再開が悩まれる AGHD 症例の検討．日本脳神経外科学会第 80 回学術総会，2021 年 10 月 27-30 日，横浜（Web）
3．牧野隆太郎，藤尾信吾，花田朋子，米永理法，有田和徳，吉本幸司：先端巨大症における遅発性術後低ナトリウム血症の予測因子．第 31 回臨床内分泌代謝 Update，2021 年 11 月 26-27 日，大阪（Web）
4．牧野隆太郎，藤尾信吾，花田朋子，米永理法，有田和徳，吉本幸司：自験例におけるラトケ嚢胞術後の内分泌学的転帰について．第 32 回一般社団法人日本間脳下垂体腫瘍学会，2022 年 2 月 18-19 日，東京（Web）
5．森拓馬，有水琢朗，牧野隆太郎，浜田恭輔，山下ひとみ，町田明理，谷口歩，濱田陸三，神田直昭：当院における透析患者の脳出血の特徴について．第 47 回日本脳卒中学会学術集会，2022 年 3 月 17-19 日，大阪（Web）

麻酔科・ペインクリニック内科

今村総合病院

1．鈴木有希，東美木子，蓑田祐子，森山孝宏：当院における末梢性顔面麻痺の治療についての検討．日本ペインクリニック学会第 55 回学術集会，2021 年 7 月 22-24 日，富山（Web）
2．鈴木有希，東美木子：新型コロナウイルスワクチン接種後の左上肢痛に対し、薬物療法と星状神経節近傍照射（SGL）で加療した 1 例．第 51 回日本慢性疼痛学会，2022 年 2 月 25-26 日，佐賀（Web）
3．下野裕生：青壮年患者に対するレミマゾラム麻酔にフルマゼニルを用いたときの抜管時間とレミマゾラム麻酔の術後悪心・嘔吐について．第 63 回鹿児島麻酔懇話会，2022 年 3 月 12 日，鹿児島

スポーツ整形外科

今村総合病院

1．前園恵慈：Outside-in 法骨付き膝蓋腱前十字靱帯再建術における長方形骨孔と正円骨孔の大腿骨孔拡大の比較．JOSKAS/JOSSM　meeting　2021（第 13 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会　第 47 回日本整形外科スポーツ医学会学術集会），2021 年 6 月 17-19 日，札幌（Web）
2．上薗直弘：小児の脛骨付着部剥離骨折を伴う膝蓋腱断裂に対してスーチャーブリッジ法にて修復した一症例．JOSKAS/JOSSM　meeting　2021（第 13 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会　第 47 回日本整形外科スポーツ医学会学術集会），2021 年 6 月 17-19 日，札幌（Web）

精神科

今村総合病院

1．永田青海，室屋真二，江口政治，前田冬海，鶴田奈緒美，上野彩乃，尾方智恵子，地頭所孝之：今村総合病院における認知症ケアチームの取り組み．第 105 回鹿児島精神神経学会，2021 年 12 月 4 日，鹿児島

歯科口腔外科

今村総合病院

1．新田哲也，平原成浩，松村吉晃，中村康大，西慶太郎，坂元亮一，上川善昭：オトガイ下部膿瘍で緊急入院後に処方整理を行った高齢患者のポリファーマシー．第 41 回日本歯科薬物療法学会学術大会，2021 年 9 月 25 日，Web

糖尿病内科

いづろ今村病院

1．鎌田哲郎，新中須敦，田川理笑，堂園直樹，竹内直矢，大重聡彦，上久保定一郎，尾堂ゆかり，西尾善彦：外来糖尿病患者における歩数測定実施状況とその効果（アンケート調査から）．第 64 回日本糖尿病学会年次学術集会，2021 年 5 月 20-22 日，Web
2．内田紗弥，中薗智美，新中須敦，田川理笑，堂園直樹，竹内直矢，大重聡彦，上久保定一郎，尾堂ゆかり，鎌田哲郎，西尾善彦：外来糖尿病患者におけるコンビニ食に関するアンケート調査．第 64 回日本糖尿病学会年次学術集会，2021 年 5 月 20-22 日，Web
3．新中須敦，鎌田哲郎，和田華菜子，竹内直矢，竹迫慎平，田川理笑，西尾善彦：高血糖入院症例におけるインスリングラルギン／リキシセナチド配合注の有効性．第 59 回日本糖尿病学会九州地方会，2021 年 11 月 19-20 日，那覇（Web）
4．鎌田哲郎，新中須敦，和田華菜子，竹内直矢，竹迫慎平，田川理笑，石橋和久，大重聡彦，上久保定一郎：インスリン取り違えによる低血糖事故から学んだこと．第 59 回日本糖尿病学会九州地方会，2021 年 11 月 19-20 日，那覇（Web）
5．和田華菜子，新中須敦，竹内直矢，竹迫慎平，田川理笑，鎌田哲郎，西尾善彦：社会資源を見据えた加療を行った超高齢発症の SPIDDM．第 59 回日本糖尿病学会九州地方会，2021 年 11 月 19-20 日，那覇（Web）
6．竹迫慎平，新中須敦，竹内直矢，田川理笑，和田華菜子，鎌田哲郎，西尾善彦：清涼飲料水ケトアシドーシスを契機に急性発症 1 型糖尿病と判明した症例．第 59 回日本糖尿病学会九州地方会，2021 年 11 月 19-20 日，那覇（Web）

緩和ケア内科

いづろ今村病院

1．松下格司，原田尚毅，赤尾円，平石敬美，稲森佳子：肺カルチノイド症例に生じたカルチノイド症候群に対する 5-HT3 受容体拮抗薬の効果の検討．第 26 回日本緩和医療学会，2021 年 6 月 18-19 日，横浜（Web）

かごしまオハナクリニック

1．横山大輔，林恒存：在宅における死前喘鳴に対する薬物使用の妥当性についての考察．日本プライマリ・ケア連合学会第 16 回九州支部総会・学術大会，2022 年 2 月 13 日，鹿児島

輸血管理部

今村総合病院

1．宮園卓宜，中島彩乃，藤山裕輝，松山淳史，新屋果蓮，小田原千里，牧野桃子，兼石知香，久保友恵，小田原淳，中野伸亮，宇都宮與，帆北修一：ヒト骨髄由来間葉系幹細胞テムセル HS 注に対する当院での運用体制について．第 69 回日本輸血・細胞治療学会学術総会，2021 年 6 月 4-6 日，東京（Web）

2．藤山裕輝：細胞治療認定管理師制度試験受験予定者のためのガイダンス「細胞治療認定管理師制度試験を受験して．第 69 回日本輸血・細胞治療学会学術総会，2021 年 6 月 4-6 日，東京（Web）

3．宮園卓宜，中島彩乃，藤山裕輝，新屋果蓮，小田原千里，牧野桃子，兼石知香，久保友恵，小田原淳，中野伸亮，宇都宮與，帆北修一：鹿児島県内輸血医療の向上を目的とした輸血ラウンド動画の作成．日本輸血・細胞治療学会九州支部会第 68 回総会・第 89 回例会，2021 年 12 月 11 日，大分（Web）

看護部

今村総合病院

1．中谷明実，飯ヶ谷尚美，吉森みゆき，北原美代子，帆北修一：A 病院における COVID-19 患者の受け入れの現状と課題～看護管理者の視点から～．日本医療マネジメント学会第 19 回九州・山口連合大会，2021 年 11 月 20-21 日，Web

2．飯ヶ谷尚美, 中谷明実, 吉森みゆき, 北原美代子, 帆北修一:A 病院における COVID-19 病棟の看護師のストレス調査．日本医療マネジメント学会第 19 回九州・山口連合大会，2021 年 11 月 20-21 日，Web

3．吉森みゆき，斎藤潤栄，下江理沙，川村英樹：COVID-19 に関する鹿児島県感染症チームの活動の取り組み．日本医療マネジメント学会第 19 回九州・山口連合大会，2021 年 11 月 20-21 日，Web

4．井手扶紗:尿路結石治療におけるクリティカルパス運用実績と今後の課題．日本医療マネジメント学会第 19 回九州・山口連合大会，2021 年 11 月 20-21 日，Web

谷山病院

1．東千夏，河野朱音，並河恵，竹内清香：長期隔離患者に対する看護者の意識変化～ストレングス・マッピングシートを用いたかかわりを通して～．第 46 回日本精神科看護学術集会，2021 年 6 月 11-13 日，Web

2．橋口めぐみ, 西郷樹奈, 岡村理恵, 児玉康恵:迷惑行為を繰り返す長期隔離患者に対する看護師の意識変化～対応マニュアル作成の効果～．第 46 回日本精神科看護学術集会，2021 年 6 月 11-13 日，Web

奄美病院

1．柏原美喜子：精神科開放病棟における服薬自己管理の推進～服薬自己管理へ向けてのチェックリスト作成～．第 28 回日本精神科看護専門学術集会，2021 年 10 月 16-17 日，Web

2．松下理絵:スタッフが安心して働ける職場作りのために．第 28 回日本精神科看護専門学術集会, 2021 年 10 月 16-17 日，Web

リハビリテーション部

今村総合病院　理学療法士

1．野﨑聖矢：化学療法を施行した造血器腫瘍患者への運動療法効果と疾患別の特徴．九州理学療法士学術大会 2021 from SASEBO，2021 年 10 月 16-17 日，長崎（Web）

2．宮ヶ原卓：視床出血後に Pusher 症状を呈し、ADL 能力の獲得に時間を要した症例．リハビリテーション・ケア合同研究大会 兵庫 2021，2021 年 11 月 18-19 日，兵庫（Web）

3．黒仁田武洋：運動量増加機器であるウォークエイドを使用した電気刺激により、立ち上がり・歩行の変化が見られた脳梗塞患者の一症例. 回復期リハビリテーション病棟協会　第 39 回研究大会 in 東京, 2022 年 2 月 4-5 日, 東京（Web）

今村総合病院　言語聴覚士

1．濵祐太：回復期の失語症患者におけるコミュニケーション能力と言語機能および知的機能に関する研究．第22回日本言語聴覚学会，2021年6月19日，Web
2．松下とも子，中島史博，若松藍，寺園隆宏，船間孝太，堂園浩一朗：言語環境の調整により自宅1人暮らしで自宅復帰が可能となった失語症の1例．回復期リハビリテーション病棟協会　第39回研究大会 in 東京，2022年2月4日，Web
3．鮫島悠子，堂園浩一朗：完全側臥位法を導入し自宅退院に至った超高齢者の一例．第35回鹿児島リハビリテーション研究会，2022年3月5日，Web
4．松下とも子，石丸夏姫，前田彩綾，森拓馬，吉田一成，堂園充代，奈良聡一郎，有水琢朗，堂園浩一朗：嚥下困難の訴えをきっかけに重症筋無力症（MG）の診断に至った1例．第16回鹿児島摂食嚥下リハビリテーション研究会，2022年3月19日，Web

薬剤部

今村総合病院

1．鬼丸俊司，松山淳史，木下大夢，橋本直美：新型コロナウイルス感染症流行下での病院薬剤師業務について．第54回日本薬剤師会学術大会，2021年9月19-20日，Web

画像診断／放射線治療部

今村総合病院

1．馬場隆行，中田有希乃，小林晃也，蓑田辰則：X線撮影室において鏡は最強のコミュニケーションツールとなるか．第37回日本診療放射線技師学術大会，2021年11月12日，東京
2．馬場隆行：鏡と合板を活用してX線撮影をバージョンアップする．第16回九州放射線医療技術学術大会，2021年12月11日，佐賀
3．市來守，小澤修一，常峰將吾，牧野竜大，上川翔美，髙山大史，大西孝志，橋口大喜：DICOM RT ビューワと治療計画装置の線量指標整合性評価．第35回高精度放射線外部照射部会学術大会，2022年3月5日，愛知（Web）
4．市來守，小澤修一，常峰將吾，牧野竜大，上川翔美，髙山大史，西田博利，内山典明，土器屋卓志:DICOM RT ビューワのクラウドサービスを用いた放射線治療計画の遠隔承認プロセスの検討．第35回高精度放射線外部照射部会学術大会，2022年3月5日，愛知（Web）

臨床検査部

今村総合病院

1．藤山裕輝：細胞治療認定管理師制度試験受験予定者のためのガイダンス 細胞治療認定管理師制度試験を受験して．第69回日本輸血・細胞治療学会学術総会，2021年6月4-6日，東京（Web）

管理栄養部

いづろ今村病院

1．内田紗弥，中薗智美，新中須敦，田川理笑，堂園直樹，竹内直矢，大重聡彦，上久保定一郎，尾堂ゆかり，鎌田哲郎，西尾善彦:外来糖尿病患者におけるコンビニ食に関するアンケート調査．第64回日本糖尿病学会年次学術集会，

2021 年 5 月 21 日，Web

臨床工学部

今村総合病院

1．川井田季睦，雪松慎太郎，坂口政人，越智秀美，原康隆：バスキュラーアクセス管理でのシャントエコー導入後のシャントエコー件数増加に伴う測定・評価方法の検討．第 31 回日本臨床工学会，2021 年 5 月 22-23 日，熊本（Web）

事務部

今村総合病院

1．鈴木大輔，有島尚亮：現場力を活かしたチームで取り組むコスト削減の効果について－病院運営費管理委員会の成果報告－．日本医療マネジメント学会第 19 回九州・山口連合大会，2021 年 11 月 20-21 日，福岡

法人事業本部

1．今村英仁：未来を創る病院の「食」とは～病院給食の現状と今後の課題～．第 62 回全日本病院学会 in 岡山，2021 年 8 月 21-22 日，岡山（Web）

鹿児島中央看護専門学校

1．高山理恵：看護基礎教育におけるアクションカードを使用した災害看護演習での学習効果 . 日本災害看護学会第 23 回学術集会，2021 年 9 月 4 日，Web

【第１回慈愛会学会学術集会】

2021 年 7 月 10 日　鹿児島県市町村自治会館

＜口演＞

第Ⅰセッション〔医療・福祉の質〕

1．今村総合病院　理学療法士 武清孝弘，村山芳博，医師 中野伸亮，伊藤能清，宇都宮與，堂園浩一朗：同種造血幹細胞移植患者における身体機能変化　＊優秀発表

2．今村総合病院　看護師 川口詩織，徳田加奈子，上山りえ，池田清夏：造血幹細胞移植予定患者へ Jonsen4 分割法を用いたカンファレンスが看護師の移植前介入に与えた影響

3．今村総合病院　医師 貴島佳子：頑張る女性の心身の不調に漢方療法

4．今村総合病院　薬剤師 鬼丸俊司，松山淳史，慈愛会　薬剤師 山口辰哉：医療用医薬品安定確保への対応・取り組み

5．今村総合病院　医師 馬場研二，永峯佳尚，福久はるひ，田辺寛，上之園芳一，帆北修一：消化器外科による最新の大腸癌治療～腹腔鏡手術と化学療法の進歩～

6．谷山病院　医師 高橋誉, 薬剤師 馬場貴子, 田代佳代, 看護師 内田宏貴, 伊地知綾美:当院での LAI（持続性注射製剤）チームの取り組みについて

第Ⅱセッション〔人材育成・医療安全・働き方改革〕

1．今村総合病院　看護師 平川 あゆみ，池田 慎，青山 恵太，福田 美幸：二次救急病院でのアクションカードを用いた災害発生に備えた取り組み ～救急総合内科外来での災害図上訓練の実施による看護師の心境の変化～

2．今村総合病院 看護師 浜崎彩，稲森晃，切手康加，中村倫丈，平川あゆみ，いづろ今村病院　看護師 中窪 尊子：Jining 活動報告 ～ 4 年間の PAT 研修の活動と今後の課題～

3．谷山病院　看護師 潮昌子：専門職としての自律とやる気を上げる組織風土に向けた取り組み　＊特別賞

4．徳之島病院　看護師 福島絵理子，介護福祉士 山上清美，東郷かね子，宮永梨恵：外国人技能実習生受け入れによる介護福祉士・ナースエイドの意識の変化 ～指導的立場になることの影響について探る～

5．鹿児島中央看護専門学校２年課程（通信制）看護科　専任教員 丸山さゆり，豊田智子，南ひとみ：実習や授業を通して印象に残った場面の記述内容の分析 ～２年課程（通信制）で准看護師に付与された学び～

6．今村総合病院　理学療法士　松元龍，永松健太郎，浜田香穂麗，村山芳博，医師　堂園浩一朗：当院病棟職員の腰痛と関連因子

第Ⅲセッション〔医療・福祉の質〕

1．今村総合病院　理学療法士 桑野大介，村山芳博，看護師 中村倫丈，医師 堂園 浩一朗:集中治療室でのリハビリテーションを振り返る ～開設時と現在との比較で見えてくるもの～

2．今村総合病院　看護師 中村倫丈，越口晋伍，菅原智恵，嘉村早苗，理学療法士 桑野大介：ICU 患者のせん妄発症に関する調査 ～関連する危険因子の実態から見えてきたこと～

3．谷山病院　精神保健福祉士 前田結華，看護師 坂口純也，日高久美，土山芳枝，奥由香，東千夏：「退院支援パス」立ち上げ活動報告 ～円滑な退院支援のために～

4．介護老人保健施設 愛と結の街　介護福祉士 野口文子，倉本広幸，小牟禮輝行，松元翼：在宅復帰に向けての自立支援

5．谷山病院　看護師 濵田多美枝，遠藤悠矢，長瀧あかり：同じ時を過ごす思い出作り ～コロナ禍での患者支援～

6．奄美病院　看護師 川畑富士美：倫理的問題を解決するための支援 ～変革理論を用いたアプローチ～

第Ⅳセッション〔医療経済・地域医療〕

1．いづろ今村病院　薬剤師 野元優基，内山ゆかり，東條知子，東屋敷史織，遠矢素子，神門孝典，慈愛会　薬剤師 山口辰哉，いづろ今村病院 医師　長野 真二郎：薬剤総合評価調整加算・薬剤調整加算を算定した症例の報告 ポリファーマシー解消を目指した取り組み　＊優秀発表

2．いづろ今村病院　事務 松下雅和，猿渡光，八反田愛：看護必要度分析

3．法人事業本部　事務 高野正樹，内田良慶，いづろ今村病院　管理栄養士 中薗智美，今村総合病院　管理栄養士 七枝美香：入院時食事療養費制度改正に向けた取り組み（実践報告）

4．笹貫訪問看護ステーション 愛の街　看護師 仮屋薗綾，中田絵里，米澤美智代：顔面領域における癌性悪臭対策の検討 ～尊厳ある生活を支えるために～　＊優秀発表

5．今村総合病院　医師 浜田恭輔，永野祐志，児島史一，町田明理，大山賢，脇田政之，濱田陸三，神田直昭：遠隔画像診断による当院の医療貢献 ～南薩地区における脳卒中患者に対する診断・治療介入について～

6．かごしまオハナクリニック　医師 林恒存，﨑山隼人，看護師 西方マリ子，宮路千代美，宮脇めぐみ，事務 西田智美，横峯三夏，中谷紗織：かごしまオハナクリニックに期待される在宅医療の役割　についての考察　＊最優秀発表

＜ポスター＞

1．いづろ今村病院　医師 石澤隆，瀧川譲治：いづろ今村病院　肛門外科の現状

2．いづろ今村病院　看護師 植木真樹子：大腸がんの精検受診率を上げるために～受診推奨のシステムづくり～

3．いづろ今村病院　看護師 里之園美佐代：緩和ケア内科の訪問診療同行について ～円滑に緩和の訪問診療が行える体制作り～

4．いづろ今村病院　看護師 楠原葉子，有村智美：口腔ケアに関する現状調査

5．いづろ今村病院　看護師 圖師知江，落司文月，宮脇美穂，岩切郁美，福盛貴子：当病棟における内服管理フローチャート導入の検討

6．いづろ今村病院 看護師 大野ひとみ：手術後訪問のシステム作りと充実を目指して

7．いづろ今村病院　看護師 北菜津美：手術室における災害発生時の対応

8．今村総合病院　臨床検査技師 塩浦卓也：経過中に心尖部肥大型心筋症様の形態を呈したたこつぼ型心筋症の一例

9．今村総合病院　診療放射線技師 市來守，牧野竜大，上川翔美，髙山大史，惠智徳，医師 内山典明，西田博利，土器屋卓志，米倉健太郎：強度変調放射線治療を用いた全身皮膚周囲照射の放射線治療計画に関する報告　＊最優秀発表

10. 今村総合病院　看護師 橋口諒一郎，崎口茜，川崎凛，惠真紀：局所麻酔手術を受ける皮膚科患者の術前訪問の充実を図る　＊優秀発表

11. 谷山病院　薬剤師 染川考佑，新村味穂子，四本晶子，馬場貴子，幸田将輝，稲森志織，田代佳代，大平有紗，慈愛会　薬剤師 山口辰哉：精神科チーム医療における薬剤師の役割

12. 谷山病院　精神保健福祉士 古園友理恵，看護師 田中光代：クロザリルパスに関する報告 ～従来パスからの改良～

13. 谷山病院　作業療法士 黒木貴博：認知症疾患治療病棟での家族交流会が参加者に与える影響

14. 谷山病院　理学療法士 古園龍也：精神科病院での理学療法業務を経験して ～今後の課題と展望～

15. 谷山病院　看護師 岡村理恵：慢性期閉鎖病棟の OT の参加率をあげるために ～オペラント条件づけ技法を用いてみて～

16. 谷山病院　看護師 永迫智子：精神科身体合併症病棟における看護の質保証 ～カンファレンスの実態報告と考察～

17. 徳之島病院　作業療法士 小澤孝典，真喜志元希，看護師 嶺井千春，上野博之，幸春奈，久保美杉，准看護師 伊藤智子，精神保健福祉士 梅岡啓香，川原香織：心理教育の導入の振り返りと普及への課題 ～フィデリティ尺度とヒアリング調査から～　＊優秀発表

18. 介護老人保健施設 愛と結の街　介護福祉士 中間敏子，作業療法士 村井真由美：短時間通所リハビリの成果と課題について ～利用者の心身機能・ADL 変化・ニーズを知り今後の支援に繋げる～
19. デイサービスセンターあしたの風　介護福祉士 畠中政樹，田中慶，看護師 徳田めぐみ，ナースエイド 下園あけみ：家族の受容の段階や介護力に合わせた支援
20. グループホーム愛と結の街　介護福祉士 西七海，福満貴幸，宮田強：自分で美味しく食べるために 自己摂取への取り組み ＊優秀発表
21. いづろ今村病院　看護師 岩元美樹，脇志織，前田みさき，内大久保恵，福盛貴子：繰り返される注射のインシデントの要因調査 ～スタッフの属性に焦点を当てて～　＊優秀発表
22. いづろ今村病院　看護師 假屋敬子：眼科外来の災害マニュアル作成 ～日常より防災に努め、災害発生時に役割を把握し安全に行動ができる～
23. 谷山病院　看護師 児玉康恵：医療安全意識の定着に向けて ～インシデントレポートの推進～
24. 法人事業本部　事務 中馬敦志，高野正樹，いづろ今村病院　事務　瀬地山寛史，猿渡光，松下雅和：施設基準新規取得の取り組みと課題～戦略的施設基準取得の第一歩～
25. 谷山病院　看護師 有木攻：新型コロナウイルス感染症流行下での学習取り組みの報告
26. 奄美病院　看護師 中村美千代：介護福祉士の教育支援 ～協働体制の構築を目指して～
27. 鹿児島中央看護専門学校 3 年課程看護科　専任教員 高山理恵，大保まり子，久徳美鈴：災害トリアージ演習における看護学生の心のケアを重視した教育方法の効果
28. いづろ今村病院　管理栄養士 中薗智美，今村総合病院　管理栄養士 七枝美香，谷山病院　管理栄養士 四本悠佳，愛と結の街　管理栄養士 宮路ゆかり，奄美病院　管理栄養士 和田裕美，徳之島病院　管理栄養士 清水崇，法人事業本部　事務 高野正樹：慈愛会栄養部門 WG の取り組み～栄養部門の一体化を目指して～
29. 谷山病院　看護師 中薗明子：働きやすい職場環境つくり ～インデックス調査結果より～
30. 谷山病院　看護師 平松秀明：TQM 推進者としての QC 活動への支援と教育
31. 徳之島病院　事務 三原義己，森田愛華，米村優子，稲村未菜美，龍野将太：コロナ禍における業務改善
32. 介護老人保健施設 愛と結の街　看護師 福元利英，介護福祉士 福元綾子，加納美紀，迫田沙織，中村美貴：業務改善 ～インカムを導入して～
33. いづろ今村病院　看護師 前田莉菜：外科外来業務内容の確立に向けて
34. いづろ今村病院　保健師 松下祥子：特定保健指導マニュアルについて ～実施から入力、請求までの過程～
35. いづろ今村病院　保健師 内村祐子：ドックカンファレンス短縮に向けての取り組み
36. いづろ今村病院　保健師 中村好美：効果的な特定保健指導実施に向けて
37. いづろ今村病院　看護師 柳井谷みさき：手術室業務の改善 ～少人数スタッフで業務を安全に効率よく行う～
38. 徳之島病院　医師 末満 純一：第一回学術集会にあたり

（所属は演題登録時）

【研究会・講演会】

血液内科

今村総合病院

1．中野伸亮：当院におけるPTCLに対するブレンツキシマブベドチンの使用経験およびATLに対する同種移植の試み．Lymphoma Web Seminar in Oita，2021年4月15日，大分（Web）
2．伊藤能清：AMLの診断と治療について．社外講師講演会，2021年4月15日，Web
3．小田原淳：多発性骨髄腫の治療について．Multiple Myeloma Seminar in Kanoya，2021年4月30日，Web
4．宇都宮與：ウイルスが原因となる白血病と治療法．第37回日本癌学会　市民公開講座，2021年5月16日，宮崎（Web）
5．宮園卓宜：ムンデシン投与により長期奏功が維持された高齢発症MEITLの一例．PTCLの臨床と病理 Web Conference，2021年6月3日，Web
6．小田原淳：当院におけるサークリサの使用経験．第2回鹿児島MMカンファレンス，2021年6月18日，Web
7．中野伸亮：当院におけるPTCLに対するブレンツキシマブベドチンの使用経験およびATLに対する同種移植の試み．Lymphoma Web Seminar in kyushu，2021年7月20日，宮崎
8．宇都宮與：ATL治療とハイヤスタ錠の可能性．Meiji Seika ファルマwebカンファレンス，2021年7月27日，Web
9．宇都宮與，中野伸亮，徳永雅仁：同種造血幹細胞移植後1年以上生存し末梢血中のHTLV-1 PVL測定を施行したATL症例の解析．国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）革新的がん医療実用化研究事業「遺伝子異常の全貌とクローン構造の理解に基づくATL個別化診療の確立」（研究代表者　下田和哉）令和3年度第1回班会議，2021年7月29日，宮崎（Web）
10. 中野伸亮：同種移植後再発ATLに対する治療戦略．九州ATLカンファレンス，2021年8月5日，Web
11. 伊藤能清：Ph+ALL Treatment．Ph+Leukemia Web Seminar from Fukuoka，2021年10月9日，福岡
12. 宇都宮與：ATL治療への取り組みとハイヤスタ錠の可能性．ハイヤスタ錠発売記念講演会，2021年10月21日，岡山（Web）
13. 中野伸亮：同種移植再発ATLに対する治療戦略と新規薬剤の使用経験．南九州移植セミナー，2021年10月25日，Web
14. 宇都宮與：成人T細胞白血病リンパ腫（ATL）～ATL治療への取り組み～．血液がんフォーラム2021，2021年11月20日，東京（Web）
15. 伊藤能清：変わりゆく白血病の治療．Onco-Cardiology Webセミナー～血液がん～，2021年12月2日，Web
16. 宇都宮與：ATL治療とハイヤスタ錠の可能性．ハイヤスタ錠発売記念講演in岩手，2021年12月16日，岩手（Web）
17. 宮園卓宜：Isa ± d療法の位置づけを考える．サークリサOnlineサテライト講演会，2021年12月17日，Web
18. 中野伸亮：ATLに対する同種移植及び新規薬物を用いた治療戦略．ハイヤスタ錠発売記念　再発難治の悪性リンパ腫治療を考える会，2022年1月13日，山形（Web）
19. 宇都宮與：ATL治療の変遷と新規治療．meiji血液Forum in AKITA，2022年1月20日，秋田（Web）
20. 中野伸亮：同種移植後再発ATLに対する治療戦略を考える．Meiji Seika ファルマ　Webカンファレンス，2022年1月25日，東京（Web）
21. 伊藤能清：TKIによるPh+ALL治療の進歩．進化するPh+ALL治療～MRDモニタリングの重要性と予後～，2022年1月18日，Web
22. 中野伸亮：CD30陽性ATLに対する治療を考える．Peripheral T-cell Lymphoma Web Conference，2022年3月16日，福岡（Web）

臨床研究センター

今村総合病院

1．宇都宮與：医学系研究の倫理指針の改定と当院での倫理申請と承認の流れ．今村総合病院職員教育研修会，2021 年 12 月 27 日，院内（Web）

HTLV-1 研究センター

今村総合病院

1．宇都宮與:ウイルスが原因となる白血病と治療法．第 37 回日本癌学会　市民公開講座, 2021 年 5 月 16 日, 宮崎（Web）
2．宇都宮與，中野伸亮，徳永雅仁：同種造血幹細胞移植後 1 年以上生存し末梢血中の HTLV-1 PVL 測定を施行した ATL 症例の解析．国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）革新的がん医療実用化研究事業「遺伝子異常の全貌とクローン構造の理解に基づく ATL 個別化診療の確立 」（研究代表者　下田和哉）令和 3 年度第 1 回班会議，2021 年 7 月 29 日，宮崎（Web）
3．宇都宮與：ATL 治療への取り組み．NPO 法人キャンサーネットジャパン オンライン血液がんフォーラム 2021，2021 年 11 月 20 日，Web
4．宇都宮與:ATL と HTLV-1 の最近の話題について．令和 3 年度 HTLV-1 対策講演会, 2022 年 2 月 20 日, 鹿児島（Web）

皮膚科

今村総合病院

1．米倉健太郎：当院における乾癬の病診連携～病院の立場から～．第 194 回鹿児島県皮膚科医部会例会, ．2021 年 4 月 10 日，鹿児島（Web）
2．米倉健太郎：今村総合病院皮膚科における IL23 治療戦略～自験例を通して～． SKYRIZE EXPERT MEETING，2021 年 4 月 16 日，Web
3．米倉健太郎：再発 / 難治性 CTCL の治療におけるデ二ロイキン ジフチトクスの位置づけ． Lymphoma Zoom Seminar，2021 年 4 月 27 日，Web
4．米倉健太郎:なぜ、いまさら TNF α 阻害薬なのか？． UCB Psoriasis Web Seminar in Kyushu，2021 年 5 月 13 日，鹿児島（Web）
5．米倉健太郎：皮膚疾患治療と医療費について．乾癬セミナー in 北薩，2021 年 5 月 20 日，薩摩川内
6．米倉健太郎：中核病院における乾癬治療～現状および今後のあり方～．Psoriasis Treatment Meeting in かごんま，2021 年 5 月 22 日，鹿児島（Web）
7．米倉健太郎：CTCL 最新の治療．長久手皮膚科セミナー，2021 年 6 月 2 日，Web
8．米倉健太郎：当院におけるアトピー性皮膚炎の治療～これまでとこれから～．鹿児島の AD 治療について語る会，2021 年 6 月 9 日，鹿児島（Web）
9．米倉健太郎：基幹病院における JAK 阻害薬の位置づけ． Atopic Dermatitis JAK Conference 2021，2021 年 6 月 22 日，福岡（Web）
10．米倉健太郎：今村総合病院皮膚科における地域連携といづろ今村病院皮膚科開設による更なる体制強化．連携の会 Web seminar，2021 年 6 月 25 日，鹿児島（Web）
11．米倉健太郎：再発 / 難治性 CTCL の治療の現状とこれから - デ二ロイキン ジフチトクスの位置づけについて -．第 37 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会　ランチョンセミナー，2021 年 7 月 8-10 日，長野県松本市（Web）
12. 米倉健太郎:乾癬･アトピー性皮膚炎　最新の治療と医療費．Lilly AD Web seminar, 2021 年 9 月 16 日, 鹿児島（Web）
13. 米倉健太郎:当院におけるグセルクマブの使用経験. 宮崎県乾癬研究会～関節症性乾癬･膿疱性乾癬の治療について～，2021 年 9 月 16 日，宮崎（Web）

14. 米倉健太郎:CTCLの最新の治療．皮膚悪性腫瘍WEBセミナーin北海道,2021年9月27日,旭川･筑波･鹿児島(Web)
15. 米倉健太郎：アトピー性皮膚炎　新規治療薬への当院での対応状況．鹿児島県皮膚科医部会共催セミナー，2021年10月13日，鹿児島（Web）
16. 米倉健太郎：グセルクマブのGPP･PPPに対する使用経験．鹿児島県皮膚科医部会学術講演会，2021年10月23日，鹿児島（Web）
17. 米倉健太郎:HTLV-1と乾癬治療～WJPRでのHTLV-1キャリア調査結果を含めて～．第3回乾癬合併症対策講演会，2021年11月10日，福岡
18. 米倉健太郎：長期寛解維持を目指したアトピー性皮膚炎の治療戦略．Atopic Dermatitis Webinar in KAGOSHIMA，2021年11月15日，鹿児島（Web）
19. 米倉健太郎：デュピルマブ導入に必要な医療費助成制度の知識．Atopic Dermatitis biological Seminar - 実臨床における生物学的製剤導入の工夫 -，2021年11月24日，岡山（Web）
20. 米倉健太郎：CTCLの最新の治療．第9回福島皮膚免疫アレルギー懇話会，2021年12月14日，福島（Web）
21. 米倉健太郎：皮膚科医のための乾癬治療の医療費の知識と当院におけるグセルクマブの使用経験．Psoriatic Arthritis Web Seminar，2021年12月15日，Web
22. 米倉健太郎：CTCLの最近の治療．皮膚腫瘍Web Conference，2021年12月17日，Web
23. 米倉健太郎：CTCLの最近の治療薬．第2回九州皮膚リンパ腫症例検討会，2021年12月18日，福岡（Web）
24. 米倉健太郎：乾癬におけるIL-23製剤の位置づけ．日本皮膚科学会第233回熊本地方会　スポンサードセミナーII，2021年12月19日，熊本（Web）
25. 米倉健太郎：進行期CTCLの治療．皮膚悪性リンパ腫セミナー，2021年12月21日，岡山（Web）
26. 米倉健太郎：乾癬・アトピー性皮膚炎における各種薬剤の使い分け．皮膚科セミナーin北薩，2022年1月20日，薩摩川内
27. 米倉健太郎：CTCLの最新の治療．静岡東部地区 皮膚科領域Webセミナー，2022年3月10日，静岡（Web）

外科・消化器外科

今村総合病院

1．馬場研二：CVポートセミナーin鹿児島～上腕ポート留置のコツとポットフォール～．2021年6月22日，Web
2．帆北修一:ルールを守らないことで発生するリスクルールを遵守するための環境づくり．第8回鹿児島セーフティーマネジメント研究会学術集会，2021年6月26日，鹿児島
3．帆北修一：医師の働き方改革について～当院における取組～．厚生労働省　トップマネジメント研修，2022年1月13日，Web

消化器内科

今村総合病院

1．田口宏樹：切除不能膵癌におけるオニバイド®の使用経験（パネリスト）．2021年11月26日，Pancreatic Cancer Expert Meeting in Kagoshima，鹿児島

泌尿器科

今村総合病院

1．中川昌之：喫煙と泌尿器癌．第15回日本禁煙学会シンポジウム，2021年10月16日，大分

2．中川昌之：進行性腎がんに対する薬物療法の新展開．宮崎泌尿器セミナー，2022 年 1 月 22 日，宮崎

救急総合内科

今村総合病院

1．伊藤加菜絵：リウマチの治療方針～多診療科の視点から～．RA Web meeting in Kagoshima，2021 年 5 月 29 日，鹿児島（Web）

2．西垂水和隆：ケースカンファレンス．総合診療スキルアップセミナー，特定非営利活動法人日本医療教育プログラム推進機構（JAMEP），2021 年 11 月 28 日，Web

3．西垂水和隆：開業医の開業医による 医師と医学生のための医学塾．21 世紀適々斎塾 オンラインセミナー，2022 年 2 月 27 日，Web

4．伊藤加菜絵：リウマチ内科医からみた Psoriatic disease の治療選択．診療科連携 Web セミナー，2022 年 3 月 25 日，鹿児島（Web）

循環器内科

今村総合病院

1．鮫島光平：iLVAD 装着・心臓移植を見据えた心不全管理－ Stage D の心不全を見たら－．循環器対策基本法の推進から心不全の課題解決を考える会，2021 年 5 月 25 日，鹿児島

小児科

今村総合病院

1．溝田美智代：学校での成長曲線作成の有用性～当院で経験した症例について～．第 26 回鹿児島県小児内分泌研究会，2021 年 10 月 16 日，鹿児島

脳神経内科

今村総合病院

1．森拓馬：免疫チェックポイント阻害投与後に生じた呼吸困難について．第 1 回チェスト！，2021 年 6 月 4 日，Web

2．森拓馬：Arterial Spin Labeling が有用であった症候性てんかんに対するペランパネルの使用経験．Stroke Premium Seminar，2021 年 9 月 7 日，Web

3．有水琢朗：当院脳卒中センターの今までとこれから．脳・心連携 WEB セミナー，2021 年 10 月 14 日，Web

脳神経外科

今村総合病院

1．牧野隆太郎：腫瘍再発後、GH 補充の再開が悩まれる症例．第 9 回下垂体スキルアップカンファレンス，2021 年 7 月 24 日，高知

2．町田明理：5pass 目に再開通を得た内頸動脈開塞の 1 例．JUST in 九州，2021 年 9 月 7 日，Web

糖尿病内科

いづろ今村病院

1．鎌田哲郎：ここがポイント！“メトホルミンの調剤時に知っておきたいこと“メトホルミン適正使用．Metformin Web Seminar in 鹿児島，2021 年 4 月 13 日，Web
2．鎌田哲郎：糖尿病外来ワンポイントアドバイス 7 ～糖尿病と心不全～．第 8 回いづろ今村病院　糖尿病治療連携セミナー，2021 年 9 月 22 日，Web
3．鎌田哲郎：高齢者糖尿病の注射療法に関わる工夫（インスリンから GLP1RA，在宅医療まで）．第 23 回糖尿病治療連携体制講習会，2021 年 11 月 23 日，鹿児島
4．鎌田哲郎：新しい糖尿病薬イミグルミンに期待すること ～糖尿病臨床とミトコンドリア．DUAL Seminar in 指宿，2021 年 12 月 10 日，Web
5．新中須敦：ソリクア配合注の使用経験．Diabetes Expert meeting，2021 年 12 月 17 日，Web
6．鎌田哲郎:新しい糖尿病薬イミグルミンに期待すること ～糖尿病臨床とミトコンドリア～．DUAL Seminar in 奄美，2022 年 1 月 14 日，Web
7．新中須敦：地域包括ケアシステムを活かした当院における糖尿病治療の取り組み．おおいた糖尿病連携診療フォーラム，2022 年 2 月 8 日，Web
8．鎌田哲郎:糖尿病薬剤指導で知っておきたいポイント～経口薬から注射療法まで～．第 5 回慈愛会　薬薬連携交流会，2022 年 2 月 18 日，Web
9．新中須敦：フレイルを考慮した糖尿病の治療戦略．第 10 回糖尿病と血管障害研究会，2022 年 2 月 22 日，Web
10. 鎌田哲郎:糖尿病外来検査日常検査のピットホールとポイント．第 24 回糖尿病治療連携体制講習会，2022 年 3 月 15 日，鹿児島

緩和ケア内科

いづろ今村病院

1．松下格司：全人的苦痛に対する緩和ケア．がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会，2021 年 6 月 23 日，鹿児島
2．松下格司：ｅ－ラーニングの復習．がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会，2021 年 11 月 23 日，種子島
3．松下格司：全人的苦痛に対する緩和ケア．がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会，2021 年 11 月 23 日，種子島
4．松下格司：療養の場の選択と地域連携．がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会，2022 年 2 月 3 日，鹿児島

かごしまオハナクリニック

1．横山大輔：複数の医療機関をたらい回しにされて妻に連れられ受診した高齢男性が在宅ケアに移行した一例．第 6 回鹿児島総合診療合同勉強会，2021 年 11 月 10 日，鹿児島
2．林恒存：総合診療体制の構築・これからの在宅医療．慈愛会任用候補者研修，2021 年 11 月 17 日，鹿児島
3．林恒存：救急科講義「高齢者」．鹿児島県消防学校，2022 年 3 月 2 日，鹿児島

輸血管理部

今村総合病院

1．藤山裕輝：鹿児島県赤十字血液センター「当院の輸血療法における輸血管理室の役割．第 2 回 2021 年度中小医療施設での輸血医療向上のための WEB 研修会，2021 年 12 月 4 日，Web
2．兼石知香：当院における輸血教育研修、および輸血ラウンドへの取り組み～看護師からの視点～．第 11 回令和 3 年度鹿児島県合同輸血療法委員会，2022 年 2 月 19 日，Web

看護部

今村総合病院

1．堂園涼子：母性看護学方法論（周産期看護）．独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校，2021 年 4 月 -2022 年 3 月，鹿児島
2．中谷明実：看護管理（看護学科）．学校法人南学園鹿児島医療福祉専門学校，2021 年 5 月 -8 月，鹿児島
3．小波津武志：病態学Ⅱ血液・造血器系．学校法人久木田学園久木田学園看護専門学校，2021 年 6 月 29 日 -7 月 19 日・7 月 26 日，鹿児島
4．長瀧恵：ELNEC- J コアカリキュラム看護師教育プログラム研修会，2021 年 7 月 3-4 日，11 月 6-7 日，鹿児島
5．中村倫丈：高齢者の心身の理解とフィジカルアセスメント．高齢者権利擁護推進事業における看護実務者研修会，2021 年 7 月 6 日，鹿児島
6．中谷明実：人材管理Ⅰ 労務管理の基礎知識．令和 3 年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修，公益社団法人鹿児島県看護協会，2021 年 8 月 19 日，鹿児島
7．中村倫丈：在宅におけるフィジカルアセスメント．鹿児島県看護協会訪問看護師養成研修 入門コース，20221 年 8 月 20 日，鹿児島
8．中村倫丈：在宅におけるフィジカルアセスメント．公益社団法人日本訪問看護財団訪問看護 e ラーニングを活用した訪問看護師養成講習会，2021 年 8 月 28 日，鹿児島
9．池田清夏，上山りえ：成人看護方法論Ⅳ（造血器系・看護学科）．学校法人南学園鹿児島医療福祉専門学校，2021 年 9 月 -11 月，鹿児島
10. 北原美代子：新型コロナウイルス感染症の感染対策の現状と課題～看護管理者の視点から～．2021 年度　VHJ 職員交流研修会　看護管理分科会，2021 年 11 月 12 日，Web
11. 吉森みゆき： 感染予防について．日置・南薩地区養護教諭研修会，鹿児島県教職員互助組合，2021 年 11 月 22 日，鹿児島
12. 吉森みゆき：感染対策について．徳之島徳洲会病院，2021 年 11 月 24-25 日，鹿児島
13. 吉森みゆき：感染症について．鴨池地区公民館，2021 年 12 月 8 日，鹿児島
14. 浜辺恵里香：令和 3 年度主任介護支援専門員研修．特定非営利活動法人鹿児島県介護支援専門員協議会，2021 年 12 月 15 日，2022 年 2 月 17 日，鹿児島
15. 鶴田奈緒美：認知症・精神科訪問看護．訪問看護供給体制確保推進事業に係る研修会，公益社団法人鹿児島県看護協会，2022 年 1 月 29 日，鹿児島
16. 吉森みゆき：新型コロナウイルス感染症について．鹿児島市老施協直接処遇職員研修会，鹿児島市老人福祉施設協議会，2022 年 2 月 4 日，鹿児島

いづろ今村病院

1．中窪尊子：緩和ケア学．鹿児島純心女子大学看護栄養学部看護学科，2021 年 5 月 26 日，鹿児島
2．尾堂ゆかり：糖尿病とともに生きる人々への看護．公益社団法人鹿児島県看護協会，2021 年 7 月 13 日，鹿児島

3．中窪尊子：新任看護師長研修．公益社団法人鹿児島県看護協会，2021 年 9 月 16 日，鹿児島
4．中窪尊子：成人看護学方法論Ⅴ（治癒困難な患者の看護）．鹿児島中央看護専門学校 3 年課程，2021 年 10 月 1・8・14・22・27 日，11 月 5 日，12 月 10 日，鹿児島
5．尾堂ゆかり：糖尿病重症化予防保健指導従事者研修会．鹿児島県国保ヘルスアップ支援事業，2021 年 10 月 17 日，鹿児島
6．尾堂ゆかり：糖尿病看護．慈愛会認定・特定看護師会研修会，2021 年 10 月 23 日，11 月 6 日，12 月 11 日，鹿児島
7．川畑由佳：感染管理．慈愛会認定・特定看護師会研修会，2021 年 11 月 6 日，鹿児島
8．中窪尊子：ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム研修会，2021 年 11 月 6-7 日，鹿児島
9．水流尚子：ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム研修会，2021 年 11 月 6-7 日，鹿児島
10．中窪尊子：看取りのケア．慈愛会谷山病院研修会，2021 年 11 月 26 日，鹿児島
11．川畑由佳：感染管理認定看護師の障害者施設支援．社会福祉法人落穂会旭福祉センター，2021 年 12 月 2 日，鹿児島
12．川畑由佳：感染管理認定看護師の障害者施設支援．社会福祉法人青い鳥会吉田愛青園，2021 年 12 月 4 日，鹿児島

谷山病院

1．内田宏貴：対象理解Ⅰフィジカルアセスメント．日本精神科看護協会，2021 年 5 月 27-28 日，Web
2．中薗明子：予測できない未来に備える事業計画（BCP）と対策．第 46 回日本精神科看護学術集会，2021 年 6 月 13 日，Web
3．中薗明子：人材育成．日本精神病院協会主催看護管理者講習会，2021 年 7 月 19 日，Web
4．内田宏貴：精神科薬物療法の看護．日本精神科看護協会鹿児島県支部，2021 年 8 月 21 日，鹿児島（Web）
5．中薗明子：認定看護管理者ファーストレベル教育課程 人材管理Ⅰ．公益社団法人鹿児島県看護協会，2021 年 9 月 21 日，鹿児島
6．内田宏貴：認定看護セミナー．学校法人原田学園鹿児島医療技術専門学校講義，2021 年 9 月 30 日，鹿児島
7．中薗明子：身体科に誇れる精神科看護の専門性と実践．医療・病院管理研究協会，2022 年 3 月 4 日，Web

愛と結の街

1．福元綾子：生活支援～食事について～鹿児島医療福祉専門学校介護福祉学科，2021 年 4 月 19・26 日，5 月 10・17・24・31 日，6 月 7・14・21・28 日，7 月 5・12・19 日，8 月 23・30 日，鹿児島
2．原口悦江：老年看護学方法論Ⅱ．鹿児島中央看護専門学校 3 年課程，2021 年 5 月 31 日，6 月 7･14･21 日，7 月 2 日，鹿児島
3．米澤美智代：老年看護学方法論Ⅰ．鹿児島中央看護専門学校 3 年課程，2021 年 9 月 1・8 日，鹿児島
4．木場田哲也：老年看護学方法論Ⅰ．鹿児島医療技術専門学校看護科，2021 年 10 月 4・11 日，鹿児島
5．今西由香：老年看護学方法論Ⅰ．鹿児島医療技術専門学校看護科，2021 年 10 月 18・25 日，鹿児島
6．都外川純子，西田雅子：感染対策．鹿児島市谷山中央地区住民講演会，2021 年 10 月 19 日，鹿児島
7．米澤真理子：在宅看護論方法論Ⅱ．鹿児島中央看護専門学校 3 年課程，2021 年 12 月 6・10 日，鹿児島
8．川﨑友義：介護老人保健施設について．鹿児島国際大学社会福祉学科，2022 年 2 月 11 日，鹿児島

看護部支援室

1．今村健次：医療安全．学校法人原田学園鹿児島医療技術専門学校看護学科講義，2021 年 6 月 1-22 日，鹿児島
2．今村健次：新型コロナウイルス感染症と看護職のメンタルヘルス．公益社団法人鹿児島県看護協会准看護師研修，2021 年 7 月 17 日，鹿児島

リハビリテーション部

今村総合病院　理学療法士

1．村山芳博：社会の中の理学療法士．公益社団法人鹿児島県理学療法士協会新人オリエ，2021 年 4 月 18 日，鹿児島
2．村山芳博：チーム医療の実践について．鹿児島大学医学部保健学科，2021 年 6 月 29 日，鹿児島
3．村山芳博：理学療法士の医療政策論 1. 公益社団法人鹿児島県理学療法士協会，2021 年 8 月 29 日，鹿児島
4．村山芳博：理学療法士の医療政策論 2. 公益社団法人鹿児島県理学療法士協会，2021 年 11 月 14 日，鹿児島
5．武清孝弘：造血幹細胞移植リハビリテーションにおけるチーム医療　－理学療法士の立場より－．北陸造血細胞移植 Web セミナー 2021，2021 年 12 月 3 日，福井（Web）
6．村山芳博：CVA の理学療法の評価．鹿児島大学医学部保健学科，2021 年 12 月 13 日，鹿児島
7．轟原与織：大会メディカルスタッフとしての役割．鹿児島県理学療法士協会専門領域研修会，2022 年 1 月 23 日，鹿児島（Web）
8．白尾泰宏：理学療法士の経験を振り返って～海外研修・臨床経験・協会活動を通して～．鹿児島県理学療法士連盟総会研修会，2022 年 2 月 3 日，鹿児島（Web）

今村総合病院　言語聴覚士

1．中島史博：令和 3 年度鹿児島県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会講師．鹿児島県失語症者向け意思疎通支援者養成事業，2021 年 10 月 31 日 -11 月 14 日，鹿児島

いづろ今村病院　理学療法士

1．西洋樹：高齢期を見据えた糖尿病運動療法．第 25 回鹿児島糖尿病スタッフセミナー，2021 年 6 月 5 日，鹿児島
2．土井敦：看護介護職員向け動作介助研修会．公益社団法人 鹿児島県理学療法士協会 公開講座，2021 年 7 月 18 日，鹿児島（Web）
3．土井敦：福祉用具と住宅改修．公益社団法人 鹿児島県理学療法士協会 生活環境支援部研修会，2021 年 9 月 25 日，鹿児島（Web）
4．土井敦：令和 3 年度介護職員チームリーダー養成研修 ノーリフトケア．社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会，2021 年 10 月 13 日，鹿児島
5．土井敦：介護実務者研修 介護技術習得に向けて現場で役立つ基礎的知識．公益財団法人 介護労働安定センター，2021 年 10 月 14 日，鹿児島
6．土井敦：基本動作と生活環境．鹿児島理学療法士作業療法士言語聴覚士連絡協議会 訪問リハビリテーション研究会，2021 年 10 月 30 日，鹿児島（Web）
7．土井敦：快適な住環境整備と介護．鹿児島県歯科学院専門学校 介護職員初任者研修，2022 年 2 月 18 日，鹿児島

谷山病院　理学療法士

1．古園龍也：精神科での理学療法について．公益社団法人鹿児島県理学療法士協会学術部，2021 年 11 月 21 日，鹿児島

谷山病院　作業療法士

1．地村尚人：多職種連携における作業療法士の役割～症例にとって意味のある作業を通して在宅生活に繋げた一例～．第 10 回慈愛会精神科リハビリテーション合同活動発表会，2021 年 10 月 16 日，鹿児島
2．迎雄作：日常生活動作練習室の活用により、自宅復帰という一筋の光が見えた事例．第 10 回慈愛会リハビリテーション合同活動発表会，2021 年 10 月 16 日，鹿児島

薬剤部

今村総合病院

1．堀口大輔：連携充実加算算定に関する取り組み．第 4 回慈愛会薬薬連携交流会，2021 年 8 月 27 日，鹿児島（Web）
2．吉永和生：整形外科病棟でのスポーツファーマシストとしての関わりについて．第 11 回慈愛会薬剤部合同研修会，2021 年 11 月 20 日，鹿児島
3．東中川雅史：かかりつけ薬剤師による経口抗がん剤薬治療中のがん患者に対するテレフォンフォローアップを活用した支援により治療継続できた一例．第 11 回慈愛会薬剤部合同研修会，2021 年 11 月 20 日，鹿児島
4．東詠美:薬剤師が介入した病棟での適切な薬剤管理について．第 11 回慈愛会薬剤部合同研修会，2021 年 11 月 20 日，鹿児島
5．橋本直美：がん化学療法と地域連携．包括的地域連携ネットワーク薬剤師研修会，2022 年 3 月 11 日，Web

いづろ今村病院

1．神門孝典:緩和ケア病棟における薬剤師の関わり．第 4 回慈愛会薬薬連携交流会，2021 年 8 月 27 日，鹿児島（Web）
2．東條知子：緩和ケア病棟における薬剤師の関わり．第 11 回慈愛会薬剤部合同研修会，2021 年 11 月 20 日，鹿児島
3．東屋敷史織：当院入院患者における週 1 回 GLP-1 受容体作動薬セマグルチドの使用状況および消化器症状の副作用発現に関する検討．第 11 回慈愛会薬剤部合同研修会，2021 年 11 月 20 日，鹿児島
4．東屋敷史織：チームで取り組む糖尿病療養指導～当院薬剤師の関わり～．第 5 回慈愛会薬薬連携交流会，2022 年 2 月 18 日，鹿児島（Web）

谷山病院

1．四本晶子：当院における抗菌薬使用状況と患者背景の検討．第 11 回慈愛会薬剤部合同研修会，2021 年 11 月 20 日，鹿児島（Web）
2．大平有紗：退院指導件数向上への取り組みと退院時連携加算取得に向けた課題．第 11 回慈愛会薬剤部合同研修会，2021 年 11 月 20 日，鹿児島（Web）
3．四本晶子：外来患者の睡眠薬多剤併用を減らすための当院薬剤部での取り組み．第 243 回鹿児島県病院薬剤師会研修会，第 34 回精神科薬物療法対策講習会，2021 年 12 月 11 日，鹿児島 （Web）

画像診断 / 放射線治療部

今村総合病院

1．馬場隆行：骨関節撮影分科会「補助具作成セミナー」．第 37 回日本診療放射線技師学術大会，2021 年 11 月 13 日，東京
2．西田崇友，若松沙樹，吉見敦，中窪広昌，濱田裕幸：MRI 室における医療安全の取り組み～今村総合病院～．第 23 回鹿児島 MRI 研究会，2022 年 2 月 4 日，鹿児島（Web）
3．市來守, 牧野竜大, 上川翔美, 髙山大史, 小澤修一, 内山典明, 西田博利, 土器屋卓志:トモセラピーならではの症例「全骨髄照射（TMI)」．第 3 回九州山口トモセラピーユーザーズフォーラム，2022 年 3 月 26 日，福岡（Web）

いづろ今村病院

1．上釜健作：肝の高エコー腫瘤について．第 307 回鹿児島超音波医学研究会，2021 年 7 月 27 日，Web
2．上釜健作：腹部超音波検査時に右側臥位と左季肋部横走査が有用であった浸潤性膵管癌の 1 例．第 19 回鹿児島超音波研究会，2022 年 2 月 9 日，Web

臨床検査部

今村総合病院

1．藤山裕輝：当院の輸血療法における輸血管理室の役割．第2回2021年度中小医療施設での輸血医療向上のためのWEB研修会，2021年12月4日，Web

管理栄養部

いづろ今村病院

1．中薗智美：高齢者糖尿病の食事指導．第25回鹿児島糖尿病スタッフセミナー，2021年6月5日，鹿児島
2．中薗智美：ストレスに強い体力づくりのための食生活．第1回慈愛会学会学術集会ランチョンセミナー，2021年7月10日，鹿児島
3．中薗智美：病院栄養士の体験から．鹿児島県立短期大学キャリアデザイン「先輩の就活体験・職業体験から学ぶ」，2021年9月22日，鹿児島
4．内田紗弥：肥満と治療中断歴のある腎症患者の症例発表．令和3年度（公社）鹿児島県栄養士会 糖尿病重症化予防事業 症例検討研修会，2021年11月20日，鹿児島（Web）
5．中薗智美:療養指導の基本～食事療法．糖尿病重症化予防保健指導従事者研修会, 2021年11月28日, 鹿児島（Web）
6．萬福有理：癌治療におけるチームアプローチ～栄養士の立場から．慈愛会J-seatyナース研修 院内公開講座，2021年12月7日，鹿児島
7．中薗智美：腎症合併患者さんの食事指導のコツ．Diabetes & Incretin Seminar in 鹿児島，2022年3月4日，鹿児島（Web）

徳之島病院

1．清水崇：笑顔溢れる1型糖尿病ライフのために、今、お伝えしたいこと．第7回 鹿児島1型糖尿病セミナー．2021年12月12日，鹿児島

愛と結の街

1．今村瑞香：老健での栄養マネジメント．慈愛会J-seatyナース研修講座，2021年8月4日，鹿児島
2．隈﨑耕輔：調理師としてできること．施設内症例検討発表会，2021年10月27日，鹿児島

ソーシャルワーカー部

奄美病院

1．西牟田智子：ゲーム・SNSとの付き合い方．鹿児島県奄美市立名瀬中学校　保護者対象講話，2021年11月19日，奄美

臨床工学部

今村総合病院

1．坂口政人：鹿児島県透析施設災害対策会議・講演会，2021年4月27日，鹿児島（Web）

法人事業本部

1．今村英仁：地域におけるポジショニング．東京大学　経営のできる大学病院幹部養成プロジェクト，2021 年 11 月 13 日，東京（Web）

鹿児島中央看護専門学校

1．久徳美鈴：専任教員継続研修中堅教員研修会の企画運営～基礎教育における臨床判断能力の育成～．鹿児島県看護協会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
2．久徳美鈴：管理実践課題演習支援．鹿児島県看護協会　令和 3 年度認定看護管理者セカンドレベル教育研修会，2021 年 8 月 31 日 -11 月 9 日（全 9 回），鹿児島
3．久徳美鈴：令和 2 年度認定看護管理者セカンドレベル教育課程修了者フォローアップ研修支援．鹿児島県看護協会，2021 年 10 月 2 日，鹿児島
4．久徳美鈴：専任教員継続研修企画運営～看護基礎教育における ICT 活用とマネジメント～．鹿児島県看護協会，2021 年 12 月 2 日，鹿児島
5．松山日実子：成人看護実習　指導案演習支援．鹿児島県看護協会　令和 3 年度鹿児島県実習指導者講習会，2021 年 11 月 22 日 -2022 年 1 月 19 日（全 6 回），鹿児島
6．久徳美鈴：第 55 回鹿児島県保健看護研究学会　学会委員．鹿児島県看護協会，2022 年 1 月 22 日，鹿児島

【受賞】

血液内科

今村総合病院

1．宇都宮與：JSPFAD コホート研究 4500 検体登録貢献者表彰．第 7 回日本 HTLV － 1 学会学術集会，2021 年 11 月 5-7 日

泌尿器科

今村総合病院

1．中川昌之：鹿児島県医師会医学賞．鹿児島県医師会，2021 年 6 月

循環器内科

今村総合病院

1．鮫島光平：「たこつぼ心筋症の回復過程で心尖部肥大型心筋症様の形態を呈した 2 例」最優秀演題賞．第 8 回鹿児島循環器カンファレンス，2021 年 10 月 30 日
2．肥後建樹郎：「たこつぼ心筋症の回復過程で心尖部肥大型心筋症様の形態を呈した 2 例」指導者賞．第 8 回鹿児島循環器カンファレンス，2021 年 10 月 30 日

看護部

今村総合病院

1．北原美代子：看護業務功労者表彰．公益社団法人鹿児島県看護協会，2021 年 5 月
2．中谷明実：看護業務功労者表彰．公益社団法人鹿児島県医師会，2021 年 5 月

谷山病院

1．上村ゆかり：看護業務功労者表彰．公益社団法人鹿児島県医師会，2021 年 5 月
2．濱崎厚範：看護業務功労者表彰．公益社団法人鹿児島県医師会，2021 年 5 月

看護部支援室

1．木佐貫涼子：看護業務功労者表彰．公益社団法人鹿児島県看護協会，2021 年 5 月

事務部

今村総合病院

1．鈴木大輔，有島尚亮：「有事下でもゆるぎない病院経営を目指して－ COVID-19 禍における『病院経営の BCP』への一考察－」2021 年度第 3 回日本医療経営実践賞　優秀賞．一般社団法人日本医療経営実践協会，2021 年 11 月 1 日

法人事業本部

1．中重敬子：日本看護協会長表彰 看護業務功労．公益社団法人日本看護協会，2021 年 6 月

鹿児島中央看護専門学校

1．久徳美鈴：令和 3 年度鹿児島県看護連盟会長表彰．2021 年 6 月 19 日

【マスメディア】

皮膚科

今村総合病院

1．米倉健太郎：もっと知って「乾癬」のこと．リビング鹿児島，2021 年 9 月 11 日

HTLV-1 研究センター

今村総合病院

1．宇都宮與：ウイルスが原因となる白血病と治療法．第 37 回日本癌学会　市民公開講座，2021 年 5 月 16 日，宮崎（Web）
一般向け動画公開 URL：https://www.youtube.com/watch?v=zAnkBajdwvE

2．宇都宮與：ATL 治療への取り組み．NPO 法人キャンサーネットジャパン オンライン血液がんフォーラム 2021，2021 年 11 月 20 日，東京（Web）
Cancer Channel URL：https://www.cancerchannel.jp/post39302

3．宇都宮與：ATL と HTLV － 1 の最近の話題について．鹿児島県 令和 3 年度 HTLV-1 対策講演会，2022 年 2 月 20 日，鹿児島（Web）
鹿児島県公式 YouTube チャンネル配信（2022 年 3 月 10 日－ 2023 年 3 月 31 日予定）URL：https://www.youtube.com/watch?v=uG7WPpD28bo

外科・消化器外科

今村総合病院

1．上之園芳一：テーマ「胃がん」．MBC ラジオ ここが聞きたい！ドクタートーク 第 939-943 回，2021 年 5 月 1 日，8 日，15 日，29 日

【公的研究】

血液内科

今村総合病院

＜日本医療研究開発機構（AMED）研究費＞

1．宇都宮與：『HTLV-1 の総合的な感染対策に資する研究』班　研究分担者（研究代表者：国立感染症研究所　浜口功）

2．宇都宮與:『遺伝子異常の全貌とクローン構造の理解に基づく ATL 個別化診療の確立』班　研究分担者（研究代表者:宮崎大学　下田和哉）

3．宇都宮與：『成人 T 細胞白血病 / リンパ腫の治癒を目指した HTLV-1 ウイルス標的樹状細胞ワクチン療法の確立：薬事承認を目的とした第 II 相医師主導治験』班　研究分担者（研究代表者：九州がんセンター　末廣陽子）

4．中野伸亮：『成人 T 細胞白血病に対する移植後シクロフォスファミドを用いた非血縁者間末梢血幹細胞移植法の確立と移植後再発への対策に関する研究』班　研究分担者（研究代表者：国立がん研究センター中央病院　福田隆浩）

＜国際共同研究加速基金＞

1．宇都宮與『HTLV-1a/c 亜型の疫学調査と独自の病原性発現機構解明に向けた日豪共同研究』 研究分担者（研究代表者：東京大学大学院　中野和民）

医師育成への取り組み

初期研修プログラム『錦江湾プログラム』

公益財団法人慈愛会は、人材育成の重要な柱の一つとして、初期臨床研修医の育成に力を注いできました。

初期研修の制度ができた初年度の2004年度から今村病院（現　いづろ今村病院）を基幹型病院とする「じあいプログラム」をスタートさせました。その後､2010年度からは､「じあいプログラム」に併設する形で「錦江湾プログラム」をスタートさせました。

「錦江湾プログラム」は今村総合病院が基幹型病院を務め、いづろ今村病院、谷山病院、奄美病院、鹿児島大学病院を含む20の協力病院群からなる初期研修プログラムです。発足初年度は規定により２名の定員枠でしたが、次年度は５名の定員枠が認められ、2012年度には定員枠が７名に増えました。「じあいプログラム」は10年目の2013年度をもって終了させ、2014年度より定員枠を10名に増やす形で「錦江湾プログラム」に一本化し、現在に至ります。この間、両プログラム合わせて138名の研修医を育ててきました（現在進行中の研修医を含む)。

「錦江湾プログラム」は学生の間で、今とても人気が高い状況です。人気が高い大きな理由は、各診療科の医療のレベルが高いだけではなく、スタッフの人材が揃っており、研修医を育てようという意気込みが学生に伝わっているからとのことです。

私たちは、全国から人材が集まってくるような、日本有数の教育病院に育てようと全力を挙げて取り組んでいるところで、着実に研修医が育ちつつあります。

【初期研修医数の推移】

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	総数
錦江湾プログラム	２名	５名	７名	５名	８名	７名	６名	10名	９名	10名	10名	10名	89名

【基本方針】

基本目標として将来の専門性にかかわらず医学・医療の社会ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるようにプライマリ・ケアの対応能力を習得することを基本方針とする。

【研修プログラム】

内　科	麻酔科	救急科	外　科	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	選択科目
24週（※1）	8週	12週	8週	4週	4週	4週	4週	36週

※1一般外来4週を含む

❗錦江湾プログラムは下記の病院群と機能を分担して実施する。

<table>
<tr><td rowspan="6">必修研修</td><td rowspan="2">内　科</td><td rowspan="2">24週</td><td rowspan="2">今村総合病院
（一般外来研修含む）
いづろ今村病院
鹿児島大学病院</td><td>救　急</td><td>12週</td><td>今村総合病院</td></tr>
<tr><td>麻酔科</td><td>8週</td><td>今村総合病院</td></tr>
<tr><td>外　科</td><td>8週</td><td colspan="3">今村総合病院</td></tr>
<tr><td>小児科</td><td>4週</td><td colspan="3">今村総合病院・鹿児島大学病院・鹿児島こども病院・霧島市立医師会医療センター</td></tr>
<tr><td>産婦人科</td><td>4週</td><td colspan="3">今村総合病院・鹿児島大学病院・いまきいれ総合病院・愛育病院・鹿屋医療センター</td></tr>
<tr><td>精神科</td><td>4週</td><td colspan="3">今村総合病院・谷山病院・奄美病院・鹿児島大学病院</td></tr>
<tr><td>地域医療</td><td>4週</td><td colspan="3">高麗町クリニック・五反田内科クリニック・倶知安厚生病院・小林市立病院
・かごしまオハナクリニック</td></tr>
<tr><td rowspan="10">自由選択</td><td colspan="2" rowspan="10">36週</td><td colspan="2">今村総合病院</td><td colspan="2">全診療科</td></tr>
<tr><td colspan="2">いづろ今村病院</td><td colspan="2">全診療科</td></tr>
<tr><td colspan="2">介護老人保健施設 愛と結の街</td><td colspan="2">保健</td></tr>
<tr><td colspan="2">鹿児島大学病院</td><td colspan="2">全診療科</td></tr>
<tr><td colspan="2">鹿児島医療センター</td><td colspan="2">循環器内科</td></tr>
<tr><td colspan="2">聖マリア病院</td><td colspan="2">救急</td></tr>
<tr><td colspan="2">浦添総合病院</td><td colspan="2">救急</td></tr>
<tr><td colspan="2">飯塚病院</td><td colspan="2">内科</td></tr>
<tr><td colspan="2">中央病院</td><td colspan="2">循環器内科</td></tr>
</table>

慈愛会専門研修プログラム

慈愛会では、専門医を育成するため、内科と総合診療の専門研修プログラムを開設しています。

●慈愛会内科専門研修プログラム

2018 年度にスタートした慈愛会内科専門研修プログラムは、急性期病院である今村総合病院を基幹施設として、鹿児島県内、福岡県内、東京都内、および北海道内にある連携施設で内科専門研修を行っており、８名の専攻医が在籍しています。３年間のプログラムを終え、2021 年度に１名が修了となりました。

総合内科専門医は単に各専門科を全て経験すれば良いということではなく、多くの診療科にまたがる症例や、逆にどこの専門科にも属しにくいような症例、症状を解決していく能力が必要となります。

当プログラムでは、総合内科の specialist を育成するため、最大の特徴として基幹病院である今村総合病院の救急・総合内科で研修を行うとともに、他の院内診療科や連携施設とは、より専門性の高い研修を受けることができるよう連携しています。

●慈愛会総合診療専門研修プログラム

2018 年度にスタートした慈愛会総合診療専門研修プログラムには１名の専攻医が在籍しています。

３年間のプログラムを終え、2021 年度に１名が修了となりました。

当プログラムでは院内の各診療科はもとより連携施設とも連携し、総合診療医として、予防医療、プライマリ・ケア（急性期対応）、総合内科知識・技能・亜急性期・慢性期、そして終末期のいずれの段階の医療にも対応できる能力の習得、または病院総合医、地域の開業医、在宅医療、老健施設での慢性期医療など、将来どのような環境でも活躍できるようなオールラウンドプレイヤー養成を基本としています。

部門別　事業報告（PDCA）総括 指標 業績一覧

看 護 部 門

中長期計画		2021年度 事業計画（Stage5）	実施　2021.4月～2022.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
看護部支援室	慈愛会の急性期医療・慢性期医療・終末期医療・在宅医療連携における看護能力の向上	1．一般病棟・地域ケア包括ケア病棟・緩和ケア病棟・精神科病棟　病床利用目標達成へむけた貢献 2．J-seatyナース研修8コース開催 3．感染拡大に伴う面会制限等、患者・利用者・家族満足度低下防止 4．第2回　「心に届く慈愛の看護を語る会」開催　2021年5月8日（土） 5．感染拡大防止対策の強化	1．病床利用率 今村総合病院　80.8%（予算比-4.2%） いづろ今村病院　83.8%（-8.4%） 谷山病院　88.1%（-2.5%） 奄美病院　90.8%（-3.2%） 徳之島病院　74.4%（-13.7%） 愛と結の街　95.7%（-0.8%） 回復期病棟、地域包括ケア病棟、精神病棟の利用率Upへの取り組み継続 連携推進強化 2．J-seatyナース研修 ①6/28～6/30　看護基礎教育研修　鹿児島中央看護専門学校 参加者4名（今村総合　1名　いづろ今村2名　谷山1名） ②7/27～7/29 精神科看護研修 谷山病院 参加者 6名（今村総合2名　いづろ今村2名　奄美1名　徳之島1名） ③8/4～8/6　在宅看護・老人保健施設研修　愛と結の街 参加者7名（今村総合1名　いづろ今村3名　谷山2名　鹿中看1名） ④9/29～10/1　フィジカルアセスメント研修　今村総合病院 参加者8名（今村総合2名　いづろ今村4名　谷山1名　愛と結の街1名） ⑤11/10-11/12　離島を含む精神医療研修　奄美病院 参加者3名（谷山2名　徳之島1名） ⑥11/29－12/1　感染管理研修　今村総合病院 参加者12名（今村総合1名　いづろ今村5名　谷山1名　奄美2名　愛と結の街3名） ⑦12/6-12/8　緩和ケア研修　いづろ今村病院 参加者5名（今村総合2名　いづろ今村2名　愛と結の街1名） ⑧1/17－1/20　離島を含む精神医療研修　徳之島病院 3名参加予定　延期 3．6/20まで東京、福岡など緊急事態宣言発令中。病院は面会制限継続 9/30緊急事態は終了。感染数は減少傾向であったが2022年1月に入り、再び変異株であるオミクロン株の感染流行がみられ、鹿児島も３月６日までまん延防止重点措置区域となっている。 職員のワクチン接種済　職域、高齢者ワクチン接種実施、状況に応じて対象者数拡大して対応 4．感染拡大に伴い開催日延期⇒8/27 8/27（金）　心に届く慈愛の看護を語る会開催 会場　ホスト　かごしまオハナビル3階大会議室　慈愛会施設とオンラインにて開催 表彰式　（最優秀賞1名、優秀賞2名、入賞10名、特別賞8名） 第2部　クリニカルラダーレベルⅤ心に届く慈愛の看護実践報告6題発表 心に届く慈愛の看護を語る会 冊子印刷配布1200部　12/24 入賞者へポストカード発送 2022年度から「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」へ変更（全職種で募集） 1/12　「心に届く慈愛の物語」エピソード募集（1/14-3/3）ポスター配布 出版社から、全国の看護を学ぶ学習者に対する教材への情報提供の依頼があり、慈愛会の取り組みについて投稿した。 5．各施設徹底した対策実施中	1.新型コロナウイルス感染拡大による影響もあり、病床利用率が低下することもあったが、各施設地域連携強化、施設内の入院患者数確保対策等積極的に取り組んだ。 急性期病床再編により、今村総合病院428床、いづろ今村病院115床での運営となった。新型コロナ感染症の受け入れ、発熱外来の設置、ワクチン接種などへの協力、感染者療養施設への支援やスペシャリストの派遣など積極的に取り組んだ。 2．今年度は8コース中7コース開催し、昨年に比し参加者数も増加し、45名が参加して学びあった。慈愛会看護部へJ-seatyナース研修が周知され各施設の参加につながっている。参加者は各施設でのリーダーシップを発揮している。 3．新型コロナ禍での面会制限は続いている。状況を判断しながら各施設とも家族との交流をオンラインを活用したり、窓越しの面会等を工夫しながらケアを実施している。大きな苦情はないが今後も感染対策の状況は大きく変わらないことを考え、引き続き患者さんご家族の安寧へのケアを実践していくことが大切である。 4．延期し8月27日に時間短縮で開催できた。集合は難しかったが、57のエピソードが寄せられ、取り組みへの関心と必要性が認識されたと考える。継続することが大切であり、看護部が協力することで短時間での開催ができた。慈愛会看護部の大きなイベントになってきた。慈愛会全職員での開催への期待があり2022年から全職員を対象とした取り組みとする。継続開催、ホームページや広報誌による職員への周知が今後も必要である。理念を達成するための「心に届く慈愛の看護を実践する」の基本方針が看護現場でどのように実践されているか見える化と看護の伝承ににつながっている。 また、慈愛会のこうした取り組みが慈愛会のみでなく、出版社から執筆依頼があるなど、慈愛会以外に発信する機会となった。職員のモチベーションにもつながった。 5．今年度は特に感染対策についての専門知識や行動化の重要性を認識し、新人看護師教育や実践の場でリーダーとして活躍する副看護師長教育内容に強化して組み込んだ。感染管理認定看護師による専門教育を強化することで感染拡大防止はもちろん看護師のスキルアップにつながる。	1．2022年度診療報酬改定のポイントを理解し自施設に必要な事項を視野に継続して取り組む。 2．引き続き8コース実施する。今年度は離島、徳之島病院と谷山病院、奄美病院、今村総合病院で年間を通して人事交流を企画し、精神科看護の質向上に取り組む。 3．感染対策と同時に必要なケアを継続し患者・ご家族の不安軽減と満足度向上に努める。 4．2022年5月14日（土）かごしま県民交流センターで開催予定 「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」として全職員から物語を募集する。 5．新入職者オリエンテーション（hop)教育内容に加え、全入職者の感染管理教育を強化する。 各施設の感染管理マニュアル作成・改訂、BCP策定をめざす。

中長期計画		2021年度 事業計画（Stage5）	実施　2021.4月～2022.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
	在宅事業部（訪問診療・看護）の機能強化	1．慈愛会連携推進委員会立ち上げと運営会議　隔月開催予定 2．慈愛会内外連携強化 入退院支援連携強化・情報共有 いづろ今村病院　在宅推進 3．訪問看護ステーション愛の街　サテライト設置による訪問看護利用率増加 体制強化 4．訪問看護師人材育成	1．2．慈愛会連携推進会議 第1回　4/22より会議開催。各施設の強みを確認し慈愛会連携を促進するための広報の工夫（いづろ今村病院広報誌にじへの慈愛会グループの掲載を行う提案） 第2回　6/17 第3回　8/19 第4回　10/28 第5回　12/16 第6回　2/17 医師を含めたメンバーで構成している。議題は主に訪問看護ステーションの実績と各施設間の連携状況の情報共有、連携推進を図る検討等である。 慈愛会内連携状況 （今村総合病院　12件　いづろ今村11件　谷山病院3.8件　愛と結の街　3.3件）/月 3．定例会議 4/23　5/28　6/22　7/27　8/24　9/28 10/19　11/4　12/28　1/26　2/22　3/22 訪問実績　訪問件数1020件/月　新規利用者数　11名/月　サテライト件数110件/月 利用者数　283名（一般　70名　精神214名） 鹿児島市内慈愛会連携推進　看看連携会議 11/4　12/2 12/13 12/17 12/10 11/4 いづろ今村病院・笹貫訪問看護ステーション連携個別打合せ会開催 いづろ今村3名　愛と結の街3名　本部2名出席 現状と今後の連携を図る課題を見出せた。 4．訪問看護キャリア開発ラダー申請100% ファーストレベル1名　セカンドレベル1名 訪問看護認定看護師教育課程1名受講	1．2．定期的に年6回開催できた。各施設の状況も共有しながら次につながるように取り組んだ。看看連携することで個々の状況を理解し、連携も円滑に進めることができ有意義だと考える。 3．泉町サテライト開設による訪問看護エリア拡大等により月平均訪問件数は1,000件以上達成している。利用者の拡大のための広報活動の継続と病院連携強化を今後も図り継続する。 訪問看護認定看護師教育課程に特定行為研修を組み込んだ研修を1名受講し修了した。今後専門能力を高めるための実践を積み、適切な活動が推進できるよう支援しなければならない。 介護報酬改定内容をしっかりと踏まえた実践を行い確実な報酬が得られるようにしていかなければならない。 4．訪問看護キャリア開発ラダー認定申請3名あり。評価会を実施した。1名認定した。2名は継続してラダーレベルの取得に向けて取り組む。訪問看護部では資質向上のための教育支援がおこなわれている。今後、慈愛会看護部の取り組みとして訪問看護と臨床との交流研修を積極的に企画し人材育成に取り組んでいく。	1-1．訪問看護部の設置　訪問看護ステーション一元管理 ・質の向上、連携推進、活動拠点拡大による訪問看護ステーション利用者増加 ・慈愛会訪問看護部立ち上げ、笹貫訪問看護ステーション愛の街サテライト拡大 1-2．地域とのコミュニケーション、地域との一体化 1-3．慈愛会内外との連携強化（情報連携強化）、連携推進 1-4．アセスメントシート活用の効率化（整理） 1-5．地域への活動支援体制整備 ・ハイブリッド活用による認定看護師、特定看護師不在地域への介入、地域の看護力向上 3．感染対策と同時に必要なケアを継続し患者・ご家族の不安軽減と満足度向上に努める。2022年4月より訪問看護ステーションは在宅支援部として独立した事業体となる。さらに積極的な連携推進と活動推進を図る。 人材確保及び人材育成と訪問看護の質向上に引き続き取り組む。 4．活動推進マニュアルを活用し、研修後の支援とスペシャリストの活動推進を図り訪問看護の質向上の取り組みを継続する。計画的にスペシャリストの育成を行う。 慈愛会交流研修に参画する。
看護部支援室	看護職のキャリア支援	1．クリニカルラダーの申請・認定者増加支援 2．マネジメントラダー再構築と運用による看護管理者育成 3．ナースエイド教育開発プログラム作成と活用による資質向上 4．認定・専門・特定看護師・教員・訪問看護師等の計画的育成 5．看護職の資格活用基盤の整備 特定行為研修修了者の活動体制整備・活躍の場拡大 6．放送大学編入による学位獲得に向けた支援システム検討	1．キャリア開発ラダー申請率　85.9%（全体）今村総合 76.2% いづろ今村 98.8% 谷山 100% 奄美 100% 徳之島 100% 愛と結の街 100% 看護師キャリア開発ラダー申請・認定者増加支援　看護職員能力開発プログラム改訂（第6版） メディカ出版　スマホ・PC学習サービス『FitNs.』「看護を語るチャンネル」原稿論文投稿12名 2．マネジメントラダー作成　マネジメントラダー教育　6月3回実施 新マネジメントラダー申請率100% 7/8　新任副看護師長研修　11名 (かごしまオハナビル) 7/16　新任看護師長研修　6名 (徳之島病院3名、かごしまオハナビル3名) 9/4→10/26へ延期　副看護部長研修 7名（奄美病院・徳之島病院2名リモート参加） 10/23　3年目研修　32名 10/30　3年目研修　20名 講師：鹿児島国際大学新学部準備室　堤 由美子教授 「危機的状態の患者・家族の看護 ～心に届く看護ケアを行うために必要な知識～」 10/28　看護部長研修　6名 10/29　看護管理者協議会 2/19　副看護師長研修（働き方改革）→全体集合教育は中止（各施設で） 3．ナースエイドキャリア開発ラダー作成 4．2021年度　研修受講者 認定看護師　2名（在宅ケア分野1名　呼吸器疾患看護・認知症看護1名） 特定行為研修　4名　ファーストレベル　11名 7/3.4　認定看護師会（がん看護）ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育 コロナ感染に伴う支援　メンタルヘルスケア支援　与論島　精神科認定看護師 療養施設支援 鹿児島市内　徳之島　看護師 感染管理相談 11/10　令和4年度研修参加　長期研修派遣者選出 5．特定行為研修終了後の活動支援のためのマニュアル作成 各施設で詳細を7/15までに検討作成予定 運用開始 〔研修〕4/17　臨床実習指導者・教員合同研修　参加者　63名 「コロナ禍において、短い実習時間を学習に繋げる工夫」各施設の取り組み発表 6．看護部から4月　16名、9月　16名合わせて32名が編入し学習を開始した。	1．看護職員能力開発プログラムの改訂に着手し第6版を作成できた。慈愛会看護部で統一した介護福祉士、ナースエイドのキャリア開発ラダーも作成し今後人材育成ツールとして活用できる。キャリア開発ラダー申請と認定にかかる手続きがスムーズに進まない施設については管理者の教育と職員への周知が必要である。キャリア開発ラダーレベルⅣ.Ⅴの申請率も増加している。 2．マネジメントラダー申請および認定は、各看護部長による教育支援によって定着した。目標を明確にし今後も管理者育成に取り組む。来年度から認定看護管理者教育課程サードレベルが鹿児島県看護協会で開催される。受講を推進し、認定看護管理者を計画的に育成しマネジメント力を高める。 3．慈愛会看護部で検討し作成した。活用するための周知を図っていく。 4．今後求められる資質として、特定看護師・認定看護師の育成は重要である。しかし、特定看護師に関して活動支援が十分ではない。各施設での活動支援を推進し研修後習得した能力を生かすための支援強化が必要である。 2021年度は訪問看護認定看護師教育課程１名、認知症認定看護師教育課程１名が研修受講した。特定行為研修６名が受講し修了した。これまでの有資格者を合わせて、認定看護師２６名，特定行為研修修了者10名となった。2022年度受講予定は認定看護師教育課程（認知症2名、感染管理2名）特定行為研修受講者10名である。今後も引き続き人材育成と医療の質向上に努める。 5．特定講師研修終了後活動支援マニュアルを作成したが積極的活用まで至っていない。各施設での看護部・経営幹部・多職種への理解を深め周知する。 6．勤務継続しながら資質を高めるシステムとして有効である。今後、看護職員能力開発プログラムに組み入れシステム化を目指す。	1－1．キャリア開発ラダー（看護師/訪問看護・認定・特定看護師/ナースエイド/介護福祉士）活用によるキャリア支援 ・看護職員能力開発プログラムの積極的活用によるキャリア支援、申請率・認定率の増加 1－2．スペシャリストの計画的育成と活動支援 ・高齢者ケアプロフェッショナルの育成（認知症患者対応、在宅ケア、看取りケア） ・ジェネラリスト、スペシャリスト（認定・特定看護師/教員/訪問看護師等）の計画的育成と人事管理（人事異動） ・生産性の高い看護実践追求、スキルアップ ・専従退院支援看護師の育成 1－3．管理者マネジメント力育成 マネジメントラダー活用 1－4．慈愛会内外組織横断支援 ナース育成 1－5．看護＋介護一体化強力な看護チーム構築 1－6．臨床教員配置による基礎教育・臨床教育の充実 1－7．定期異動体制構築（管理者、職員）による職場活性化・質の均てん化 ・適正人員配置による生産性の向上 1－8．目標管理（チャレンジプラン）支援と成功体験によりやりがい感を高める 1－9．「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」継続した取り組み 1-10．多職種合同研修、慈愛会学会、J-seatyナース研修、管理者研修、大学編入、スペシャリスト研修、介護人材の交流研修等への積極的・自発的参加による自己能力向上 2．鹿児島県看護協会認定看護管理者教育課程サードレベルの受講（3～4名）により、認定看護管理者の増加を図り、高いマネジメント力を有する人材を育成する。 4．特定行為に関しては看護部以外の多職種（特に医師）と安全管理委員会支援体制整備。 計画的人材育成継続 2022年度受講　認定看護師教育課程（認知症2名　感染管理2名） 特定行為研修10名 5．特定看護師キャリア開発ラダー運用ラダーレベルに応じた資格手当導入による資質向上 6．積極的支援を継続し、システム化の検討

中長期計画		2021年度 事業計画（Stage5）	実施　2021.4月～2022.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
看護部支援室	安定した人材確保と人材定着	1．採用試験5月開始定着 2021年度 5/29（土）　8/18(水) 11/6(土)　1/29(土) 2．効果的な採用活動 年間オンラインシステム活用による入職希望者増への取り組み継続 学校訪問 現場とつながるZoom活用による就職説明会 3．フレッシュナース研修開催による新人入職者支援強化（3月） 4．慈愛会新人看護師教育プログラム作成及び活用（3月運用開始） 5．3～5年目看護職の離職率減少 （看護学校との連携・卒後1～3年支援強化） 6．徳之島病院・奄美病院の安定した採用者獲得（新人看護師毎年確保） 7．子育て支援（子育て支援便り6月12月発行継続 8．慈愛会縁結び応援プロジェクト運営（年6回） 9．永年勤続表彰制度導入検討提案 （看護職関係・10・20・30年勤続者、定年者、プラチナナース）	1.第１回採用試験　5/29（土） かごしまオハナビル　13名 奄美病院会場1名　熊本リモート1名 15名のうち鹿児島中央看護専門学校外の受験生5名の第1希望内定内訳 今村総合病院3名　谷山病院1名　奄美病院1名 ・第2回採用試験　8/18（水） 受験者34名（新卒34名） これまで49名内定 希望者　いづろ6名　今村総合　22名　谷山3名　奄美1名　徳之島2名 ・第3回採用試験　11/6 受験者5名（新卒4名　既卒1名） これまで54名内定 希望者　いづろ7名　今村総合26名　谷山3名　奄美1名　徳之島2名 ・第4回採用試験　1/29 受験者5名（新卒2名　既卒3名） 希望者　いづろ7名　今村総合30名　谷山4名　奄美1名　徳之島2名 2．4/22（土）慈愛会就職説明会実施（鹿児島中央看護専門学校生以外16名参加） 9/18（土）高校生採用試験（ナースエイド2名、介護福祉士2名） 看護職員募集案内パンフレット作成し39校の看護学校、大学へ発送 介護福祉士・ナースエイド案内作成し県内高校と福祉科へ56校発送 7/21(水)マイナビ進学ナビ参加　採用パンフレット送付39校　資料請求者230名(全体) 年賀状発送(新卒入職内定54名、2023年度卒業予定の資料請求者74名、看護学校23校） 3．3/22～3/25　フレッシュナース研修 フレッシュナース研修は入職後オリエンテーションと各施設研修で実施 1/26　新入職員研修会プログラムの見直し 4．新人看護師成長プラン作成し活用 5．鹿児島中央看護専門学校との連携　サポートキャンパス開催　1年目7/3　3年目8/14 年賀状発送（1～3年目看護師187名） 7．　6月発行　36名　　12月発行　42名 8．・7月～1月　フィッシング大会 エントリー12　釣行5名参加　2/25表彰 ・3/9　第4回 慈愛会縁結び55チャンネル「会えない今だからこそZoomで繋がる 宴♪縁♪円♪（輪♪和♪話♪）」 「１年目さん　いらっしゃ～い！！」参加者７名(男性２名/女性5名)スタッフ10名 ・その他：慈愛会学会ポスター作成掲示による広報活動実施	1．新型コロナウイルス感染禍においても採用試験はオンラインを活用しながら中止することなく実施できた。５月からスタートする定期採用試験も周知が進み５月受験者数は徐々に増加している。 奄美病院、徳之島病院ともに新人看護師の採用が出来た。離島内定者向けの奨学金の制度も活用している。鹿児島中央看護専門学校を始め奄美看護学校、鹿児島市内看護学校からの問い合わせも増加し就職につながってきた。 2．学校訪問数は新型コロナウイルス感染症拡大により減少したが、学校との連携はできており個別に申し込みをいただける関係性が構築できた。 3．4．慈愛会看護部一体でフレッシュナース研修、新人教育プログラムを活用しすべての実習を経験していない新入職者の支援は強化できた。しかし、新人離職者は全体で５名であった。 4．新人育成に活かせた。新人看護師の活用も積極的に実施した。 5．看護学校と連携し、鹿児島中央看護専門学校卒業生の１年目３年目サポート研修を企画した。学校の協力を得て離職者の割合が多い１年～３年のサポートが強化できた。３～５年目の離職は今村総合病院で増加している。原因究明と積極的対策の強化が必要である。新型コロナ感染症による環境の変化や病床再編など短期間での緊急的対応なども多少影響を及ぼしている。 6．徳之島病院では病棟再編がなされ３病棟は２病棟となった。適正な人員配置で今後訪問看護の充実に向けて取り組む必要がある。 7．育児中の支援強化、職場復帰支援につながっている。 8．新型コロナウイルス感染の影響を受けたが、フィッシング大会や新人交流を開催できた。慈愛会職員の交流や縁結びに役立っている。 9．本部企画で制定され2022年からスタートする。永年勤続者のやりがいにつながっている。	1．2022年度採用試験 看護師　5/28　8/17　11/5　1/28 介護福祉士　補助者　9/17 2．今後も継続する。 3・4・5　今村総合病院に臨床看護教員１名鹿児島中央看護専門学校より異動し配置する。看護学生支援、実習指導者支援、卒後支援を強化する。 6．2022年6月より定期的に人事交流を実施する。徳之島病院と今村総合病院、谷山病院、奄美病院との交流によって看護の質向上に取り組む。 7．子育て支援の継続。 8．新人看護師教育３回/年の取り組みと連携する。 9．働き続けられる環境整備継続
	働き方改革の推進	1．職員満足度調査実施、組織風土分析実施による現状分析と改善（1回/年） 2．看護管理者が管理業務に専念できる体制 3．職員参画での業務改善（時間外勤務縮減等）による職員満足度上昇 働き方改革実践報告（成功事例発表　1回/年） 4．タスクシフティング、チーム医療の推進	副看護師長研修企画　働き方改革実践及び実践報告 7/9　第1回　看護管理者協議会・働き方改革目標認識・各施設の取り組み継続 9/16　看護部長meeting　1. 人材定着 (1)退職者への連絡 (2)キャリア意向調査実施状況 (3)新型コロナウイルス感染症の影響　2. 超過勤務の削減　3. ナースエイドのクリニカルラダー作成　4. 在宅医療の推進 10/21　看護管理者meeting 働き方改革、超過勤務縮減に向けた検討を主に行う 副看護師長の現場における働き方改革実践について具体的支援 10/29　第2回看護管理者協議会 2. 超過勤務の削減	1．副看護師長の取り組みは看護職員の働き甲斐につながるものが多かった。月1回定期的に看護部長ミーティングを開催し、慈愛会看護部が抱える課題やBSCに積極的に取り組んでいる。その取り組みの一つとして看護職員が働き甲斐を持ち続けられる環境づくりを目指した。ロワーマネジメント者である副看護師長研修では「働き方改革」をテーマにそれぞれの部署での活動を行った。約1年間の取り組みの多くは意識改革と行動変容による「業務改善」であり、そのことを通して現場の負担軽減やリフレッシュ休暇・年休取得の推進、時間外勤務減少につながるなど職員の満足感につながる結果も得られていた。「働き方改革」は今後の重要な事項であり、次年度はより成果につながるテーマを掲げ実践につなげていく。 2．新型コロナ感染症に伴う感染管理病棟立ち上げによる人員確保のために看護管理者の夜勤業務は持続している。看護管理に専念できる体制ではない。早急に人員確保と育成が必要である。	1．働きやすい労働環境の整備（夜勤時間の検討、超過勤務の削減、部署による休暇取得日数の格差減少、お互い様お陰様補完体制）による職場満足度向上 ・職場風土分析　５カ年調査の評価及び具体的改善 ・3～5年目看護職の離職率減少 （看護学校との連携・卒後１年～３年支援強化） ・時間外業務縮減に向けた業務量調査と改善 「tudo記録、soku記録で看護をつなぐ」というテーマを看護部全体で掲げ、看護記録の質の向上、看護実践能力の向上、看護記録による超過勤務の削減に取り組む。 2．人員確保と育成 夜勤人員看護体制の見直し 慈愛会看護部支援チームの運用開始 慈愛会看護部支援チームによる有事の際の安心・継続した看護提供体制の強化

2021年度は主な事業として「安定した人材確保と人材定着」「看護職のキャリア支援」「在宅事業部の機能強化」「働き方改革」「心に届く慈愛の看護を語る会の開催」「J－seatyナース研修開催」について活動した。

新型コロナウイルス感染の影響が続く中、実習体験の少ない新入職員を受け入れるにあたり、現場に即した教育プログラムの再構築と教育実践、採用前研修（フレッシュナース研修）を開催し、職場適応支援を行った。

看護部長会では継続した課題に取り組み、今年度は特に看護職員が働き甲斐を持ち働き続けられる環境作りを強化した。ロワーマネジメント者である副看護師長研修では「働き方改革」をテーマにそれぞれの部署での活動を行った。約１年間の取り組みの多くは意識改革と行動変容による「業務改善」であり、そのことを通して現場の看護職員の負担軽減やリフレッシュ休暇・年休取得の促進、時間外勤務減少につながるなど職員の満足感につながる結果も得られていた。「働き方改革」は今後の重要な事項であり、次年度はより成果につながるテーマを掲げ実践に繋げていく。

キャリア支援による人材育成では、マネジメントラダーの再構築による看護管理者の育成、看護職員能力開発プログラムの見直しを行い第６版が完成した。また介護福祉士キャリア開発ラダー・ナースエイドキャリア開発ラダーの作成を行ったので次年度より運用しキャリア支援に繋げていく。職員が自らのキャリアップのツールとして積極的に活用していくためツールの理解と活用の周知、支援強化に引き続き取り組む。次年度は鹿児島中央看護専門学校の教員を臨床看護教員として今村総合病院に配置し、基礎教育と臨床との切れ目のない連携により新人看護師の支援強化や実習指導体制による基礎教育の充実、指導者育成や教員の看護実践力の向上を目標に体制を強化して取り組んでいく予定である。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

１．慈愛会の急性期医療・慢性期医療・終末期医療・在宅医療の連携強化

急性期病床再編により、今村総合病院428床、いづろ今村病院115床での運営となった。新型コロナウイルス感染症の入院受け入れ、発熱外来の設置、ワクチン接種等への協力体制、感染者療養施設への支援やスペシャリストの派遣など積極的に取組んできた。

１）看護管理者協議会（３回／年　　７月　10月　２月開催）

慈愛会看護部長ミーティング（１回／月）

《主な協議・確認事項》

人材確保、人材育成、新型コロナ感染受け入れ状況・感染対策、看護管理者育成、働き方改革、経営参画、人事計画等について

慈愛会特定行為研修修了者活動支援マニュアル作成およびキャリア開発ラダー作成、特定看護師資格手当について明確にした。2022年度より計画的に運用し質の向上に取り組んでいく。

２）慈愛会看護部教育委員会（１回／月）

新人教育、キャリア開発ラダーの改訂（第６版）、３年目研修や実習指導者・教員合同研修企画と運営等、慈愛会全体の教育活動を実践し教育レベルの均てん化を図っている。新型コロナウイルス感染の影響により実習体験に差が生じ不安を抱える職員が多いことが予測されたため、新人教育プログラムを見直し、より成長支援できるための教育プログラムや入職前の準備教育としてフレッシュナース研修など企画し新人受け入れ態勢を整備した。

３）慈愛会連携推進委員会（１回／２月）

2021年２月より慈愛会内外の連携を推進するために、設置した。委員会活動当初は慈愛会内での自施設の役割や連携状況を理解し合い共通した課題に取り組んだ。また顔の見える関係つくりのため各施設訪問し地域連携室と看護部の連携強化、看看連携を現場で行い連携がスムーズになった。

【慈愛会連携推進会議】

	開催日時	議題
第１回	2021/4/22（木）	１）慈愛会内外連携報告 （1）訪問看護ステーション実績報告 ①現在の訪問状況（笹貫訪問看護ステーション愛の街、いづろサテライト） ②新規利用状況 ２）慈愛会連携推進に向けての検討（問題解決能力の向上） （1）今村総合病院の役割（強み）確認と他施設の連携状況 （2）各施設情報共有 （3）今後の会議運営方法 （4）慈愛会内コロナワクチン接種状況
第２回	2021/6/17（木）	１）慈愛会内外連携報告 （1）訪問看護ステーション実績報告 ①現在の訪問状況（笹貫訪問看護ステーション愛の街、いづろサテライト） ②新規利用状況 ２）慈愛会連携推進に向けての検討（問題解決能力の向上） （1）谷山病院の役割（強み）と他施設の連携状況 （2）各施設情報共有 ３）慈愛会全体としての広報検討 ４）入退院の効率化、よりスムーズな連携のための入院時スクリーニングシート活用と実際 ５）接遇に関する報告
第３回	2021/8/19（木）	１）慈愛会内外連携報告 （1）訪問看護ステーション実績報告 ①現在の訪問状況（笹貫訪問看護ステーション愛の街、いづろサテライト） ②新規利用状況 ２）慈愛会連携推進に向けての検討（問題解決能力の向上） （1）いづろ今村病院の役割（強み）と他施設の連携状況 ３）慈愛会全体としての広報検討　現状報告 ４）慈愛会内転院時の入院時スクリーニングシート活用状況
第４回	2021/10/28（木）	１）慈愛会内外連携報告 （1）訪問看護ステーション実績報告 ①現在の訪問状況（笹貫訪問看護ステーション愛の街、いづろサテライト） ②新規利用状況 ２）慈愛会連携推進に向けての検討（問題解決能力の向上） （1）愛と結の街グループの強みと他施設の連携状況 ３）慈愛会連携状況（実績報告　医療連携に関し各施設が抱える課題） 連携実績入力表から見えるもの ４）その他：連携実績入力表の活用継続
第５回	2021/12/16（木）	１）慈愛会看看連携打ち合わせ会議について （1）各施設の現状と他施設との連携状況 ２）法人内連携実績データ格納場所の確認
第６回	2022/2/17（木）	１）各施設情報共有 ２）慈愛会看看連携打ち合わせ会議について ３）連携実績入力表から見えるもの ４）コロナ禍における連携の実態と課題

２．在宅事業部（訪問診療・看護）の機能強化

統合後の訪問看護ステーションは泉町にサテライトを設置し利用者の増加につながっている。月平均訪問看護件数1060件と目標900件を上回った。新規依頼の拡大に向けて積極的な広報活動や実際の利用者による口コミなど信頼を得られるような質確保に向けて取り組んだ。今年度は在宅ケア認定看護師教育課程を１名が受講し認定資格を得た。今後在宅看護でスペシャリストとしての能力発揮と看護師教育支援での活躍ができるよう取り組む。慈愛会では令和４年度より在宅支援部が設置される。訪問看護は在宅支援部の組織の中で独立し、さらに事業拡大しながら地域に求められる在宅支援を実践していく予定である。

３．看護師確保について

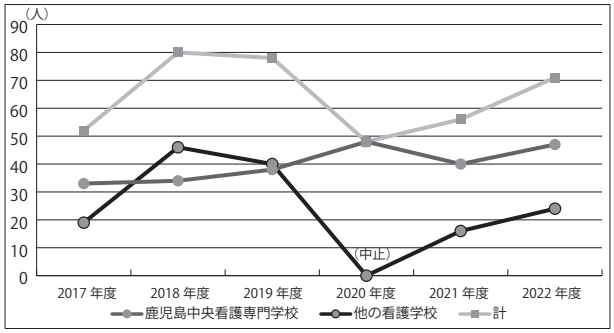
１）採用試験実施（年４回開催　5月　8月　11月　1月）

定期採用試験は４回実施した。５月の採用試験は徐々に周知され、前年度より受験者数は増加してきている。2022年度必要とする人員は当初確保できたが、３月の辞職者が今村総合病院、いづろ今村病院で予定外に増加したため急性期病院は今後も人員確保が必要である。新卒入職者については支援体制を強化したが今年度も新人看護師の辞職者がいた。急性期における辞職者の増加は、転職や結婚による移動、法人外への就職希望などである。奄美病院や徳之島病院は今年度も新卒者が入職し、人事面での活性化がみられている。

２）採用活動

主な採用活動として慈愛会就職説明会、業者によるガイダンス、学校訪問を行い人材確保に努めた。新型コロナ感染によって学校訪問が不可能な時期があったが学校との関係づくりができ学校からの入職者紹介もいただいている。

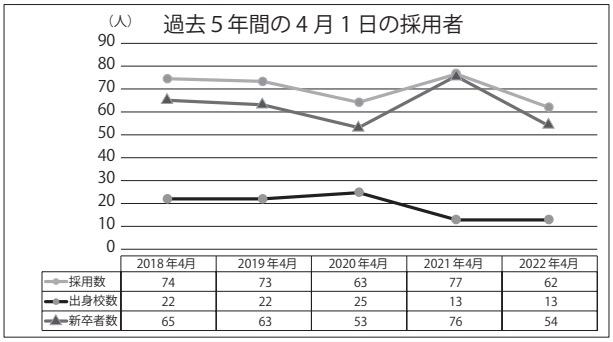
慈愛会主催就職説明会の来場者状況（過去５年間）



	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
鹿児島中央看護専門学校	33	34	38	48	40	47
他の看護学校	19	46	40	0	16	24
計	52	80	78	48	56	71
新卒採用者数	54	65	63	53	76	54

※2020 年度は新型コロナウィルス感染拡大の為
　鹿児島中央看護専門学校以外の学生への就職説明会は未実施
※2021 年度は感染対策の為
　鹿児島中央看護専門学校と他の看護学校の２回に分けて開催

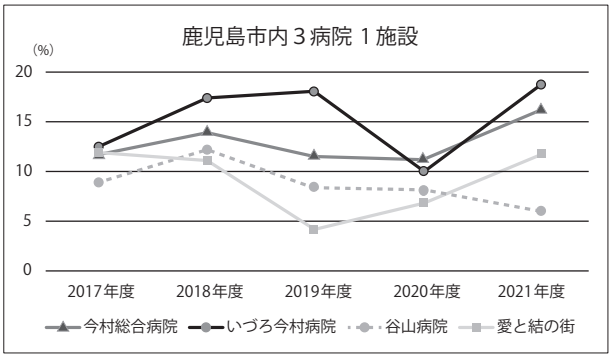
看護師採用状況



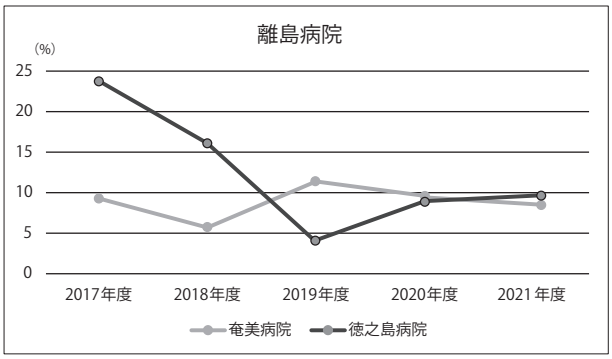
過去５年間の４月１日の採用者（病院別）

	2018年4月	2019年4月	2020年4月	2021年4月	2022年4月
今村総合病院	54	51	45	50	43
いづろ今村病院	8	11	9	9	7
谷山病院	9	9	6	12	7
奄美病院	2	0	1	2	2
徳之島病院	1	2	2	4	3

離職率状況



	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
今村総合病院	11.7	13.9	11.4	11.0	16.1
いづろ今村病院	12.5	17.4	17.9	10.0	18.7
谷山病院	8.9	12.2	8.6	8.5	6.0
愛と結の街	11.9	11.1	4.5	7.1	11.5



	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
奄美病院	9.3	5.7	11.1	9.7	8.7
徳之島病院	23.8	16.1	4.5	9.1	9.6

合同研修会

		研修名	開催日	時間	場所	対象者	受講者	研修概況
管理者研修	1	看護部長研修会	10月28日 （木）	11:00～ 17:30	かごしまオハナビル 3階中会議室	看護部長	総合：1名 いづろ：1名 谷山：1名 奄美：1名 徳之島：1名 愛結：1名 合計：6名	1．研修目的 人材育成能力・人的資源活用能力向上 2．研修目標 （1）看護管理者の能力開発における現状と課題が明確にできる （2）慈愛会全体の看護管理者能力開発について方針を明確にできる。 （3）トップマネジャーとしてマネジメントラダーのねらいと自病院（自施設）の人材育成に関する方針を明確にできる （4）トップマネジャーが看護職員能力開発プログラムについて理解を深め、現状の問題を明らかにし改善できる。 （5）看護職員能力開発プログラム活用へのを明らかにし管理実践計画が立案出来る。 （6）慈愛会マネジメントラダーの周知と活用による人材育成ができる。
	2	副看護部長研修会	10月26日 （火）	13:30～ 17:30	かごしまオハナビル 3階大会議室	副看護部長	総合：2名 いづろ：1名 谷山：1名 奄美：1名 徳之島：1名 愛結：1名 合計：7名	1．研修目的 副看護部長としてのマネジメント力を高める 2．研修目標 （1）自施設の看護サービス向上への自己課題を明確にし、行動できる。 （2）自施設の人材育成に積極的に関与できる。 （3）マネジメントラダー（副看護部長レベル）の理解と今後の課題が明確にできる。
	3	新任看護師長研修会	7月16日 （金）	8:30～ 17:30	かごしまオハナビル 3階中会議室 徳之島病院	新任 看護師長	かごしま オハナビル会場 総合：3名 徳之島会場 谷山：2名 徳之島：1名 合計6名	1．研修目的 看護師長の役割を認識し、中間管理者としての資質の向上を図る 2．目標 （1）看護師長の役割と自覚が芽生え、目標管理を実践できる。 （2）看護師長としての能力を自己評価し、自己の課題が明確になる。 （3）マネジメントラダーⅡ認定に向けた、自己の課題と取り組みを立案し実践できる。 （4）慈愛会組織の理解を深め、必要時に支援を受け、医療看護の動向や地域の状況などに関する情報を活用し、自部署および地域の看護ニーズの変化を予測して対応することができる能力を養う。
	4	副看護師長研修会	2022年 2月19日 （土）	8:30～ 17:30	まん延防止等重点措置期間延長の為開催中止	副看護師長	参加予定者 総合：26名 いづろ：10名 谷山：14名 奄美：11名 徳之島：7名 合計68名	1．研修目的 副看護師長の役割を理解し、中間看護管理者としての資質向上を図る 2．目標 （1）実践モデルとしての副看護師長の役割を認識できる。 （2）部署の問題を分析し、看護サービスの向上への取り組みができる。 （3）新型コロナウイルス感染対策の実際（ゾーニング、標準予防策）を習得し、スタッフ育成に活用できる。 （4）マネジメントラダーレベルⅠの自己の課題に取り組むことができる。 ※看護部管理目標の「働き方改革」に関する副看護師長としての今年度の計画・実践・改善（改革）した成果について提出
	5	新任副看護師長研修会	7月8日 （木）	8:30～ 17:30	かごしまオハナビル 3階大会議室	新任 副看護師長	総合：6名 いづろ：1名 谷山2名 徳之島：1名 愛結：1名 合計：11名	1．研修目的 副看護師長の役割を認識し、中間看護管理者としての資質の向上を図る。 2．目標 （1）副看護師長の役割を認識できる。 （2）副看護師長としての資質を自己評価し、自己の課題が明確になる。 （3）看護師長の補佐としての自覚が芽生え、自部署の目標達成の意義が理解できる。
職員研修	6	慈愛会看護部3年目研修会	10月23日 （土）	8:30～ 17:30	かごしまオハナビル 3階大会議室	卒後3年目 看護師	総合：14名 いづろ：7名 谷山：9名 徳之島：1名 【リモート】 愛結：3名 奄美：7名 計：41名	1．目的 危機的状態の看護理論を活用して看護実践ができる看護師の育成 2．目標 （1）危機的状態の患者・家族の心理や受容過程を理解する （2）危機のプロセスに応じた看護介入方法を学ぶ （3）学んだことを今後の看護実践で活かすことができる 3．研修内容 テーマ：危機的状態の患者・家族の看護～心に届く看護ケア～ 講師：鹿児島国際大学教授　新学部設置準備室長　堤 由美子　先生
			10月30日 （土）	8:30～ 17:30	かごしまオハナビル 3階大会議室		総合：23名 【リモート】 奄美：6名 計：29名	
臨地実習	7	臨地指導者・教員合同研修会	4月17日 （土）	10:40～ 12:30	鹿児島中央看護専門学校3年課程 1・2階教室	・慈愛会実習指導者 ・教育担当副看護部長 ・教育担当看護師長 ・副看護師長 ・看護師長 ・副看護部長 ・看護部長 ・鹿児島中央看護専門学校専任教員	総合：19名 いづろ：8名 谷山：9名 愛結：5名 学校：14名 本部：2名 合計：57名	1．目的 基礎教育において質の高い臨地実習環境を提供するための実習指導者・教員の育成 2．目標 （1）臨地実習における学生に、効果的指導方法を見出すことができる。 （2）臨地実習において学生が、自ら考え、気づき、学ぶような関わり方を考えることができる。 （3）自己の教育観を確立し、スタッフへの良いリーダーシップが発揮出来る。 （4）指導者と教員が互いに学びあい、学生指導に対する関係性の重要性を理解できる。
			10月16日 （土）	10:40～ 12:30	鹿児島中央看護専門学校3年課程 1・2階教室		総合：17名 いづろ：10名 谷山：7名 愛結：5名 学校：12名 本部：2名 合計：53名	
新人研修	12	新人看護師フレッシュナース研修会	2022年 3月22日 （火） ～ 3月25日 （金）	8:30～ 17:30	鹿児島中央看護専門学校3年課程 1・2階教室 各施設	入職内定 看護師（新卒）	総合：48名 いづろ：9名 谷山：11名 奄美：2名 徳之島：4名 合計：74名	1．研修の目的 慈愛会看護師としての役割意識を高め、職場適応を支援する 2．目標 （1）慈愛会理念、基本方針、法人概要について理解できる。 （2）医療職に必要な社会人基礎力について学ぶ。 （3）臨床実践能力を高めるための基礎的知識・技術を学ぶ。 （4）自己目標を明確化し、将来のキャリアプランが描ける。

技能・能力向上に向けた取り組み

キャリア開発

1．看護師のキャリア開発ラダー取得状況（表１）

キャリア開発ラダーレベルの申請率は85.9％であった。認定率は57.6％であった。

ラダーレベルⅣ、Ⅴの申請率も増加している。ラダーレベル達成には時間をかけて取り組む内容があり１年で終了できないレベルもあるため、認定の可否でなく「継続」評価を設けた。「継続」評価は認定不可としたため認定合格率の低下に影響している。

継続して取り組みたいという意欲が重要であり、今後も目指すラダーレベルに到達することを支援していきたい。

2．J－seatyナース研修

８コースの中で７コース、慈愛会全体で45名が参加し、慈愛会内で実践している看護を学びあった。また管理者も慈愛会を広く理解するために新任看護師長研修を徳之島で開催し新鮮な気持ちで研修を終えることができた。次年度は在宅支援充実を見据え、離島精神看護経験（徳之島病院）、訪問看護ステーション研修を開始する。

2021年度　J-seatyナース研修

施設名	研修名	研修期間	受講者	講義（内容）	講師（担当）	
鹿児島中央看護専門学校	看護基礎教育	6/28-6/30	４名	開講式、鹿児島中央看護専門学校教育の特徴	専任教員	久徳 美鈴
				成人学習者の理解	専任教員	大保 まり子
				教育目標と授業のねらい	専任教員	大磯 陽子
				講義聴講：基礎看護技術Ⅰ（看護のコミュニケーション技術）	専任教員	大磯 陽子
				本日の研修リフレクション	専任教員	高山 理恵
				クラスマネジメント	専任教員	飯田 かずよ
				クラスマネジメント	専任教員	大磯 陽子
				学内技術演習見学	専任教員	飯田かずよ
				教員との意見交換会	専任教員	兼石 彰　他
				１年生との交流会、学生へのメッセージ	教務主任	大保 まり子他
				シミュレーション学習	専任教員	高山 理恵
				研修の振り返り、リフレクション	専任教員	久徳 美鈴他
谷山病院	精神科医療	7/27-7/29	６名	これからの精神科医療と精神保健福祉法	看護師	中薗 明子
				地域包括ケアシステム	精神保健福祉士	内門 直人
				統合失調症・感情障害疾患と看護	精神科認定看護師	内田 宏貴
				認知症疾患と看護	看護師	堀之内 友香
				心理療法	公認心理師	福留 弘恵
				精神科作業療法	作業療法士	島崎 康子
				発達障害と看護	精神科認定看護師	杉田 真人
				精神科領域における服薬指導の実際	薬剤師	新村 味穂子
				精神科医療における治療の実際	医師	福田 恭哉
				行動制限最小化看護	精神科認定看護師	加藤 和広
				地域移行支援社会復帰施設の役割（見学まで）	精神保健福祉士	満窪 圭吾
				デイケア見学	作業療法士	東泊 由紀
				タクティールケア	理学療法士	古園 龍也
				谷山病院のあゆみ	看護師	生見 千鶴
				アルコール依存症と看護	看護師	福島 愛
				結核について	看護師	池田 直樹
				精神科領域における栄養管理の実際	管理栄養士	四本 悠佳
				グループワーク発表・学びの共有	看護師	永迫 智子
愛と結の街	老健・在宅	8/4-8/6	７名	介護保険制度	介護支援専門員	安藤 朋文
				地域包括ケアシステムにおける愛と結の街グループの役割・機能について	医師	野村 秀洋
				地域包括ケアシステムにおける愛と結の街グループの役割・機能について	介護福祉士	川﨑 友義
				愛と結の街の在宅支援の取り組み	支援相談員	佐別當 誠子
				老健におけるリハビリテーション／維持期リハビリテーションの必要性について	言語聴覚士	大脇 真紀
				老健におけるリハビリテーション／維持期リハビリテーションの必要性について	理学療法士	細樅 友美

施設名	研修名	研修期間	受講者	講義（内容）	講師（担当）	
愛と結の街	老健・在宅	8/4-8/6	7名	在宅生活を継続するためのリハビリテーション	作業療法士	村井 真由美
				老健での栄養マネジメントについて	管理栄養士	今村 瑞香
				自立支援に向けたチームケア	看護師長	木場田 哲也
				自立支援に向けたチームケア	介護福祉士	濱田 郁代
				在宅限界を高めるケアマネジメントの実際	介護支援専門員	安藤 朋文
				認知症治療	医師	黒野 明日嗣
				認知症リハビリテーション	作業療法士	宮田 雅士
				その人らしさを取り戻すケア・終末期のケア	看護師	今西 由香
				認知症であっても住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けるための支援	介護福祉士	前屋敷 さよ子
				笹貫訪問看護ステーション愛の街について	看護師	伊地知 幸輝
				在宅での皮膚排泄ケア	看護師	米澤 美智代
				最期までその人らしさと家族を支える看護	看護師	中田 絵里
				精神障害をもちながらもその人らしく住み慣れた地域で暮らしていくための看護	看護師	米澤 真理子
今村総合病院	フィジカルアセスメント	9/29-10/1	8名	今村総合病院の役割と機能	看護師	北原 美代子
				フィジカルアセスメント　呼吸	看護師	中村 倫丈
				フィジカルアセスメント　循環	看護師	小濵 奈々
				フィジカルアセスメント　脳神経	看護師	浜崎 彩
				急変を未然に防ぐためのフィジカルアセスメント	看護師	小濵 奈々
				急変時の初期対応	看護師	平川 あゆみ
				急変時の初期対応	看護師	小濵 奈々
				病棟見学・急性期患者に対するケアの実際	看護師	中村 倫丈
				病棟見学・急性期患者に対するケアの実際	看護師	平川 あゆみ
				病棟見学・急性期患者に対するケアの実際	看護師	小濵 奈々
				病棟見学・急性期患者に対するケアの実際	看護師	浜崎 彩
				病棟見学・急性期患者に対するケアの実際	看護師	大六野 由樹
				誤嚥性肺炎の予防ケアを考える	看護師	中村 倫丈
				敗血症の初期対応を考える	看護師	中村 倫丈
				GW・意見交換・まとめ	看護師	小波津 武志
				発表・質疑応答	看護師	小波津 武志
奄美病院	離島を含む精神科医療	11/10-11/12	3名	奄美の精神科医療について	医師	杉本 東一
				奄美病院の役割と看護部概要	看護師	福長 由美
				地域包括ケアシステムにおけるデイケアの役割	作業療法士	椿山 直己
				訪問看護における在宅での生活継続支援	看護師	直原 博文
				行動制限について	精神科認定看護師	平江 将樹
				地域連携室の役割・精神保健福祉法の理解・人権の尊重	精神保健福祉士	吉村 あゆみ
				アルコール治療の実際	看護師	肥後 友嘉
				精神科リハビリテーション	作業療法士	森山 祐樹
				機能回復訓練	理学療法士	加納 道貴
				グループホームの役割について	介護福祉士	大野 力
				他施設間の連携の実際を学ぶ	精神保健福祉士	盛谷 竜男
				指定障害福祉サービス事業所あらいぐまの役割	作業療法士	中井 慎二
				認知症患者の看護	看護師	富地 幸代
				認知症病棟におけるリハビリテーション	作業療法士	森野 将大
今村総合病院	感染管理	11/29-12/1	12名	今村総合病院看護部概要	看護師	北原 美代子
				感染管理とマネジメント	看護師	切手 康加
				感染予防対策の基本	看護師	川畑 友佳
				職業感染防止の実際	看護師	川畑 友佳
				新型コロナウイルス感染症について	医師	有馬 丈洋
				新型コロナウイルス感染症の感染対策について	看護師	吉森 みゆき
				精神科看護における感染対策（Zoom 対応）	看護師	中尾 明美
				病院見学・グループワーク	看護師	吉森 みゆき
				病院見学・グループワーク	看護師	切手 康加
				病院見学・グループワーク	看護師	川畑 友佳
				洗浄・消毒・滅菌・検体採取（Zoom 対応）	看護師	中尾 明美

施設名	研修名	研修期間	受講者	講義（内容）	講師（担当）	
今村総合病院	感染管理	11/29-12/1	12名	抗菌薬について	医師	有馬 丈洋
				サーベイランス（症候性・手指衛生）	看護師	中尾 明美
				サーベイランス（器具・カテーテル関連尿路感染・カテーテル関連血流感染・人工呼吸器関連肺炎・手術部位感染）	看護師	川畑 友佳
				研修参加による学びのまとめ	看護師	吉森 みゆき
				研修参加による学びのまとめ	看護師	川畑　友佳
いづろ今村病院	緩和ケア	12/6-12/8	5名	いづろ今村病院の目指すもの	医師	黒野 明日嗣
				いづろ今村病院看護部概要	看護師	籔下 和代
				緩和ケア概論	医師	松下 格司
				症状マネジメント「がん性疼痛」	看護師	水流 尚子
				アロマセラピー・リンパマッサージ	看護師	今井 朋子
				がん治療におけるチームアプローチ	薬剤師	東條 知子
				がん治療におけるチームアプローチ	栄養士	萬福 有理
				がん治療におけるチームアプローチ	作業療法士	飯田 真由美
				がん治療におけるチームアプローチ	公認心理師／臨床心理士	片山 秀美
				がん治療におけるチームアプローチ	看護師	大垣 美紀
				がん治療におけるチームアプローチ	看護師	里之園 美佐代
				特別講演	外部講師（住職）	長倉伯博先生

コース別　参加者所属施設別　内訳

参加者＼コース	看護基礎教育（鹿中看）6/28-6-30	精神医療（谷山）7/27-7/29	老健・在宅（愛結）8/4-8/6	フィジカルアセスメント（今村総合）9/29-10/1	離島を含む精神医療（奄美）11/10-11/12	感染管理（今村総合）11/29-12/1	緩和ケア（いづろ今村）12/6-12/8	離島を含む精神医療（徳之島病院）※延期	計
今村総合病院	1	2	1	2		1	2		9
いづろ今村病院	2	2	3	4		5	2		18
谷山病院	1		2	1	2	1			7
奄美病院		1				2			3
徳之島病院		1			1				2
愛と結の街				1		3	1		5
鹿児島中央看護専門学校			1						1
計	4	6	7	8	3	12	5	0	45

３．認定看護師その他の資格保有状況（表２）

2021年度は認知症看護、訪問看護認定看護師教育課程を２名受講し修了した。次年度は認知症看護認定看護師教育課程に１名、感染管理認定看護師教育課程に２名が進み資格取得予定である。

特定行為研修は今年度６名受講した。次年度は10名が受講予定である。各施設が研修終了後の環境を整え、特定看護師が専門的な知識と技術を生かし看護の質向上に貢献できるよう引き続き努める。

４．看護管理者の育成とマネジメントラダーレベル認定状況（表３，表４）

新たなマネジメントラダー、管理者に求められる資質を明確にし、管理者は目指す申請レベルに主体的に取り組んだ。次年度、鹿児島県看護協会において認定看護管理者教育課程サードレベルが開講される。慈愛会から看護部長と副看護部長３名が受講希望している。サードレベルを終了したのち認定試験に合格し認定看護管理者となる。現在慈愛会での認定看護管理者は５名である。第３次マスタープラン最終年度となる５年後には、各施設に認定看護管理者を配置し全体的な看護管理のレベルアップを図れるよう、計画的人材育成に取り組んでいく。

各種指標

（表１）　2021 年度　慈愛会看護部　看護師キャリア開発ラダー認定状況

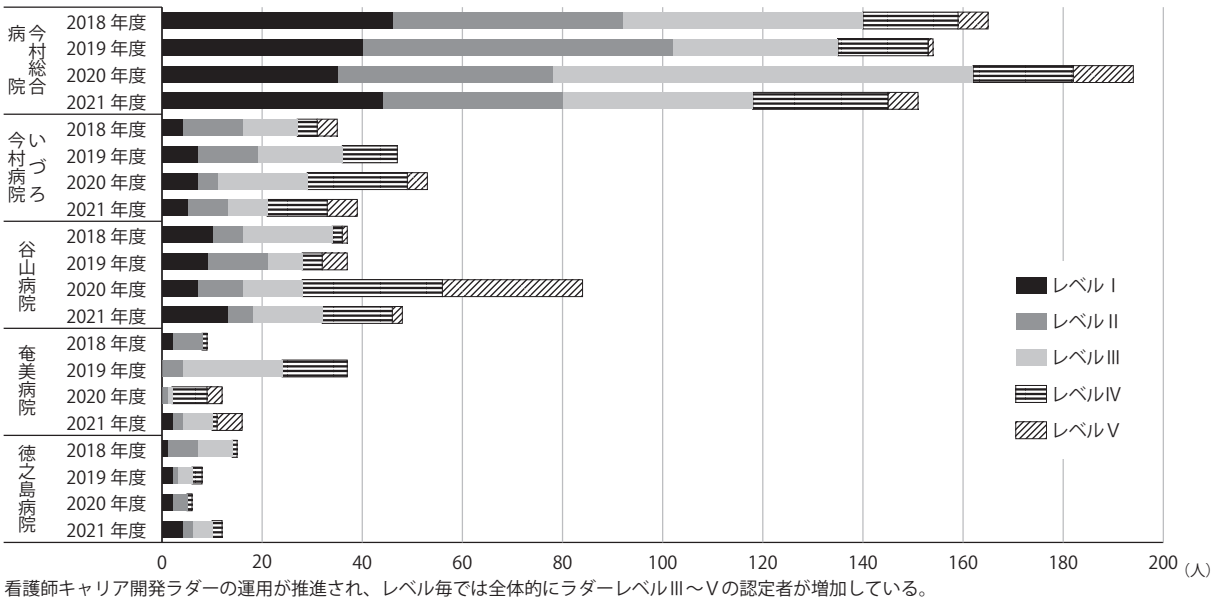
		1．認定申請率 ※対象者に対する		2．全体の認定率 ※対象者に対する		3．今年度の認定合格率 ※申請者に対する		4．認定合格者（数）	5．今年度の対象者（数）※看護管理者除外 / 全体の対象者（数）※看護管理者除外	6．これまでに１回も申請がない（人数） / これまでに１回も認定されていない（人数）
		対象者の中での申請者数	申請率	対象者の中での認定者数	認定率	申請者のうち認定合格者数	合格率			
今村総合病院	今年度の新たな認定者・更新者	246	78.1%	151	47.9%	151	61.4%	151	315	1
	全体の認定者	325	99.7%	321	98.5%	230	71.7%	321	326	5
いづろ今村病院	今年度の新たな認定者・更新者	69	100.0%	39	56.5%	39	56.5%	39	69	0
	全体の認定者	76	100.0%	71	93.4%	46	64.8%	71	76	5
谷山病院	今年度の新たな認定者・更新者	96	99.0%	48	49.5%	48	50.0%	48	97	0
	全体の認定者	106	100.0%	106	100.0%	58	54.7%	106	106	0
奄美病院	今年度の新たな認定者・更新者	37	100.0%	16	43.2%	16	43.2%	16	37	0
	全体の認定者	39	100.0%	39	100.0%	18	46.2%	39	39	0
徳之島病院	今年度の新たな認定者・更新者	14	100.0%	12	85.7%	12	85.7%	12	14	0
	全体の認定者	15	100.0%	15	100.0%	13	86.7%	15	15	0
全　体	今年度の新たな認定者・更新者	462	86.8%	266	50.0%	266	57.6%	266	532	1
	全体の認定者	561	100.0%	552	99.8%	365	66.1%	552	562	10

（注）
1．認定申請率 …… 対象者とは、副看護師長以上の看護管理者を除く看護師（助産師）
2．全体の認定率 …… 常勤（嘱託）の副師長以上の管理職を除く看護師（助産師）に対する認定率　（レベル取得した者の率）
3．今年度の認定合格率 …… 今年度に申請し今年度の年度末に合格した合格率
4．認定合格者 …… 過去の認定者も含めて全体でレベルⅠ～Ⅳ
5．対象者 …… 年度末（３月 31 日）時点の対象者総数とする

2021 年度　看護師キャリア開発ラダー認定者数　一覧

		レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
今村総合病院	2018 年度	46	46	48	19	6
	2019 年度	40	62	33	18	1
	2020 年度	35	43	84	20	12
	2021 年度	44	36	38	27	6
いづろ今村病院	2018 年度	4	12	11	4	4
	2019 年度	7	12	17	11	0
	2020 年度	7	4	18	20	4
	2021 年度	5	8	8	12	6
谷山病院	2018 年度	10	6	18	2	1
	2019 年度	9	12	7	4	5
	2020 年度	7	9	12	28	28
	2021 年度	13	5	14	14	2
奄美病院	2018 年度	2	6	0	1	0
	2019 年度	0	4	20	13	0
	2020 年度	0	1	1	7	3
	2021 年度	2	2	6	1	5
徳之島病院	2018 年度	1	6	7	1	0
	2019 年度	2	1	3	2	0
	2020 年度	2	3	0	1	0
	2021 年度	4	2	4	2	0

施設毎　レベル毎認定数比較



看護師キャリア開発ラダーの運用が推進され、レベル毎では全体的にラダーレベルⅢ～Ⅴの認定者が増加している。
特にラダーレベルⅣ～Ⅴの増加が顕著であった。

（表２）　看護師資格取得状況一覧（2021 年度）

			いづろ	総合	谷山	奄美	徳之島	老健	鹿中看3年課程	鹿中看2年課程	本部	法人計
認定看護師	救急看護	資格者		2								2
		受講中										0
	皮膚・排泄ケア	資格者		1				1				2
		受講中										0
	クリティカルケア	資格者		1								1
		受講中										0
	緩和ケア	資格者	1	2								3
		受講中										0
	がん性疼痛看護	資格者	1									1
		受講中										0
	がん放射線療法看護	資格者		1								1
		受講中										0
	がん化学療法看護	資格者		1								1
		受講中										0
	感染管理	資格者	1	2			1					4
		受講中										0
	糖尿病看護	資格者	1									1
		受講中										0
	脳卒中リハビリテーション看護	資格者		1								1
		受講中										0
	認知症看護	資格者										0
		受講中	1									1
	在宅ケア	資格者										0
		受講中						1				1
	精神科	資格者		1	3	1					1	6
		受講中										0
認定看護管理者	ファーストレベル	資格者	15	23	29	13	9	6	3	1	2	101
		受講中	1	2	3	2	1	1	1			11
	セカンドレベル	資格者	7	11	6	3	1	3	1		2	34
		受講中		2	1	1	1					5
	サードレベル	資格者		1	1				1			3
		受講中										0
	認定看護管理者	資格者		1	1				1		2	5
		受講中										0
特定行為研修	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	資格者		5	1			1				7
		受講中	1	1				1				3
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	資格者		4								4
		受講中		2								2
	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	資格者										0
		受講中		1								1
	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	資格者										0
		受講中		1				1				2
	循環動態に係る薬剤投与関連	資格者		2								2
		受講中		1								1
	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	資格者			1							1
		受講中	1									1
	創傷管理関連	資格者	1	4	1			1				7
		受講中						1				1

特定行為研修	胸腔ドレーン管理関連	資格者										0
		受講中		1								1
	腹腔ドレーン管理関連	資格者										0
		受講中		1								1
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	資格者										0
		受講中		1								1
	栄養に係るカテーテル管理（抹消留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	資格者										0
		受講中		1								1
	創部ドレーン管理関連	資格者										0
		受講中		1								1
	動脈血液ガス分析関連	資格者										0
		受講中		2								2
	術後疼痛管理関連	資格者										0
		受講中		1								1
	ろう孔管理関連	資格者		2	1							3
		受講中		1				1				2
長期	教員養成課程修了	資格者		3	1	1			12	6	1	24
		受講中	1									1
	教務主任養成課程修了	資格者										
		受講中							1	1		2
その他の資格・研修	医療安全管理養成過程終了者		26	27	15	10	4	2			1	85
	臨床指導者講習修了者（看護）		9	11	24	5		12	4	1	2	68
	臨床指導者講習修了者（介護）		0	0	0	0		16				16
	災害支援ナース		3	4	6	2	2		1		1	19
	糖尿病療養指導士		6	0								6
	呼吸療法士		2	6								8
	消化器内視鏡技師		1	3								4
	透析技術認定士		0	6								6
	日本救急学会認定インストラクター ICLS コース		1	6	5		2					14
	アメリカ心臓病学会インストラクター BLS コース		2	7	6		1					16
	栄養サポートチーム専門療法士			1								1
	介護支援専門員		2	1	1			22	1	※4		27
	訪問看護師養成講習会修了者		1	2	1	6	2	2	2	1		17

注）受講中とは本年度研修受講したもの

※介護支援専門員　　4人未更新
※主任介護支援専門員 1人未更新

（表３）　慈愛会看護部　管理者任用候補者選考結果及び昇任状況

病院	年度	看護部			介護福祉士			ナースエイド			次年度昇任者数	次年度以降の昇任者数	受験者中再受験者数	
		受験者（　）内副看護師長	合格者（　）内副看護師長	合格率（%）	受験者	合格者	合格率（%）	受験者	合格者	合格率（%）				
いづろ今村病院	2017 年度	7 （5）	6 （5）	85.7%							0	0	0	
	2018 年度	4 （1）	4 （1）	100.0%							0	2	2	
	2019 年度	2	2	100.0%							1	0	0	
	2020 年度	1	1	100.0%							0	0	0	
	2021 年度	5	5	100.0%	3	2	66.7%	0	0		0	0	0	
今村総合病院	2017 年度	11 （3）	10 （3）	90.9%							5	0	3	※教員へ１名
	2018 年度	10	8	80.0%							0	5	1	
	2019 年度	6	5	83.3%							2	1	1	
	2020 年度	6	6	100.0%	1	1	100.0%	5	4	80.0%	2	3	0	
	2021 年度	5	5	100.0%	2	2	100.0%	2	2	100.0%	0	0	0	
谷山病院	2017 年度	3 （2）	1 （1）	33.3%							0	0	0	
	2018 年度	4 （1）	4 （1）	100.0%							1	1	2	
	2019 年度	1	1	100.0%							1	0	0	
	2020 年度	2	2	100.0%							0	0	0	
	2021 年度	3	3	100.0%	1	1	100.0%				1	0	0	
奄美病院	2017 年度	5 （2）	4 （2）	80.0%							1	1	1	
	2018 年度	3 （2）	3 （2）	100.0%							1	0	0	
	2019 年度	4	3	75.0%							3	0	0	
	2020 年度	1	1	100.0%	3	3	100.0%				0	0	0	
	2021 年度	3	3	100.0%	1	1	100.0%				0	0	0	
徳之島病院	2017 年度	2	2	100.0%							2	0	1	
	2018 年度	2	2	100.0%							1	1	0	
	2019 年度	2	2	100.0%							0	0	0	
	2020 年度	1 （1）	1 （1）	100.0%	1	0	0.0%				0	0	0	
	2021 年度	2	1	50.0%	2	2	100.0%				0	0	0	
愛と結の街	2017 年度	2 （2）	2 （2）	100.0%							0	0	0	
	2018 年度	2 （2）	2 （2）	100.0%							0	0	0	
	2019 年度	3	3	100.0%							0	0	0	
	2020 年度	1	1	100.0%	5	5	100.0%				1	0	0	
	2021 年度	1	1	100.0%	5	4	80.0%				0	0	0	
鹿児島中央看護専門学校	2019 年度	1	1	100.0%							0	0	0	
	2020 年度	0	0	－							0	0	0	
	2021 年度	0	0	－							0	0	0	
全体	2017 年度	30 （22）	25 （19）	83.3%							8	1	5	
	2018 年度	25 （6）	23 （6）	92.0%							3	9	5	
	2019 年度	19	17	89.5%							7	1	1	
	2020 年度	12	12	100.0%	10	9	90.0%	5	4	80.0%	3	3	0	
	2021 年度	19	17	89.5%	14	12	85.7%	2	2	100.0%	1	0	0	

（表４）　2021 年度　マネジメントラダー　認定状況

		ラダーⅠ	ラダーⅡ	ラダーⅢ	ラダーⅣ	副看護部長職	看護部長職
今村総合病院	対象者	6	4	9	6	2	1
	申請者	6	3	7	6	1	0
	認定者	2	2	0	3	1	0
	認定率	33%	67%	0%	50%	100%	0%
いづろ今村病院	対象者	1	0	2	3	0	1
	申請者	1	0	2	3	0	1
	認定者	0	0	0	2	0	0
	認定率	0%	0%	0%	67%	0%	0%
谷山病院	対象者	3	2	0	4	1	1
	申請者	2	2	0	4	1	0
	認定者	2	1	0	0	0	0
	認定率	100%	50%	0%	0%	0%	0%
奄美病院	対象者	0	1	0	4	1	1
	申請者	0	1	0	1	1	1
	認定者	0	0	0	1	0	0
	認定率	0%	0%	0%	100%	0%	0%
徳之島病院	対象者	4	0	3	0	0	1
	申請者	3	0	1	0	0	1
	認定者	3	0	1	0	0	0
	認定率	100%	0%	100%	0%	0%	0%
認定の申請 ５病院計	対象者	14	7	14	17	4	5
	申請者	12	6	10	14	3	3
	認定者	7	3	1	6	1	0
	認定率	58%	50%	10%	43%	33%	0%

※認定率は申請者に対しての認定率

業　績　一　覧

【学会発表】

今村総合病院

1．川口詩織，徳田加奈子，上山りえ，池田清夏：造血幹細胞移植予定患者へ Jonsen4 分割法を用いたカンファレンスが看護師の移植前介入に与えた影響．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
2．平川あゆみ，池田慎，青山恵太，福田美幸：二次救急病院でのアクションカードを用いた災害発生に備えた取り組み～救急総合内科外来での災害図上訓練の実施による看護師の心境の変化～．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
3．浜崎彩，稲森晃，切手康加，中村倫丈，平川あゆみ，中窪尊子：Jining 活動報告から 4 年間の PAT 研修の活動と今後の課題．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
4．中村倫丈，越口晋伍，菅原智恵，嘉村早苗，桑野大介：ICU 患者のせん妄発症に関する調査～関連する危険因子の実態から見えてきたこと～．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
5．橋口諒一郎，崎口茜，川崎凛，惠真紀：局所麻酔手術を受ける皮膚科患者の術前訪問の充実を図る．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
6．中谷明実，飯ヶ谷尚美，吉森みゆき，北原美代子，帆北修一：A 病院における COVID-19 患者の受け入れの現状と課題～看護管理者の視点から～．日本医療マネジメント学会第 19 回九州・山口連合大会，2021 年 11 月 20-21 日，Web
7．飯ヶ谷尚美, 中谷明実, 吉森みゆき, 北原美代子, 帆北修一：A 病院における COVID-19 病棟の看護師のストレス調査．日本医療マネジメント学会第 19 回九州・山口連合大会，2021 年 11 月 20-21 日，Web
8．吉森みゆき，斎藤潤栄，下江理沙，川村英樹：COVID-19 に関する鹿児島県感染症チームの活動の取り組み．日本医療マネジメント学会第 19 回九州・山口連合大会，2021 年 11 月 20-21 日，Web
9．井手扶紗：尿路結石治療におけるクリティカルパス運用実績と今後の課題．日本医療マネジメント学会第 19 回九州・山口連合大会，2021 年 11 月 20-21 日，Web

いづろ今村病院

10. 植木真樹子：大腸がんの精検受診率を上げるために～受診勧奨のシステムづくり～．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
11. 里之園美佐代：緩和ケア内科の訪問診療同行について～円滑に緩和の訪問診療が行える体制作り～．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
12. 楠原葉子，有村智美：口腔ケアに関する現状調査．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
13. 圖師知江，落司文月，宮脇美穂，岩切郁美，福盛貴子：当病棟における内服管理フローチャート導入の検討．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
14. 大野ひとみ：手術後訪問のシステム作りと充実を目指して．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
15. 北菜津美：手術室における災害発生時の対応．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
16. 岩元美樹，脇志織，前田みさき，内大久保恵，福盛貴子：繰り返される注射のインシデントの要因調査～スタッフの属性に焦点を当てて～．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
17. 假屋敬子：眼科外来の災害マニュアル作成～日常より防災に努め、災害発生時に役割を把握し安全に行動ができる～．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
18. 前田莉菜：外科外来業務内容の確立に向けて．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
19. 松下祥子：特定保健指導マニュアルについて～実施から入力、請求までの過程～．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島

20. 内村祐子：ドックカンファレンス短縮に向けての取り組み．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
21. 中村好美：効果的な特定保健指導実施に向けて．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
22. 柳井谷みさき：手術室業務の改善．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島

谷山病院

23. 東千夏，河野朱音，並河恵，竹内清香：長期隔離患者に対する看護者の意識変化～ストレングス・マッピングシートを用いたかかわりを通して～ . 第 46 回日本精神科看護学術集会，2021 年 6 月 11-13 日，Web
24. 橋口めぐみ，西郷樹奈，岡村理恵，児玉康恵：迷惑行為を繰り返す長期隔離患者に対する看護師の意識変化～対応マニュアル作成の効果～ . 第 46 回日本精神科看護学術集会，2021 年 6 月 11-13 日，Web
25. 潮昌子：専門職としての自律とやる気を上げる組織風土に向けた取り組み．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
26. 濵田多美枝，遠藤悠矢，長瀧あかり：同じ時を過ごす思い出作り～コロナ禍での患者支援～．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
27. 岡村理恵：慢性期閉鎖病棟の OT の参加率をあげるために～オペラント条件づけ技法を用いてみて～．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
28. 永迫智子：精神科身体合併症病棟における看護の質保証～カンファレンスの実態報告と考察～．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
29. 児玉康恵：医療安全意識の定着に向けて．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
30. 有木攻:新型コロナウイルス感染症流行下での学習取り組みの報告．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
31. 中薗明子：働きやすい職場環境つくり～インデックス調査結果より～．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
32. 平松秀明：TQM 推進者としての QC 活動への支援と教育．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島

奄美病院

33. 川畑富士美：倫理的問題を解決するための支援～変革理論を用いたアプローチ～．1．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
34. 中村美千代:介護福祉士の教育支援～協働体制の構築を目指して～．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
35. 柏原美喜子：精神科開放病棟における服薬自己管理の推進～服薬自己管理へ向けてのチェックリスト作成～．第 28 回日本精神科看護専門学術集会，2021 年 10 月 16-17 日，Web
36. 松下理絵:スタッフが安心して働ける職場作りのために. 第28回日本精神科看護専門学術集会, 2021年10月16-17日, Web

徳之島病院

37. 福島絵理子，山上清美，東郷かね子，宮永梨恵：外国人技能実習生受け入れによる介護福祉士・ナースエイドの意識の変化～指導的立場になることの影響について探る～．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島

愛と結の街

38. 野口文子, 倉本広幸, 小牟禮輝行, 松元翼:在宅復帰に向けての自立支援. 第1回慈愛会学会学術集会, 2021年7月10日, 鹿児島
39. 仮屋薗綾，中田絵里，米澤美智代：顔面領域における癌性悪臭対策の検討～尊厳ある生活を支えるために．第 1 回

慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島

40. 中間敏子，村井真由美：短時間通所リハビリの成果と課題について～利用者の心理機能・ADL 変化・ニーズを知り今後の支援に繋げる～．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
41. 畠中政樹, 田中慶, 徳田めぐみ, 下園あけみ:家族の受容の段階や介護力に合わせた支援．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
42. 西七海，福満貴幸，宮田強：自分で美味しく食べるために　自己摂取への取り組み．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
43. 福元利英, 福元綾子, 加納美紀, 迫田沙織, 中村美貴:業務改善～インカムを導入して～．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島
44. 中馬健一，田中聖二：通所介護事業所転換に伴う変化について．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島

【研究会・講演会】

今村総合病院

1．堂園涼子：母性看護学方法論（周産期看護）．独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校，2021 年 4 月 -2022 年 3 月，鹿児島
2．中谷明実：看護管理（看護学科）．学校法人南学園鹿児島医療福祉専門学校，2021 年 5 月 -8 月，鹿児島
3．小波津武志：病態学Ⅱ血液・造血器系．学校法人久木田学園久木田学園看護専門学校，2021 年 6 月 29 日 -7 月 19 日・7 月 26 日，鹿児島
4．長瀧恵：ELNEC- J コアカリキュラム看護師教育プログラム研修会，2021 年 7 月 3-4 日，11 月 6-7 日，鹿児島
5．中村倫丈：高齢者の心身の理解とフィジカルアセスメント．高齢者権利擁護推進事業における看護実務者研修会，2021 年 7 月 6 日，鹿児島
6．中谷明実：人材管理Ⅰ　労務管理の基礎知識．令和 3 年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修，公益社団法人鹿児島県看護協会，2021 年 8 月 19 日，鹿児島
7．中村倫丈：在宅におけるフィジカルアセスメント．鹿児島県看護協会訪問看護師養成研修 入門コース，20221 年 8 月 20 日，鹿児島
8．中村倫丈：在宅におけるフィジカルアセスメント．公益社団法人日本訪問看護財団訪問看護 e ラーニングを活用した訪問看護師養成講習会，2021 年 8 月 28 日，鹿児島
9．池田清夏，上山りえ：成人看護方法論Ⅳ（造血器系・看護学科）．学校法人南学園鹿児島医療福祉専門学校，2021 年 9 月 -11 月，鹿児島
10. 北原美代子：新型コロナウイルス感染症の感染対策の現状と課題～看護管理者の視点から～．2021 年度　VHJ 職員交流研修会　看護管理分科会，2021 年 11 月 12 日，Web
11. 吉森みゆき：感染予防について．日置・南薩地区養護教諭研修会，鹿児島県教職員互助組合，2021 年 11 月 22 日，鹿児島
12. 吉森みゆき：感染対策について．徳之島徳洲会病院，2021 年 11 月 24-25 日，鹿児島
13. 吉森みゆき：感染症について．鴨池地区公民館，2021 年 12 月 8 日，鹿児島
14. 浜辺恵里香：令和 3 年度主任介護支援専門員研修．特定非営利活動法人鹿児島県介護支援専門員協議会，2021 年 12 月 15 日，2022 年 2 月 17 日，鹿児島
15. 鶴田奈緒美:認知症・精神科訪問看護．訪問看護供給体制確保推進事業に係る研修会, 公益社団法人鹿児島県看護協会,

2022 年 1 月 29 日，鹿児島

16. 吉森みゆき：新型コロナウイルス感染症について. 鹿児島市老施協直接処遇職員研修会, 鹿児島市老人福祉施設協議会, 2022 年 2 月 4 日，鹿児島

いづろ今村病院

17. 中窪尊子：緩和ケア学．鹿児島純心女子大学看護栄養学部看護学科，2021 年 5 月 26 日，鹿児島
18. 尾堂ゆかり：糖尿病とともに生きる人々への看護．公益社団法人鹿児島県看護協会，2021 年 7 月 13 日，鹿児島
19. 中窪尊子：新任看護師長研修．公益社団法人鹿児島県看護協会，2021 年 9 月 16 日，鹿児島
20. 中窪尊子：成人看護学方法論Ⅴ（治癒困難な患者の看護）．鹿児島中央看護専門学校 3 年課程，2021 年 10 月 1・8・14・22・27 日，11 月 5 日，12 月 10 日，鹿児島
21. 尾堂ゆかり：糖尿病重症化予防保健指導従事者研修会．鹿児島県国保ヘルスアップ支援事業，2021 年 10 月 17 日，鹿児島
22. 尾堂ゆかり：糖尿病看護．慈愛会認定・特定看護師会研修会，2021 年 10 月 23 日，11 月 6 日，12 月 11 日，鹿児島
23. 川畑由佳：感染管理．慈愛会認定・特定看護師会研修会，2021 年 11 月 6 日，鹿児島
24. 中窪尊子：ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム研修会，2021 年 11 月 6-7 日，鹿児島
25. 水流尚子：ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム研修会，2021 年 11 月 6-7 日，鹿児島
26. 中窪尊子：看取りのケア．慈愛会谷山病院研修会，2021 年 11 月 26 日，鹿児島
27. 川畑由佳：感染管理認定看護師の障害者施設支援．社会福祉法人落穂会旭福祉センター，2021 年 12 月 2 日，鹿児島
28. 川畑由佳：感染管理認定看護師の障害者施設支援．社会福祉法人青い鳥会吉田愛青園，2021 年 12 月 4 日，鹿児島

谷山病院

29. 内田宏貴：対象理解Ⅰフィジカルアセスメント．日本精神科看護協会，2021 年 5 月 27-28 日，Web
30. 中薗明子：予測できない未来に備える事業計画（BCP）と対策．第 46 回日本精神科看護学術集会，2021 年 6 月 13 日，Web
31. 中薗明子：人材育成．日本精神病院協会主催看護管理者講習会，2021 年 7 月 19 日，Web
32. 内田宏貴：精神科薬物療法の看護．日本精神科看護協会鹿児島県支部，2021 年 8 月 21 日，鹿児島（Web）
33. 中薗明子：認定看護管理者ファーストレベル教育課程 人材管理Ⅰ. 公益社団法人鹿児島県看護協会, 2021 年 9 月 21 日，鹿児島
34. 内田宏貴：認定看護セミナー . 学校法人原田学園鹿児島医療技術専門学校講義，2021 年 9 月 30 日，鹿児島
35. 中薗明子：身体科に誇れる精神科看護の専門性と実践．医療・病院管理研究協会，2022 年 3 月 4 日，Web

愛と結の街

36. 福元綾子：生活支援～食事について～鹿児島医療福祉専門学校介護福祉学科，2021 年 4 月 19・26 日，5 月 10・17・24・31 日，6 月 7・14・21・28 日，7 月 5・12・19 日，8 月 23・30 日，鹿児島
37. 原口悦江：老年看護学方法論Ⅱ．鹿児島中央看護専門学校 3 年課程，2021 年 5 月 31 日，6 月 7･14･21 日，7 月 2 日，鹿児島
38. 米澤美智代：老年看護学方法論Ⅰ．鹿児島中央看護専門学校 3 年課程，2021 年 9 月 1・8 日，鹿児島
39. 木場田哲也：老年看護学方法論Ⅰ．鹿児島医療技術専門学校看護科，2021 年 10 月 4・11 日，鹿児島
40. 今西由香：老年看護学方法論Ⅰ．鹿児島医療技術専門学校看護科，2021 年 10 月 18・25 日，鹿児島
41. 都外川純子，西田雅子：感染対策．鹿児島市谷山中央地区住民講演会，2021 年 10 月 19 日，鹿児島
42. 米澤真理子：在宅看護論方法論Ⅱ．鹿児島中央看護専門学校 3 年課程，2021 年 12 月 6・10 日，鹿児島
43. 川﨑友義：介護老人保健施設について．鹿児島国際大学社会福祉学科，2022 年 2 月 11 日，鹿児島

看護部支援室

44. 今村健次：医療安全．学校法人原田学園鹿児島医療技術専門学校看護学科講義，2021 年 6 月 1-22 日，鹿児島
45. 今村健次：新型コロナウイルス感染症と看護職のメンタルヘルス．公益社団法人鹿児島県看護協会准看護師研修，2021 年 7 月 17 日，鹿児島

【マスメディア】

今村総合病院

1．鶴田奈緒美：精神科認定看護師として派遣施設での活動内容・大事にしていること．第 186 号看護かごしま第 186 号投稿，公益社団法人鹿児島県看護協会，2022 年 1 月

【受賞】

今村総合病院

1．北原美代子：看護業務功労者表彰．公益社団法人鹿児島県看護協会，2021 年 5 月
2．中谷明実：看護業務功労者表彰．公益社団法人鹿児島県医師会，2021 年 5 月
3．橋口諒一郎：「局所麻酔手術を受ける皮膚科患者の術前訪問の充実を図る」第 1 回慈愛会学会学術集会　ポスター発表優秀賞，2021 年 8 月 5 日

いづろ今村病院

4．岩元美樹：「繰り返される注射のインシデントの要因調査～スタッフの属性に焦点を当てて～」第 1 回慈愛会学会学術集会　ポスター発表優秀賞，2021 年 8 月 5 日

谷山病院

5．上村ゆかり：看護業務功労者表彰．公益社団法人鹿児島県医師会，2021 年 5 月
6．濱崎厚範：看護業務功労者表彰．公益社団法人鹿児島県医師会，2021 年 5 月
7．潮昌子：「専門職としての自律とやる気を上げる組織風土に向けた取り組み」第 1 回慈愛会学会学術集会　特別賞，2021 年 8 月 5 日

愛と結の街

8．仮屋薗綾：「顔面領域における癌性悪臭対策の検討～尊厳ある生活を支えるために」第 1 回慈愛会学会学術集会　口演発表優秀賞，2021 年 8 月 5 日
9．西七海：「自分で美味しく食べるために　自己摂取への取り組み」第 1 回慈愛会学会学術集会　ポスター発表優秀賞，2021 年 8 月 5 日

看護部支援室

10. 木佐貫涼子：看護業務功労者表彰．公益社団法人鹿児島県看護協会，2021 年 5 月

部門別　事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

リハビリテーション部門

中長期計画		2021年度 事業計画（Stage5）	実施　2021.4月～2022.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
リハビリ部	公益法人として県民への知識・技術の還元	（総合・老健）標準18単位／日／1人、（谷山）精神科OT実施件数（17件／日／1人） 地域への貢献活動　・人材育成…他職種、養成校学生への教育支援 ・鹿児島県糖尿病療養指導士会の活動継続・糖尿病患者会の活動支援（いづろ） ・脳卒中地域連携ネットワーク、PT・OT・ST連絡協議会（総合）、認知症ケア専門士資格取得（老健） ・中学生職場体験、・鹿児島市地域リハ支援事業講師・小原町高齢者クラブでの健康講話 ・動画配信での障害予防教室を通して障害予防の啓発活動（総合） ・Webでのミニ講演（総合：市民公開講座代行）、 地元保育園での集団運動指導継続（徳之島） 各自のレベル向上（専門家としてのスキルアップ・実習指導者研修受講含む） ・PT・OT・ST協会主催各種研修会受講、学会発表、最新のロボットを使用した訓練の提供（総合OT） ・脳卒中患者の運転再開へ向けた取り組み（総合OT）、認知症カフェへの参加及び講話（奄美） ・認定・専門セラピスト（CVA・運動器・呼吸等）、心臓リハ指導士、がんリハ研修等の資格取得 ・鹿児島県失語症向け意思疎通支援者養成事業講習会講師（総合ＳＴ）	今村総合病院では、標準18単位/dayをキープする事で、セラピスト1人、約1千万/yearの生産性を目標とした。 他病院・施設も生産性向上に努力した。 笹貫訪看：身体面での訪問リハビリ指示あり 鹿児島市地域リハ支援事業へ講師としてPT・OT・ST参加（中止） 離島への障害予防教室、トレーナー活動は年間通して休止 今村総合病院での動画配信（YouTube）作成 市民公開講座・脳卒中リハ・総合病院リハビリ部の紹介を実施 患者会・町内会への講義活動も休止 徳之島：ＯＴが保育園にて集団運動指導中止 リハスタッフ各自、PT・OT・ST協会主催研修会受講（リモート研修含む） ロボットリハビリは2022年度から実施 脳卒中患者の運転に関する研修会受講 がんリハ研修終了者8名、心臓リハ指導士資格取得者1名 公認心理師資格取得者2名 臨床実習指導者育成研修終了（各施設PT・OT・ST18名） eラーニング中心に協会主催研修参加 院内新人看護師への介助方法・ポジショニング指導	今村総合病院では、セラピスト1人、約950万／ｙの生産性をクリア 今年度も他施設を含め、複数人の産休・育休の影響が考えられた。 コロナ禍の感染防止対策にてセラピストの入院患者への接触制限も影響した。 専門性の高い地域貢献活動であるが、今年度はコロナ禍の影響が大きく、夏以降は殆どの活動が制限され、県民への知識・技術の還元が不十分であった。 リハビリ部内で一般市民向けの動画を作成 フレイル予防、脳卒中治療を中心とした啓発と、病院紹介を実施 コロナ禍においての研修活動は、対面は厳しくリモートが主となった。 ロボットリハビリ治療に関しては、機器購入が2022年度になった。 保険点数算定必須要件となる資格である 厚生労働省からのリハ学生臨床実習指導にあたり、SVとして必要な臨床実習指導者育成研修を、それぞれの施設で終了 専門家としてのスキルアップと、治療の質向上を目的に各自活動実施	効率性と生産性を念頭に置いた組織作りが必要 感染対策と、産休・育休期間での、期間限定補充者の活用 退職者補充と、退職に繋がらない環境設定 公益法人としての慈愛会リハビリ部としては、専門性の高い地域貢献が重要である。ZoomやYouTubeを使用してのハイブリッド方式を検討し、県民への知識・技術の還元に繋げていく。 今後とも動画でのPRの継続必要 ハイブリッドでの研修・広報を検討する。 ロボットリハビリ治療の効果判定と、対外への治療効果発信が必要 保険点数算定可能な資格者育成 学生指導可能なスキル保持者の育成
	医療から介護への地域連携「入院」から「地域」へ（地域包括ケアシステム）	・地域包括ケア・介護予防リーダー、各リーダー研修会受講 ・キャリアラダーによる実務層スタッフへのレベルⅠ～Ⅴ教育・指導実施 慈愛会内リハスタッフローテーション：今村総合・老健のPT・STスタッフ異動（7月） ・老健居宅サービス・短時間デイケアの充実、訪問リハ拡大、老健グループ連携強化 ・リハビリテーションパスの試用と検討、リハビリテーションサマリーの定着（谷山） ・退院前訪問指導（谷山・奄美）、沖永良部・与論へ訪問看護（同行）継続（徳之島） ・急性期治療終了後、介護事業所に対しリハサマリー送付の徹底 ・治療後の在宅復帰時、ご家族も含めたリハ退院時指導 ・高齢患者の再入院防止に向けた支援の強化・退院時リハ指導内容の充実（いづろ） ・2021年度介護保険報酬改定への対応・在宅生活支援する通所リハ・訪問リハ提供（いづろ） ・入退院支援の強化…退院困難例の分析、情報共有、支援対策の強化（いづろ） ・退院前カンファレンス・退院前訪問指導の内容充実（総合OT）	キャリアラダーによる実務層スタッフへのレベルⅠ～Ⅴ教育・指導施行 該当者全てがエントリーし実施 今村総合病院から愛と結の街へ（PT1名）スタッフ7月異動 老健デイケアでの総合病院リハからの紹介 定期的スタッフ異動にてスキルアップを検討 谷山病院：リハビリパス試用中・サマリーの作成・使用中 徳之島病院：離島訪問看護へのOT同行を継続中（感染対策実施） 今村総合病院：退院前リハ訪問指導（回復期リハNs.同行）継続 2021年度介護保険報酬改定に沿った通所・訪問リハの実施 地域包括ケア病棟での生活支援にも注力	キャリアラダーによる該当スタッフ15人へのレベルⅠ～Ⅴ教育・指導実施にて管理者任用候補選定に繋げる。 医療保険分野と介護保険分野、また身障系と精神科系の作業療法士異動にて、各自のスキルアップに貢献。 リハビリパスの使用、チーム医療スタッフの看護師との協働にて、在宅復帰に繋げる。 在宅に目を向けたチーム医療の一環としての取り組み 1日型通所リハへのニーズ有り	キャリアラダー内容の充実を図る。 PT・OT・ST協会のステップアップとリンクする内容に繋げていく。 2022年度は、7月に総合病院のPTをいづろ今村病院へ異動予定 2023年1月には、総合病院PTと高麗町クリニックPTの異動（交代）予定 各自スキルアップに繋げていく。 沖永良部島への訪問看護・OT訪問の継続 地域生活支援部門連絡会でリワークプログラムについて検討開始 ニーズに合わせた、1日型通所リハビリへの取り組み実施検討
	ＢｉｇＤａｔａの確立（慈愛会リハの存在意義）	・総合：病棟別・老健入所・訪問リハ利用者のアウトカムデータの蓄積・連携・データ化 ・（総合OT）①回復期作業療法②運転評価データ ・心不全患者の起因毎の身体機能評価（総合） ・精神科病棟患者の身体機能評価及び自宅復帰への影響調査（総合） ・脳卒中センター発症時のサルコペニア有無と退院時ADLの関係（総合） ・8階病棟造血幹細胞移植患者の身体機能評価、化学療法対象患者のリハ効果（総合） ・脳卒中センター SCUの発症7日目の機能評価と退院時の比較（総合） ・回復期リハ病棟FIM分析（総合） ・透析患者のADLの予後、維持透析患者の運動指導（総合） ・膝前十字靭帯断裂術後のスポーツ復帰・再断裂率の継続調査（総合） ・リハビリ介入効果の数値的提示…包括病棟における補完代替リハ介入効果の実証（いづろ） ・働き方の数値化（有給休暇、産前産後休暇、育児休暇、介護休暇の取得率など）（いづろ） ・算定外業務の業務量データ化（いづろ） ・精神科における身体リハ効果分析（奄美） ・精神科における理学療法士業務・身体的リハビリテーションの取り組み(谷山)	慈愛会各施設での治療後のアウトカムデータ蓄積と分析 今村総合病院：9、いづろ今村病院：7、谷山病院：1 それぞれのリハスタッフが講師となり実施 労働衛生安全委員会での職員腰痛防止についての研修会開催 看護師・介護職員への継続的な研修実施にて腰痛対策とする 第１回慈愛会学会演題発表（総合病院3、谷山1） 今村総合病院での全国・九州学会発表7演題 谷山病院：看護部向けＯＴ学習会実施 徳之島病院：新人へ移動・移乗の勉強会実施 身体リハの点数化→小グループでのリハをPT・OTが協働 膝前十字靭帯断裂、腱板損傷術後に関するBIG DATA作成の継続 次年度以降の二重入力等に関する業務改善プラン作成 奄美病院：PTとの小グループでの身体リハ実施計画 認知症病棟の患者算定計画立案	コロナ禍にて、昨年度より若干、講義・講演の機会が減少リモートにて実施が必然となる。 アウトカムデータの蓄積継続。エビデンス確立に繋げる。 日本PT協会ホームページでも紹介され、対外的に高い評価を受けた。 第１回慈愛会学会学術集会に複数演題発表 コロナ禍にて、昨年度より学会・研修会の開催が減少（リモート参加） 約10年間の臨床データを基に、研究・臨床に繋げていく。 コロナ禍の中でも、認知症治療病棟・急性期病棟を中心に活動。 チーム医療の観点で、他職種との協働・教育を実施。 精神科ＯＴの身体リハをＰＴがフォロー	リモートでの講演増加に対応可能な人材育成を検討する。 データを纏めての、対外発表（啓発）に繋げる。 職員の労働安全対策にリハスタッフが貢献できるように動く。 第2回慈愛会学会学術集会に複数演題発表継続 他施設・他職種にも、啓発を実施。 精神科入院患者の廃用予防と、可能な範囲での身体リハ算定に繋げる。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

慈愛会リハビリ部には、2022年4月現在、150人超の理学療法士（PT）・作業療法士（OT）・言語聴覚士（ST）が所属しております。

一般急性期病院として、いづろ今村病院・今村総合病院、介護保険領域として、老健愛と結の街グループ・高麗町クリニック、精神科領域では、谷山病院・奄美病院・徳之島病院があり、それぞれの施設で、PT・OT・STが臨床・教育・研究に携わっています。（慈愛会リハ施設概況表参照）

1．慈愛会各施設リハビリ部責任者TV会議（4回/年）

（今村総合病院・いづろ今村病院・愛と結の街・高麗町クリニック・谷山病院）

2021年5月26日，8月25日，11月24日

2022年2月22日

※各施設のリハ責任者が集合し、村山慈愛会リハビリ統括室長（下半期は顧問）の下、

①各施設リハ部門の現状報告と展望

（リハスタッフの動向・学生指導・施設内感染対策等含む）

②今年度の慈愛会リハ活動発表会準備会議

昨年度からのコロナ禍の影響で、毎年4月に予定していた慈愛会リハビリ全体活動発表会を11月に延期。今年度は第10回と節目の記念大会でもあり、また感染対策も兼ね、鹿児島県市町村自治会館大ホールにて密にならない対面で開催した（離島は、Zoom 参加にてハイブリッド大会）。

③慈愛会リハビリ部内人事異動

今村総合病院と愛と結の街にて、セラピストの人事異動を実施。慈愛会内での環境変化にて更なるスキルアップに繋げた。2022年度は、いづろ今村病院と今村総合病院、今村総合病院と高麗町クリニックでの人事異動を予定。

④慈愛会リハビリ部内　物品有効活用

各施設内で使用しない物品の情報共有行い、有効活用へ結びつける。

⑤その他

フィロソフィ、事業計画・報告、教育（ラダー啓発）・研修、診療報酬改定、飲酒運転防止等

以上について話し合い、各施設との情報共有と連携向上に繋げている。

2．慈愛会精神科リハビリWeb会議（12回/年）

（精神科：谷山病院・奄美病院・徳之島病院）

2021年4月19日～ 2022年3月23日（原則、毎月第3水曜日）

※各精神科施設のリハ責任者が集合し、村山慈愛会リハ統括室長（下半期は顧問）の下、

①各精神科施設リハ部門の現状報告と展望

（リハスタッフの動向・学生指導・施設内感染対策等含む）

②今年度の慈愛会精神科リハ活動発表会準備会議

昨年からのコロナ感染の影響で、毎年5月に予定していた慈愛会精神科リハビリ全体活動発表会を10月に延期。県内での感染状況を鑑み、谷山病院にて充分な感染対策の元、対面にて開催した（離島は、Zoom 参加にてハイブリッド大会）。

③人事異動

谷山病院と奄美病院、谷山病院と徳之島病院にて、セラピストの人事異動を実施。慈愛会内での環境変化にて更なるスキルアップに繋げた。

④物品有効活用

⑤その他

フィロソフィ、事業計画・報告、教育（ラダー啓発）・研修、診療報酬改定、病院の感染対策、飲酒運転防止等について話し合い、各施設の情報共有と連携向上に繋げている。

合同研修会

「第10回　慈愛会リハビリテーション合同活動発表会」

（慈愛会身障系の理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を中心に、日頃の業務、研究の結果や活動の内容を発表）

・2021年11月27日（土）16:00-19:00

・メイン会場：鹿児島県市町村自治会館4Fホール

・リモート会場：奄美病院・徳之島病院

・参加者所属施設：今村総合病院・いづろ今村病院・谷山病院・高麗町クリニック・愛と結の街・奄美病院・徳之島病院

・司会：今村総合病院

【内容】

1．理事長挨拶

慈愛会　理事長　今村 英仁

2．基調講演

慈愛会　リハビリテーション部　顧問　村山 芳博

「慈愛会リハビリテーションの軌跡と今後の展望」

座長　今村総合病院　リハビリテーション部

室長　浜田 香穂麗

3．活動発表

第１セッション

座長　いづろ今村病院　理学療法士副主任　西　洋樹

①当院放射線科入院中に放射線治療を受けたリハビリ介入患者の入退院時での比較・検討

今村総合病院　理学療法士　村山 啓一郎

②身体疾患を有し自宅から当院精神科へ入院した患者の転帰先に関連する因子の検討

今村総合病院　理学療法士　秋山 祐子

③輪状咽頭筋弛緩不全を呈した症例に対するダブルバルーンの即時効果について

今村総合病院　言語聴覚士　丸岡 由佳

④当院における鏡視下腱板修復術後の他動ROMと再断裂率～ ROM練習の開始時期を早期化したことでの変化～

今村総合病院　理学療法士　吉田 研吾

⑤前十字靭帯再建術後におけるスプリットスクワットエクササイズの検討

今村総合病院　理学療法士　鮫島 智志

第２セッション

座長　今村総合病院　理学療法士副主任　津曲 麻美

⑥延髄外側梗塞後にBody Lateropulsionを呈した症例を経験して

今村総合病院　理学療法士　永松 健太郎

⑦日常生活動作練習室の活用により、自宅復帰という一筋の光が見えた事例

谷山病院　作業療法士　迎 雄作

⑧回復期リハ病棟に求められる作業療法士の専門性について

今村総合病院　作業療法士　濵田 大輔

⑨回復期の失語症患者におけるコミュニケーション能力と言語機能および知的機能に関する研究

今村総合病院　言語聴覚士　濱 佑太

第３セッション

座長　今村総合病院　言語聴覚士副主任　若松 藍

⑩当院糖尿病教育入院から外来後の運動調査

いづろ今村病院　理学療法士　森永 恭子

⑪機能的自立度評価法から見えてきた老健の現状と課題

老健愛と結の街　理学療法士　大迫 由美

⑫老健通所リハビリ利用者のFAIスコアの傾向と課題

老健愛と結の街　作業療法士　廣田 享子

⑬頸髄損傷に伴い誤嚥性肺炎を繰り返し発症した患者にカフアシストを導入し退院支援を行った症例

いづろ今村病院　言語聴覚士　香川 勇治

4．総括

慈愛会　リハビリテーション部 部長　堂園 浩一朗

「第10回　慈愛会精神科リハビリテーション合同活動発表会」

・2021年10月16日（土）　15:00-17:15

・メイン会場：谷山病院（第一会議室）

・リモート会場：奄美病院、徳之島病院

・実行委員（総合責任者：島崎 康子、実行委員長：徳田 真紀、総合司会：東泊 由紀）

【内容】

1．理事長挨拶

慈愛会　理事長　今村 英仁

2．活動発表

第１セッション

座長　谷山病院　作業療法士　東上床　ゆかり

①長期入院で今後の生活に楽しみや目標が持てない患者へのアプローチと今後の取組み課題

徳之島病院　作業療法士　揚村 美帆子

②一人暮らしを目標に調理教室を導入した症例

奄美病院　作業療法士　向井 清也

③多職種連携における作業療法士の役割～症例にとって意味のある作業を通して在宅生活に繋げた一例～

谷山病院　作業療法士　地村 尚人

第２セッション

座長　谷山病院　作業療法士　中山 陽平

④デイケア異動後3ヵ月…～現状把握と今後の展望～

徳之島病院　作業療法士　田中 智弘

⑤SSTを開始して－生活の変化と今後の課題－

奄美病院　作業療法士　伊瀬知 友梨

⑥作業療法クリニカルパスの開発－ゼロからのスタート－

奄美病院　作業療法士　下木原 菜央

3．第10回記念企画

『作業療法の魅力』

奄美病院

徳之島病院

谷山病院　田畑 典子、小澤 孝典

4．特別企画

谷山病院　作業療法士　島崎 康子

5．総括

慈愛会リハビリテーション部顧問　村山 芳博

技能・能力向上に向けた取り組み

（主な資格取得状況）（2021年度内取得）

・がんのリハビリテーション研修終了：PT4名（今村総合病院）、PT3名ST1名（いづろ今村病院）

・心臓リハビリテーション指導士：PT1名（今村総合病院）

・日本PT協会指定管理者（上級）：PT1名（今村総合病院）

・フレイル対策推進マネージャー：PT 2名（今村総合病院）、PT1名（いづろ今村病院）

・厚労省の臨床実習指導者講習会受講：PT10名OT2名（今村総合病院）、PT3名（いづろ今村病院）、OT1名（谷山病院）、OT3名（奄美病院）、OT3名（徳之島病院）、PT1名OT1名（老健愛と結の街）

・失語症者向け意思疎通支援者指導者：ST1名（今村総合病院）

・公認心理師：PT1名OT1名（今村総合病院）

・健康経営アドバイザー：PT1名（今村総合病院）

・ストレスチェック実施者：PT1名（今村総合病院）

※各リハスタッフ、PT・OT・STの国家資格だけでなく、配属先の臨床に役立つ資格を取得し、各個人のスキルアップと、他職種とのチーム医療に役立てている。

公益財団法人慈愛会　各施設リハビリ概況表（2021 年 7 月現在）

施設名	今村総合病院		リハビリテーション基準			脳血管Ⅰ・運動器Ⅰ・呼吸器Ⅰ・廃用Ⅰ・心大血管Ⅰ・がんリハ		
病床数	428 床	外来患者：600 名／日		リハビリ対象患者：　入院 260 ～ 270 名、外来 120 名／日				
職員数	理学療法士	51 名（内 2 名育休）	作業療法士	17 名（内 3 名育休）	言語聴覚士	17 名（内 1 名育休）	リハ助手	5 名（内パート 1 名）
参考事項	脳血管障害等の急性期（ICU･SCU 含む）と回復期を中心に、リハビリ専門医 6 名、回復期リハビリ病棟 Ns. と共に PT･OT･ST アプローチを密に行い、MSW（常勤 10 名）の協力のもと早期の家庭・社会復帰を目指します。その他、運動器・呼吸・心大血管・廃用症候群・血液・消化器等のがんに対しての PT、高次脳機能障害・病棟 ADL 重視の OT、失語症・摂食嚥下アプローチの ST、急性期身体症状発症の精神科患者への廃用予防リハ等、様々な経験が可能です。新人教育のラダーや、院内勉強会･学会活動にも注力しています。また、スポーツ整形外科も 10 年前に開設（スポーツ専門 Dr.4 名）し、1 階のスポーツ整形リハセンターにて PT（15 名）と AT（アスレチックトレーナー）が協力した、機能回復・スポーツ復帰へのリハビリと、障害予防の為の活動に力を入れています。							

施設名	いづろ今村病院		リハビリテーション基準			脳血管Ⅲ・廃用Ⅲ・運動器Ⅱ・呼吸器Ⅰ・がんリハ		
病床数	115 床	外来患者：200 名／日		リハビリ対象患者：　入院　30 ～ 45 名 / 日、外来　0 名 / 日				
職員数	理学療法士	8 名（内通所 2 名）	作業療法士	2 名（内通所 1 名）	言語聴覚士	2 名（内通所 1 名）	リハ助手	0 名
参考事項	当院では 12 名のスタッフ（2021 年 7 月時点でうち 1 名は育休中）で医療保険分野（DPC 病棟、地域包括ケア病棟、緩和ケア病棟）と介護保険分野（通所、訪問）の幅広い領域でリハビリ支援に携わっています。入院リハビリ対象者は廃用症候群や慢性の運動器疾患が多数を占めますが、血液疾患や消化器疾患のがん治療の方も少なくありません。院内にリハビリ専門医の在籍はありませんが、週 1 回今村総合病院からの専門医出向で的確なアドバイスを受けられます。同一施設内での医療～介護の強い連携は在宅復帰支援にも役立ち、特に同一敷地内にあるサービス付き高齢者向け住宅の退院支援は住環境整備での訪問も時間に縛られず躊躇なく行えるため当院の強みです。地域包括ケア病棟では在宅調整支援の役割が多く、個別リハビリ以外に補完代替リハビリテーションも充実させています。スタッフは希望に応じ医療、介護それぞれの分野で活躍できるよう配属場所を配慮しています。現在、口腔ケア、摂食嚥下、認知症対応に関し多職種での連携強化に力を注いでいます。							

施設名	高麗町クリニック		リハビリテーション基準			訪問リハビリテーション（介護・医療）		
病床数	0 床	外来患者：8 名／日		リハビリ対象患者：　5 名／日				
職員数	理学療法士	2 名	作業療法士	0 名	言語聴覚士	0 名	リハ助手	0 名
参考事項	当クリニックの訪問診療部門や各利用者の主治医・事業所と密な連携を図りつつ訪問リハビリテーションを提供しています。理学療法士が利用者の状況やニーズに合わせ、心身機能・活動・参加などの「生活機能の維持又は向上」を図るように支援を行っています。							

施設名	老健施設愛と結の街グループ		老健施設基準			超強化型老健		
病床数	100 床	外来患者：0 名／日		リハビリ対象患者：入所 100 名、通所リハ 50 名／日（午前・午後 25 名ずつ）				
職員数	理学療法士	5 名	作業療法士	6 名	言語聴覚士	2 名	歯科衛生士	0 名
参考事項	慈愛会内外の病院・施設と連携をとり、在宅復帰・支援に向けて様々なリハビリテーションを展開しています。生活を見る視点として、環境調整（シーティング、ポジショニング、福祉用具等）や作業機会の積極的な提供を行うとともに、認知症のケア、リハビリテーションにも力をいれています。ST は提携の歯科衛生士と訪問歯科と連携し、口腔機能への専門的なアプローチを行っています。在宅支援として通所リハ、訪問リハビリ、併設施設で精神科訪問看護事業を行い、目標達成型のリハビリテーションを多職種協働にて行っています。							

施設名	谷山病院		リハビリ基準	精神科作業療法・精神科デイナイトケア・認知症患者リハビリテーション				
病床数	392 床	外来患者：130 名／日		リハビリ対象患者：　入院 130 名、外来 10 名、デイケア 50 名／日				
職員数	理学療法士	1 名	作業療法士	18 名	言語聴覚士	0 名	音楽療法士	（非常勤職員）3 名
参考事項	精神一般病棟に加え、急性期治療病棟・療養病棟・認知症治療病棟の機能を持つ病院です。24 時間 365 日の精神科救急への対応を備えており、早期作業療法に取り組んでいます。心理教育、ARP（アルコールリハビリテーションプログラム）、退院準備プログラム、SST にも力を入れています。デイケアや就労支援センターなどの在宅部門でも作業療法士が勤務、また常勤の理学療法士と連携を取りながら身体機能への対応を進めています。							

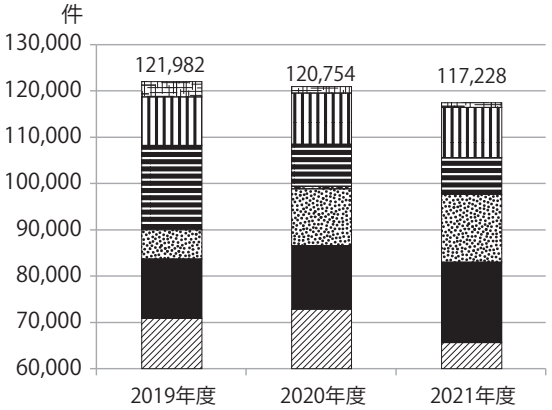
施設名	奄美病院		リハビリ基準	精神科作業療法・精神科デイナイトケア・認知症患者リハビリテーション				
病床数	348 床（休床 82）	外来患者：78.5 名 / 日		リハビリ対象患者：　入院　200 名、　デイケア　40 名／日				
職員数	理学療法士	1 名	作業療法士	9 名（内 1 名育休）	言語聴覚士	0 名	リハ助手	0 名
参考事項	現在作業療法士 9 名（精神科作業療法 5 名、認知症病棟 1 名、デイケア 2 名）勤務しております。急性期治療病棟における早期作業療法の充実・長期入院患者の退院促進を特に重点的に実施しています。また、2017 年度より理学療法士が常勤配置となっており、認知症疾患リハビリテーションや、身体的リハビリテーション（非算定）を実施しています。2018 年度よりデイケアが大規模となり、年々マンパワーが増えており、地域移行定着の充実に力を入れています。							

施設名	徳之島病院		リハビリテーション基準			精神科作業療法・精神科デイケア		
病床数	206 床	外来患者：38.3 名 / 日		リハビリ対象患者：　入院　143 名、　デイケア　13 名／日				
職員数	理学療法士	0 名	作業療法士	6 名	言語聴覚士	0 名	リハ助手	0 名
参考事項	作業療法士 6 名（精神科作業療法 5 名、デイケア 1 名）が勤務。選択できるプログラムの充実と長期入院患者の退院促進を重点的に行っています。また、2020 年度より心理教育プログラムを開始。積極的に島内・島外の訪問看護へも同行し地域定着・地域移行に取り組んでいます。							

各種指標

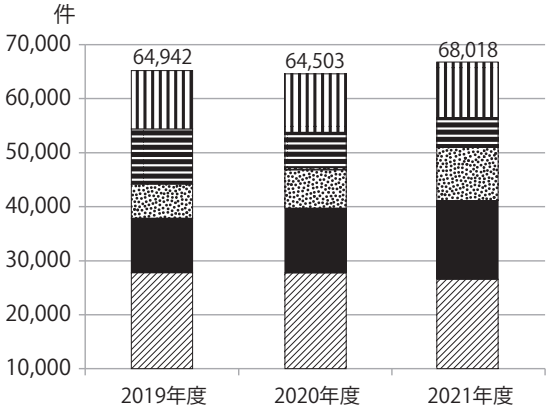
今村総合病院

3Fリハセンター 実施件数



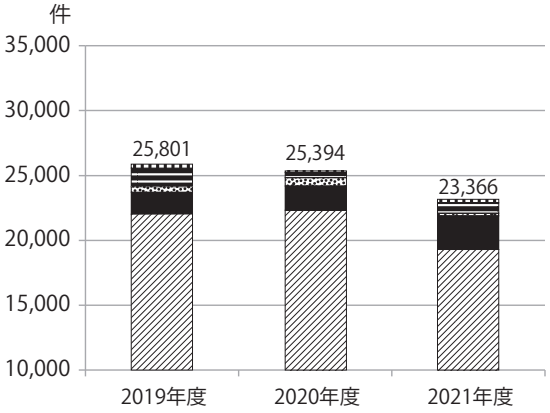
	2019年度	2020年度	2021年度
実施件数	121,982	120,754	117,228
脳血管	71,173	72,888	64,730
運動器	12,435	13,824	17,300
呼吸	5,922	11,932	14,667
心大血管	0	419	757
廃用	17,237	9,138	7,962
がん	11,736	11,140	10,812
摂食	3,479	1,413	1,000

3F　PT実施件数



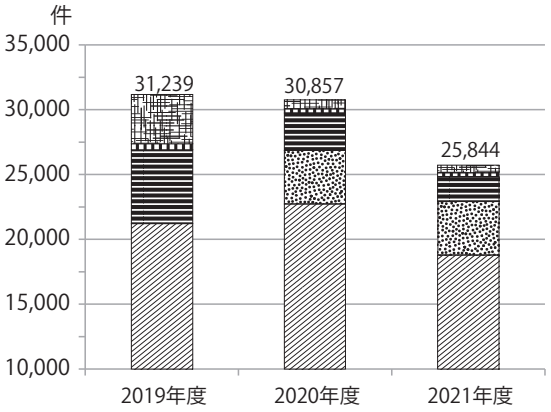
	2019年度	2020年度	2021年度
実施件数	64,942	64,503	68,018
脳血管	27,175	27,568	26,698
運動器	10,806	11,949	14,651
呼吸	5,536	7,166	9,971
心大血管	0	419	757
廃用	10,332	6,569	5,574
がん	11,093	10,832	10,367

OT件数

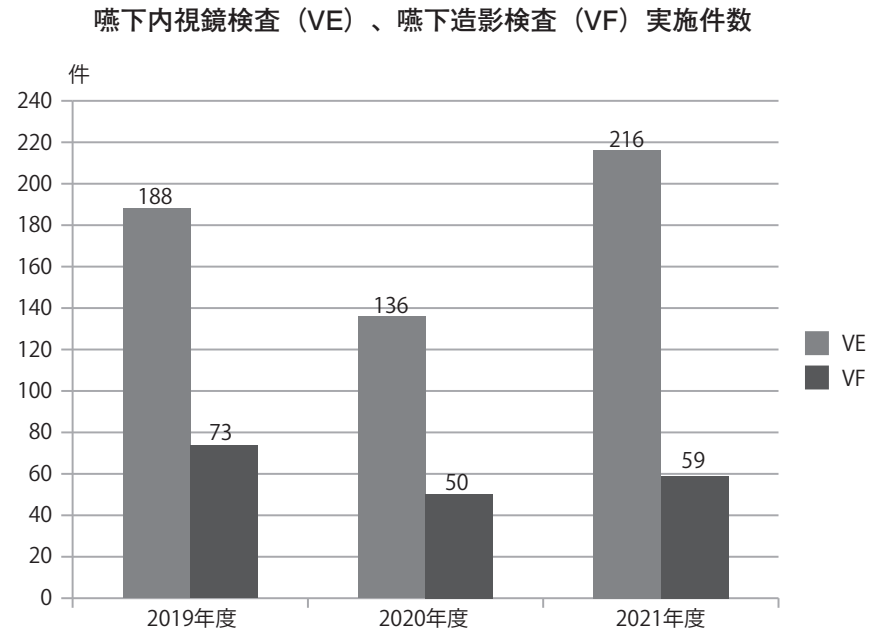


	2019年度	2020年度	2021年度
実施件数	25,801	25,394	23,366
脳血管	22,282	22,578	19,389
運動器	1,629	1,875	2,649
呼吸	386	605	276
廃用	1,304	283	875
がん	200	53	177

ST件数

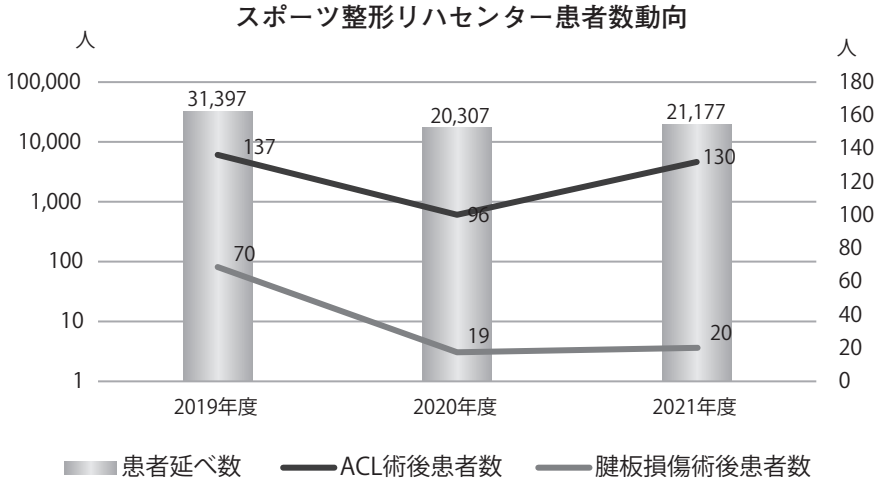


	2019年度	2020年度	2021年度
実施件数	31,239	30,857	25,844
脳血管	21,716	22,742	18,643
呼吸	0	4,161	4,420
廃用	5,601	2,286	1,513
がん	443	255	268
摂食	3,479	1,413	1,000



【今村総合病院　3階リハビリテーションセンターの実績・特色】

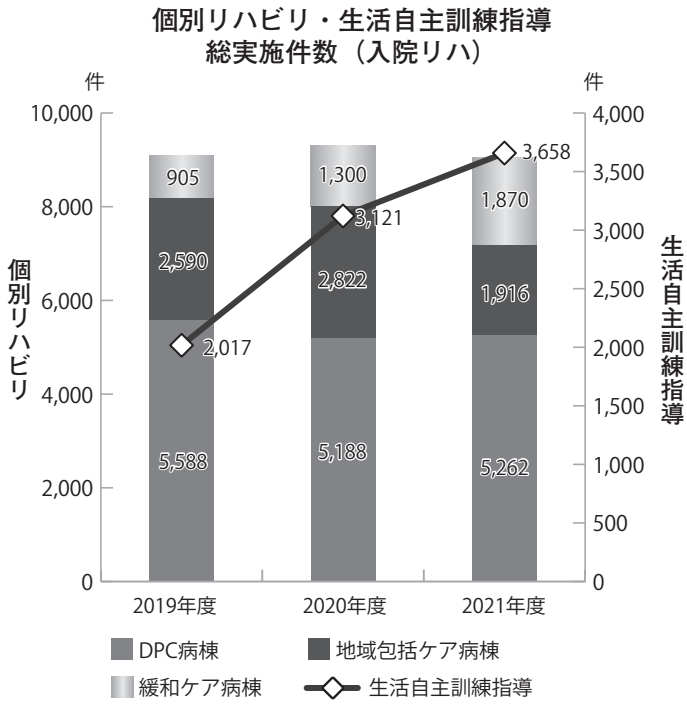
・リスク管理のもと、入院後すぐにリハビリテーションを開始し、365日（土日・祝日も）継続して実施します。
・脳卒中、心大血管疾患、呼吸器、運動器、がん、外科術後・内科治療後の廃用症候群、嚥下障害、高次脳機能障害等について、専門セラピスト（PT・OT・ST）による質の高いリハビリテーションを提供します。
・麻痺の回復を助ける・運動量増加に繋がる電気刺激装置、体重の一部を免荷しながら歩く練習ができる歩行装置、身体の筋肉量等を測定できる装置、その他の最新の機器を用いて実施します。
・鹿児島市地域リハビリテーション支援活動に協力しています。

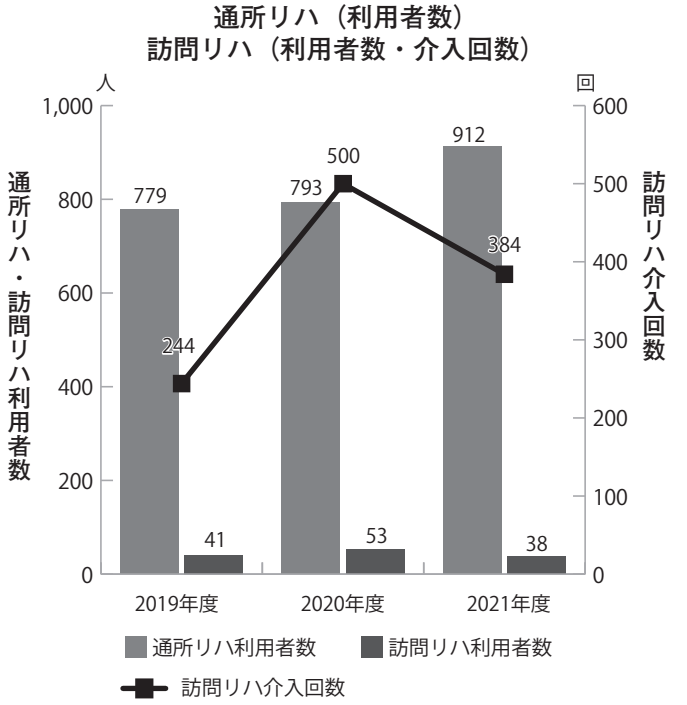


【スポーツ整形外科リハセンターの実績・特色】

・2021年度は前年度と比較し患者延べ数、ACL術後患者数ともに上昇しました。
・新型コロナ感染拡大のため、ACL教室・投球教室や奄美での障害予防教室は開催できませんでした。
・スポーツ復帰に向けてのアジリティートレーニングは感染対策を実施しながら、1コマ当たりの対象者数を減少しながら実施できました。

いづろ今村病院





【いづろ今村病院　入院リハビリテーションの実績・特色】

・当院には「DPC病棟」「地域包括ケア病棟」「緩和ケア病棟」の3つの病棟があり、どの病棟でも退院後の生活を見据えたリハビリ介入がなされます。1週間あたりの介入頻度、1回あたりの介入時間は疾病の重症度等で異なります。

・地域包括ケア病棟では、生活の場に戻るために実生活の中での動作練習を重視する補完代替リハビリも取り入れており、超高齢で体力的に積極的な介入が困難なケースにも対応しています。また在宅生活の継続が困難な方が施設を探す間の環境調整入院や、ご家族の都合で一時的に介護が困難になった場合のレスパイト入院も受け入れており、入院中の生活動作能力の低下を防ぐケアも行っています。

・当院では予防医療も重視しており、医師、看護師、栄養士、薬剤師などと連携しながら生活習慣病予防目的の運動指導も行っています。特に糖尿病療養者には講義のみでなく、実技指導まで手厚く介入しています。

【通所リハビリテーション　ウェルネスじあいの実績・特色】

・新規でご利用を検討される方に対し、まずは体験利用をお勧めしています。2021年度は年間18件の体験利用があり、そのうち13件の方は実際にご利用してくださいました。

・要介護の利用者様にはリハビリテーション会議の中で現状報告と施設に対する要望聴取を行い、サービス向上に繋げています。また必要に応じてリハビリ計画の見直しや目標修正も行い、個々の要望に応じたサービス提供を心がけています。

・ケアマネジャーとの連携を充実させつつ主治医との情報共有を図ることで無理なく安全なリハビリを提供しています。

・年４回の病院での消防訓練参加（代表者）に加え、年1回、通所リハビリテーションスタッフ全員で消防・災害訓練、感染対策訓練を行い、非常の際の緊急時対応や毎日の感染対策が適切に行えるよう備えています。

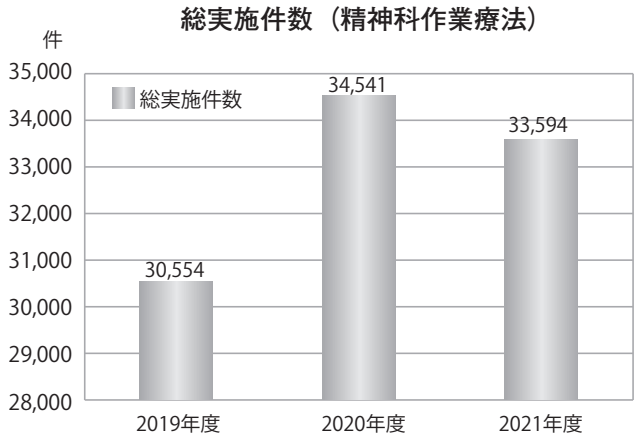
【指定訪問リハビリテーション　ウェルネスじあいの実績・特色】

・2021年度は理学療法士と言語聴覚士が訪問リハビリテーションを実施しました。担当のケアマネジャーと連携を図りながらご利用者個々の目標に応じたリハビリプログラムを計画し、在宅での生活を支援しています。

・原則として当院の訪問リハビリテーションは当院退院後の患者様、もしくは当院をかかりつけとされている方を対象としています。主治医が他院医師である方の問い合わせに関しては高麗町クリニックを紹介するなど、慈愛会内での連携を図っています。

・当院入院中の方で訪問リハビリの適応・希望がある方には、入院中から入院担当スタッフと密に情報共有を行い、直接ご利用者と訪問担当セラピストが関わることで退院後スムーズに訪問リハビリを提供できるように支援しています。

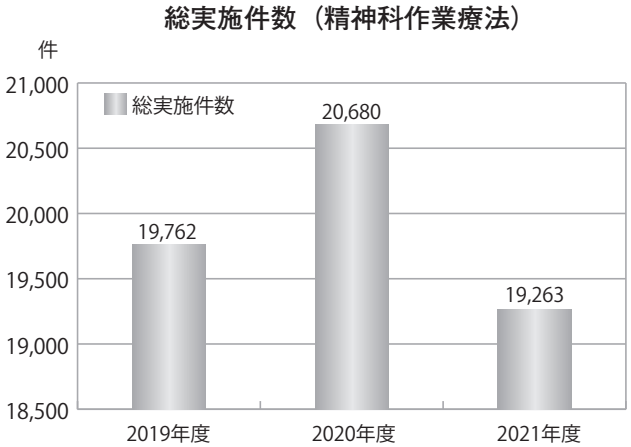
谷山病院

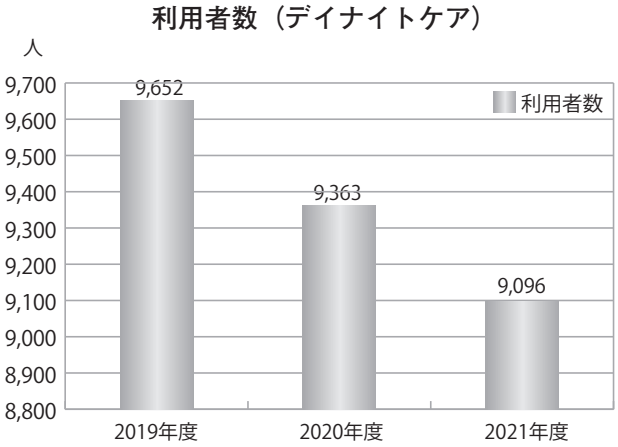


【谷山病院　精神科作業療法の実績・特色】

・急性期治療、退院支援、在宅部門、と作業療法士の職域が広く、作業療法士の視点で切れ目ない支援の提供ができます。
・患者様のニーズに応えられるよう様々な個別・集団プログラムを実施しています。
・院内の教育的プログラム（心理教育、退院準備プログラム、アルコール学習会など）は作業療法士が中心となり多職種と協業し実施しています。
・理学療法士の常勤、作業療法士による嚥下機能評価や訓練など、身体的リハビリテーションにも力を入れています。

奄美病院





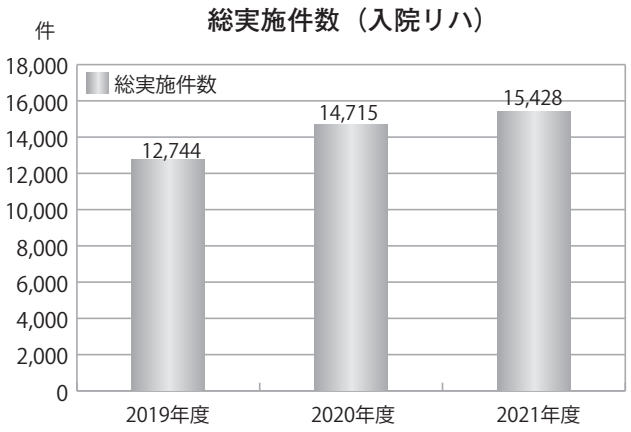
【奄美病院精神科作業療法の実績・特色】

・COVID-19対策で運営制限があり総実施件数は減少しました。
・感染対策に重点を置き基本５日以内の開始を入院７日経過後としました。
・長期入院者の退院支援を多職種連携で強化しており地域移行加算を達成しています。
・幅広い年齢層に対応できており、理学療法士を中心とした身体的リハビリテーションも実施しています。

【奄美病院デイナイトケアの実績・特色】

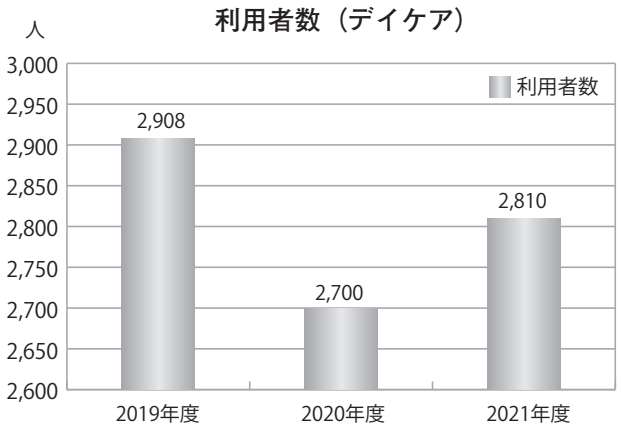
・COVID-19の影響があり利用者数は減少傾向です。
・病院や地域の社会資源との連携が充実しており地域定着者が増加しています。
・送迎サービスや入浴サービス（身体的・環境的理由）を実施しています。
・個々に応じた支援を実施しています。

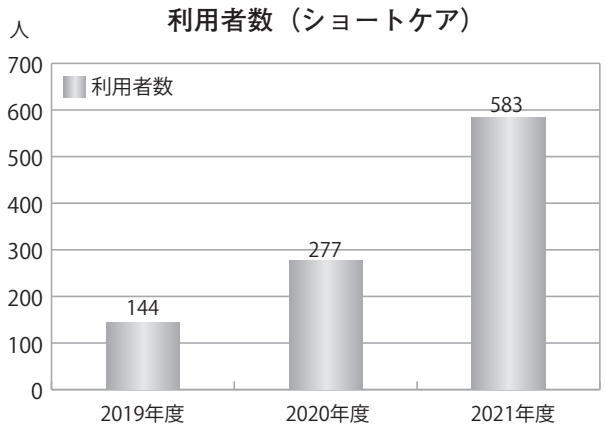
徳之島病院



【徳之島病院リハビリ部門の実績・特色】

・選択できるプログラムの充実と長期入院患者の退院促進を重点的に行っています。
・心理教育プログラムを多職種協働で行っています。
・患者様、病棟スタッフのニーズに応じて柔軟にプログラムの設定・変更を行っています。
・積極的に島内外の訪問看護へも同行し、入院～退院後まで作業療法士が関わる体制が出来ています。
・地元保育園での運動指導を実施しています。

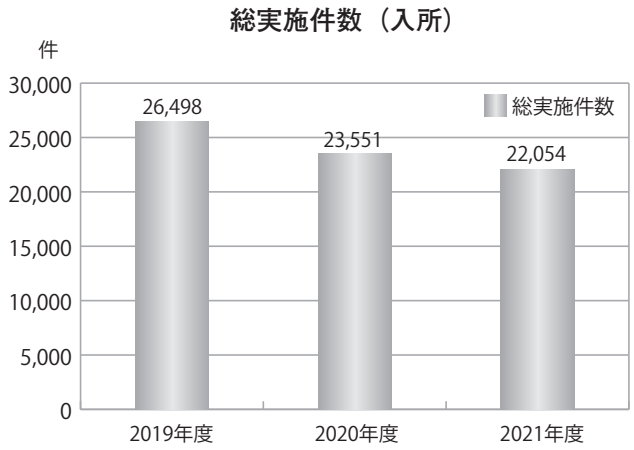




【徳之島病院デイケア・ショートケアの実績・特色】

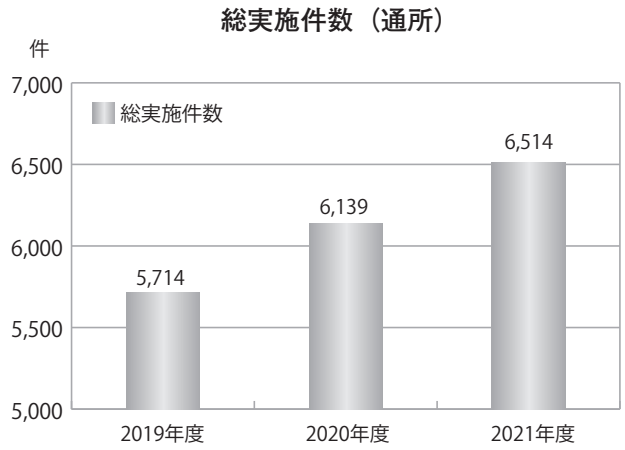
・病院併設のデイケアのため、他部署と連携し安全かつ円滑にサービスを提供しています
・島内全域を対象に送迎サービスを実施しています。（町内はショートケアの送迎も実施）
　ご利用者が通いやすい環境づくりを行っています。
・ご利用者が主体的に取り組めるよう、活動の多様化を図っています。
・食生活改善のため、土曜日のショートケアで自炊講座、買い物訓練を行っています。

介護老人保健施設 愛と結の街



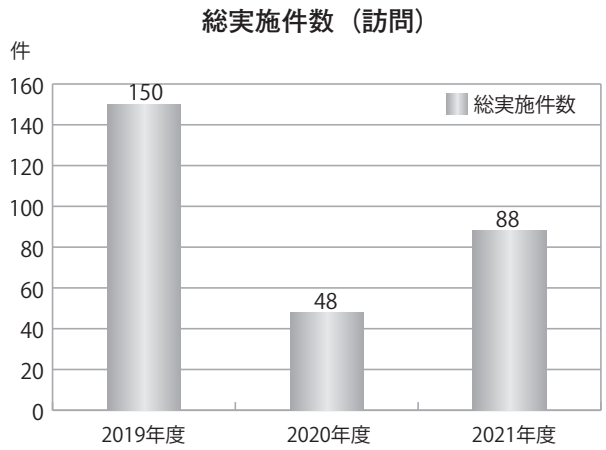
【入所リハビリの実績・特色】

・当施設は在宅復帰・在宅療養支援機能をもつ超強化型老健として稼働しています。各階に専従・専任セラピストが配置されています。
・入退所前後訪問、家屋調査等を実施しケアマネジャーと連携を図り積極的に在宅復帰を支援します。
・老健退所後も通所リハビリ、訪問リハビリ、ショートステイ等を提供できる体制をとり、在宅支援に向け、シームレスな取り組みを行っています。
・理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が常勤で勤務しています。
・対象疾患は脳血管障害、整形外科疾患、認知症のみならず、呼吸器疾患、精神疾患、がん等、幅広い疾患に対応しています。
・リハビリは目標設定して、ADLやIADLが向上するように、セラピストや介護福祉士などと多職種協働で、生活リハビリを支援しています。また生け花や書道といった活動にも力を入れています。
・2021年に運用開始されたLIFE（科学的介護情報システム）を活用しています。リハビリ計画だけでなく、自立支援促進、栄養マネジメント、排泄支援等多職種で取り組み、厚生労働省に定期的な情報の提出、フィードバック情報の活用等行うことで、質の向上に努めています。
・2021年度もCOVID-19感染対策として、業務上一部制限せざるを得ない状況がありました。



【通所リハビリの実績・特色】

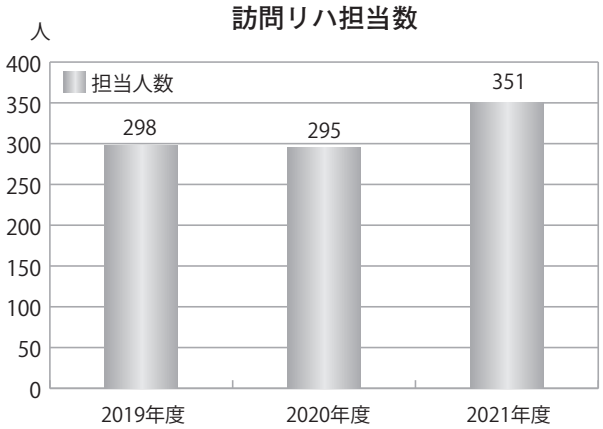
・2019年度より、通所リハはリハビリ特化型の短時間通所リハ（午前・午後2～3時間/定員各25名）へ事業変更しました。
・医師が参加するリハビリ会議や在宅訪問指導等を積極的に行いながら、活動に焦点をおいた目標達成型のリハビリを、通所リハ専従のセラピストや介護福祉士等と多職種協働で支援しています。
・リハマネジメント加算B（ロ）に対応しています。
・本加算は、会議にて医師が説明等を行うとともに、リハビリに関するデータを厚生労働省に定期的に提出し、フィードバック情報を活用するもので、リハビリの質の向上に努めています。
・管理栄養士と連携し、栄養マネジメントにも対応しています。
・短時間通所リハと併行し、2022年度より1日型通所リハ再開に向けて準備を行い、入浴や食事、1日型のリハビリを希望される方への対応も可能となっております。短時間・1日型ともに、随時体験デイケアも実施しております。
・併設の通所介護（はなぶさ）では、生活機能向上連携加算を通して、セラピストが共同で評価や機能訓練計画を立案する等の対応が可能です。
・GH等の他の事業所とも生活機能向上連携加算を算定できる体制をとり、連携に努めています。

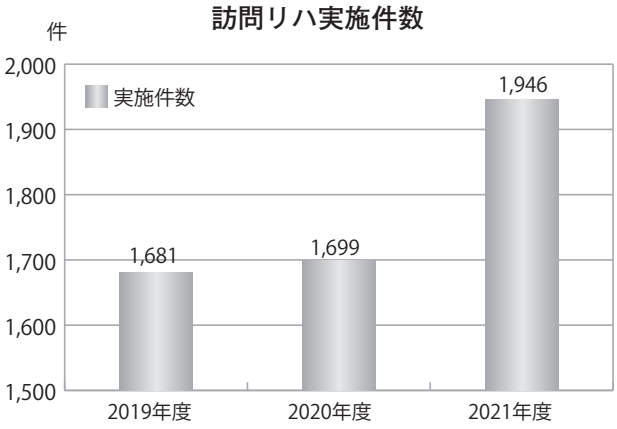


【訪問リハビリの実績・特色】

・訪問リハビリは、安心して在宅生活が行えるように、原則、入所担当セラピストが訪問まで引き続き担当します。退所後、短期間、集中的に訪問リハを行い、在宅生活を支援する体制をとっています。
・実際の生活の場である自宅での動作確認を行い、ご利用者とご家族が互いに行いやすい介助方法等の助言を行います。また家事動作や実際の外出等も確認し、アドバイス等行います。
・自宅での福祉用具の使用方法の確認等、環境面の調整を行います。
・理学療法士や作業療法士だけでなく、言語聴覚士の訪問リハビリが提供できます。
・言語聴覚士の訪問リハビリは、言語機能だけでなく、摂食嚥下機能の訓練の他、食事に関する助言、環境調整等を行います。
・リハマネジメント加算B（ロ）に対応しています。
・本加算は、会議にて医師が説明等を行うとともに、リハビリに関するデータを厚生労働省に定期的に提出し、フィードバック情報を活用するもので、リハビリの質の向上に努めています。

高麗町クリニック





【高麗町クリニック訪問リハの実績・特色】

・基本的な歩行練習や応用歩行練習、日常生活活動などの応用動作練習に加え、生活への楽しみ作り、ご家族の健康や運動の相談、介助方法の指導・助言などを行います。
・要支援1～要介護5と幅広い介護度の支援を担当。また、疾患も整形外科疾患や脳梗塞、糖尿病、腎不全、呼吸器疾患やがん末期など、幅広い疾患をもつ利用者の支援を行っています。
・南は谷山地区から北は伊敷地区まで、幅広い地域へ訪問しています。
・慈愛会内では、今村総合病院、いづろ今村病院、愛と結の街、かごしまオハナクリニックと連携しています。
・緊急時には在宅診療を行っている当クリニック医師に相談し対応いたします。
・感染症対策を十分に行い訪問リハビリを提供しています。

業　績　一　覧

【論文】

谷山病院　作業療法士

＜和文＞

1．中山陽平：当院のアディクションに対するプログラムの現状と課題．作業療法鹿児島 27（1）：17-22，2021

【学会発表】

今村総合病院　理学療法士

1．武清孝弘，村山芳博，中野伸亮，伊藤能清，宇都宮與，堂園浩一朗：同種造血幹細胞移植患者における身体機能変化．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島

2．松元龍，永松健太郎，浜田香穂麗，村山芳博，堂園浩一朗：当院病棟職員の腰痛と関連因子．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島

3．桑野大介，村山芳博，中村倫丈，堂園浩一朗：集中治療室でのリハビリテーションを振り返る～開設時と現在との比較で見えてくるもの～．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島

4．野﨑聖矢：化学療法を施行した造血器腫瘍患者への運動療法効果と疾患別の特徴．九州理学療法士学術大会 2021 from SASEBO，2021 年 10 月 16-17 日，長崎（Web）

5．宮ヶ原卓：視床出血後に Pusher 症状を呈し、ADL 能力の獲得に時間を要した症例．リハビリテーション・ケア合同研究大会 兵庫 2021，2021 年 11 月 18-19 日，兵庫（Web）

6．黒仁田武洋：運動量増加機器であるウォークエイドを使用した電気刺激により、立ち上がり・歩行の変化が見られた脳梗塞患者の一症例．回復期リハビリテーション病棟協会　第 39 回研究大会　in 東京，2022 年 2 月 4-5 日，東京（Web）

谷山病院　理学療法士

7．古園龍也：精神科病院での理学療法業務を経験して～今後の課題と展望～．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島

谷山病院　作業療法士

8．小澤孝典，真喜志元希，嶺井千春，上野博之，幸春奈，久保美杉，伊藤智子，梅岡啓香，川原香織：心理教育の導入の振り返りと普及への課題～フィデリティ尺度とヒアリング調査から～．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島

9．黒木貴博：認知症疾患治療病棟での家族交流会が参加者に与える影響．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島

愛と結の街　作業療法士

10．中間敏子，村井真由美：短時間通所リハビリの成果と課題について．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島

今村総合病院　言語聴覚士

11. 濵祐太：回復期の失語症患者におけるコミュニケーション能力と言語機能および知的機能に関する研究．第 22 回日本言語聴覚学会，2021 年 6 月 19 日，Web
12. 松下とも子，中島史博，若松藍，寺園隆宏，船間孝太，堂園浩一朗：言語環境の調整により自宅 1 人暮らしで自宅復帰が可能となった失語症の 1 例．回復期リハビリテーション病棟協会　第 39 回研究大会　in　東京，2022 年 2 月 4 日，Web
13. 鮫島悠子，堂園浩一朗：完全側臥位法を導入し自宅退院に至った超高齢者の一例．第 35 回鹿児島リハビリテーション研究会，2022 年 3 月 5 日，Web
14. 松下とも子，石丸夏姫，前田彩綾，森拓馬，吉田一成，堂園充代，奈良聡一郎，有水琢朗，堂園浩一朗：嚥下困難の訴えをきっかけに重症筋無力症（MG）の診断に至った 1 例．第 16 回鹿児島摂食嚥下リハビリテーション研究会，2022 年 3 月 19 日，Web

【研究会・講演会】

今村総合病院　理学療法士

1．村山芳博：社会の中の理学療法士．公益社団法人鹿児島県理学療法士協会新人オリエ，2021 年 4 月 18 日，鹿児島
2．村山芳博：チーム医療の実践について．鹿児島大学医学部保健学科，2021 年 6 月 29 日，鹿児島
3．村山芳博：理学療法士の医療政策論 1. 公益社団法人鹿児島県理学療法士協会，2021 年 8 月 29 日，鹿児島
4．村山芳博：理学療法士の医療政策論 2. 公益社団法人鹿児島県理学療法士協会，2021 年 11 月 14 日，鹿児島
5．武清孝弘：造血幹細胞移植リハビリテーションにおけるチーム医療　－理学療法士の立場より－．北陸造血細胞移植 Web セミナー 2021，2021 年 12 月 3 日，福井（Web）
6．村山芳博：CVA の理学療法の評価．鹿児島大学医学部保健学科，2021 年 12 月 13 日，鹿児島
7．轟原与織：大会メディカルスタッフとしての役割．鹿児島県理学療法士協会専門領域研修会，2022 年 1 月 23 日，鹿児島（Web）
8．白尾泰宏：理学療法士の経験を振り返って～海外研修・臨床経験・協会活動を通して～．鹿児島県理学療法士連盟総会研修会，2022 年 2 月 3 日，鹿児島（Web）

いづろ今村病院　理学療法士

9．西洋樹：高齢期を見据えた糖尿病運動療法．第 25 回鹿児島糖尿病スタッフセミナー，2021 年 6 月 5 日，鹿児島
10. 土井敦：看護介護職員向け動作介助研修会．公益社団法人 鹿児島県理学療法士協会 公開講座，2021 年 7 月 18 日，鹿児島（Web）
11. 土井敦：福祉用具と住宅改修．公益社団法人 鹿児島県理学療法士協会 生活環境支援部研修会，2021 年 9 月 25 日，鹿児島（Web）
12. 土井敦：令和 3 年度介護職員チームリーダー養成研修 ノーリフトケア．社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会，2021 年 10 月 13 日，鹿児島
13. 土井敦：介護実務者研修 介護技術習得に向けて現場で役立つ基礎的知識．公益財団法人 介護労働安定センター，2021 年 10 月 14 日，鹿児島
14. 土井敦：基本動作と生活環境．鹿児島理学療法士作業療法士言語聴覚士連絡協議会 訪問リハビリテーション研究会，2021 年 10 月 30 日，鹿児島（Web）
15. 土井敦：快適な住環境整備と介護．鹿児島県歯科学院専門学校 介護職員初任者研修，2022 年 2 月 18 日，鹿児島

谷山病院　理学療法士

16. 古園龍也：精神科での理学療法について．公益社団法人鹿児島県理学療法士協会学術部，2021 年 11 月 21 日，鹿児島

谷山病院　作業療法士

17. 地村尚人：多職種連携における作業療法士の役割～症例にとって意味のある作業を通して在宅生活に繋げた一例～．第 10 回慈愛会精神科リハビリテーション合同活動発表会，2021 年 10 月 16 日，鹿児島
18. 迎雄作：日常生活動作練習室の活用により、自宅復帰という一筋の光が見えた事例．第 10 回慈愛会リハビリテーション合同活動発表会，2021 年 10 月 16 日，鹿児島

今村総合病院　言語聴覚士

19. 中島史博：令和 3 年度鹿児島県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会講師．鹿児島県失語症者向け意思疎通支援者養成事業，2021 年 10 月 31 日 -11 月 14 日，鹿児島

【受賞】

今村総合病院　理学療法士

1．武清孝弘：「同種造血幹細胞移植患者における身体機能変化」第 1 回慈愛会学会学術集会　口演発表優秀賞，2021 年 8 月 5 日

谷山病院　作業療法士

2．小澤孝典：「心理教育の導入の振り返りと普及への課題～フィデリティ尺度とヒアリング調査から～」第 1 回慈愛会学会学術集会　ポスター発表優秀賞．2021 年 8 月 5 日

部門別　事業報告（PDCA）総括 指標 業績一覧

薬 剤 部 門

中長期計画		2021年度 事業計画（Stage5）	実施　2021.4月～2022.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
薬剤部	薬剤師確保対策	①薬剤師の確保計画 ・新卒薬剤師（4名） ・薬剤師採用試験（2回） ・病院間薬剤師職員の定期（臨時）異動（2回） ・奄美・徳之島病院薬剤師の常勤 補充数（2名） ・新採薬剤師の離島での実地研修(2回) ・薬学実務実習生の受け入れ（6名） ・薬学生の病院見学の受け入れ（10名） ・各薬科大学への薬剤師募集の情報発信（3回）	①薬剤師の確保計画 ・新卒薬剤師（4名） ・薬剤師採用試験（2回） ・病院間薬剤師職員の定期・臨時 異動（3名） ・奄美・徳之島病院薬剤師の常勤 補充数（3名） ・新採薬剤師の離島での実地研修 なし ・奄美応援体制　（いづろ：4名、総合6名、谷山5名） ・薬学実務実習生の受け入れ（いづろ：3名、総合：4名） ・薬学生の病院見学の受け入れ（14名） ・九州保健福祉大学：就職説明会（WEB実施） ・各薬科大学への薬剤師募集の情報発信（14回）	①薬剤師の確保計画について ・新卒薬剤師確保希望は7名で採用試験2回行い、内定通知6名であったが採用は4名となった。 ・中途採用5名、退職者6名 ・奄美・徳之島の離島病院の薬剤師の確保 奄美3名採用できたが退職者1名あり。 4月～6月谷山3名、7月～3月総合5名、谷山1名 10月～3月いづろ4名、総合1名、谷山1名応援体制 ・薬学実務実習生の受け入れ慈愛会で7名良好。 ・薬学生の病院見学は、情報発信をWEB等積極的に行い、新型コロナの影響もなく、例年と同等であった。	①薬剤師の確保について ・新卒採用人数は４名程度でとどまっているため新卒だけではなく、中途採用のリクルートも考える。 ・徳之島は定着しているが、奄美については今年度 現地採用者の定着を考える。 ・ハローワークにもマッチングをお願いし、中途採用の薬剤師を募集する。 ・今年初めて、就職説明会にWEB参加したが、今後、薬剤師募集に関し、各大学に積極的なWEB活用を行う。
	人材育成	①各病院におけるジェネラリスト、スペシャリストの養成 ・日病薬病院薬学認定薬剤師(新規目標）7名 ・糖尿病療養指導士（〃）1名 ・外来がん治療認定薬剤師（〃）2名 ・精神科薬物療法認定薬剤師（〃）1名 ・日本静脈経腸栄養学会NST専門療法士（〃）1名 ②慈愛会薬剤部合同研修会の実施 ③各種研修会、学会での発表 ・症例検討会・処方検討会 ・慈愛会合同研修会（8題） ・各種学会発表（院外）（8題）	①各病院におけるジェネラリスト、スペシャリストの養成 ・日病薬病院薬学認定薬剤師(新規目標）11名 ・糖尿病療養指導士（新規目標）1名準備済み ・精神科薬物療法認定薬剤師（新規目標）1名準備済み ・日本静脈経腸栄養学会NST専門療法士1名 ・日本医療薬学会：地域薬学ケア専門薬剤師研修施設認定(総合) ・日本臨床腫瘍薬学会：がん診療病院連携研修病院（総合） ・日本臨床薬理学会：認定薬剤師制度研修施設（総合） ②慈愛会薬剤部合同研修会の実施（2021.11.20） ③各種研修会、学会での発表 ・慈愛会合同研修会（8題） ・各種学会発表（院外）（8題） ・鹿児島県病院薬剤師会学術集会誌に論文掲載（学術集会優秀発表賞）（いづろ）	①各病院におけるジェネラリスト、スペシャリストの養成 ・計画には少し足りないがほぼ計画通り取得できた。 ・新たに研修施設の認定取得ができた（総合）。 ・日本医療薬学会：地域薬学ケア専門薬剤師研修施設　３名受け入れ ・日本臨床腫瘍薬学会：がん診療病院連携研修病院　１名受け入れ ・2020年より認定継続ができた。 ②予定通り行えた。 ③新型コロナの影響もあり学会の中止などがあったがWEB発表で達成できた。また、優秀発表賞を受賞し論文掲載されたことは評価される。	①各病院におけるジェネラリスト、スペシャリストの養成 ・今後もこれを継続しより専門性を持った薬剤師の育成を行う。 ・日本医療薬学会：地域薬学ケア専門薬剤師研修施設→2022年3月終了 ・日本臨床腫瘍薬学会：がん診療病院連携研修病院認定継続。研修生の受け入れを行う。 ・日本臨床薬理学会：認定薬剤師制度研修施設→2022年3月終了
	薬剤業務の効率化・生産性向上	①薬剤管理指導業務の推進（物から人への業務比率を高め、入院から外来へのスムーズな移行を図る） ・薬剤管理指導目標件数（算定）/年：目標 いづろ今村3,200（2,000）、今村総合15,500（11,000） 谷山2,000（1,500）、奄美360、徳之島560（280） ・退院時服薬指導目標件数（算定）/年：目標 いづろ今村1,000（500）、今村総合5,400（同） 谷山100（30）、奄美90、徳之島35（23） ②医薬品採用品の統一化（慈愛会統一電子カルテへの対応及び医薬品ロスの縮小を図る）　目標：10品目 ③後発医薬品の変更（数量ベースの85％確保を目指す） ④業務の標準化を図る （効率化・生産性向上のための取り組み） ⑤薬局長WEB会議での情報共有化 （毎月：第3水曜日）	①薬剤管理指導業務の推進（物から人への業務比率を高め入院から外来へのスムーズな移行を図る） ・薬剤管理指導目標件数（目標達成率）/年 いづろ：4,051（126.6％）、総合：16,567（106.9％）、 谷山：1,425（71.3％）、奄美：7（2％）、徳之島：565（100.9％） ・退院時服薬指導目標件数（目標達成率）/年 いづろ：1,474（147.4％）、総合：5,622（104.1％） 谷山：82（82.0％）、奄美：5（6％）、徳之島：16（45.7％） ②医薬品採用品の統一化　21品目変更 ③後発医薬品の変更（数量ベースの80％確保を目指す） 各病院後発品へスムーズに変更 ④業務の標準化を図る いづろ：退院患者に薬剤管理サマリーを作成し薬薬連携を図る 総合：薬剤助手の調剤補助業務見直し 谷山：持参薬に関する全病棟対応標準化マニュアル作成及び薬剤助手業務手順書マニュアル見直し 奄美：処方オーダリングが導入された際の外来・入院調剤の手順を整理 徳之島：入院時処理手順のマニュアル化、業務の標準化 ⑤薬局長ＷＥＢ会議での情報共有化　毎月第３水曜日実施）	①薬剤管理指導業務の推進 ・薬剤管理指導については総合、徳之島は達成。奄美病院は、退職者2名あったため、指導業務が行えない状況であり、大幅減。また、鹿児島市内3病院より奄美へ薬剤師派遣しているため、いづろ、谷山も減となった。 ・退院指導についても同上の状況であったが、2病院は目標達成、谷山・奄美・徳之島は未達成。 ②新規発売の後発品はWEB会議にて選定 ③5病院すべて85％以上を達成できた。 ④5病院とも計画を達成し業務につなげることができた。 ⑤WEB会議を毎月開催し、後発医薬品の選定、奄美病院への薬剤師派遣、処方オーダリング、合同研修会及び学会発表など情報共有を行った。	①薬剤管理指導業務の推進 奄美病院の中途採用薬剤師を確保し、鹿児島市内からの派遣を最小限にすることにより、薬剤管理指導と退院指導を積極的に行う。 奄美病院は4名の薬剤師を配置でき、薬剤管理指導と退院時指導を次年度へ準備中。 ②③継続して行い経費削減に貢献していく。 ④今年度の目標を達成することで業務の効率化を更に進めていく。 ⑤今後も継続し、情報共有を行う。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

1．薬局長会議の開催（適宜第３水曜日にWEB会議を開催）

《主な協議・確認事項》

・人事配置について
・各薬剤部の事務分掌について
・業務計画及び進捗状況の確認について
・レセプト集計、実績資料について
・新規後発医薬品の統一品目の選定について
・奄美病院の薬剤師充実について
・処方オーダリングについて
・薬剤部合同研修会について
・新型コロナ関連について

2．薬薬連携交流会の開催

（1）第4回 慈愛会 薬薬連携交流会（参加人数：120名）

・2021年8月27日（金）19：00−20：45
・Zoomによるオンライン交流会
　ホスト会場：かごしまオハナビル3階大会議室
・基調講演Ⅰ
　「連携充実加算算定に関する取り組み」
　演者：今村総合病院　副主任　堀口 大輔
・基調講演Ⅱ
　「緩和ケア病棟における薬剤師の関わり」
　演者：いづろ今村病院　薬局長　神門 孝典
・特別講演
　「がん悪液質とグレリン作動薬アナモレリン
　　― 新たな支持療法の確立へ ―」
　演者：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
　　漢方薬理学講座　教授　乾 明夫先生

（2）第5回 慈愛会 薬薬連携交流会（参加人数：233名）

・2022年2月18日（金）19：00−20：45
・Zoomによるオンライン交流会
・ホスト会場：いづろ今村病院 別館3階大会議室
・基調講演Ⅰ
　「糖尿病薬を取り扱う上での注意点や課題について」
　演者：松本調剤薬局　管理薬剤師　南 英樹先生
・基調講演Ⅱ
　「チームで取り組む糖尿病療養指導
　　～当院薬剤師の関わり～」
　演者：いづろ今村病院　副主任　東屋敷 史織
・特別講演
　「糖尿病薬剤指導で知っておきたいポイント
　　～経口薬から注射薬まで～」
　演者：いづろ今村病院
　　鎌田 哲郎　名誉院長 兼 糖尿病センター長

合同研修会

「第11回 薬剤部合同研修会」

・2021年11月20日（土）15：00～
・今村総合病院A棟４階大会議室　WEB（Zoom）配信

【内容】

（1）第１部

座長：いづろ今村病院 薬局長　神門 孝典
講演：「鹿児島大学病院の病棟業務で経験した症例報告」
講師：慈愛会 薬剤部 統括部長　山口 辰哉

（2）第２部

研修発表会
座長：谷山病院 薬局長　新村 味穂子
①緩和ケア病棟における薬剤師の関わり
　いづろ今村病院　東條 知子
②薬剤師・医療情報技師としての業務
　徳之島病院　東槇 徹
③整形外科病棟でのスポーツファーマシストとしての関わりについて
　今村総合病院　吉永 和生
④当院における抗菌薬使用状況と患者背景の検討
　谷山病院　四本 晶子

座長：いづろ今村病院 主任　内山 ゆかり
⑤かかりつけ薬剤師による経口抗がん剤薬治療中のがん患者に対するテレフォンフォローアップを活用した支援により治療継続できた一例
　今村総合病院 研修生 海浜薬局　東中川 雅史
⑥当院入院患者における週１回GLP－１受容体作動薬セマグルチドの使用状況および消化器症状の副作用発現に関する検討
　いづろ今村病院　東屋敷 史織
⑦退院指導件数向上への取り組みと退院時連携加算取得に向けた課題
　谷山病院　大平 有紗
⑧薬剤師が介入した病棟での適切な薬剤管理について
　今村総合病院　東 詠美

技能・能力向上に向けた取り組み

1．人材育成，指導等の取り組み

・各病院において、薬剤部クリニカルラダーに基づく人材育成

ラダー認定：18名

【レベルⅤ：７名　レベルⅣ：１名　レベルⅢ：４名　レベルⅡ：３名　レベルⅠ：３名】

・ジェネラリスト薬剤師として日病薬病院薬学認定薬剤師の単位取得を推進

2．資格取得状況（新規）

・日本病院薬剤師会薬学認定薬剤師（今村総合：４名）

・外来がん治療認定薬剤師（今村総合：１名）

・日本病院薬剤師会感染制御認定薬剤師（いづろ今村：１名）

・糖尿病薬物療法履修薬剤師（いづろ今村：１名）

3．研修施設認定

・日本医療薬学会：地域薬学ケア専門薬剤師研修施設

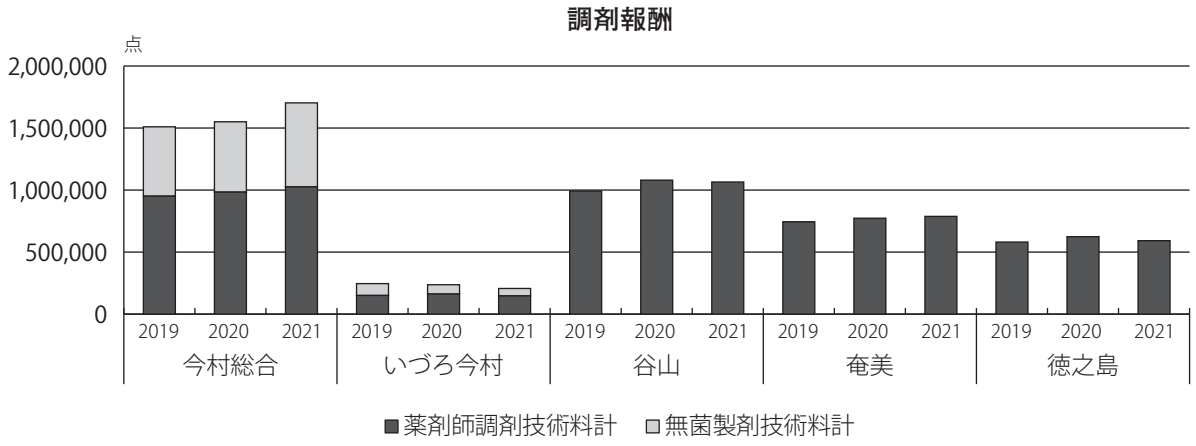
・日本医療薬学会：がん専門薬剤師研修施設

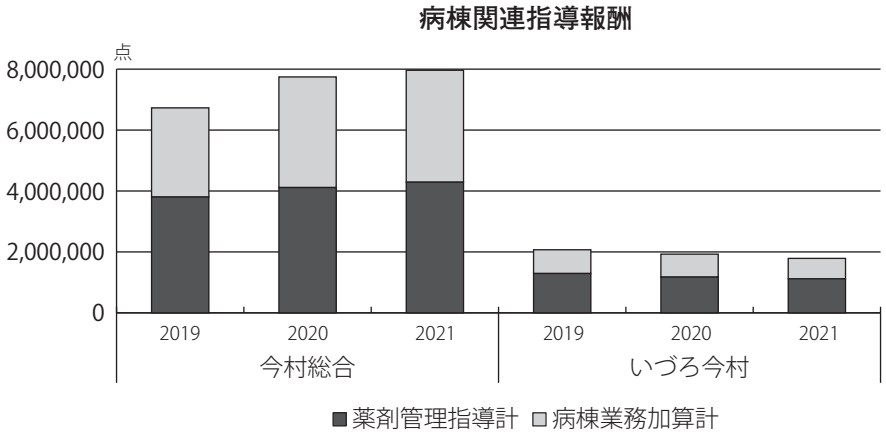
・日本臨床腫瘍薬学会：がん診療病院連携研修病院

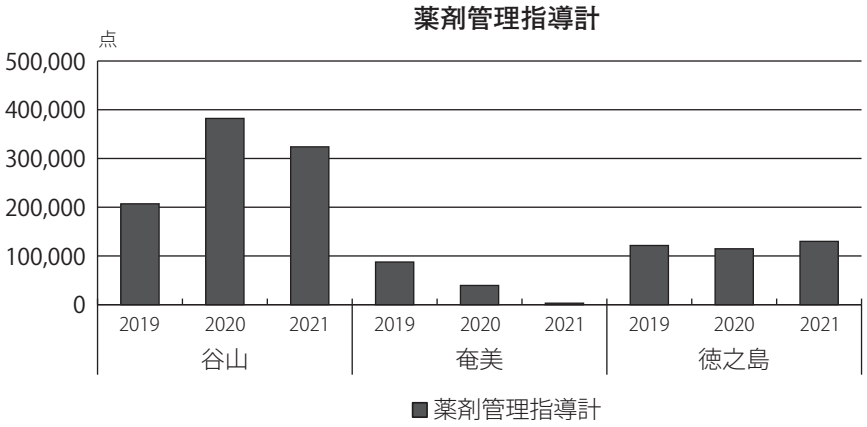
・日本臨床薬理学会：認定薬剤師制度研修施設

病院名	資　格	2020年度末 在籍有資格者	2021年度 計　　画	2021年度 実　　績
今村総合	・がん専門薬剤師	1		
	・がん薬物療法認定薬剤師	1		
	・外来がん治療認定薬剤師		2	1
	・感染制御認定薬剤師	1		
	・ＮＳＴ専門薬剤師	3	1	
	・糖尿病療養指導士	3		
	・インフェクションコントロールドクター（ICD）	1		
	・スポーツファーマシスト	2		
	・実務実習指導薬剤師	2		
	・日病薬病院薬学認定薬剤師	13	7	4
	・精神科薬物療法認定薬剤師		1	
いづろ今村	・糖尿病薬物療法履修薬剤師		1	1
	・糖尿病療養指導士	4	1	
	・日病薬病院薬学認定薬剤師	4		
	・日病薬感染制御認定薬剤師		1	1
	・実務実習指導薬剤師	2		
谷　　山	・精神科薬物療法認定薬剤師	1	1	
	・糖尿病療養指導士	1		
	・日病薬病院薬学認定薬剤師	1	1	1
奄　　美	・日薬研修センター認定薬剤師		2	2
	・日病薬病院薬学認定薬剤師	1		

各種指標


調剤報酬
点
2,000,000
1,500,000
1,000,000
500,000
0
2019 2020 2021 2019 2020 2021 2019 2020 2021 2019 2020 2021 2019 2020 2021
今村総合
いづろ今村
谷山
奄美
徳之島
薬剤師調剤技術料計
無菌製剤技術料計


病棟関連指導報酬
点
8,000,000
6,000,000
4,000,000
2,000,000
0
2019 2020 2021 2019 2020 2021
今村総合
いづろ今村
薬剤管理指導計
病棟業務加算計


薬剤管理指導計
点
500,000
400,000
300,000
200,000
100,000
0
2019 2020 2021 2019 2020 2021 2019 2020 2021
谷山
奄美
徳之島
薬剤管理指導計

業　績　一　覧

【論文】

いづろ今村病院

1．遠矢素子：チェックシートを活用したタクロリムス使用 UC 患者に対する薬剤師の関わり．鹿児島県病院薬剤師会誌 61：14，2021

【学会発表】

今村総合病院

1．鬼丸俊司，松山淳史，山口辰哉：医療用医薬品安定確保への対応・取り組み．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島

2．鬼丸俊司，松山淳史，木下大夢，橋本直美：新型コロナウイルス感染症流行下での病院薬剤師業務について．第 54 回日本薬剤師会学術大会，2021 年 9 月 19-20 日，Web

いづろ今村病院

3．野元優基，内山ゆかり，東條知子，東屋敷史織，遠矢素子，神門孝典，長野真二郎，山口辰哉：薬剤総合評価調整加算・薬剤調整加算を算定した症例の報告～ポリファーマシー解消を目指した取り組み～．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島

谷山病院

4．染川考佑：精神科チーム医療における薬剤師の役割．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島

【研究会・講演会】

今村総合病院

1．堀口大輔：連携充実加算算定に関する取り組み．第 4 回慈愛会薬薬連携交流会，2021 年 8 月 27 日，鹿児島（Web）

2．吉永和生：整形外科病棟でのスポーツファーマシストとしての関わりについて．第 11 回慈愛会薬剤部合同研修会，2021 年 11 月 20 日，鹿児島

3．東中川雅史：かかりつけ薬剤師による経口抗がん剤薬治療中のがん患者に対するテレフォンフォローアップを活用した支援により治療継続できた一例．第 11 回慈愛会薬剤部合同研修会，2021 年 11 月 20 日，鹿児島

4．東詠美:薬剤師が介入した病棟での適切な薬剤管理について．第 11 回慈愛会薬剤部合同研修会，2021 年 11 月 20 日，鹿児島

5．橋本直美：がん化学療法と地域連携．包括的地域連携ネットワーク薬剤師研修会，2022 年 3 月 11 日，Web

いづろ今村病院

6．神門孝典:緩和ケア病棟における薬剤師の関わり．第 4 回慈愛会薬薬連携交流会，2021 年 8 月 27 日，鹿児島（Web）

7．東條知子：緩和ケア病棟における薬剤師の関わり．第 11 回慈愛会薬剤部合同研修会，2021 年 11 月 20 日，鹿児島

8．東屋敷史織：当院入院患者における週１回 GLP-1 受容体作動薬セマグルチドの使用状況および消化器症状の副作用発現に関する検討．第 11 回慈愛会薬剤部合同研修会，2021 年 11 月 20 日，鹿児島

9．東屋敷史織：チームで取り組む糖尿病療養指導～当院薬剤師の関わり～．第 5 回慈愛会薬薬連携交流会，2022 年 2 月 18 日，鹿児島（Web）

10. 東條知子，東屋敷史織，野元優基，御牧夕紀子，遠矢素子，内山ゆかり，神門孝典，松下格司：医療用麻薬の適正使用について．第 27 回院内研究発表会，2022 年 2 月 25 日 -3 月 25 日，鹿児島

谷山病院

11. 四本晶子：当院における抗菌薬使用状況と患者背景の検討．第 11 回慈愛会薬剤部合同研修会，2021 年 11 月 20 日，鹿児島　（Web）

12. 大平有紗：退院指導件数向上への取り組みと退院時連携加算取得に向けた課題．第 11 回慈愛会薬剤部合同研修会，2021 年 11 月 20 日，鹿児島（Web）

13. 四本晶子：外来患者の睡眠薬多剤併用を減らすための当院薬剤部での取り組み．第 243 回鹿児島県病院薬剤師会研修会，第 34 回精神科薬物療法対策講習会，2021 年 12 月 11 日，鹿児島（Web）

【受賞】

いづろ今村病院

1．野元優基：「薬剤総合評価調整加算・薬剤調整加算を算定した症例の報告～ポリファーマシー解消を目指した取り組み～」口演発表優秀賞．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 8 月 5 日

部門別　事業報告（PDCA）総括 指標 業績一覧

画像診断／放射線治療部門

中長期計画		2021年度 事業計画（Stage4）	実施　2021.4月～2022.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
画像診断部	放射線治療部門安定稼働に向けて	①年間200症例、照射件数4,000件 ・県内外への講習会、研究会、学会等への積極的な参加 他施設との情報共有。 ②人材確保、育成 ・放射線治療専門技師、放射線治療品質管理士等の資格取得への準備 ・継続的なローテータ育成 ③放射線治療品質管理室 ・品質管理室運営基盤の構築 ④JASTRO認定施設取得準備 ・学会発表、申請等	196 症例を実施　（前年度比 84.8%） 照射件数　3,089件　（前年度比 94.8%） 第18回　日本放射線治療専門技師認定機構統一講習会 放射線治療品質管理室活動としての品質管理 （IDVT測 定,計 画CTmonthlyQA,Cable Verify測 定,MVCT空 間 分 解 能・コントラスト、ArcCHECK monthlyQA） 第31回放射線治療品質管理士web講習会 受講（市來） 第3回九州山口トモセラピーユーザーズフォーラム web発表（市來） 第1回慈愛会学会学術集会 ポスター発表（市來） 第35回高精度放射線外部照射部会学術大会 2演題web発表（市來）	医療機器安全管理料2（1,100点）を8月より算定開始 定期的な品質管理を行うことで、放射線治療の質を担保し大きな故障を未然に防ぐことができた。 始業・終業点検の徹底によるダウンタイムの減少 日本放射線治療専門技師認定機構統一講習会（牧野,市來,上川,髙山） 次年度放射線治療専門技師の受験資格（牧野,上川,髙山） 第146回放射線治療かたろう会、第23回鹿児島県放射線治療技術研究会等へweb参加し、情報交換を行った。	院内外への放射線治療の広報・アピール 品質管理、定期点検、始業終業点検等の継続 放射線治療専門技師の受験 JASTRO認定施設取得へ必要なプロトコール作成 放射線予防規定の改定準備 医学物理士等資格取得準備
	スキルアップによる人材育成	慈愛会クリニカルラダーを導入 ①新人・若手技師 ・診療放射線技師基礎講習（医療基礎、基礎技術コース）受講 ・学会、研究会、Webinar等への積極的な参加 ②中堅技師 ・アドバンス診療放射線技師取得 ・放射線管理士、放射線機器管理士などの資格取得 ・学会、研究会、Webinar等への積極的な参加、発表 ③役職者 ・放射線管理士、放射線機器管理士、臨床実習指導教員などの各種資格取得 ・学会、研究会、Webinar等への積極的な参加、発表、座長など ④施設認定取得への取り組み ・マンモグラフィ画像認定施設取得（いづろ今村） ⑤放射線科医を交えた定期的な症例検討会の継続、合同研修会の開催	総合・いづろのラダー対象者への育成 各種認定資格の取得・更新 ＜取得＞ ・第1種作業環境測定士・臨床実習指導教員・放射線被ばく相談員 ＜更新＞ ・放射線治療品質管理士・放射線機器管理士・肺がんCT検診認定技師 告示研修修了者　3名（総合２名、いづろ１名） ＜講習会＞ 塩化ラジウム（Ra-223）注射液を用いたRI内用療法における適正使用に関する安全取扱講習会 密封小線源治療安全取扱講習会 デジタルマンモグラフィ品質管理講習会 2021.4.24第15回慈愛会画像診断部合同研修会の開催 （医師、看護師、事務含め37名参加） 院内症例検討会5回開催	ラダーレベル 1:3名、2:1名、3:1名、4:4名 webを活用しての学会・研究会での発表・講演、また研修会へ参加することができた。 コロナ禍により、認定資格等の取得、更新へ必要な試験・講習会の延期中止等があった。限られた中ではあったが施設に合った認定資格等の取得更新、業務に必要な講習会等を受講することが出来た。 告示研修（実技研修）の県内開催が他試験と同日であったため、修了者が少なかった。 対面での研修会を行え、技師間の交流も図ることができた。	法人内ラダー内容の再検討を行い、教育体制の強化を図る。 日本診療放射線技師会のラダーの導入検討を行う。 引き続き各施設に合った認定資格・認定施設取得、講習会等の受講、学会研究会等への発表を積極的に行っていく。 告示研修受講の啓発を継続し、医師・看護師等へのタスクシフト・タスクシェアの推進を行っていく。 マンモグラフィ画像認定施設取得へ向け申請準備 院内症例検討会を継続しスキルアップ、プレゼン力を身につける。
	診断部門生産性の向上と効率化	①各部門の検査件数増加、安定稼働 ・一般撮影系（58,800件/年） ・CT（18,600件/年） ・MRI（9,480件/年） ・透視（1,800件/年） ・Angio（600件/年） ・RI（300件/年） ・腹部超音波（8,400件/年） ・乳腺撮影（2,400件/年） ②院内外含めた広報活動 ・検査予約地域連携システムの導入施設拡大と連携医、開業医との連携強化 ・今村総合：診療部、看護部、医事課などを含めた院内外からの検査紹介患者受け入れ体制の計画・検討、院内向け広報紙の作成。 ・いづろ今村：病院訪問・営業活動の継続、地域連携プロジェクトへの参加、広報誌等での宣伝活動 ・地域活動への参加や支援 ③慈愛会技師人材支援体制の強化 ・いづろ今村病院、今村総合病院、谷山病院への相互助勤 ・慈愛会画像診断部一体化会議の開催（毎月１回）	【今村総合病院】　39,247件（前年度比 104.3%） 【いづろ今村病院】　12,059件（前年度比 102.9%） 【全体】　51,306件（前年度比 104.0%） 【今村総合病院】　16,280件（前年度比 100.8%） 【いづろ今村病院】　2,874件（前年度比 112.7%） 【全体】　19,154件（前年度比 102.4%） 【今村総合病院】　7,104件（前年度比　94.8%） 【いづろ今村病院】　941件（前年度比 113.6%） 【全体】　8,045件（前年度比　96.7%） 【いづろ今村病院】　1,258 件（前年度比　87.5%） 【今村総合病院】　402 件（前年度比　77.9%） 【今村総合病院】　208 件（前年度比 113.7%） 【いづろ今村病院】　8,117件（前年度比 107.4%） 【いづろ今村病院】　2,301件（前年度比 101.2%） 地域医療連携システム（カルナコネクト）総合の運用開始 16施設22回訪問 谷山病院を含めた外部向けパンフレットデータ更新 今村総合病院からいづろ今村病院への当直明け助勤の継続 いづろ今村病院から今村総合病院・谷山病院への午後助勤の継続 モダリティ間での助勤、会議にて情報共有検討することで、スムーズに施設間の連携がとれた。	【今村総合病院】 コロナ禍ではあったが、全体的には増加傾向であった。 循環器の心筋シンチグラフィー（負荷）をスタートすることが出来た。 【いづろ今村病院】 全体的に増加傾向であった。 透視の減少は、IBDセンターの総合への移動とコロナの影響が考えられる。 【全体】 感染対策を行いながら、安定的にモダリティを稼動運営することができた。 カルナコネクト連携施設 現在連携：16施設（+6施設） カルナコネクト利用紹介件数：273件（+67） 診療紹介施設へ、今村総合病院リンクインフォメーション「じあいんふぉ」によるカルナの紹介・広報を行った。 まん延防止等重点措置による訪問活動の自粛で件数が伸びなかった。 また地域行事等も中止であった。 施設間の相互支援を行うことで、コミュニケーション等がとれ連携を強化することができた。	【今村総合病院】 業務の効率化、業務拡大等を行い、件数増加を図る。 【いづろ今村病院】 検診の強化、継続的な施設訪問による紹介検査増加を図る。 【全体】 適切な人材育成・人材配置を行い、効率化を図る。 断らない体制の継続 ホームページ掲載内容の見直し・院内広報紙作成などの強化、施設訪問を行う。また施設認定取得・資格取得のコマーシャルでカルナコネクト連携施設の増加を図る。 引き続き施設間連携をスムーズに行っていく。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

1．画像診断部一体化会議

毎月第３火曜日、いづろ今村病院・今村総合病院の役職者により開催。

・施設間の報告による情報共有
・モダリティごとの技術・情報共有、業務支援、定期点検、始業・終業点検
・人材交流、育成
・病欠時業務サポート
・新型コロナ感染症撮影対応、感染管理
・法改正への対応

2．施設間の業務支援

・いづろ今村病院技師による今村総合病院の当直業務
・今村総合病院技師によるいづろ今村病院技師の当直明けサポート
・いづろ今村病院技師による午後からの今村総合病院への助勤
・谷山病院技師への業務支援
・計画停電、休日当番医の緊急時対応、相互支援

合同研修会

「第15回慈愛会画像診断部合同研修会」

・2021年4月24日（土）　15：00-17：00
・今村総合病院A棟４階大会議室
・司会・進行　いづろ今村病院　上釜 健作、中村 遥佳

【内容】

1．トピックス

「能力開発プログラム（ラダー認定制度）」

今村総合病院　惠 智徳

2．演題

（1）腹部超音波検査で診断に苦慮した脾原発悪性リンパ腫の一例

いづろ今村病院　上釜 健作

（2）造影問診の現状報告（放射線科Ns. から）

今村総合病院　浦部 倫香

（3）負荷心筋シンチグラフィーについて

今村総合病院　中窪 広昌

3．新人紹介

今村総合病院　小林 晃也、西田 崇友、榊 大樹、下茂 大輝

いづろ今村病院　下田 知佳

4．理事長総括

慈愛会　理事長　今村 英仁

技能・能力向上に向けた取り組み

取得認定資格一覧	今村総合病院	いづろ今村病院
第一種放射線取扱主任者	1	
第１種作業環境測定士	1	
放射線治療専門放射線技師	1	
放射線治療品質管理士	1	
超音波検査士		1
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師	1	2
胃がん検診専門技師	3	3
肺がん CT 検診認定技師	2	
大腸 CT 検査技師		1
X 線 CT 認定技師	5	
日本血管撮影・インターベンション専門認定技師	1	
放射線管理士	3	
放射線機器管理士	4	1
医療画像情報精度管理士		1
臨床実習指導教員	6	1
放射線被ばく相談員	1	
Ai 認定診療放射線技師	2	
画像等手術支援認定診療放射線技師	1	
アドバンスド診療放射線技師	6	2
シニア診療放射線技師	1	1
エックス線作業主任者	3	
ガンマ線透過写真撮影作業主任者	3	

○施設認定

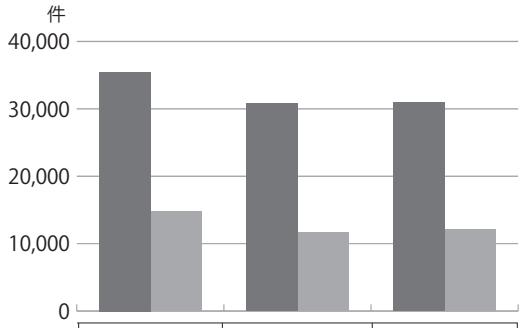
医療被ばく低減施設	今村総合病院
臨床実習指導施設	今村総合病院

○2021年度実績　認定資格　取得・更新

放射線被ばく相談員	取得	蓑田
臨床実習指導教員	取得	中窪
放射線治療品質管理士	更新	市來
第１種作業環境測定士	取得	蓑田
放射線機器管理士	更新	市來
肺がん CT 検診認定技師	更新	惠
密封小線源治療安全取扱講習会	修了	市來、上川
塩化ラジウム（Ra-223）注射液を用いた RI 内用療法における適正使用に関する安全取扱講習会	修了	中窪、前田
令和３年厚生労働省告示第273号研修	修了	惠、脇田、中窪

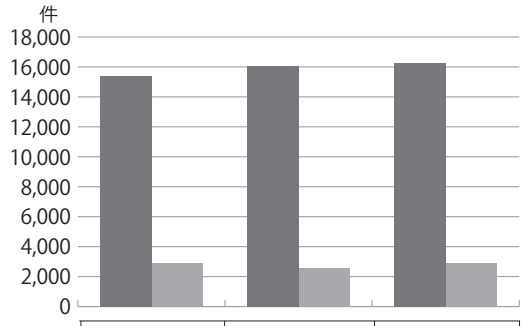
各種指標

一般撮影検査



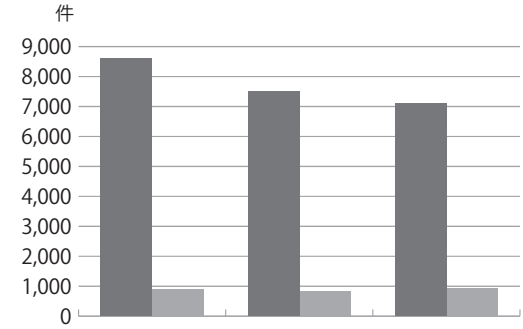
	2019年度	2020年度	2021年度
■ 今村総合病院	35,469	30,827	30,906
■ いづろ今村病院	14,805	11,720	12,059

CT検査



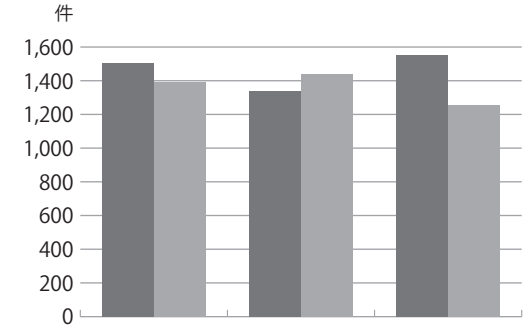
	2019年度	2020年度	2021年度
■ 今村総合病院	15,416	16,089	16,280
■ いづろ今村病院	2,901	2,556	2,874

MRI検査



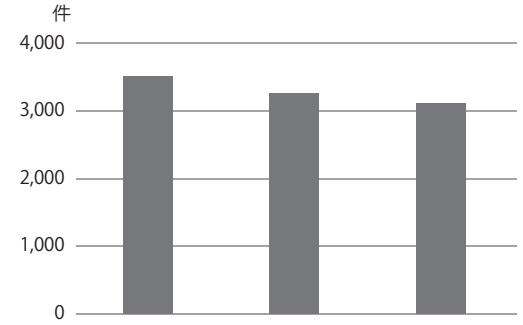
	2019年度	2020年度	2021年度
■ 今村総合病院	8,603	7,495	7,104
■ いづろ今村病院	888	828	941

透視検査



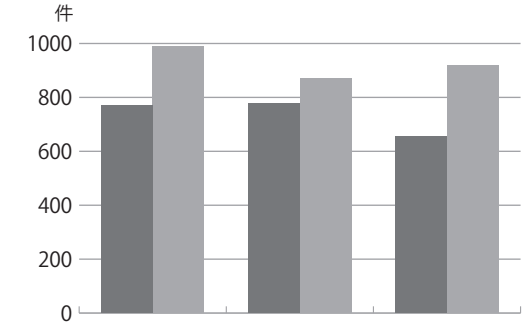
	2019年度	2020年度	2021年度
■ 今村総合病院	1,507	1,340	1,555
■ いづろ今村病院	1,389	1,438	1,258

放射線治療



	2019年度	2020年度	2021年度
■ 照射件数	3,506	3,260	3,089

谷山病院検査数



	2019年度	2020年度	2021年度
■ 一般撮影	769	777	654
■ CT	989	870	919

業　績　一　覧

【論文】

今村総合病院

＜共著＞＜欧文＞

1．Yonekura K，Ichiki M，Takeda K，Uchiyama N，Nishida H，Dokiya T：Successful treatment of tumor stage mycosis fungoides with total skin helical tomotherapy．J Dermatol 49(2)：289-293，2022

＜その他の論文、著述＞

2．馬場隆行：補助具を活用すれば胸部ポータブル撮影や手術室撮影の再現性と精度は向上する．INNERVISION，2021，pp82-86

3．馬場隆行：高精度X線撮影機器とプレショットの融合でX線画像は劇的進化を遂げるか．映像情報 Medical，2021，pp9-13

【学会発表】

今村総合病院

1．市來守，牧野竜大，上川翔美，髙山大史，惠智徳，内山典明，西田博利，土器屋卓志，米倉健太郎：強度変調放射線治療を用いた全身皮膚周囲照射の放射線治療計画に関する報告．第1回慈愛会学会学術集会，2021年7月10日，鹿児島

2．馬場隆行，中田有希乃，小林晃也，蓑田辰則：X線撮影室において鏡は最強のコミュニケーションツールとなるか．第37回日本診療放射線技師学術大会，2021年11月12日，東京

3．馬場隆行：鏡と合板を活用してX線撮影をバージョンアップする．第16回九州放射線医療技術学術大会，2021年12月11日，佐賀

4．市來守，小澤修一，常峰將吾，牧野竜大，上川翔美，髙山大史，大西孝志，橋口大喜：DICOM RT ビューワと治療計画装置の線量指標整合性評価．第35回高精度放射線外部照射部会学術大会，2022年3月5日，愛知（Web）

5．市來守，小澤修一，常峰將吾，牧野竜大，上川翔美，髙山大史，西田博利，内山典明，土器屋卓志:DICOM RT ビューワのクラウドサービスを用いた放射線治療計画の遠隔承認プロセスの検討．第35回高精度放射線外部照射部会学術大会，2022年3月5日，愛知（Web）

【研究会・講演会】

今村総合病院

1．馬場隆行：骨関節撮影分科会「補助具作成セミナー」．第37回日本診療放射線技師学術大会，2021年11月13日，東京

2．西田崇友，若松沙樹，吉見敦，中窪広昌，濱田裕幸：MRI室における医療安全の取り組み～今村総合病院～．第23回鹿児島MRI研究会，2022年2月4日，鹿児島（Web）

3．市來守，牧野竜大，上川翔美，髙山大史，小澤修一，内山典明，西田博利，土器屋卓志:トモセラピーならではの症例「全

骨髄照射（TMI）」．第３回九州山口トモセラピーユーザーズフォーラム，2022 年 3 月 26 日，福岡（Web）

いづろ今村病院

４．上釜健作：肝の高エコー腫瘤について．第 307 回鹿児島超音波医学研究会，2021 年 7 月 27 日，Web

５．上釜健作：腹部超音波検査時に右側臥位と左季肋部横走査が有用であった浸潤性膵管癌の 1 例．第 19 回鹿児島超音波研究会，2022 年 2 月 9 日，Web

【受賞】

今村総合病院

１．市來守：「強度変調放射線治療を用いた全身皮膚周囲照射の放射線治療計画に関する報告」第 1 回慈愛会学会学術集会　ポスター発表最優秀賞．2021 年 8 月 5 日

部門別　事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

臨床検査部門

中長期計画		2021年度 事業計画（Stage5）	実施　2021.4月～2022.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
臨床検査部	臨床検査業務の改善で、より質の高い臨床検査結果の提供を行う	①外部精度管理調査の受検。データ分析と内部制度管理の徹底。	①日本臨床検査技師会、日本医師会、鹿児島県医師会の外部精度管理調査の受検 ・メーカーサーベイランス7社受検 ・内部精度管理の徹底　　生化学検査48項目/日，3項目/隔週など	①外部精度管理調査結果は、概ね良好 ・今村総合病院 日臨技　評価A+B　97.9% 日本医師会　評価項目修正点　98.1点 鹿児島県医師会　（2SD）　35/37 ・いづろ今村病院 日臨技　評価A+B　98% 鹿児島県医師会　（2SD）　32/33 ・メーカーサーベイランス（1SD）　29/30	
		②連携病院間の検査結果検索ネットワークの充実。	②今村総合病院、いづろ今村病院間の検体検査システム、生理検査システムの統一を進める。	②MIRAIs上で連携病院間で、相互に検査結果の閲覧、時系列比較が可能になる。	
		③連携病院間での検査業務の効率化・連携。	③いづろ今村病院技師の今村総合病院での月6～7回の日当直業務継続。 ・隔月慈愛会3病院（今村総合病院・いづろ今村病院・谷山病院）の臨床検査部一体化会議の開催 ・いづろ今村病院の病理、細胞診検査を外注検査へ変更	③コロナ発生時には、連携病院間の往来が中止になり総合病院技師が日当直の業務を交代した。 ・Webにて、6回/年の実施。情報共有ができた。	
		④ホームページの変更・パンフレットの作成。	④ホームページ掲載内容の見直し。	④更新、修正中	④画像データなどの修正を早急に行う予定。
		⑤検査依頼から検査結果報告までの全工程における管理。	⑤いづろ今村病院の肺機能検査の手技の見直し。 ・細菌検査外注（CRC）のWeb運用を開始。 ・血液ガス分析装置のシステムの更新。 ・脳波検査機器更新、結果閲覧システムの導入。 ・腹部超音波検査の検査室移動で、検査環境の整備を行う。	⑤肺機能検査業務に必要な知識と技術を見直し、改善をおこなう。 ・細菌検査システム導入で診療科での検査オーダ、結果閲覧がMIRAIs上で可能になった。 ・血液ガス分析装置院内5台の機器トラブルの減少。 ・脳波検査閲覧システム導入により、MIRAIs上で検査結果の閲覧が可能になった。 ・超音波検査ブースに光量を調整できる照明を導入、検査ブースの変更を行い、腹部超音波検査を生理検査室内で行えるようにした。	⑤業務に必要な技能を身につける教育システムが必要 ⑤精密肺機能検査室の移動で患者動線が長くなった。 ⑤検査試薬管理台帳の運用の検討。
		⑥各学術団体、日本医師会の動向注視した検査体制作り。	⑥法令改正に伴うタスクシフトシェアに関する厚生労働省指定講習会の受講を開始	⑥臨床検査技師会主催の座学講習会　8名済み	⑥次年度中の全ての技師の受講を目指す。
		⑦働きやすい職場環境づくり。	⑦産休・育休取得者　3名/年 時短勤務取得者　2名/年	⑦産休・育休・時短取得に対応できた。 ・コロナ関連の休み取得が多く、突発的な人員減、業務交代への対応に苦慮した。	⑦産休・育休・退職による人員不足、補充ができていない。計画的な人員確保が必要。
		⑧検査件数の数値目標 （2020年度実績）×102%　《目標件数》 （今村総合病院・いづろ今村病院） ・生化学検体（141,315件）　《144,141件》 （総合 97,115件、いづろ 44,200件） ・心電図検査（16,417件）　《16,745件》 （総合 6,181件、いづろ 10,236件） ・心血管超音波検査（7,226件）《7,371件》 （総合 5,676件、いづろ 1,550件） ・フローサイト検査（521件）　《531件》 ・病理組織検査（4291件）　《4,377件》 ・細胞診検査　（5064件）　《5165件》	⑧2021年度検査実績件数 ・生化学検体　140,355件 （総合 98,091件、いづろ 42,264件） ・心電図検査　16,936件 （総合 5,929件、いづろ 11,007件） ・心血管超音波検査　7,829件 （総合 5,838件、いづろ 1,991件） ・フローサイト検査　581件 ・病理組織検査　3,878件 ・細胞診検査　2,694件	⑧前年度比 99.3.% 103.2%　（目標達成） 108.3%　（目標達成） 111.5%　（目標達成） 90.3% 53.2%	

中長期計画		2021年度 事業計画（Stage5）	実施　2021.4月～2022.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
臨床検査部	教育・人材育成を行い、検査技術のスキルアップを行う	①日当直業務の教育と再確認。	①産休・育休復帰者含め、日当直担当者に業務再教育を実施 ・新入職員の日当直勤務の研修（6月より8月）	①日当直業務での変更事項など、再教育で大きなトラブルなく業務できた。 ・新入職員が9月から一人で日当直業務を実施	①産休・育休後の日当直業務の再教育の徹底。
		②中堅技師のキャリアラダーに沿った教育。	②2021年度より慈愛会ラダー認定を開始（申請 今村総合病院22名、いづろ今村病院2名） ・各担当業務の研修会、Webセミナーへの参加	②初年度ラダー認定者22名（退職者2名）	
		③輸血担当技師の外部勉強会（Web）への参加（3～4回/月）	③参加		
		④慈愛会学会学術集会の発表と参加。	④慈愛会学会学術集会にポスター発表1題 ・慈愛会臨床検査部合同研修会の開催	④演題：経過中に心尖部肥大型心筋症様の形態を呈したたこつぼ心筋症の一例、塩浦卓也 ・4演題発表	
		⑤専門分野の各学会や団体が認める各種認定資格取得を目指す。 ・超音波検査士（学会入会後3年で受験資格） ・認定輸血検査技師（2021年度受験予定） ・（脳波・筋電図）専門技師（2021年度受験予定） ・細胞検査士（病理経験1年で受験資格）	⑤上位資格取得のための受験 ・超音波検査士　2名受験 ・認定輸血検査技師　2名受験	⑤上位資格取得者 ・超音波検査士　1名合格 ・認定輸血検査技師　1次試験2名合格	⑤コロナ関連にて、受験延期者あり。次年度受験予定。
	輸血検査室の安全で適正な業務運用をおこなう	①外部精度管理調査の受検。	①日臨技サーベイとメーカーサーベイランスを受検	①サーベイランス受検結果問題なし	
		②I&A施設認定更新に向けた取り組み	②認定更新にむけての課題点対策として、輸血検査担当技師への教育の見直しと、勉強会の実施、多職種会議の開催、機器管理を行う。	②マニュアル改定に伴う、当直者への再教育を計画。	②次年度日当直業務希望者への個別再教育予定。
		③迅速で正確な輸血検査を目指した取り組み。 （部署内教育、日当直者サポート）	③電話対応による当直者のサポート ・血液センターへの血液製剤Web発注の実施。	③継続 ・いづろ今村病院は実施。今村総合病院は平日日勤帯のみ実施。	③次年度、日当直者への教育後完全実施予定。
		④移植製剤の品質管理の保持。	④移植細胞融解用恒温装置を新調、融解温度管理を見直す。 幹細胞プロセッシング室の落下細菌試験を実施	④問題なし	
		⑤輸血療法委員会を通して、院内輸血業務の改善に取り組む。	⑤輸血療法委員会院内発行物刊行計画の主導	⑤2022年1月に創刊号を発行	
		⑥厚生労働省指針、学会ガイドラインの改訂等の動向注視。	⑥赤血球型検査ガイドラインをうけて、輸血検査マニュアルの見直し。	⑥血液型検査運用の変更、不規則抗体検査方法の見直しを行う。	
		⑦検査件数の数値目標 （2020年度実績）×102%　《目標件数》 ・血液型検査（2,472件）　《2,521件》 （総合2,105件、いづろ367件） ・不規則抗体スクリーニング検査 （2,610件）　《2,662件》 （総合2,074件、いづろ536件） ・交差適合試験検査 （4,073件）　《4,154件》 （総合3,123件、いづろ950件）	⑦2021年度検査実績件数 ・血液型検査　2,638件 （総合 2,174件、いづろ 464件） ・不規則抗体スクリーニング検査　2,527件 （総合 2,030件、いづろ 497件） 交差適合試験検査　3553件 （総合 2,819件、いづろ 734件）	⑦前年度比 106.7%（目標達成） 96.80% 87.20%	

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

【人事交流】

・今村総合病院の24時間365日体制に対応するため、今村総合病院といづろ今村病院の全臨床検査技師で、今村総合病院の検体、輸血検査の日当直業務を行う。

・谷山病院での人員不足時に、いづろ今村病院技師が業務応援を行う（１回/年間）。

【情報共有】

・今村総合病院臨床検査適正化委員会を、臨床検査部・病理検査部・看護部・事務部が参加し、隔月偶数月に開催。

・慈愛会臨床検査部一体化会議を、今村総合病院・いづろ今村病院・谷山病院が参加し、隔月奇数月に開催。

・今村総合病院、いづろ今村病院でコロナPCR院内検査を開始。導入時に検査機器と依頼項目、結果入力を統一し、相互に検査環境整備などの情報を共有。

・心血管超音波検査の生理検査システム（Hi-medion）が一元化されて、今村総合病院といづろ今村病院の超音波検査結果の時系列比較が可能になる。

・細菌検査の外注検査（CRC）オーダリング、結果閲覧のWebシステムが導入されて、各診療科からMIRAIs上での検索が可能になる。

合同研修会

「第９回慈愛会　臨床検査部合同研修会」

・2021年11月6日（土）15：30-17：30

・ハイブリッド開催

今村総合病院B棟２階　B北カンファレンス室１、２＋Web（いづろ今村病院・谷山病院）

【内容】

１．一般演題

演題１

頸動脈超音波検査によるCEA,CAS術後評価

今村総合病院　臨床検査部　中間 沙貴

演題２

術中迅速診断の意義と当院における手技

今村総合病院　病理部　野元 將太郎

演題３

血液検査に影響を与える因子の評価

いづろ今村病院　臨床検査科　上赤 遼

演題４

当院における肺拡散能力検査（DLCO）について

今村総合病院　臨床検査部　三浦 千緒里

２．特別講演

「さぁ困った。こんな時どうする？～血液型、不規則抗体～」

講師：鹿児島赤十字血液センター学術・情報課

宮下 幸一郎先生

３．理事長挨拶

慈愛会 理事長　今村 英仁

４．総括・閉会の挨拶

今村総合病院　臨床検査部部長　坂江 清弘

技能・能力向上に向けた取り組み

・今年度より、慈愛会能力開発システムを開始した。ラダー申請19名。（今村総合病院16名、いづろ今村病院３名）

・新入職員（５月入職）１名の教育、育成。クリニカルラダーに沿って、３カ月間の研修後に日当直検体検査業務を開始。その後、担当業務の生理検査技術習得のための教育を継続。

・新規検査項目の導入時に、検査技術と知識を習得するための内部研修会を実施。（2021年度の新規検査項目：院内コロナPCR検査、簡易PSG検査）

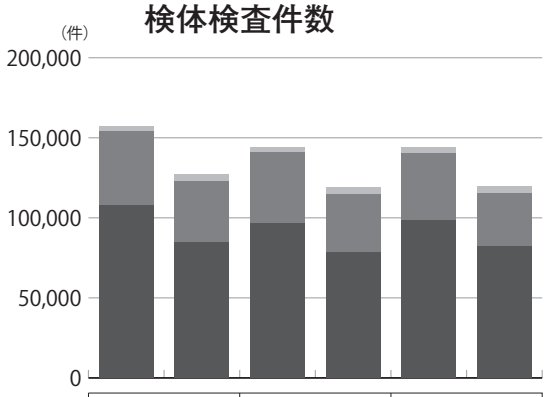
・今村総合病院臨床検査部で、月１回のミーティング時にWeb研修会の実施。

各種認定資格取得状況

資格名等	総数	2021 年度　新たな取得者	
超音波検査士	6（8 領域）	1	泉 琴美 （いづろ今村病院）
細胞検査士	4		
細胞治療認定管理士	3		
睡眠学会認定検査技師	1		
2 級甲類臨床病理技術士	1		
JHRS 認定心電図専門士	1		
病院感染制御スタッフ	1		
認定輸血検査技師			1 次試験合格者 2 名

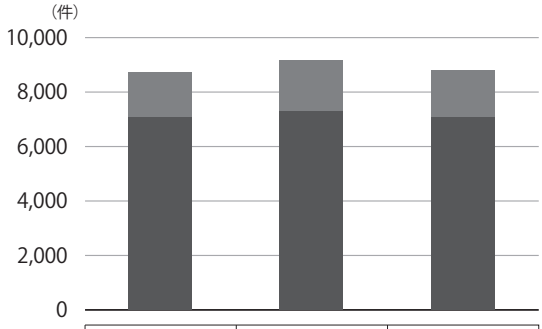
各種指標

検体検査件数



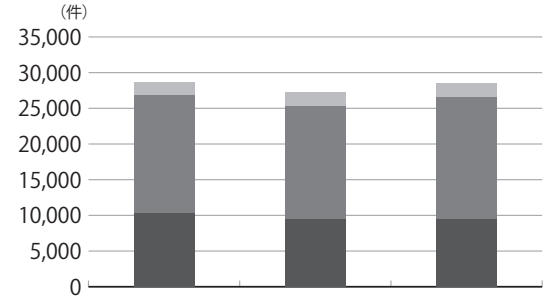
	2019年度		2020年度		2021年度	
	生化学	血液	生化学	血液	生化学	血液
谷山病院	3,390	4,913	3,474	4,613	3,329	4,284
いづろ今村病院	46,074	38,120	44,396	35,937	42,307	33,368
今村総合病院	107,852	84,344	96,212	78,697	98,086	82,085

輸血関連検査件数



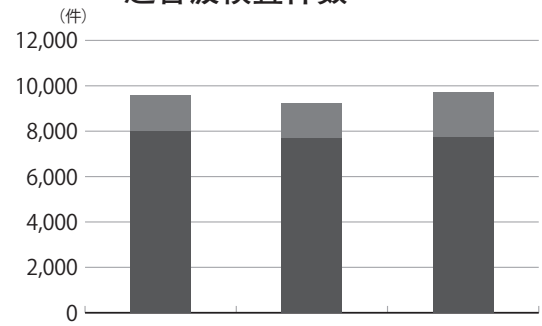
	2019年度	2020年度	2021年度
いづろ今村病院	1,651	1,853	1,695
今村総合病院	7,075	7,302	7,023

生理機能検査件数



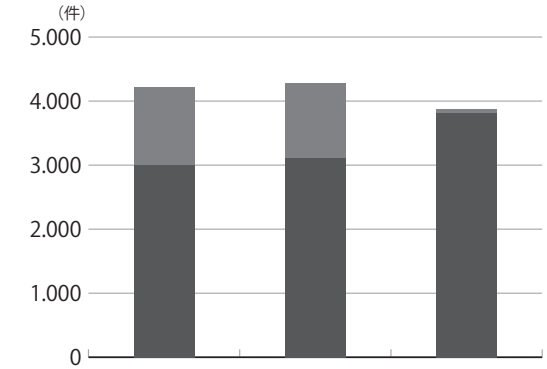
	2019年度	2020年度	2021年度
谷山病院	1,761	1,928	1,884
いづろ今村病院	16,659	15,833	17,055
今村総合病院	10,253	9,461	9,524

超音波検査件数



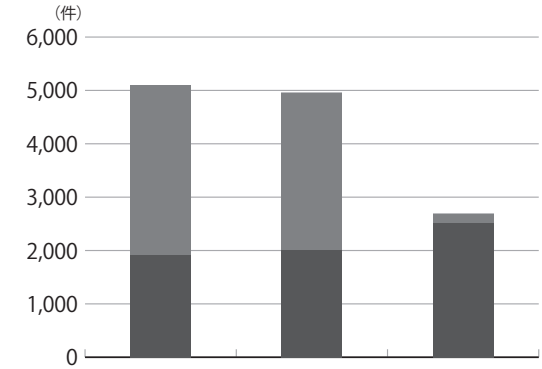
	2019年度	2020年度	2021年度
いづろ今村病院	1,615	1,557	1,991
今村総合病院	7,978	7,692	7,726

病理検査件数（組織診）



	2019年度	2020年度	2021年度
いづろ今村病院	1,217	1,167	62
今村総合病院	3,006	3,114	3,816

病理検査件数（細胞診）



	2019年度	2020年度	2021年度
七波・オハナ	17	20	16
いづろ今村病院	3,173	2,929	166
今村総合病院	1,915	2,008	2,512

業　績　一　覧

【学会発表】

今村総合病院

1．藤山裕輝：細胞治療認定管理師制度試験受験予定者のためのガイダンス　細胞治療認定管理師制度試験を受験して．第 69 回日本輸血・細胞治療学会学術総会 , 2021 年 6 月 4-6 日，東京（Web）

2．塩浦卓也:経過中に心尖部肥大型心筋症様の形態を呈したたこつぼ型心筋症の一例．第 1 回慈愛会学会学術集会 ,2021 年 7 月 10 日，鹿児島

【研究会・講演会】

今村総合病院

1．藤山裕輝：当院の輸血療法における輸血管理室の役割．第 2 回 2021 年度中小医療施設での輸血医療向上のための WEB 研修会，2021 年 12 月 4 日，Web

部門別　事業報告（PDCA）総括 指標 業績一覧

栄養管理部門

中長期計画		2021年度 事業計画（Stage5）	実施　2021.4月～2022.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
管理栄養部	栄養部門における病院・施設の連携強化	①急性期から在宅まで一貫した栄養部門の連携 ・医療保険、介護保険の理解を深める ・栄養情報提供書に関する統一書式の作成	・全体での研修は実施しなかったが、各施設の加算対象及び関連事項について情報共有できた。 ・慈愛会栄養部門共通の「栄養情報提供書」を作成し、一部実施。 「嚥下対応と主食・副食の状況」；離島も一覧表を作成開始	・診療（介護）報酬改定の情報をキャッチし、栄養関連の加算対象が分かり、今後取り組むべき事へ理解が深まった。 ・共通の書式ができたことで、情報提供書作成の準備が整った。 「嚥下対応と主食・副食の状況」；一覧表の完成、定期的に更新	・診療（介護）報酬における加算対象を理解して、実施可能な必要項目について取り組んでいく。 ・途切れのない栄養管理に役立てるため、栄養情報を利用していく。 「嚥下対応と主食・副食の状況」；一覧表の完成、定期的に更新
		②連携会議、合同研修会の開催 ・鹿児島市内4施設および離島2施設の連携会議開催（月1回） ・慈愛会栄養部門合同研修会の開催（年1回）	・Zoom連絡会議を継続。12月から精神科3施設にて連絡会を開始。 ・第8回慈愛会栄養部門合同研修会開催 （2/26　Zoom開催） 講演「精神疾患のある患者様への対応、症状に応じた声かけ」 谷山病院　精神科認定看護師　内田宏貴 外来看護師長 栄養部WG事業計画と進捗状況（報告） グループワーク①ソフト食について②完調品③非常食の使い方 対象；栄養部全スタッフ　クリニックを含む8つの施設から参加 参加者（アンケート回収　37名）グループワークも実施できた	・Zoom会議も定着してきた。移動時間ないことは利点だが、検討がしにくい場面（話し合いが深まらない）もある。 ・施設毎、または個人での参加で、Zoomシステムに慣れていない運営に不安があった。全施設から参加あり、また前回の課題としていたグループワークも実施できたことは良かった。	・Zoom会議がより活用できるように努める。 ・栄養部門の合同研修は、全体での研修として継続する。 職種毎に研修会を設けることも検討する。 横の繋がりができるよう、グループワークなど交流も意識する。
		③安全対策等における連携（情報共有も含めて） ・非常食に関すること ・感染や衛生管理に関すること	・各種マニュアルを栄養部WGフォルダにて共有 ・「切創」「けが・熱傷」共通マニュアルを作成した。	・非常食や各種マニュアルを共有することで、いつでも参考にでき、各施設の自助やマニュアル等の更新の際に利用できる。 ・切創、けが等のマニュアル作成により、安全面の強化に繋がる。	・BCPをふまえた安全対策の強化をはかる。
	「食事の質の向上及び栄養管理の充実」と「費用の極小化」	①給食提供の維持 ・各施設の状況把握と改善に向けての検討 ・病棟訪問など食事対応および多職種連携の報告	・病棟訪問や多職種連携の状況について、情報共有 ・病棟訪問や多職種連携の状況について、情報共有 電子カルテの無い施設では、多職種連携（情報共有）は困難 調理スタッフの病棟訪問（谷山）は人員がいないと実施できない。	・毎月の給食運営状況、行事食など情報共有 ・インシデントの事例共有、栄養報告書や営業許可申請など情報確認および共有	・各施設の状況報告、情報提供など継続していく。 ・慈愛会栄養部の食事対応状況（一覧表）の活用 ・多職種連携における情報共有方法（電子カルテなしの場合）
		②費用の極小化 ・適正な給食費用の維持および検討（情報共有も含めて）	・油をはじめ、値上げ食品について情報共有、各施設にて検討 棚卸しの際に、業者や食品の検討を行っている。 給食以外のトロミ剤使用について、情報共有した。	・納入業者と価格の比較、対応状況など情報共有	・今後も食材の値上げが続くため、情報提供・情報共有して早めに対応していく。
		③栄養相談の拡充、栄養改善・経口維持 （月間目標件数）	・今年度実績（月平均）	・毎月、実施件数を報告栄養指導の実施が難しい場合は、慈愛会内施設で話し合い、実施できるように努めた。	・引き続き、目標を決めて各施設取り組む。 栄養指導体制、資料など共通で検討していくか？
		総合　個別 80件	総合　個別 90件		
		いづろ　個別 90件　集団 40件　透析予防 20件	いづろ　個別113件　集団 49件　透析予防 24件		
		谷山　個別 10件	谷山　個別 16件　集団 1件		
		慈愛CL　個別 10件　透析予防 180件	慈愛CL　個別 12件　透析予防 205件		
		七波CL　個別 60件	七波CL　個別 32件		
		奄美　個別 10件	奄美　個別 3件		
		徳之島　個別10-15件	徳之島　個別 7件　集団 1件		
		愛結　栄養改善 1件　経口維持 10件	愛結　栄養改善 0.2件　経口維持 19件		

中長期計画		2021年度 事業計画（Stage5）	実施　2021.4月～2022.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
	次世代を担う人材育成と環境整備	①地域貢献・院内外活動の充実 ・地域イベント、院内行事等への参加協力 ・各種講師派遣、関連団体への参加協力 ②人材育成 ・専門資格取得への取り組み、取得資格の維持・更新 ・各職種におけるキャリアアップの構築、キャリアラダー推進 ・実習生の受け入れ、院内外研修への参加、部署内勉強会の充実 ③環境整備 ・調理システムの検討、食材選択（カット野菜・完調品）の検討 ・適切な人員配置（パート、シルバー人材の活用） ・他施設との交流	・コロナ禍の影響が続き、患者会活動、健康まつり、秋まつり等イベントは中止された。鹿児島中央看護専門学校での栄養学講義、栄養士会研修会での症例発表、CDE会（役員及び事務局）、講演会講師、レシピ提供、広報紙などへ協力 ・資格維持のための単位取得、学会や研修会へ参加 ・管理栄養士のラダー運用は進まなかったため、来年度へ継続 ・実習生の受け入れ予定であったが、コロナ感染状況により未実施。 ・NST専門療法士臨床実施修練参加、管理栄養士・CDEJ受験 ・新調理システム/栄養システム、食材・完調品など準備（総合） ・機器入替、完調品導入検討、パート増員の新体制（奄美） ・外来栄養指導強化への体制作り（徳之島）	・Web配信の研修会の講師派遣など、依頼があったら協力できるよう体制を整える。 ・研修会やセミナー等の開催情報を共有 ・資格取得に取り組めるように配慮 ・各施設、人員や状況に合わせた献立・体制作り	・開催される場合は、感染状況をみながら、しっかりと対策して協力できるようにしておく。 ・資格維持、新たな資格取得に向けて取り組む経営に関わる資格など、取得に向けての検討も必要 ・新調理システム/栄養システムに移行できるよう準備（総合） ・各施設、それぞれに合わせた体制作り ・必要に応じて機器の更新なども

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

組織横断的な運営・情報共有の取り組み毎月１回Zoom会議にて、６施設における、互いの状況報告や情報共有を継続した。食材の価格高騰など、早めに対応出来るよう努めた。自発的に精神科３施設の連絡会議も始まり、慈愛会栄養部門の横の繋がりが強化されたと感じる。

①栄養部門における病院・施設の連携強化

・診療報酬関連では、栄養関連における加算対象について情報共有し、各施設で必要事項に取り組んでいくよう意識づけられた。急性期から在宅まで途切れのない栄養管理のための準備として、慈愛会栄養部門統一書式「栄養情報提供書」を作成し、一部実行に繋げられた。安全対策での連携として「切創」「けが・熱傷」の共通マニュアルを作成した。

②食事の質向上及び栄養管理の充実と費用の極小化

・給食提供の維持

人員配置や体制、カット野菜・完調品の情報共有をはかり、安全な給食提供維持に努めた。また、食材の価格高騰に対して、納入業者及び価格を情報共有して各施設にて検討した。

・給食費用の極小化

上記の件、また年２回棚卸における見直しを継続して行い、給食費用の最適化に努めた。

③次世代を担う人材育成と環境整備

・管理栄養士の能力開発　ラダー運用

研修プログラムを作成・ラダー申請してもらったが実質的な運用に至らず、来年度へ持ち越し。

・ニュークックチルに向けて準備（総合）

新調理システム、栄養システムの検討

・管理栄養士、NST専門療法士実地修練参加、日本糖尿病療養指導士の受験・更新ための研修

・慈愛会 管理者任用候補研修受講（谷山２名）

・パート増員にて新体制へ（奄美）

・外来栄養指導強化への体制作り（徳之島）

学会、院外セミナー、研修会への参加

（証明書発行あるもの、Web参加含む）

日本栄養士会生涯教育（基幹教育）

糖尿病病態栄養専門管理栄養士セミナー

病態栄養学会教育セミナー（更新用）

エキスパートセミナー【がん】

2021年度日本病態栄養学会糖尿病専門管理栄養士セミナー

第64回日本糖尿病学会年次学術集会

日本糖尿病療養指導士認定機構講習会

第22回受験者用講習（eラーニング）

第19回日本糖尿病療養指導士認定更新者講習会（2021年度）

第24回・25回日本病態栄養学会年次学術集会

公益社団法人鹿児島県栄養士会　リレー研修会（５回×２コース）

第４回 摂食嚥下リハビリテーション研修講座初級コース

第４回鹿児島医療学研究会inかごしま

DM重症化予防従事者連携スキルアップ研修会

糖尿病重症化予防従事者連携研修会

第22回動脈硬化教育フォーラム　（Web参加）

第23・24回糖尿病医療連携体制講習会

第１回多職種による糖尿病医療を支える会

しずでる 2022 春の学習会

合同研修会

昨年に続きZoomを利用して開催。各施設にて集合・または個人参加にて、全８施設から参加できた。（栄養部門全職種合同　37名参加）

「第８回 慈愛会栄養部門合同研修会（全体）」

・2022年2月26日（土）

【内 容】

Ⅰ．講演

「精神疾患の患者様への対応、症状に応じた声かけ等」

谷山病院　精神科認定看護師　内田 宏貴看護師長

Ⅱ．報告

「栄養部WG事業計画と進捗状況について」

いづろ今村病院　管理栄養士　中薗 智美

Ⅲ．グループワーク

①ソフト食について（作り方、内容、きざみ対応など）

②完全調理済み食品について

③非常食の使い方

技能・能力向上に向けた取り組み

資格取得（2021年度に取得した資格）

・管理栄養士

いづろ今村病院　　若松 佳奈

資格更新（2021年度に更新した資格）

・日本糖尿病療養指導士

いづろ今村病院　　植　祐美

七波クリニック　　芹ヶ野 志朋

・循環器病予防療法指導士

慈愛会クリニック　　加藤 実穂

・日本栄養士会認定　認定管理栄養士【臨床分野】

慈愛会クリニック　　加藤 実穂

院内外活動

・病院広報誌へレシピ提供「じあいのとびら」「にじ」

今村総合病院・いづろ今村病院

・鹿児島糖尿病療養指導士会役員兼事務局

いづろ今村病院

・糖尿病患者会「ななみ会」「いずみ会」

いづろ今村病院・七波クリニック・慈愛会クリニック

・鹿児島中央看護専門学校講師

慈愛会クリニック

・日本病態栄養学会　糖尿病病態栄養専門管理栄養士認定試験問題の作成協力

慈愛会クリニック　加藤実穂

・鹿児島県栄養士会への協力（垂水研究・DM重症化予防）

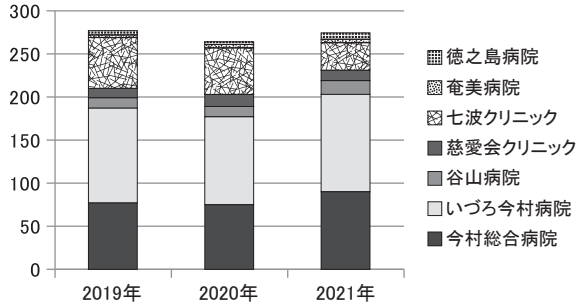
今村総合病院・いづろ今村病院・慈愛会クリニック・七波クリニック

・院内IBDチーム参加および症例発表

今村総合病院・いづろ今村病院

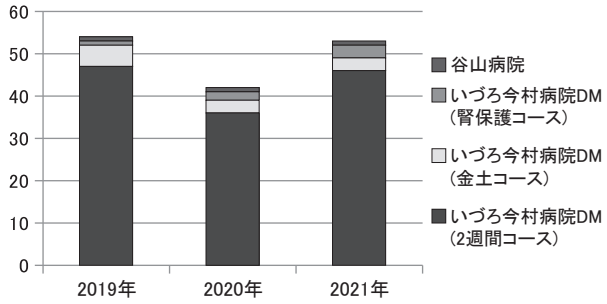
各種指標

個別栄養食事指導件数（件／月）



	2019年	2020年	2021年
今村総合病院	77	75	90
いづろ今村病院	110	102	113
谷山病院	12	12	16
慈愛会クリニック	11	14	12
七波クリニック	59	54	32
奄美病院	3	4	3
徳之島病院	5	3	7
合計	277	264	273

集団栄養食事指導件数（件／月）



	2019年	2020年	2021年
いづろ今村病院DM（2週間コース）	47	36	46
いづろ今村病院DM（金土コース）	5	3	3
いづろ今村病院DM（腎保護コース）	1	2	3
谷山病院	1	1	1

＊糖尿病透析予防指導管理料

いづろ今村病院　292件/年　（2020年度　299件/年）

慈愛会クリニック　2457件/年　（2020年度　2440件/年）

＊無料栄養相談（公益事業）

慈愛会クリニック　51件/年　（2020年度　37件/年）

＊介護関連

愛と結の街　経口維持　230件/年（2020年度　156件/年）

業　績　一　覧

【学会発表】

いづろ今村病院

1．内田紗弥：外来糖尿病患者におけるコンビニ食利用の実態（アンケート調査）．第 64 回日本糖尿病学会学術集会，2021 年 5 月 21 日，Web

2．中薗智美：ストレスに強い体力づくりのための食生活．第 1 回慈愛会学会学術集会ランチョンセミナー，2021 年 7 月 10 日，鹿児島

3．中薗智美，七枝美香，四本悠佳，宮路ゆかり，和田裕美，清水崇，高野正樹：慈愛会栄養部門 WG の取り組み～栄養部門の一体化を目指して～．第 1 回慈愛会学会学術集会，2021 年 7 月 10 日，鹿児島

【研究会・講演会】

いづろ今村病院

1．中薗智美：高齢者糖尿病の食事指導．第 25 回鹿児島糖尿病スタッフセミナー，2021 年 6 月 5 日，鹿児島

2．中薗智美：病院栄養士の体験から．鹿児島県立短期大学キャリアデザイン「先輩の就活体験・職業体験から学ぶ」，2021 年 9 月 22 日，鹿児島

3．内田紗弥：肥満と治療中断歴のある腎症患者の症例発表．令和 3 年度（公社）鹿児島県栄養士会 糖尿病重症化予防事業 症例検討研修会，2021 年 11 月 20 日，鹿児島（Web）

4．中薗智美:療養指導の基本～食事療法．糖尿病重症化予防保健指導従事者研修会, 2021 年 11 月 28 日, 鹿児島（Web）

5．萬福有理：癌治療におけるチームアプローチ～栄養士の立場から．慈愛会 J-seaty ナース研修 院内公開講座，2021 年 12 月 7 日，鹿児島

6．中薗智美：腎症合併患者さんの食事指導のコツ．Diabetes & Incretin Seminar in 鹿児島，2022 年 3 月 4 日，鹿児島（Web）

徳之島病院

7．清水崇：第 7 回 鹿児島 1 型糖尿病セミナーファシリテーター．2021 年 12 月 12 日，鹿児島

愛と結の街

8．今村瑞香：老健での栄養マネジメント．慈愛会 J-seaty ナース研修講座，2021 年 8 月 4 日，鹿児島

9．隈﨑耕輔：調理師としてできること．施設内症例検討発表会，2021 年 10 月 27 日，鹿児島

部門別　事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

ソーシャルワーカー部門（JSW）

中長期計画		2021年度 事業計画（Stage5）	実施　2021.4月～2022.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
慈愛会ソーシャルワーカー部（JSW）	地域貢献	①社会福祉、精神保健福祉に関する知識の普及啓発 【JSW】 アルツハイマーデイ（街頭活動） 【いづろ今村病院】 地域ケアマネ向け研修・意見交流会開催 住民向け地区公民館での講座：1回／年担当 健康・介護まつり（相談ブース担当） 【今村総合病院】 健康まつり（相談ブース担当） 鴨池商店街振興会委員会：2回／月 つながる想いinかごしま（相談員派遣） 【谷山病院、愛と結の街】 谷山病院・愛結秋祭り（相談ブース担当） 認知症サポーター養成講座 【奄美病院】 中高生向け就業ガイダンス：1回／年	【JSW】 アルツハイマーデイ（街頭活動）開催中止 【いづろ今村病院】 地域ケアマネ向け研修・意見交流会中止 住民向け地区公民館での講座：1回／年担当　中止 健康・介護まつり（相談ブース担当）中止 【今村総合病院】　健康まつり（相談ブース担当）開催中止 鴨池商店街振興会委員会：2回／月 参加自粛 つながる想いinかごしま（相談員派遣）は派遣出来なかった 【谷山病院、愛と結の街】　谷山病院・愛結秋祭り（相談ブース担当）　中止 認知症サポーター養成講座　中止 【奄美病院】中高生向け就業ガイダンス：1回／年　開催中止	【JSW】 アルツハイマーデイ（街頭活動）：新型コロナウイルス感染症の影響で中止 【いづろ今村病院】 地域ケアマネ向け研修・意見交流会　中止 住民向け地区公民館での講座：1回／年担当　中止 健康・介護まつり（相談ブース担当）中止 【今村総合病院】 健康まつり（相談ブース担当）：新型コロナウイルス感染症の影響で中止 鴨池商店街振興会委員会：2回／月 参加：新型コロナウイルス感染症の影響で自粛 つながる想いinかごしま（相談員派遣）：がん相談員の育成 【谷山病院、愛と結の街】 谷山病院・愛結秋祭り（相談ブース担当）　中止 認知症サポーター養成講座　中止 【奄美病院】 中高生向け就業ガイダンス：1回／年　開催中止	【いづろ今村病院】 地域ケアマネ向け研修・意見交流会形態の検討 住民向け地区公民館での講座：1回／年担当、健康・介護まつり（相談ブース担当）　開催時に即応できる体制 【今村総合病院】 啓発活動として、YouTube動画での制度情報配信を作成中 参加可能な時期になった際に、地域に根ざした動きを再開していく 2022年度開催　5/8開催予定のため、実行委員ではないが参加予定 【谷山病院、愛と結の街】 谷山病院・愛結秋祭り（相談ブース担当）　コロナ次第 認知症サポーター養成講座　依頼があれば協力していく 【奄美病院】 中高生向け就業ガイダンス：1回／年　依頼があれば協力していく
		②認知症疾患医療センターの役割の充実化と機能の強化 【谷山病院】 協議会開催：2回／年 認知症カフェ：3回／年 医療従事者向け研修：1回／年 介護従事者向け研修：1回／年 かかりつけ医フォローアップ研修会：1回／年 【奄美病院】 協議会開催：2回／年 認知症カフェ：3回／年 医療従事者向け研修：1回／年 介護従事者向け研修：1回／年 かかりつけ医フォローアップ研修会：1回／年	【谷山病院】 協議会開催：1回／年　リモート開催 認知症カフェ：3回／年　中止 医療従事者向け研修：1回／年　中止 介護従事者向け研修：1回／年　中止 かかりつけ医フォローアップ研修会：1回／年　中止 【奄美病院】 すべて開催中止	【谷山病院】 協議会開催：1回／年　リモート開催 認知症カフェ：3回／年　中止 医療従事者向け研修：1回／年　中止 介護従事者向け研修：1回／年　中止 かかりつけ医フォローアップ研修会：1回／年　中止 【奄美病院】 コロナ禍の影響ですべて開催中止	【谷山病院】 協議会開催：1回／年　次年度もリモート 認知症カフェ：3回／年　コロナ禍でも開催できる内容を検討 医療従事者向け研修：1回／年　リモート開催を検討 介護従事者向け研修：1回／年　リモート開催を検討 かかりつけ医フォローアップ研修会：1回／年　コロナ次第 【奄美病院】 開催できるようになれば活動していく
		③無料低額診療事業実施（無料健康相談会） 【今村総合病院】 平日：月～金 【谷山病院、奄美病院、徳之島病院】 月1回	【今村総合病院】 平日：月～金 【谷山病院、奄美病院、徳之島病院】 月1回	【今村総合病院】 新規相談：9件　判定会議：4件 該当者：4名 【谷山病院】　新規相談：0件 【奄美病院】　新規相談：1件 判定会議：1件　該当者：1名 【徳之島病院】　新規相談：0件	生活困窮者に対するアプローチや掘り起こし、行政機関等へのかかわりを強める必要がある。
		④与論、沖永良部の巡回相談、診療及び訪問看護 【徳之島病院】 2カ月に1回	【徳之島病院】 与論島、沖永良部島の巡回診療　1回／2カ月 与論島、沖永良部島の訪問看護　1回／月	【徳之島病院】 与論島：訪問診療　3回、訪問看護　9回 沖永良部島：訪問診療　7回、訪問看護　7回 新型コロナの影響による中止、天候不良に伴う中止があり、計画通りには実施することが出来なかった。	【徳之島病院】 コメディカルメンバーのみで運営していた訪問看護を病院全体で離島訪問委員会として活動を開始し、天候不良による予定変更等にも柔軟に対応し実施出来るようにしていく。
		⑤鹿児島県精神科救急医療相談事業への継続参加 【今村総合病院、谷山病院、奄美病院】 県からの委託回数	【3施設】 精神科救急電話相談協力　計　32回 今村総合病院：11回 谷山病院　　：11回 奄美病院　　：10回	救急医療を必要とする精神障がい者について、精神科救急医療相談に応じ、その状態に応じて医療機関の調整・紹介を行い、早期に適切な医療に結び付けることができた。また、患者や家族等の相談に対し、適切な助言も行うことができ、患者等の不安の軽減を図り、地域生活が維持できるよう貢献できた。	同事業へ継続して参加していく
		⑥行政機関への人材派遣・協力 【今村総合病院】 鹿児島県がん診療連携拠点病院事業（がん相談支援部門） 姶良市介護保険等運営推進協議会委員及び姶良市地域包括支援センター運営協議会委員 鹿児島市介護認定審査会 【谷山病院】 鹿児島県精神医療審査会委員 ピアサポーター養成講座委員 介護予防地域ケア会議（鹿児島市南部） 【愛と結の街】 谷山中央地域ケア推進会議委員 鹿児島市ケアプラン適正化指導者 鹿児島市介護支援専門員協議会施設研修委員 鹿児島県介護支援専門員更新研修講師 【奄美病院】 奄美市介護認定審査会	【今村総合病院】 鹿児島県がん診療連携拠点病院事業（がん相談支援部門） 姶良市介護保険等運営推進協議会委員及び姶良市地域包括支援センター運営協議会委員 鹿児島市介護認定審査会 【谷山病院】 鹿児島県精神医療審査会委員 認知症ピアサポーター養成講座委員 介護予防地域ケア会議(鹿児島市南部) 【愛と結の街】 谷山中央地域ケア推進会議委員 鹿児島市ケアプラン適正化指導者 鹿児島市介護支援専門員協議会施設研修委員 鹿児島県介護支援専門員更新研修講師 【奄美病院】 奄美市介護認定審査会	【今村総合病院】 鹿児島県がん診療連携拠点病院事業（がん相談支援部門）：参加継続 姶良市介護保険等運営推進協議会委員及び姶良市地域包括支援センター運営協議会委員:職員の退職に伴い、来年度以降の派遣無し 鹿児島市介護認定審査会：職員の退職に伴い派遣無し 【谷山病院】 鹿児島県精神医療審査会委員：4回 認知症ピアサポーター養成講座委員：0回 介護予防地域ケア会議（鹿児島市南部）：4回 【愛と結の街】 谷山中央地域ケア推進会議委員 鹿児島市ケアプラン適正化指導者 鹿児島市介護支援専門員協議会施設研修委員 鹿児島県介護支援専門員更新研修講師 【奄美病院】 奄美市介護認定審査会　継続協力	【今村総合病院】 鹿児島県がん診療連携拠点病院事業（がん相談支援部門）：がん相談員の育成を図る 【谷山病院】 鹿児島県精神医療審査会委員：継続協力 認知症ピアサポーター養成講座委員：継続協力 介護予防地域ケア会議（鹿児島市南部）：継続協力 【愛と結の街】 行政からの依頼等、今後も継続・協力していく 【奄美病院】 奄美市介護認定審査会　継続協力を行っていく

中長期計画		2021年度 事業計画（Stage5）	実施　2021.4月～2022.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
慈愛会ソーシャルワーカー部（JSW）	地域連携	①外部機関との連携関係を構築し、慈愛会の広報活動に努める 【JSW】 地域連携会出席（関係施設の連携会） 【いづろ今村病院・今村総合病院】 地域連携のつどい開催：1回／年 【いづろ今村病院】 地域ケアマネ向け研修・意見交流会開催 20保険医療機関との年3回以上の連携 医療機関等への挨拶回り 【今村総合病院】 20保険医療機関以上との連携（1保険医療機関：年3回以上※退院支援加算取得要件） 【谷山病院】 医療機関等への挨拶回り：1回/3カ月 【奄美病院】 地域医療連携室協議会：2回／年 自立支援協議会：1回／年（専門部会／毎月） 自殺対策連携会議：1回／年 【徳之島病院】 自立支援協議会: 1回／年（専門部会: 1回／2カ月） 自殺対策連携会議：2回／年 （自殺未遂者支援体制事業関連会議含む） 徳之島地区退院調整ルール関連会議：1～2回／年 【愛と結の街】 地域の健康クラブ等への出張講演等：6回／年 医療機関、居宅介護支援事業所、有料高齢者施設等への 挨拶回り：2回／年。東谷山校区コミュニティ協議会への参加	【いづろ今村病院・今村総合病院】 地域連携のつどい開催中止 【いづろ今村病院】 地域ケアマネ向け研修・意見交流会開催　未開催 20保険医療機関等との年3回以上の連携　28機関 医療機関等への挨拶回り　51機関へ訪問 【今村総合病院】 関係機関との連携（面会）：177事業所407件（3回以上：22事業所） 【谷山病院】 医療機関等への挨拶回り：1回/3カ月 【奄美病院】 地域医療連携室協議会：2回／年参加 自立支援協議会：1回／年（専門部会／毎月）　参加 自殺対策連携会議：1回／年　参加 【徳之島病院】 自立支援協議会：1回／年（専門部会：1回／2カ月）参加 自殺対策連携会議：2回／年参加 （自殺未遂者支援対策事業関連会議含む） 徳之島地区退院調整ルール関連会議：1～2回／年　中止 【愛と結の街】 地域の健康クラブ等への出張講演等：6回／年 医療機関、居宅介護支援事業所、有料高齢者施設等への挨拶回り：2回／年 東谷山校区コミュニティ協議会への参加	【いづろ今村病院】 地域ケアマネ向け研修・意見交流会開催　未開催 20保険医療機関等との年3回以上の連携　28機関 医療機関等への挨拶回り　医師や多職種での訪問実施 【今村総合病院】 経営幹部同伴での挨拶回りを行ったが、自部署単体での挨拶回りはできなかった。コロナ禍での他機関連携（面談）の減を認めた。 【谷山病院】 医療機関等への挨拶回り：1回/3カ月　感染状況を見ながら随時実施 【奄美病院】 地域医療連携室協議会：2回／年参加ができた。 自立支援協議会：1回／年（専門部会／毎月）　継続して参加できた 自殺対策連携会議：1回／年　継続して参加できた 【徳之島病院】 自立支援協議会（臨時会含む）：3回／年　参加できた （専門部会）地域移行地域定着部会：4回／年 新型コロナの影響により部会中止あり、活動回数大幅減少 自殺対策連携会議：2回／年参加できた 【愛と結の街】 地域の健康クラブ等への出張講演等：6回／年　実施できた 医療機関、居宅介護支援事業所、有料高齢者施設等への挨拶回り：2回／年　コロナの関係で電話等変更し実施。 東谷山校区コミュニティ協議会の協力　コロナの影響で活動自粛	【いづろ今村病院】 地域ケアマネ向け研修・意見交流会　形態の検討 オンライン等活用し、多機関と連携を図っていく 感染状況を見ながら訪問活動を再開する 【今村総合病院】 定期的な訪問活動を計画的に行っていく 【谷山病院】 医療機関等への挨拶回り：1回/3カ月　感染状況を見ながら行っていく 【奄美病院】 すべての会議において継続参加していく。 【徳之島病院】 全ての会議において積極的に参加を継続していく。また、運営の中心となっている地域移行地域定着部会においては新型コロナの影響も考慮し、リモート会議も活用しながら計画的に活動を実施していく。 【愛と結の街】 計画的に活動実施していく
		【地域活動支援センターひだまり】 鹿児島市主催行事・交流会 就労ネットワーク協議会：2回／年 かごしま障害者就業・生活支援センター連絡会：1回／年 鹿児島市基幹相談支援事業所運営協議会：2回／年 鹿児島市地域活動支援センター連絡会：3回／年 鹿児島市精神保健福祉部会：3回／年 鹿児島市自立支援協議会定例会：12回／年 鹿児島市地域生活支援拠点部会：1回／年 鹿児島市地域移行支援拠点部会：12回／年 日置市相談支援部会：6回／年	【地域活動支援センターひだまり】 就労ネットワーク協議会：2回／年 かごしま障害者就業・生活支援センター連絡会：1回／年 鹿児島市基幹相談支援事業所運営協議会：2回／年 鹿児島市地域活動支援センター連絡会：3回／年 鹿児島市精神保健福祉部会：3回／年 鹿児島市自立支援協議会定例会：12回／年 鹿児島市地域生活支援拠点部会：1回／年 鹿児島市地域移行支援拠点部会：12回／年 日置市相談支援部会：6回／年	【地域活動支援センターひだまり】 就労ネットワーク協議会：2回／年 かごしま障害者就業・生活支援センター連絡会：1回／年 鹿児島市基幹相談支援事業所運営協議会：2回／年 鹿児島市地域活動支援センター連絡会：3回／年 鹿児島市精神保健福祉部会：3回／年 鹿児島市自立支援協議会定例会：12回／年 鹿児島市地域生活支援拠点部会：1回／年 鹿児島市地域移行支援拠点部会：12回／年 日置市相談支援部会：6回／年	【地域活動支援センターひだまり】 就労ネットワーク協議会：2回／年 かごしま障害者就業・生活支援センター連絡会：1回／年 鹿児島市基幹相談支援事業所運営協議会：2回／年 鹿児島市地域活動支援センター連絡会：3回／年 鹿児島市精神保健福祉部会：3回／年 鹿児島市自立支援協議会定例会：12回／年 鹿児島市地域生活支援拠点部会：1回／年 鹿児島市地域移行支援拠点部会：12回／年 日置市相談支援部会：6回／年
		【指定特定相談支援事業所あゆみ】 自立支援協議会相談支援部会：12回／年	【指定特定相談支援事業所あゆみ】 自立支援協議会相談支援部会：12回／年　参加	【指定特定相談支援事業所あゆみ】 自立支援協議会相談支援部会：12回／年　参加できた	【指定特定相談支援事業所あゆみ】 自立支援協議会への協力を継続していく。新年度は役員も引き受けていく。

中長期計画		2021年度 事業計画（Stage5）	実施　2021.4月～2022.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
慈愛会ソーシャルワーカー部（JSW）	地域連携	②法人内連携の強化 JSW総会・研修会開催（Web開催）：1回/年 代表者会（Web開催）：1回/月 教育委員会（Web開催）：1回/月 総会班（Web開催）：5回/年 無料低額診療会議：適宜 慈愛会地域連携推進会議（Web開催）：1回/2カ月 いづろ今村病院・今村総合病院合同カンファレンス（Web開催）：1回/月	JSW総会・研修会開催（Web開催）：1回開催 代表者会：12回開催（Web開催） 2021年度新規採用者、2020年度中途採用者　計7名に対しての初任者研修 総会班（Web開催）：1回/月 無料低額診療会議：開催実績無し 慈愛会地域連携推進会議（Web開催）：6回出席 いづろ今村病院・今村総合病院合同カンファレンス（Web開催）：12回開催	ラダー作成含め、法人内の連携強化・情報共有が図れた 初任者研修　全5回開催 慈愛会地域連携会議（Web開催）：6回出席 いづろ今村病院・今村総合病院合同カンファレンス（Web開催）：12回開催	法人内の連携強化の継続維持を図っていく 2022年度新規採用、2021年度中途採用者向け　　開催 必要時開催していく 今後も継続して参加し法人内の連携に寄与する 業務統合・知識の共有に向けての勉強会を今後も継続していく
	教育体制	①離職防止を含めた教育体制作り JSW新任研修：3回/年 JSW2年目研修（仮称）：1回/年 JSW総会・研修会：1回/年 各種職能団体主催の研修会参加 クリニカルラダーの開始	JSW新任研修：3回/年 時間等見直し5回に分け開催した JSW2年目研修（仮称）：1回/年 計画なし 【申請者】 いづろ今村病院 ラダーⅢ：2名 今村総合病院 ラダーⅠ：2名　ラダーⅡ：1名 ラダーⅢ：2名　ラダーⅣ：1名 ラダーⅤ：2名 谷山病院 ラダーⅠ：5名　ラダーⅡ：0名 ラダーⅢ：1名　ラダーⅣ：16名 ラダーⅤ：2名 奄美病院 ラダーⅠ：0名　ラダーⅡ：1名 ラダーⅢ：2名　ラダーⅣ：5名 ラダーⅤ：3名 徳之島病院 ラダーⅠ：0名　ラダーⅡ：0名 ラダーⅢ：2名　ラダーⅣ：1名 ラダーⅤ：0名	初任者研修　全5回開催 【認定者】 いづろ今村病院 ラダーⅢ：2名 今村総合病院 ラダーⅠ：2名　ラダーⅡ：1名 ラダーⅢ：2名　ラダーⅣ：1名 ラダーⅤ：2名 谷山病院 ラダーⅠ：3名　ラダーⅡ：0名 ラダーⅢ：0名　ラダーⅣ：14名 ラダーⅤ：1名 奄美病院 ラダーⅠ：0名　ラダーⅡ：1名 ラダーⅢ：2名　ラダーⅣ：5名 ラダーⅤ：1名 徳之島病院 ラダーⅠ：0名　ラダーⅡ：0名 ラダーⅢ：2名　ラダーⅣ：1名 ラダーⅤ：0名	2022年度新規採用、2021年度中途採用者向け　　開催 2022年度のクリニカルラダー運用を見直し、以下項目の修正を行った ・キャリア開発体系図の経年数を削除 ・キャリア履歴カード作成 ・研修履歴カード作成 ・リフレクションシート、実践報告書は廃止し、事例レポートへ統一
	退院支援（在宅支援を含む）	①地域移行への取り組み強化 【谷山病院、奄美病院】 精神科急性期医師配置加算の継続算定（財務含） 谷山病院（在宅移行割合：6割） 奄美病院（在宅移行割合：6割） 【谷山病院、奄美病院】 地域移行実施加算（財務含） （5年以上の長期入院者の退院率5%/年） 【介護老人保健施設　愛と結の街】 超強化型老健として指標70ポイント以上を維持（財務含） 【徳之島病院】 地域移行実施加算（財務含） （5年以上の長期入院者の退院率５％/年） 医療観察法の通院処遇者1名（財務含） 【指定特定相談支援事業所　ひだまり】 地域移行支援事業（地域定着支援事業）の実施 2件以上/年 自立支援援助事業の実施　3件以上/年	【谷山病院】 精神科急性期医師配置加算の継続算定（財務含）（在宅移行割合：6割） 地域移行実施加算（5年以上の長期入院者の退院率5%/年） 【奄美病院】 7名退院達成/6名中 【徳之島病院】 地域移行実施加算（財務含む） 医療観察法の通院処遇者１名（財務含む） 【介護老人保健施設　愛と結の街】 超強化型老健として指標70ポイント以上を維持（財務含） 【指定特定相談支援事業所　ひだまり】 地域移行支援事業（地域定着支援事業）の実施　2件以上/年 自立支援援助事業の実施　3件以上/年	【谷山病院】 精神科急性期医師配置加算の継続算定（財務含）（在宅移行割合：6割達成） 地域移行実施加算　（8名退院達成/7名中） 【奄美病院】 7名退院達成/6名中 【徳之島病院】 地域移行実施加算　4名退院/３名中 医療観察法の通院処遇者１名　6月時点で処遇終了 【介護老人保健施設　愛と結の街】 超強化型老健として指標76ポイントを獲得し70ポイント以上を維持 【指定特定相談支援事業所　ひだまり】 地域移行支援事業（地域定着支援事業）の実施　6件/年 自立支援援助事業の実施　23件/年	【谷山病院】 精神科急性期医師配置加算の継続算定（在宅移行割合：6割目標） 地域移行実施加算　（新年度は7名目標） 【奄美病院】 新年度は6名必要。達成を目指していく。 【徳之島病院】 地域移行実施加算（新年度は３名目標） 【介護老人保健施設　愛と結の街】 超強化型老健として指標70ポイント以上を維持 【指定特定相談支援事業所　ひだまり】 新年度 地域移行支援事業（地域定着支援事業）の実施　2件以上/年 自立支援援助事業の実施　4件以上/年

中長期計画		2021年度 事業計画（Stage5）	実施　2021.4月～2022.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
慈愛会ソーシャルワーカー部（JSW）	財務	①診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス報酬改定に対応し、取得可能な加算を積極的に取得していく 【いづろ今村病院、今村総合病院】 入退院支援加算Ⅰ目標取得件数 いづろ今村病院：40件/月 今村総合病院　：200件/月 【谷山病院】 退院前訪問指導料の算定　120件以上/年 退院調整加算　90件/年 【奄美病院】 退院前訪問指導料の算定　250件以上/年 【徳之島病院】 退院前訪問指導料の算定　50件以上/年 【愛と結の街】 在宅復帰率50%以上/前6カ月 ベッド回転率10%以上/前3カ月 入所前後訪問指導割合30%以上/前3カ月 退所前後訪問指導割合30%以上/前3カ月 ※超強化型老健としての指標：70ポイント以上/月を維持する 【地域活動支援センターひだまり】 相談支援専門員　5.7名体制 新規受け入れ　80件以上/年 計画件数　1人20件以上/月 特定事業所加算（Ⅱ）、精神障害者支援体制加算、 行動障害支援体制加算の継続算定 要医療児者支援体制加算の新規算定を目指す 特定・一般相談支援事業: 年間1,200件以上、21,000,000円 地域活動支援事業　22,000,000円 【指定特定相談支援事業所あゆみ】 相談支援専門員　4.7名体制 計画件数　1人20件以上/月 特定事業所加算（Ⅱ）、精神障害者支援体制加算、 行動障害支援体制加算、要医療児者支援体制加算の継続算定 特定相談支援事業: 年間1,200件以上、20,000,000円	【いづろ今村病院、今村総合病院】 入退院支援加算Ⅰ いづろ今村病院 519件/年（月平均：43.25件） 今村総合病院　入退院支援加算：2249件/年（小児加算：3件） 【谷山病院】 退院前訪問指導料の算定　120件以上/年 退院調整加算　90件以上/年 【奄美病院】 退院前訪問指導料の算定　201件/年 【徳之島病院】 退院前訪問指導（共同訪問指導加算含む）　50件以上/年 【愛と結の街】 在宅復帰率50%以上/前6カ月 ベッド回転率10%以上/前3カ月 入所前後訪問指導割合30%以上/前3カ月 退所前後訪問指導割合30%以上/前3カ月 【地域活動支援センターひだまり】 相談支援専門員　5.7名体制 新規受け入れ　80件以上/年 計画件数　1人20件以上/月 特定事業所加算（Ⅱ）、精神障害者支援体制加算、 行動障害支援体制加算の継続算定 要医療児者支援体制加算の新規算定を目指す 特定・一般相談支援事業: 年間1,200件以上、21,000,000円 地域活動支援事業　22,000,000円 【指定特定相談支援事業所あゆみ】 相談支援専門員　5名体制 計画件数　1人24.4件/月 特定事業所加算（Ⅱ）、精神障害者支援体制加算、 行動障害支援体制加算、要医療児者支援体制加算の継続算定 特定相談支援事業: 年間1,464件、21,427,160円	いづろ今村病院 介護支援連携：68件/年（内算定可能：41件） 退院時共同指導：70件/年（内算定可能：33件） 多機関共同指導：21件/年（内算定可能：12件） 今村総合病院 新規介入者：3,262件/年　終了者：3,019件/年 総合評価加算：1,450件/年 多機関共同指導加算：13件/年 介護支援連携指導料：81件/年 地域連携診療計画管理料：195件/年 【谷山病院】 退院前訪問指導料の算定　96件/年 退院調整加算　62件/年 【奄美病院】 退院前訪問指導料の算定　201件/年 【徳之島病院】 退院前訪問指導（共同訪問指導加算含む）　48件/年 【愛と結の街】 在宅復帰率50%以上/前6カ月 ベッド回転率10%以上/前3カ月 入所前後訪問指導割合30%以上/前3カ月 退所前後訪問指導割合30%以上/前3カ月 【地域活動支援センターひだまり】 相談支援専門員　7.0名体制 新規受け入れ　40件/年 計画件数　1人15.0件/月 特定事業所加算（Ⅱ）、精神障害者支援体制加算、 行動障害支援体制加算の継続算定 要医療児者支援体制加算の新規算定を目指す 特定・一般相談支援事業: 年間1,286件、23,374,420円 地域活動支援事業　22,000,000円 【指定特定相談支援事業所あゆみ】 相談支援専門員　5名体制 計画件数　1人24.4件/月 特定事業所加算（Ⅱ）、精神障害者支援体制加算、 行動障害支援体制加算、要医療児者支援体制加算の継続算定 特定相談支援事業: 年間1,464件、21,427,160円	いづろ今村病院 介護支援連携、退院時共同指導共に実施数は昨年と大きな変化なし オンライン開催等工夫し実施している 今村総合病院 介護支援連携指導料算定が昨年同様、激減している。 オンライン面談のアプローチもかけているが、相手側の問題もあり件数に直結できず。 部署内の啓発も進めていく。 【谷山病院】 退院前訪問指導料の算定　100件以上/年 退院調整加算　70件以上/年 【奄美病院】 退院前訪問指導料については新年度も達成目標を目指していく。 【徳之島病院】 退院前訪問指導料の算定　60件以上/年 介護連携等指導料の算定　15件以上/年 （新規加算）療養生活継続支援加算の算定 【愛と結の街】 強化型老人保健施設の維持のため、日々数値確認しながら、これまで同様実施していく 【地域活動支援センターひだまり】 相談支援専門員　8.0名体制 新規受け入れ　50件以上/年 計画件数　1人20.0件以上/月 特定事業所加算（Ⅱ）、精神障害者支援体制加算、 行動障害支援体制加算の継続算定 要医療児者支援体制加算の新規算定を目指す 特定・一般相談支援事業: 年間1200件以上、21,000,000円 地域活動支援事業　22,000,000円 【指定特定相談支援事業所あゆみ】 相談支援専門員　5名体制 計画件数　1人23件以上/月 特定事業所加算（Ⅱ）、精神障害者支援体制加算、行動障害支援体制加算、要医療児者支援体制加算の継続算定 特定相談支援事業: 年間1,400件、22,000,000円

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

慈愛会ソーシャルワーカー部（JSW）

いづろ今村病院：３名

今村総合病院　：12 名

谷山病院　　：31 名

（奄美病院へ１名、徳之島病院へ３名派遣）

奄美病院　　：12 名

徳之島病院　　：５名

介護老人保健施設愛と結の街：３名　　計　66　名

【人事交流・施設間の協力体制】

谷山病院より奄美病院へ（１名）徳之島病院（３名）へ精神保健福祉士を派遣

【2020 年度の活動】

１．JSW 代表者会議（12 回 / 年）

（目的）

慈愛会内のソーシャルワーカー間の情報共有を図ることで、質の高いマネジメントを行い、互いの業務、役割、

現状を知ることで、法人内の連携を強化することを目的としている。

2．JSW 総会・合同研修会準備班（５回 / 年）

（目的）

総会準備、合同研修会の企画立案を目的としている。

3．JSW教育委員会（2017年12月より教育プログラム作成委員会として活動。2019年４月名称変更）（12回/年）

（目的）

統一した教育プログラムの作成、運用により、援助の質の担保、離職防止を図ることを目的としている。

合同研修会

【慈愛会ソーシャルワーカー部門総会】

・2021年６月19日（土）14時－17時30分

・オンライン（Zoom）開催

・実行委員会 担当：就労支援センターステップ　満窪圭吾

【内容】

1．研修会「災害時のソーシャルワーク」

講師：熊本県医療ソーシャルワーカー協会　副会長　野方先生

2．各病院・各事業所からの事業報告

3．理事長挨拶、総会総括

慈愛会　理事長　今村英仁

【慈愛会ソーシャルワーカー　初任者研修】

対象：2021年度新規採用者、2020年度中途採用者　計7名

会場：Zoom開催

① 2021 年４月 24 日（土）　8：30 － 12：30

・慈愛会でのSWの役割、JSWについて

講師：今村総合病院　地頭所孝之

・慈愛会における各施設の機能や連携について

講師：各施設代表者

・倫理綱領、SWの価値・倫理について

講師：谷山病院　内門直人

② 2021 年５月 29 日（土）　8：30 － 12：30

・スーパービジョンについて

講師：奄美病院　西牟田智子

・面接技法、コミュニケーションスキルについて

講師：谷山病院　満窪圭吾

・メンタルヘルスについて

講師：いづろ今村病院　南尚江

③ 2021 年 10 月 23 日（土）　8：30 － 12：30

・社会保障（年金、公的扶助）について

講師：今村総合病院　原田美和

・無料低額診療について

講師：谷山病院　住吉亜紀美

・精神保健について

講師：谷山病院　久保早苗

・障害者福祉について

講師：谷山病院　中山佳祐

④ 2021 年 11 月 20 日（土）　8：30 － 12：30

・介護保険について

講師：愛と結の街　佐別當誠子

・ケース記録の必要性、個人情報の取扱いについて

講師：愛と結の街　春山大道

・離島医療について

講師：奄美病院　貴島世梨香

⑤ 2022 年３月 12 日（土）　8：30 － 12：30

・個別発表（事例を通し１年間を振り返る）

【いづろ今村病院・今村総合病院　合同症例検討会】

① 2021 年４月 28 日

症例提供者：淵上隆実（今村総合病院）

テーマ：患者の想いに寄り添う支援、ことばかけとは　～意志決定支援とは何か～

② 2021 年５月 26 日

症例提供者：中井美津子（いづろ今村病院）

テーマ：自ら思いを表出されない患者の退院支援について

③ 2021 年６月 23 日

症例提供者：地頭所孝之（今村総合病院）

テーマ：維持透析が必要で精神疾患を有した患者の支援

④ 2021 年７月 28 日

症例提供者：南尚江（いづろ今村病院）

テーマ：福祉事務所と方針の同意をとれないまま進めた支援について

⑤ 2021 年８月 25 日

症例提供者：日髙洋美（今村総合病院）

テーマ：家族とコミュニケーションを十分にとれないまま終末期を迎える患者の支援

⑥ 2021 年９月 29 日

症例提供者：内屋敷香織（いづろ今村病院）

テーマ：家族と疎遠で、金銭管理や死亡退院後の対応が出来る方がいない場合の支援

⑦ 2021 年 10 月 27 日
症例提供者：上野彩乃（今村総合病院）
テーマ：本人の希望と支援者側の希望が異なる際のソーシャルワーカーのアプローチについて

⑧ 2021 年 11 月 24 日
症例提供者：大垣美紀（いづろ今村病院）
テーマ：自宅退院を希望されていたが自宅退院できなかった事例

⑨ 2022 年 12 月 22 日
症例提供者：杉元早希（今村総合病院）
テーマ：自宅退院から転院へ転帰先が変更になったケースを振り返って

⑩ 2022 年 1 月 26 日
症例提供者：大垣美紀（いづろ今村病院）
テーマ：身寄りがいない方の支援の報告

⑪ 2022 年 2 月 16 日
症例提供者：馬場園望（今村総合病院）
テーマ：虐待疑いのある患者の急性期病棟における支援について

⑫ 2022 年 3 月 23 日
症例提供者：岡田美鈴（いづろ今村病院）
テーマ：最近のレスパイト入院を通して、本来のレスパイト入院とは何かを考える

【谷山病院　事例検討会】

① 2021 年 5 月 8 日
症例提供者：住吉亜紀美
テーマ：障害受容できない患者の家族支援について

② 2021 年 6 月 12 日
症例提供者：黒瀬絢未
テーマ：本人と家族で退院先の希望が違う方の支援について

③ 2021 年 7 月 3 日
症例提供者：宮竹敦史
テーマ：本人と家族で退院先の希望が違う方の支援について

④ 2021 年 9 月 4 日
症例提供者：前田結華
テーマ：新型コロナの影響で退院後のサービスの見学や体験が出来ない方の支援について

⑤ 2021 年 10 月 2 日
症例提供者：元見竜也
テーマ：地域移行支援事業の対象者の退院支援について

⑥ 2022 年 1 月 8 日
症例提供者：濵田凌
テーマ：身寄りもいない悪性脳腫瘍（余命宣告）の方の支援について

⑦ 2022 年 1 月 15 日
症例提供者：古園友理恵
テーマ：起訴前鑑定のケースワークについて

⑧ 2022 年 3 月 19 日
症例提供者：染川悠希
テーマ：認知症高齢者の支援導入について

【奄美病院　事例検討会】

① 2021 年 6 月 19 日
症例提供者：吉村あゆみ
テーマ：SPRINT について

② 2021 年 6 月 23 日
症例提供者：西牟田智子
テーマ：アルコール依存症患者へのアプローチ

③ 2021 年 07 月 17 日
症例提供者：西牟田智子
テーマ：Dialogue Open Myself

④ 2021 年 10 月 18 日
症例提供者：貴島世梨香
テーマ：アセスメントについて

⑤ 2021 年 11 月 13 日
症例提供者：早野文明
テーマ：治療共同体を考える

⑥ 2022 年 01 月 15 日
症例提供者：栗坂林子
テーマ：音楽がもたらすもの

⑦ 2022 年 03 月 19 日
症例提供者：西牟田智子
テーマ：PSW が知っておくべき診療報酬改定について

技能・能力向上に向けた取り組み

【2021 年度取得資格】

・がん相談支援センター相談員基礎研修（1）（2）知

識確認コース　：１名
今村総合病院：永濱咲江

・両立支援コーディネーター基礎研修：５名
今村総合病院：地頭所孝之、辻恵理、永濱咲江、上野彩乃、馬場園望

【有資格者数】
・社会福祉士：46 名（実習指導者：４名）
今村総合病院：12 名（実習指導者：３名）
地頭所孝之、原田美和、淵上隆実、日髙洋美、辻恵里、盛山美咲、永濱咲江、上野彩乃、馬場園望、杉元早希、濵口隆弘、倉英子
（実習指導者）
原田美和、淵上隆実、日髙洋美
いづろ今村病院：３名（実習指導者：０名）
南尚江、内屋敷香織、岡田美鈴
谷山病院：21 名（実習指導者：０名）
岩元利保子、赤塚広泰、中山佳祐、上ノ堀知美、佐澤佳史朗、満窪圭吾、勝下亜美、今元大祐、畦元詩織、濵平真維、遠矢ふみ、春山大道、石堂奈央、内門直人、住吉亜紀美、久保早苗、染川悠希、前田結華、濵田凌、黒瀬絢未、元見竜也
奄美病院：６名（実習指導者：１名）
下田清一、吉村あゆみ、西牟田智子、有村美幸、貴島世梨香、悦本遼
（実習指導者）
西牟田智子
愛と結の街：１名（実習指導者：０名）
齋藤尚美
徳之島病院：３名（実習指導者：０名）
川原香織、東國原穂波、中村美鈴

・精神保健福祉士：51 名（実習指導者：16 名）
今村総合病院：４名（実習指導者：１名）
地頭所孝之、淵上隆実、永濱咲江、上野彩乃
（実習指導者）
地頭所孝之

谷山病院：30 名（実習指導者：11 名）
岩元利保子、赤塚広泰、中山佳祐、島由紀子、上ノ堀知美、佐澤佳史朗、満窪圭吾、勝下亜美、今元大祐、畦元詩織、濵平真維、村山ひろみ、遠矢ふみ、春山大道、清水一寿子、有馬喜隆、石堂奈央、内門直人、住吉亜紀美、宮竹敦史、佐々木奈美、久保早苗、古園友理恵、權現領圭太、染川悠希、前田結華、濵田凌、黒瀬絢未、福留清楓、元見竜也、
（実習指導者）
岩元利保子、赤塚広泰、中山佳祐、満窪圭吾、村山ひろみ、内門直人、住吉亜紀美、宮竹敦史、久保早苗、清水一寿子、佐々木奈美、
奄美病院：12 名（実習指導者：３名）
盛谷竜男、下田清一、吉村あゆみ、西牟田智子、有村美幸、林亜紀子、森越志保、悦本遼、貴島世梨香、奥田透、早野文明、栗坂林子
（実習指導者）
盛谷竜男、下田清一、西牟田智子
徳之島病院：５名（実習指導者：１名）
梅岡啓香、川原香織、東國原穂波、中村美鈴、本山和秀
（実習指導者）
川原香織

・介護福祉士：４名
愛と結の街：２名　齋藤尚美、竹迫宏美
奄美病院：２名　勝田英明、溝辺有希子

・介護支援専門員：７名
今村総合病院：１名　淵上隆実
いづろ今村病院：２名　南尚江、岡田美鈴
愛と結の街：３名
齋藤尚美、竹迫宏美、佐別當誠子
奄美病院：１名　溝辺有希子

・相談支援専門員：14 名
谷山病院：６名
岩元利保子、赤塚広泰、中山佳祐、上ノ堀知美、久保早苗、古園友理恵
奄美病院：８名
盛谷竜男、下田清一、吉村あゆみ、有村美幸、溝辺有希子、勝田英明、悦本遼、奥田透

・サービス管理責任者：８名
今村総合病院：１名　地頭所孝之

谷山病院：４名
満窪圭吾、岩元利保子、村山ひろみ、遠矢ふみ
奄美病院：３名　下田清一、吉村あゆみ、有村美幸

・がん相談支援センター相談員基礎研修（３）知識確認コース終了者：１名
今村総合病院：１名　淵上隆実

・がん相談支援センター相談員基礎研修（１）（２）知識確認コース終了者：４名
今村総合病院：３名　原田美和、辻恵里、永濱咲江
いづろ今村病院：１名　南尚江

・福祉住環境コーディネーター：３名
愛と結の街：２名　齋藤尚美、竹迫宏美
奄美病院：１名　西牟田智子

・公認心理師：１名
いづろ今村病院：１名　南尚江

・認定社会福祉士認証・認定機構　認定社会福祉士（障害分野）：１名
奄美病院　西牟田智子

・認定社会福祉士認証・認定機構　認定スーパーバイザー：１名
奄美病院　西牟田智子

・認知症ケア専門士：１名
奄美病院１名　西牟田智子

・看護師：２名
今村総合病院：１名　盛山美咲
愛と結の街：１名　佐別當誠子

・両立支援コーディネーター基礎研修：９名
今村総合病院：８名
地頭所孝之、原田美和、淵上隆実、日髙洋美、辻恵理、永濱咲江、上野彩乃、馬場園望
いづろ今村病院：１名　南尚江

院内外活動

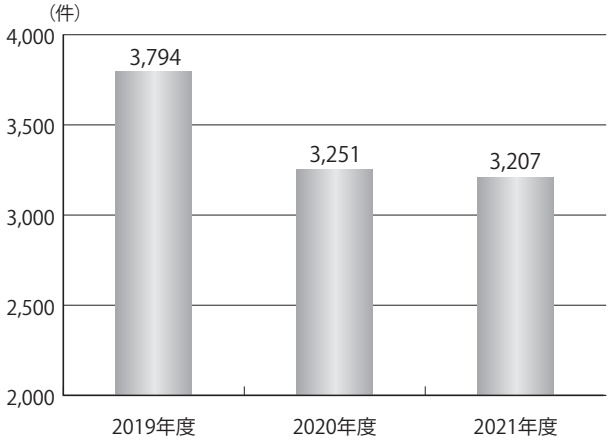
【啓発活動】
・小原町健やかクラブ健康講話
愛と結の街：竹迫宏美、斉藤尚美、佐別當誠子
・谷山中央地域ケア推進会議（年３回）
愛と結の街：佐別當誠子
・東谷山校区コミュニティ協議会
愛と結の街：佐別當誠子
・金久中学校家庭教育学級　講師「リフレーミングについて」
奄美病院：吉村あゆみ
・奄美地区地域自立支援協議会：精神部会
アルコール問題啓発活動　瀬戸内町・大和村
奄美病院：西牟田智子、奥田透
・J－seatyナース研修　講師
「地域連携室の役割」奄美病院：吉村あゆみ
「離島精神科医療と障害サービスについて」指定特定相談支援事業所あゆみ：盛谷竜男
「精神障害者にも特化した地域包括ケアシステムについて」谷山病院：内門直人
・大島障害者就労支援ネットワーク会議　講師　「精神医療との就労における連携」
奄美病院：吉村あゆみ
・奄美地区地域医療連携室協議会　講師　「精神保健福祉法について」
奄美病院：吉村あゆみ
・家族支援教室　講師　「地域で利用できる社会資源について」
徳之島病院：川原香織

【院外活動】
・姶良市地域包括支援センター運営協議会
今村総合病院：淵上隆実
・介護認定審査会（奄美地区）
奄美病院：西牟田智子、盛谷竜男
・鹿児島市介護保険ケアプラン適正化指導検討会
愛と結の街：佐別當誠子
・鹿児島県介護支援専門員実務研修等指導
愛と結の街：佐別當誠子
・鹿児島県精神医療審査会委員
谷山病院：住吉亜紀美

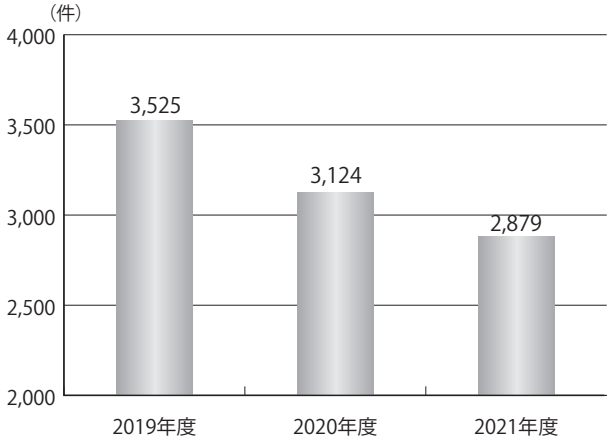
各種指標

今村総合病院

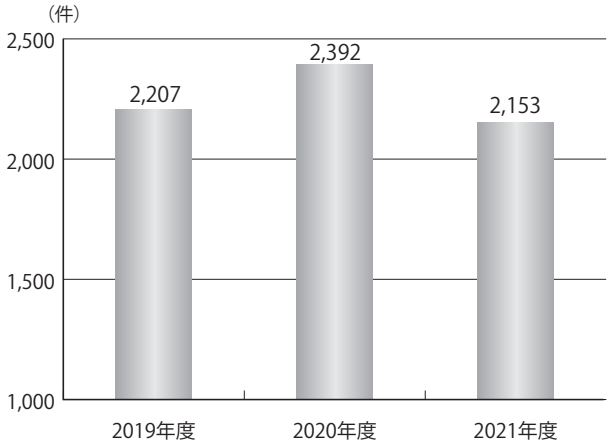
介入者数（延べ患者数）



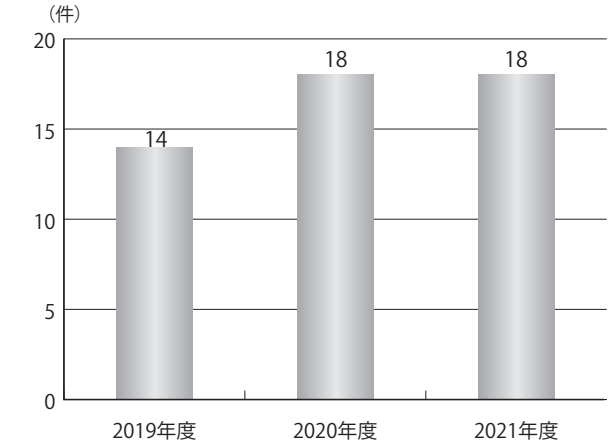
終了者数（延べ患者数）



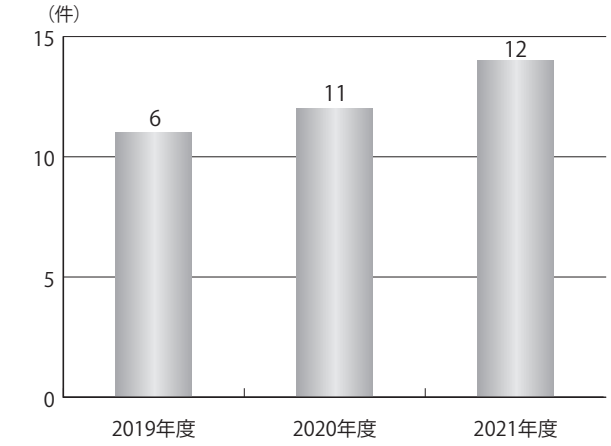
入退院支援加算1



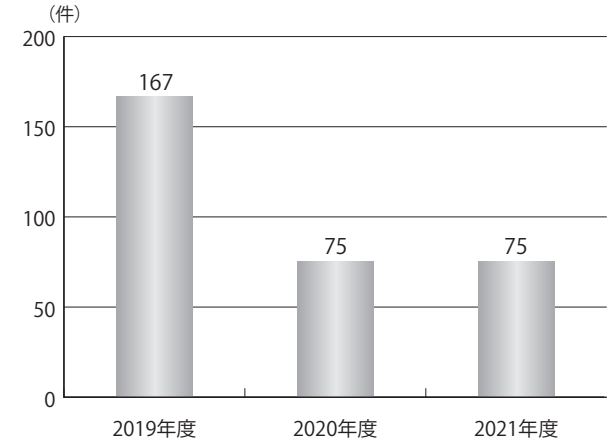
退院時共同指導料２



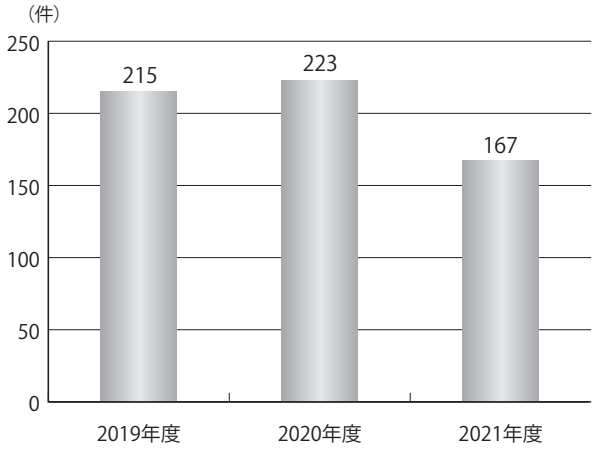
多機関共同指導加算



介護支援等連携指導料

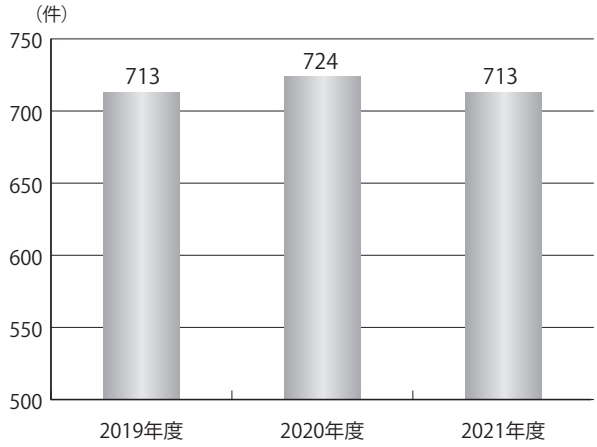


地域連携診療計画加算

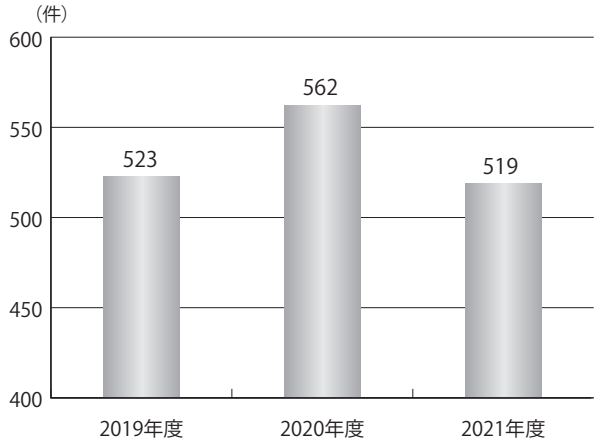


いづろ今村病院

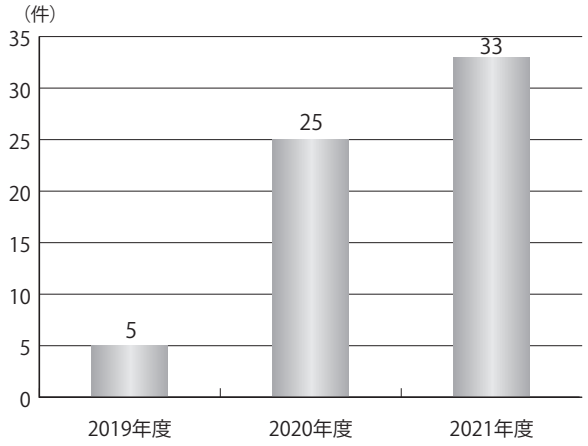
介入者数（延べ患者）



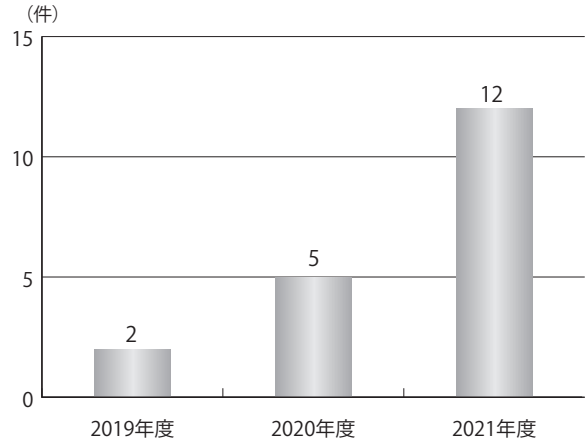
入退院支援加算1



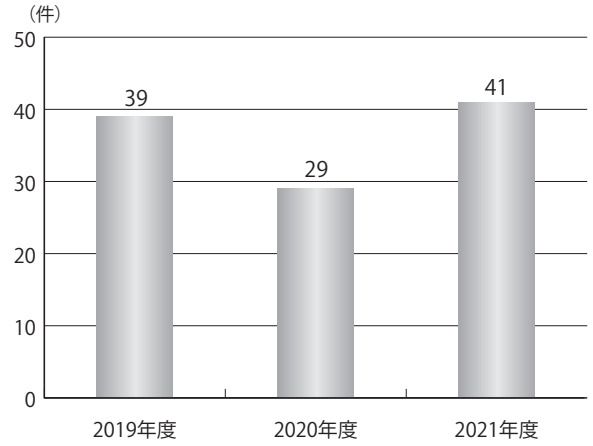
退院時共同指導料２



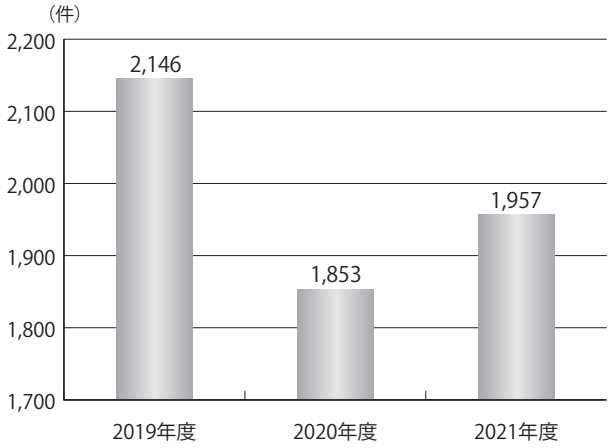
多機関共同指導加算



介護支援等連携指導料

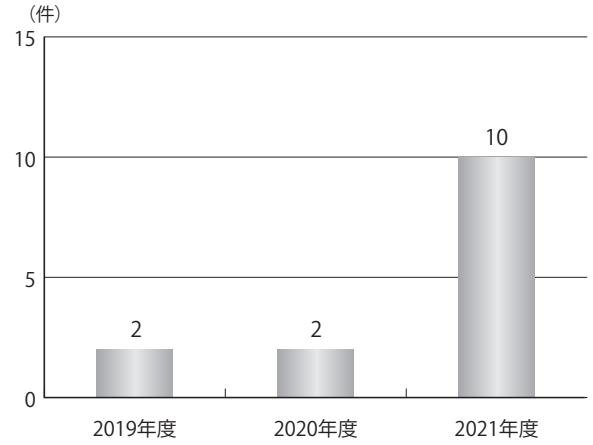


患者サポート体制充実加算

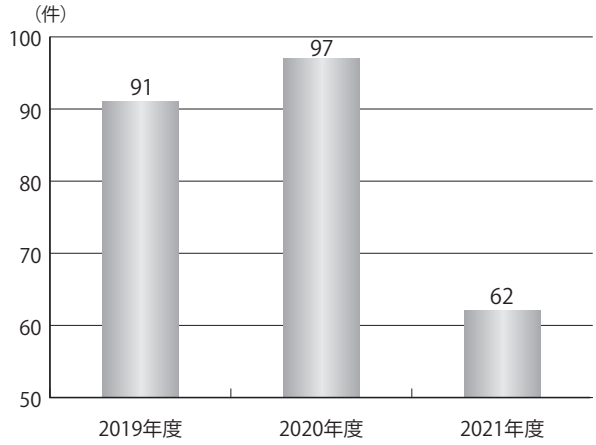


谷山病院

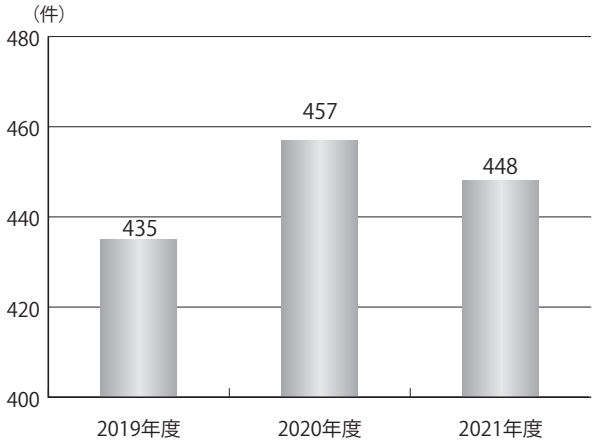
院内標準診療計画加算



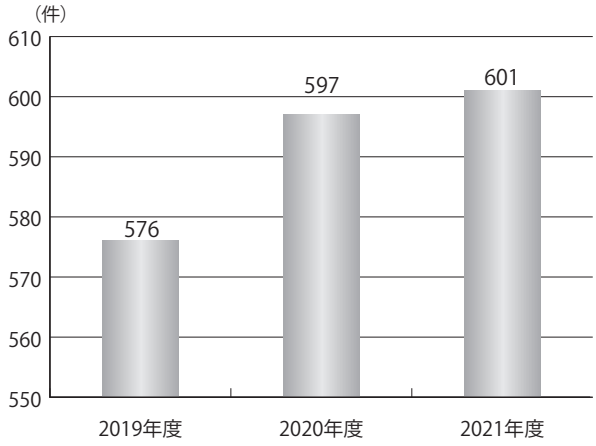
退院調整加算



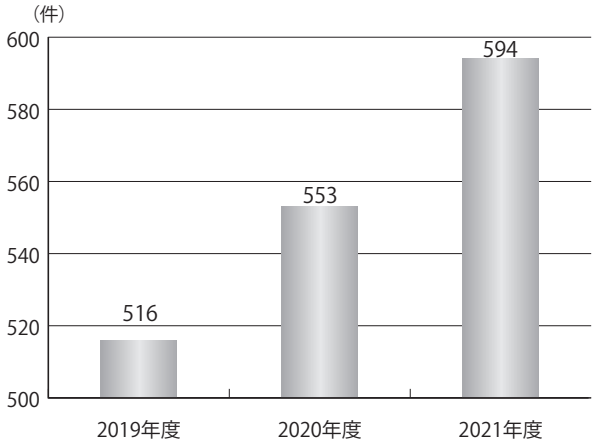
患者サポート体制加算



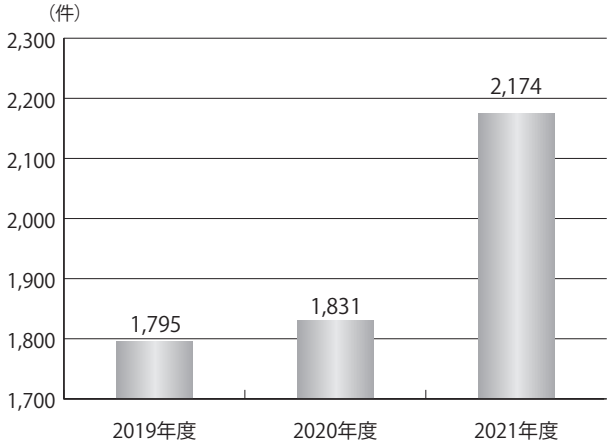
療養病棟退院支援委員会件数　C5病棟



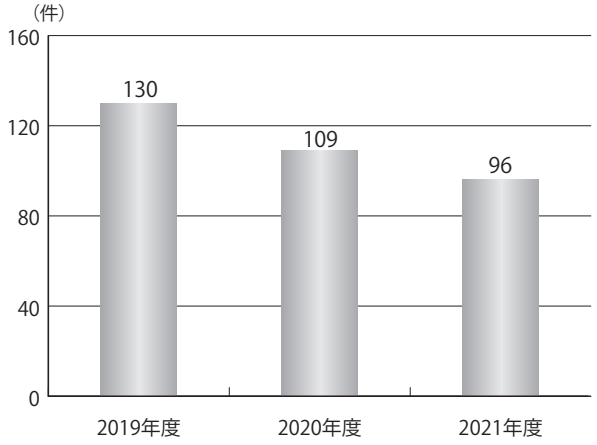
療養病棟退院支援委員会件数　C6病棟



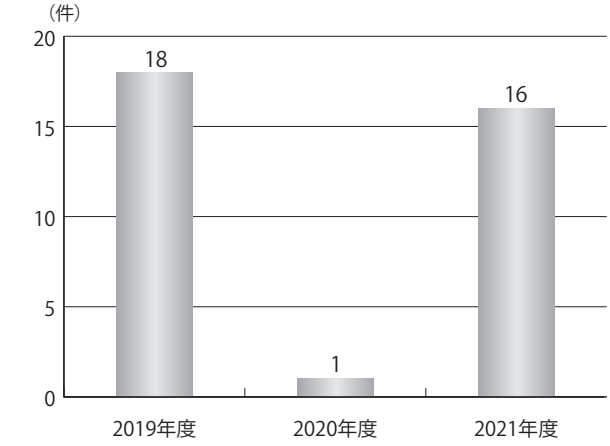
受診入院相談件数



退院前訪問指導料

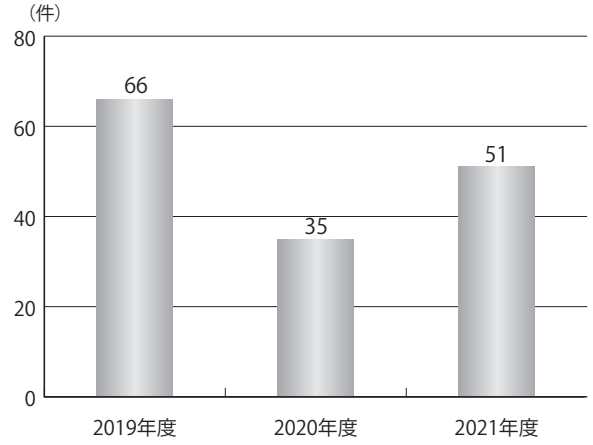


介護支援等連携指導料

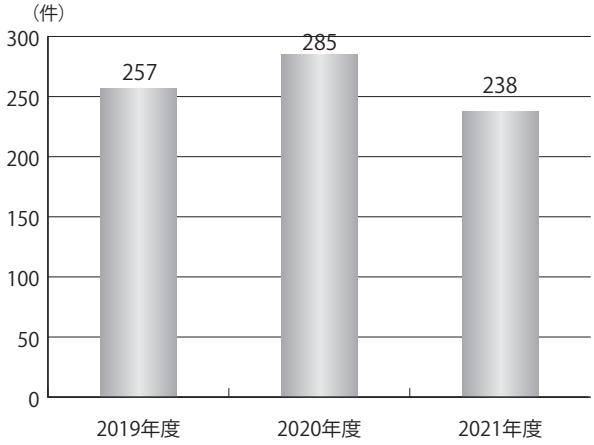


奄美病院

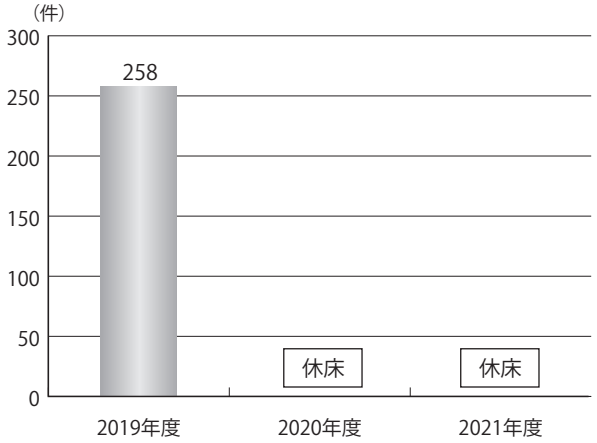
退院調整加算



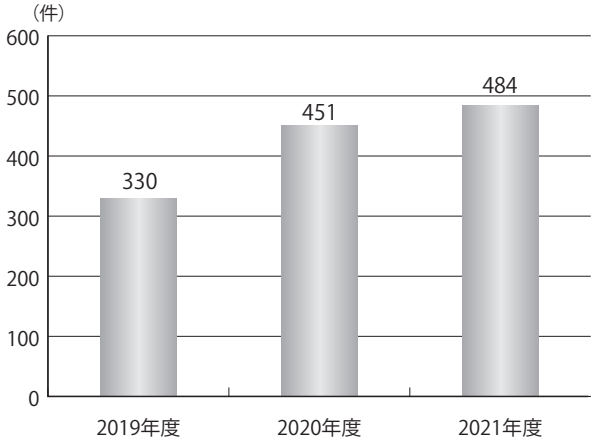
患者サポート体制加算



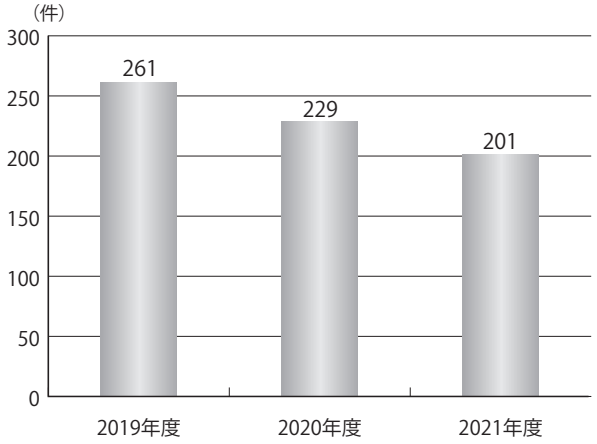
療養病棟退院支援委員会件数（2東病棟）



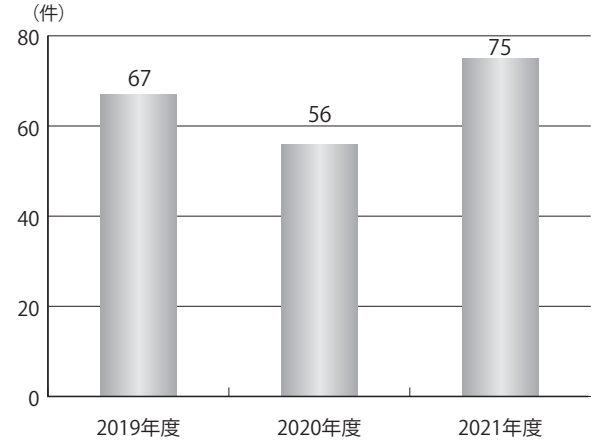
療養病棟退院支援委員会件数（2西病棟）



退院前訪問指導料

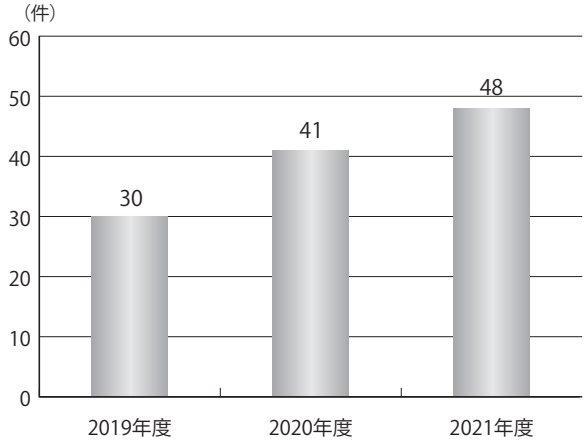


介護支援等連携指導料

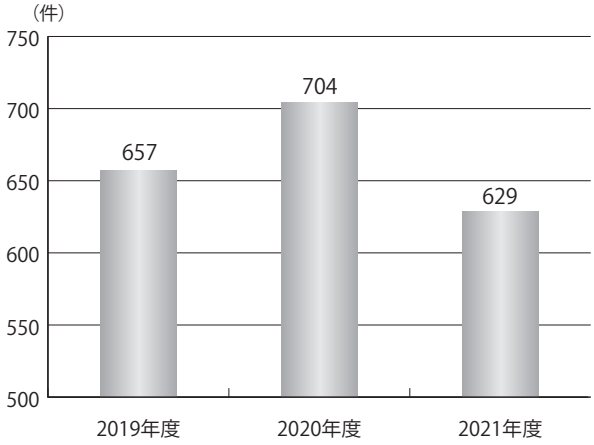


徳之島病院

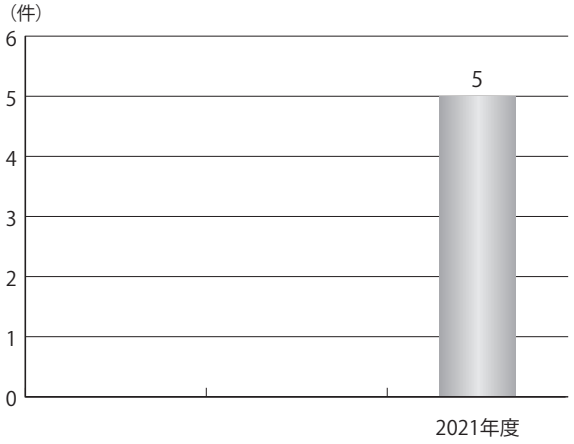
退院前訪問指導料（共同訪問指導加算含む）



療養病棟退院支援委員会（２病棟）



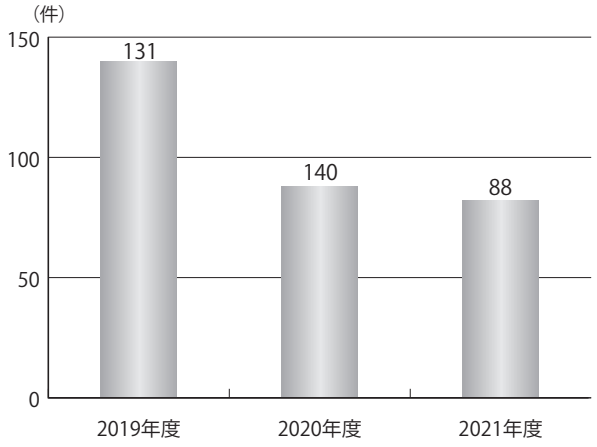
介護支援等連携指導料



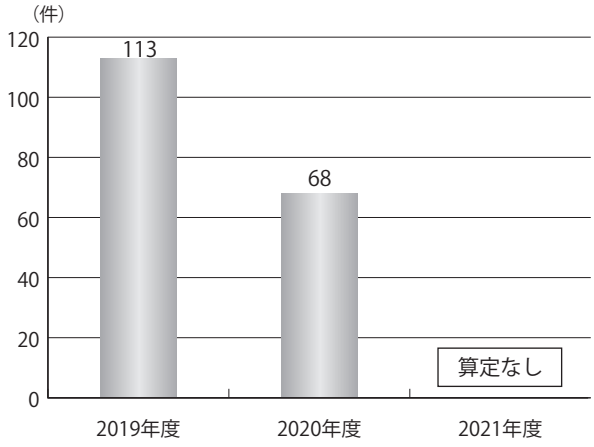
※2021年度より算定

介護老人保健施設 愛と結の街

退所時情報提供加算

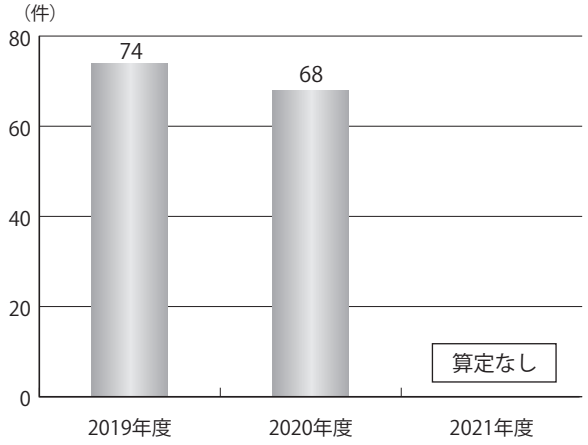


退所時連携加算

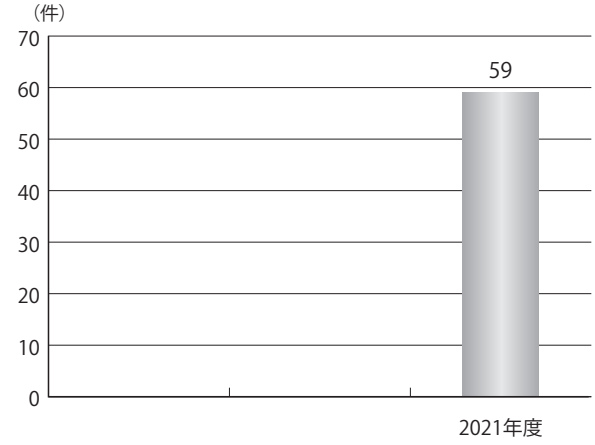


※入退所前連携加算Ⅱへ改定

退所時指導加算

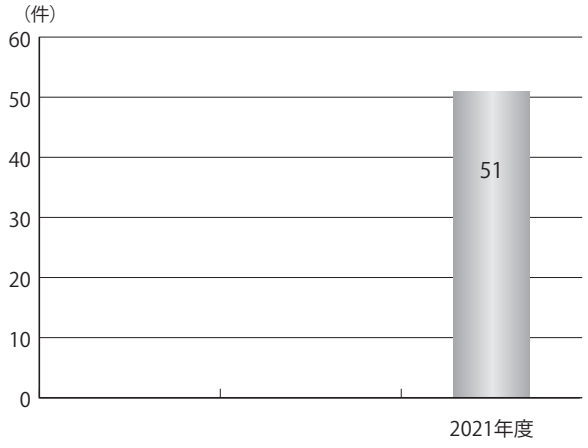


入退所前連携加算Ⅱ



※2021年度新設。算定開始

入所前後訪問指導加算Ⅰ



※2021年度より算定開始

業　績　一　覧

【学会発表】

谷山病院

1．前田結華，坂口純也，日高久美，土山芳枝，奥由香，東千夏：「退院支援パス」立ち上げ活動報告～円滑な退院支援のために～．第1回慈愛会学会学術集会，2021年7月10日，鹿児島

2．古園友理恵，田中光代：グロザリルパスに関する報告～従来のパスからの改良～．第1回慈愛会学会学術集会，2021年7月10日，鹿児島

徳之島病院

3．小澤孝典，真喜志元希，嶺井千春，上野博之，幸春奈，久保美杉，伊藤智子，梅岡啓香，川原香織：心理教育の導入の振り返りと普及への課題～フィデリティ尺度とヒアリング調査から～．第1回慈愛会学会学術集会，2021年7月10日，鹿児島

【研究会・講演会】

奄美病院

1．西牟田智子：ゲーム・SNSとの付き合い方．鹿児島県奄美市立名瀬中学校　保護者対象講話，2021年11月19日，奄美

部門別　総括 指標 業績一覧

臨床工学部門（CE）

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

慈愛会の臨床工学部門は2018年より業務統合を行ったので、他の診療支援部のように施設を跨いだ組織横断的な運営、情報共有の取り組みなどは特にないが、慈愛会の臨床工学部門として、月曜から金曜の午後、いづろ今村病院のME機器管理業務に今村総合病院より１名を派遣している。新型コロナウイルスの影響で施設間の移動制限があり何度か出向停止なってしまった事を考えると、いづろ今村への臨床工学技士の再配置なども考えなければならないのかもしれないが、いづろ今村の業務量が少ないため人員の無駄になってしまう。

本年度は臨床工学技士室の環境整備を終え、医療機器管理システムの再構築も済ませ、事務部とも協力しME機器管理台帳を作成している。今後は慈愛会内すべてのME機器管理を目指す。

透析センター業務とCE業務の分業も進み現在は４名が専従で手術室やICU業務、ME機器中央管理業務を行っている。

研修会

・いづろ今村病院新人看護師研修輸液ポンプ・シリンジポンプ操作説明

2021年４月

・今村総合病院新人看護師研修輸液ポンプ・シリンジポンプ操作説明

2021年５月11日・18日

・今村総合病院看護師向け人工呼吸器研修

2021年６月５日・12日

・今村総合病院３部署合同研修会

技能・能力向上に向けた取り組み

資格取得（2021年度に取得した資格）

透析技術認定士１名

３学会合同呼吸療法認定士２名

告示研修終了１名

参加学会・研修会

第31回日本臨床工学会（Web）

第28回鹿児島県臨床工学研究会（Web）

透析関連新人教育セミナー（Web）

davinci教育セミナー

各種指標

（単位：件）

	2019年度	2020年度	2021年度
透析	27,387	27,250	26,871
病棟透析	149	138	138
CRRT	367	208	259
PMX	16	5	14
DFPP	60	59	39
PE	13	30	22
LDL	19	0	0
G-CAP	13	0	57
CART	19	45	57
HBO	490	592	414

2021年いづろ今村病院の実績

GMA	10件
就業始業前点検	1,382件
定期点検	147件
院内修理	71件

業　績　一　覧

【学会発表】

今村総合病院

1．川井田季睦，雪松慎太郎，坂口政人，越智秀美，原康隆：バスキュラーアクセス管理でのシャントエコー導入後のシャントエコー件数増加に伴う測定･評価方法の検討．第 31 回日本臨床工学会，2021 年 5 月 22 日－ 23 日，熊本（Web）

【研究会・講演会】

今村総合病院

1．坂口政人：鹿児島県透析施設災害対策会議・講演会，2021 年 4 月 27 日，鹿児島（Web）

部門別　事業報告（PDCA）総括

総務人事部門

中長期計画		2021年度事業計画（Stage 5）	実施　2021.4月～2022.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
総務人事部	円滑な連携が図れる組織態勢の構築	1. 円滑な業務運営へ向けての組織の見直し ・法人事業本部を含め、各事業体および部署の統廃合の実施、および適切な人材配置を行う 2. 横断的組織の拡充 ・検査部門、栄養部門における統括責任者を設ける 3. 他医療機関等への支援の拡充 ・医療に関わる支援依頼に対して、当法人内の有資格者を積極的に派遣する ・医療以外の支援（経営コンサル的な分野）においても、適切に対応していく 4. 企画部門の充実 ・本部企画部門の役割と権限を明確にし、効率的運営が図れる体制とする	1. ①看護部支援室長と教育開発センター長を兼務体制へ移行 ⇒統括看護部長が管理者を兼務 ②奄美病院における医師薬剤師確保 ⇒医師（非指定医）1名採用、薬剤師4名採用 ③高麗町クリニック院長交代（2021.10） 2. ①薬剤部長の急な退職にともなう後任人事実施（2022.3） ②画像診断部統括技師長、リハビリ部統括室長の継続・交代人事を実施 3. ①社福慈愛会における人材配置支援 ⇒きずな保育園園長、南界園園長退職意向にともなう後任人事 ②大学生への事務系インターンシップを開始（商工会議所からの依頼） ⇒鹿児島大学より1名応募あり決定…8/25より9日間実施 4. ①「MIC（南日本情報処理センター）」との定例協議を開始（5月～） ②奄美病院GH、社福愛の浜園GH移設地確保にともなう土地購入	1. ①研修会の運営所管部署を教育開発センターへ統一 看護部における教育体制の他職種への導入をはかる。 ②医師…紹介会社経由での採用 薬剤師…年俸制を全面に出してのリクルート活動が功を奏す。 ③前院長の退職意向を踏まえ、2021年4月より後任候補として入職いただく。 2. ①紹介により適任者を採用、薬剤部長の空白期間を回避 ②懸案の検査部門および栄養部門の統括者の配置はできず。 3. ①きずな保育園園長…小学校校長経験者を配置 南界園園長…前園長同様、中種子町役場退職者を配置 ②コロナ禍ではあったが、円滑な受け入れ・研修が実施できた。 4. ①3カ月ごとの理事長への報告を実施し、IT部門の状況把握、方針管理の迅速化が図れた。 ②奄美病院隣接地（奄美市所有）を奄美市（奄美市長）と交渉のうえ購入	1. ①次年度においては、総務人事部所管の階層別研修会すべての運営を、教育開発センターへ移行していく。 ②慢性的医師不足であり、引き続き多様なチャネルでの採用活動を展開する。4名の薬剤師のうち2名は在籍期間限定的（2～3年）、採用活動継続が必要 2. ①マネジメントに精通した人材であり、薬剤部の統括および対外的交渉において、大いに力を発揮いただきたい。 ②引き続き横ぐし組織の充実をはかるべく、部門統括者配置を進める。 3. ①今後においても、園長配置については外部からの配置を含めて進める。 ②次年度も受け入れ・実施予定 4. ①引き続き、MICとの定例協議を実施していく。経営企画室充実策として、次年度4月より鹿児島銀行から人材受け入れ決定 ②企画部門案件について、総務人事部として介入・協力していく。
	地域社会に貢献できる人材の育成	1. 職種別キャリアラダーの活用 ・キャリアラダーの評価と整合した人事考課を実施していく 2. 上級管理者任用制度の構築 ・部署長クラスの任用候補者選考制度を策定する 3. 研修運営部署の統合 ・総務人事課主催の研修会について、教育開発センターと連携して運営していく 4. 多様なリクルート活動の展開 ・職員リファーラル制度の活用促進策を検討する ・新型コロナ感染症収束後を見据えた外国人材活用策を検討する ・離島病院における精神保健指定医のリクルートを継続していく ・慈愛会ホームページ求人情報欄をリニューアルする 5. 職員人事情報の一元管理 ・職員人事情報が有効活用できるよう、既存の職員カードシステムをカスタマイズする	1. ①キャリア開発推進委員会開催（6回実施） ⇒全職種に共通するキャリア目標項目に関する研修会実施の検討 ②キャリアラダー取組状況を人事考課「積極性」の考課要素に反映 ③長期研修派遣⇒特定行為研修6名、認定看護師2名、専任教員2名 2. ①管理者任用候補者選考制度 ＜合格状況＞ 診療支援部・事務部　57名応募-46名合格（80.7%） 看護部　35名応募-32名合格（91.4%） ②役職者（課長・課長代理、師長）を対象とした多面評価を実施 ⇒108名（看護部59名、診療支援部・事務部49名） 3. ①研修運営部署の統合に向けて、教育開発センターと協議・事前準備を実施 ⇒新入職者研修会、中途入職者研修会運営部署の変更 ⇒総務人事課から「教育開発センター」へ変更（2022.4～） 4. ①ミャンマーからの技能実習生（実習受入期間：2019.10～2022.9） ⇒3名のうち1名が退職、他2名は順調に徳之島病院にて実習中 ②職員リファーラル制度の2年目の紹介実績は1名 ③求人情報欄のリニューアル実施に至らず 5. ①職員情報管理システムの充実化への対応は未実施	1. ①キャリアラダーによる育成状況において職種部門間で取組状況に差があり。 ②キャリアラダー取組状況のより具体的な評価手法導入が必要 ③派遣終了後（資格取得後）の適正配置が課題である。 2. ①看護部と看護部以外の職種で異なっていた参加要件の統一に着手し、一部は実施済み ②多面評価結果の人事処遇への活用は次年度からとした。 3. ①総務人事課が運営する新入職員および中途入職者研修会の運営を、教育開発センターへ移行する体制を整えた。 4. ①新たなミャンマーからの技能実習生受け入れはないが、コロナ収束後を見据えた外国人材活用策の検討は必要である。 ②職員リファーラル制度の職員への周知・活用策検討が必要	1. ①次年度において全職種合同のラダーⅢにおける研修会実施を企画 ②看護部以外においても、ラダー認定を管理者任用候補者選考制度における参加要件に追加することを検討する。 ③計画的な長期研修派遣（資格取得）の実施が必要 2. ①職能資格「監督1級」への昇格においても、昇格試験導入が必要 ②次年度4月の昇任人事において、多面評価結果を反映をさせた。 3. ①階層別研修会運営所管部を、教育開発センターへ全面的に移行 4. ①ミャンマーからの技能実習生2名の実習修了後の活用 ⇒特定技能1号として老健愛結での就労を2名へ提案していく。 ③法人PR動画作成に経営企画室と協同で取り組む。 5. ①既存システムのカスタマイズは困難、新システムへの移行検討
	やりがいの持てる労働環境の実現	1. ドクターパフォーマンスレビューの充実 ・現状における課題抽出を行い制度内容を見直す 2. 適正な時間外管理 ・時間外実施方法についての職員への周知と、労働時間乖離実態調査表による適正な時間外管理を行う 3. 職員給与の見直し ・医師以外の一般職員（嘱託・パート職員も含む）について、実態・相場・現況に即した賃金に見直す 4. ハラスメントを含め労務管理上の発生事案対応 ・病院施設で対応が困難な事案について、危機管理室、顧問弁護士等と連携して対応する	1. ①目標設定、多面評価、振り返り面談等の一連の項目実施 ②ドクター年俸への賞与導入検討に着手 2. ①七波クリニックにおいても「労働時間乖離実態調査表」による超過勤務実績管理を開始 3. ①2021年10月2日からの最低賃金の見直しに伴う給与改定を実施 ②看護職員、介護職員、福祉・介護職員への新たな処遇改善対応 ⇒今村総合病院、3精神科病院G、愛と結の街G、いづろ今村病院の該当職種に対し、給与の手当および期末賞与での一時金支給で対応	1. ①本格稼働3年目であり、医師の先生方にも認知されていることが実感できる。 ②病院業績を一般職員のみならず医師へも反映させるべく、医師年俸への賞与導入に踏みこむことが出来た。 2. ①今村総合病院においても「労働時間乖離実態調査表」の活用が必要、早急な導入検討が望まれる。 3. ②新たな処遇改善対応により、非該当事業所職員への対応が課題「看護職員処遇改善加算」以外は、定期昇給分も含めて対応可能であり、今後、定期昇給財源の一部として活用していく必要あり。	1. ①次年度においても、日本経営とともに一連の項目を着実に実施していく。 ②医師年俸への賞与導入に向けての準備（医師への説明）を予定している。 2. ①医師の時間外上限規制施行（2024年）へ向けての対応準備を進める。 ②勤怠システムタイムプロを使用していないクリニック等についての適正な労働時間乖離実態調査方法の策定が必要 3. ②次年度において、一般職員の給与制度自体を見直していく。 ⇒給与テーブルの見直し（賃金カーブ）、昇格試験合格との連動強化、いわゆる「ジョブ型給与」要素の導入 処遇改善資金を定期昇給財源とすることが可能な職種は、対応していく。

中長期計画		2021年度事業計画（Stage 5）	実施　2021.4月～2022.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
総務人事部	法人運営の健全化と経営基盤の強化	1. 管理会計手法の見直し ・各事業体および部署の統廃合実施に伴い、管理会計手法を見直していく ・C/F最終残高をベースとした管理会計を展開していく 2. 賞与引当期間の変更 ・賞与引当期間を業績反映期間に一致させる 3. 人件費管理手法の策定 ・各事業体、部署、職種ごとの必要人員管理手法を策定する ・人件費の予算管理手法を策定する 4. 保全協会運営方法の見直し ・逆ザヤとなっている院内貸出・預金制度の是正策を策定する	1. ①2021年度実績（仮確定） ⇒事業収益23,513M、事業利益157M、当期利益1,309M C/F残665M…コロナ関連補助金：運営1,009M、施設整備117M ②建築設備分貯蓄可能事業所G…いづろ、総合、谷山、奄美、老健、鹿中看 C/Fマイナス繰越事業所G…徳之島 2. ①2021年度より賞与引当期間と賞与業績反映期間を統一 前年度10～3月 ⇒ 夏季賞与に反映 本年度4～9月⇒冬季賞与に反映 3. ①適正人員については事業所ごとに再考 4. ①逆ザヤ状態解消へ着手できず 5. その他 ①2020年度決算時剰余金201Mについて、法人全体の建築設備計画資金（3,745M）への貯蓄充当への許可を得る。 ②短期借入金限度額70億円の設定（理事会発議）	1. ①コロナ関連補助を加味しない計数 ⇒事業収益23,513M、事業利益157M、当期利益183M C/F残▲344M ②徳之島GについてもC/Fマイナス分の次年度繰越は実施しないことを決定 ③必要な設備投資の先延ばしを検討する事業所あり（C/F残確保のため） 2. ①実績をより反映した賞与支給額決定が可能となる。 ⇒事業所ごとのC/F不足分を賞与支給減額で補填 3. ①適正人員把握できず 4. ①院内預金利率0.5%以上の規制がネックとなっている。 5. ①収支相償に抵触する事案であり、県との交渉において、当方の主張に沿った対応が認められた。	1. ①次年度はコロナ関連補助金頼みではなく、事業利益（本業でのかせぎ）に着目した管理会計を展開していく。 ②徳之島Gについては、本部も一体となった支援策を早期に打ち出していく。 ③「本部貸付制度」を創設して、本部からの資金支援を行う。 4. ①保全協会の逆ザヤ是正は、院内預金・貸付制度の継続是非をも念頭にした検討が必要と思われる。 5. ①運転資金としての活用は難しくなるが、建築設備改修に充てられる資金が、実際に資金貯蓄できる体制となる。
	医療に関わる物的資源の適正な管理と有効活用	1. 資産管理システム ・医療機器管理システムCEIAを導入する 2. 適正な設備投資計画 ・高額医療機器購入時において、本部と連携した購入対応を行う ・設備投資計画書の適正な策定を行う 3. 所有不動産物件の有効活用 ・旧本部ビルの将来へ向けての有効活用を検討する ・水産会館敷地活用策について、今村総合病院と連携して検討していく ・オハナビルの今後の活用策に沿った維持保全計画を策定する	1. ①CEIAシステム　11月（本部及び総合用度へ導入、CE部門は導入済み） ⇒2月よりCE部門、総合用度と協力し総合病院部分より登録を開始 2. ①本部と連携した購入対応⇒複合機厨房機器、錠剤監査、X線回診車 ②検査試薬の統合効果の検証実施 3. ①マイアミ駐車外壁補修、階段室塗装 ②コーポ谷山202号「しらゆりの郷サテライト」として運用開始 ③オハナビル3F空調工事、4F汚水管詰まり、揚水ポンプ更新 ④魚見町駐車場KDDIアンテナ増設（60千円/年）　他	1. ①登録された機器に関してはCE、総合用度、本部で情報共有可能となった。今後、既存購入機を登録時、実機の確認方法など問題点の検討 2. ①連携した購入効果　▲7,079千円、ランニングコスト▲960千円/年 ②検査試薬統合効果　▲4,894千円 ③動産保険による対応10,213千円 3. 慈愛会ビル、マイアミ駐車場、オハナビルとも老朽化が進み突発的な修理には早急に対応した。計画的保全工事に関しても最小限で実施した。	1. ①CEIAシステムへの登録を進める。 ⇒保有機器の一元管理、購入価格の参照、リース機器（動産保険）の把握 償却済み資産（更新予定機器）等多くの情報確認が可能 2. 本部と連携した購入対策 ⇒CEIAシステムを利用した更新計画をCE部門と作成を検討 ⇒まとめ交渉、2次交渉の継続 3. 所有不動産の有効活用の検討継続保全計画は後続計画が策定されるまで最小限で計画実施する。 4. その他　本部管財機能の組織内での位置づけの見直し

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

1．研修会等運営所管部署の統合

研修会等の運営所管を教育開発センターへ統一した。なお、教育開発センターは看護部支援室と兼務体制として、看護部における教育体制の他職種への導入を推進していく。

2．各部門責任者の選任

退職（定年）、任期満了に伴う各部門統括責任者（薬剤部・画像診断部・リハビリ部）を選任した。なお、社会福祉法人慈愛会の事業所である きずな保育園・南界園の２つの園長の退職に伴う後任人事にも介入した。引き続き、慈愛会の横串組織の充実を図り、各部門統括責任者の配置を進めていく。

3．外部人材の受け入れ

・国立大学法人鹿児島大学の課題解決型インターンシップ（事務系）１名の受け入れを行った。コロナ禍であったが、法人事業本部内にて９日間受け入れた。

・株式会社鹿児島銀行職員１名の人材受け入れが決定した。2022年4月より２年間、経営企画室にて在籍出向を受け入れる。

4．MIC（株式会社南日本情報処理センター）との定例協議を開始

J-TIS（慈愛会総合情報システム）の委託事業所であるMICとの定例協議を開始した。IT部門の状況把握・方針管理の迅速化が図られた。

5．賞与引当期間の変更

賞与支給における業績評価期間、対象者基準期間、資金引当期間の統一を図った。

前年度10～３月⇒夏季賞与に反映

本年度４～９月⇒冬季賞与に反映

実績をより反映した賞与支給額決定が可能となった。

⇒事業所毎のC／F不足分を賞与支給減額で補填

6．医療機器管理システムCEIAの導入

法人事業本部及び今村総合病院において導入開始。登録された医療機器に関しては今村総合病院（CE・用度課）・法人事業本部で情報共有が可能となった。

技能・能力向上に向けた取り組み

1．「管理者任用候補者選考制度」の実施

2021年度から、管理運営が教育開発センターに統一された。

応募者92名に対して合格者78名であった。

＜合格状況＞

診療支援部・事務部　57名応募-46名合格（80.7％）

看護部　35名応募-32名合格（91.4％）

2．「役職者（科長・課長・科長代理・課長代理、師長）を対象とした多面評価」の実施

2020年度から実施され２年目となった。2021年度の多面評価結果については2022年度の昇任人事において反映させる。

＜実施状況＞

108名（診療支援部・事務部49名、看護部59名）

合同研修会

1．新入職員研修会

⑴　入職式

開催日：2021年４月１日

・リモートによる理事長の式辞、新入職員は各配属病院・事業所にて参加

・例年入職式直後開催の「新入職員研修会」は実施せず

⑵　新入職員研修会

開催日：2021年４月１日

・リモートで実施　129名参加

＜研修の目的＞

①慈愛会職員として理念、基本方針、法人概要等の基礎知識を身につける

②慈愛会フィロソフィとは何かを知る

③社会人・医療人として必要なマナー・接遇について学ぶ

④慈愛会の人事制度（主に人事考課）について学ぶ

⑤新卒同期職員の親睦を図る

2．中途入職者研修会

⑴　研修の目的

①慈愛会の理念を知り、受講者それぞれの職種・業務において何を実践すべきか考える。

②就業規則・各種規程を通じ、慈愛会職員として身に付けるべき就業上の知識・ルールについて学ぶ

③慈愛会の組織・各施設の概要について理解する

④基本的な接遇・ビジネスマナーについて学ぶ

⑤メンタルヘルス（セルフケア）について学ぶ

⑥「慈愛会フィロソフィ」について知る

⑦「自身の現状と将来のビジョン」について考える

⑵　実施概要

①対象者：医師以外の中途入職者（正職、嘱託職員）

②開催月：年６回実施（４月、６月、８月、10月、12月、２月）計91名参加

※入職後、直後開催される研修会へ参加

③時間：１日研修

3．総務担当者合同研修会

⑴　第１回　2021年11月15日開催

＜主なテーマ＞

・年末調整について

・社会保険の手続きについて

・法人内手続き書類の廃止について

・スタッフカード登録書式変更について

⑵　第２回　2022年３月11日開催

＜主なテーマ＞

・2022年採用者に関するお知らせ・お願い

・2022年４月～５月の業務スケジュール確認

・就業規則の一部改定について

・2022年度年間休日予定表について

・特定求職者雇用開発助成金について

・社会保険料変更（2022年３月～）について

・401Kについて

業　績　一　覧

【論文】

今村総合病院

＜和文＞

1．鈴木大輔，有島尚亮：有事下でもゆるぎない病院経営を目指して－ COVID-19 禍における「病院経営の BCP」への一考察－．医療経営士情報誌　理論と実践 No.42：一般社団法人日本医療経営実践協会，2021，pp40-50

谷山病院

＜和文＞

2．大内田頼春：事務職員の人材育成．日本精神科病院協会雑誌 41（2）：46-52, 2022

法人事業本部

＜和文＞

3．今村英仁：ポストコロナ時代に病院が向き合う在宅支援．病院 80（7）：574-579, 2021

＜その他の論文、著述＞

4．猪口正孝，今村英仁：対談 急性期病院が在宅まで視野に入れるべき理由．病院 80（7）：559-564, 2021

5．今村英仁：新型コロナウイルス感染症への対応．令和３年版介護白書―老健施設の立場から―：42-50, 2021

【学会発表】

今村総合病院

1．鈴木大輔，有島尚亮：現場力を活かしたチームで取り組むコスト削減の効果について－病院運営費管理委員会の成果報告－．日本医療マネジメント学会第 19 回九州・山口連合大会，2021 年 11 月 20-21 日，福岡

いづろ今村病院

2．松下雅和，猿渡光，八反田愛：看護必要度分析．第１回慈愛会学会学術集会，2021 年７月 10 日，鹿児島

徳之島病院

3．三原義己，森田愛華，米村優子，稲村未菜美，龍野将太：コロナ禍における業務改善．第１回慈愛会学会学術集会，2021 年７月 10 日，鹿児島

法人事業本部

4．高野正樹，内田良慶，中薗智美，七枝美香：入院時食事療養費制度改正に向けた取り組み（実践報告）．第１回慈愛会学会学術集会，2021 年７月 10 日，鹿児島

5．中馬敦，高野正樹，瀬地山寛史，猿渡光，松下雅和：施設基準新規取得の取り組みと課題～戦略的施設基準取得の第一歩～．第１回慈愛会学会学術集会，2021 年７月 10 日，鹿児島

6．今村英仁：未来を創る病院の「食」とは～病院給食の現状と今後の課題～．第 62 回全日本病院学会 in 岡山，2021 年８月 21-22 日，岡山（Web）

【研究会・講演会】

法人事業本部

1．今村英仁：地域におけるポジショニング．東京大学　経営のできる大学病院幹部養成プロジェクト，2021 年 11 月 13 日，東京（Web）

【受賞】

今村総合病院

1．鈴木大輔，有島尚亮：「有事下でもゆるぎない病院経営を目指して－ COVID-19 禍における「病院経営の BCP」への一考察－」2021 年度第 3 回日本医療経営実践賞　優秀賞．一般社団法人日本医療経営実践協会，2021 年 11 月 1 日

部門別　事業報告（PDCA）総括

医療情報室　慈愛会総合情報システム（J-TIS）

中長期計画		2021年度 事業計画（Stage5）	実施　2021.4月～2022.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
慈愛会総合情報システム（J－T－I－S）	システム構築と管理	システム構築／統合の推進 ・法人職員システム、教育開発センターシステムの構築に向けた検討 ・内製システムの管理 　パッケージソフトへの移行・統合 ・ToDoシステムの拡張 ・電子カルテシステム更新に向けた検討 ・オンライン資格確認システム導入	・徳之島病院オーダリング・医事システム導入 ・奄美・徳之島　630統計システム稼働 ・インシデント・アクシデントレポートシステム導入 （いづろ今村病院・今村総合病院） ・顔認証付きカードリーダ申し込み ・返戻レセプト再請求のオンライン化	・徳之島病院でMIRAIsを利用したオーダリングを稼働 ・630統計について奄美・徳之島の両院で導入完了。 ・様式40については、導入が完了していない。 ・医療安全管理システムが今村総合病院で導入完了。 ・オンライン資格確認システムの導入の進捗が遅れ、導入に至らなかった。	・奄美病院・徳之島病院の様式40対応を進める。
		システム管理のための環境整備 ・ネットワーク環境の整備 ・セキュリティポリシーの評価と見直し ・障害に強いシステム構築の検討 　仮想化の推進・リモート保守環境の整備	・オハナビルネットワーク環境見直し ・ウイルス対策ソフト更新 ・データセンター内ルータ状態監視 ・勤怠管理システムサーバのデータセンター移設 ・スタッフカードシステムDBサーバ移設 ・事務局共有サーバの容量拡張	・返戻レセプト再請求のオンライン化については、今村総合病院以外の施設については導入完了。 ・オハナビルのネットワーク遅延発生は、解消できた。 ・勤怠権利システムサーバ・スタッフカードシステムDBサーバは、データセンターに移設が完了し、サーバ管理業務の負担軽減につながった。	・オンライン資格確認システムの導入に向けて、各施設の環境構築を進める。 ・今村総合病院のレセプト再請求のオンライン化の導入を進める。
	データマネジメント	DWHのさらなる利活用の推進 ・良質なデータ確保のためのデータ入力分析と改善 ・DWHの使用用途の拡大 ・RPAの活用 連携強化に向けたデータ収集の拡大 ・精神／介護等のDWHデータ構築と活用	・電子カルテ文書テンプレートデータ抽出作業 ・MSW月報用データ抽出処理作成 ・MSW介入月報作成処理作成 ・看護記録分析用データ抽出 ・画像オーダ（造影剤使用）データ抽出 ・顧客カード管理システム構築 ・向精神薬多剤投与データ抽出（徳之島）	・DWHの活用という事で、Excelで管理していたMSWの介入データを電子カルテから抽出することで、MSWの月報作成を自動化し、業務の効率化につながった。 ・各部署からのデータ抽出依頼をDWHから抽出可能になった。	・これまで管理していた統計データと、DWHから抽出したデータで、統計件数の違いがあるものが判明し、データの入力制御を進める必要がある。
	人材育成	慈愛会SE体制の検討 ・定例会の実施、週報による報告、情報共有。 ・SE業務の分析と効率化 ・業務の標準化とマニュアルの整備 現場におけるＩＴスキルの向上 ・データ／ＩＴのリテラシー向上に向けた仕組み作りと人材の育成	・毎月１回の定例会を開催 ・週報による情報共有 VHJ-IT部会参加（WEB開催） MIRAIsユーザフォーラム参加（WEB開催）	・定例会の実施と週報作成により、急性期Gr. 精神介護Gr間での情報共有ができるようになった。	・さらなるSE間での情報共有のため、チャットツールを利用した情報共有環境を構築して、運用を進めている。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

1．DWH（データウェアハウス）の活用

いづろ今村病院や今村総合病院でのデータ抽出に関して、DWHから共通のデータが抽出可能。

○定期的なデータ抽出については、RPAを利用して自動化する仕組みを充実。

・記録・入退院データ、会議室等予約データ、在院数データ、平均在院日数、SOFAスコア、高齢者総合評価表

○看護記録分析用データ抽出

電子カルテの看護記録に入力されたデータを解析して、データが入力された時間帯や入力文字数、入力の即時性などの分析資料を作成。

2．J-TIS基盤ハードウェアの利用範囲拡張

勤怠管理システムサーバをデータセンターに移設。また、慈愛会職員管理システムDBサーバ・旧健診システムサーバについてもデータセンターに移設。J-TIS基盤の仮想環境下での運用により、耐障害性の向上とハードウェア管理の業務負担を軽減した。

・勤怠管理システムサーバ移設（2021年７月）
・慈愛会職員管理システムDBサーバ移設（2022年１月）
・旧健診システムDB・APサーバ移設（過去データ参照用）（2022年２月）

3．慈愛会ネットワークの品質向上

かごしまオハナビルのネットワークについて、VPN回線のレスポンス低下がみられたため、品質改善に向けて以下の作業を実施して、レスポンスの改善を行った。

・NTTフレッツ光回線を最大200Mbpsから１Gbpsに変更。（2021年１２月）
・かごしまオハナビル－全拠点間の帯域制限解除（2022年１月）
・NTT　VPNワイド網の収容回線と接続ユニットの変更（2022年１月）

4．業務システム構築の推進

○医療安全管理システムの導入

今村総合病院で、これまで院内開発のインシデントアクシデントシステムを運用していたが、いづろ今村病院で稼働しているシステムと同じインシデント・アクシデントレポートシステムを導入。データセンターのJ-TISサーバ内に環境を構築し、障害に強い環境での運用を実現した。

2021年６月稼働。

○奄美・徳之島病院医事システム関連

奄美病院と徳之島病院で稼働している医事システムに630統計機能を追加。

ファイルメーカによるツールを作成し、医事システムの機能を補完。

2021年11月稼働。

○MSW介入データ集計システムの開発

電子カルテデータから、MSWが介入した情報を検索して件数を集計し、月報・年報の作成支援を行うシステムを開発。今村総合病院で運用。

2021年12月稼働。

○顧客カード管理システム構築

今村総合病院の連携先施設に関する情報を管理するためのシステムを作成。各連携先施設の基本情報は自動的に収集して更新する。イントラネットで入力管理している紹介・逆紹介情報と連携し、紹介件数を集計して表示することも可能。また、訪問状況を入力することで、訪問履歴や訪問時の状況を確認する機能も実現した。

2021年11月稼働。

○入退院支援加算取得支援システム

電子カルテに入力されたデータから入退院支援加算の取得に必要な情報を収集し、入院時の初回面談や退院支援カンファレンス等の入力有無を判別しMSW向けにアラートとして表示するなど、入退院支援加算の取得を支援するシステムを作成。

2021年６月稼働。

○人事考課表マークシート化対応

手書き・手入力で運用している人事考課表をマークシート方式に変更し、マークシート読取によるデータ入力と読み取り後のデータ集計をシステム化。人事考課データの入力に係る作業を自動化して、作業負荷を軽減。

2022年３月システム作成。４月から運用予定。

部門別　事業報告（PDCA）総括 業績一覧

教育開発センター

中長期計画		2021年度事業計画（Stage5）	実施　2021.4月～2022.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
教育開発センター	診療部を除く全部門の職員の能力開発支援	1．教育プログラムとラダー認定制度の構築 1）キャリア開発推進委員会の定期開催：奇数月第2火曜日 2）2020年度に立案した年間教育計画の実施状況を把握 （会議・共有フォルダ提出） 3）ラダー認定の申請率の向上 （会議で発信・共有フォルダにて把握） 4）目標管理の中で中間評価・最終評価の実施 （会議の中の推進） 5）ラダー認定者（率）の把握と次年度計画の推進 6）ラダー未開発職種の能力開発プログラムとラダーの導入 （調理師・ナースエイド他）	1．定期キャリア開発推進委員会開催 ①5/11 ・2021年度キャリア開発推進委員会目標 ・能力開発プログラムについて ・各部門現状と課題について ・慈愛会学会学術集会 ②7/13 ・ラダー認定制度について ・クリニカルラダーレベルⅤ以上のキャリア支援 ・認定証発行手続き等 ・慈愛会学会学術集会開催報告 ③9/14　多職種ラダーレベル　合同研修企画検討 ④11/9　多職種合同研修企画案作成 （リーダーシップ、社会人基礎力、管理者、メンタルヘルスケア） ⑤1/11 ・多職種合同研修企画検討 ・ラダーレベル別研修（レベルⅣを目指す者） ・キャリア開発推進委員研修 ⑥ 3/8 ・多職種合同研修計画検討・決定 ・ラダーレベル別研修（レベルⅣを目指す者） ・キャリア開発推進委員研修 ・クリニカルラダー （2021年度クリニカルラダー申請者認定状況、2022年度クリニカルラダー追加修正） ＜キャリアラダー申請率＞ 薬剤部門100%　栄養部門85% リハ部門97%　画像診断部門80% 臨床検査部門76% 医療相談部門64%　事務部門100% 看護部門99.5%　介護福祉士部門　62.5% ・ナースエイド能力開発プログラム作成中	1．定期的なキャリア開発推進委員会にてキャリア支援について協議し、慈愛会職員のキャリア開発ラダーの浸透と活用につながっている。キャリア開発推進委員のリーダーシップにより、キャリア開発推進のためにキャリア開発への理解を深め、キャリア開発ラダーの作成と改定に取り組んだ。今年度は各部門はキャリアラダーの活用を推進し、申請率は60%以上であり、多くが90%以上の申請率であった。職員のキャリア支援につながるツールとなることを目指している。キャリア開発推進委員として自らの資質向上を目指し、研修企画の要望があるなど委員の向上心や役割意識は高く、多職種によるキャリア開発推進委員研修を企画しさらに活性化していく。	1．クリニカルラダー、キャリアラダー活用の推進 2．スペシャリスト、ジェネラリストの育成 3．多職種共同研修 4．一人ひとりのスタッフの付加価値を上げる 5．多職種協働チームケア実践（重症化予防、患者満足度向上） ・多職種チーム活動による診療報酬上位基準取得 ・慈愛会多職種協働チーム組織化・活動 ・多職種チームケアによる満足度向上 6．スタッフプロファイリング管理とキャリア支援 ・人事考課給与反映検討 ・大学との共同研究推進、大学教育へのキャリア支援、放送大学編入制度活用推進 ・職員教育（4月入職、中途採用者教育）の一元化 7．心に届く慈愛の物語を紡ぐ 8．スペシャリスト派遣・人事交流 9．慈愛会クリティカルパス整備 10．慈愛会連携パス作成による連携推進
		2．管理者任用候補者選考と研修の実施 1）管理者任用候補者制度に則った研修の実施 11月 3.5日間　リモートを取り入れた研修 2）管理者任用候補者制度に則った選考の実施 看護部はレベルⅣ達成者の事前評価後に受講申請 診療支援部・事務部は事前多面評価による受講者選考 12月に一斉筆記試験 看護部面接試験 診療支援部・事務部は1月面接 選考判定後の登録とその後の昇任状況の把握 （総務人事課と連携）	2．管理者任用候補者選考研修 2021年度 選考制度を一元化。 窓口は教育開発センターで一本化体制とする 研修日程：11/16. 11/17. 11/24. 11/25 筆記試験：12/14 研修企画について事務長会、参事会で承認を得て全施設へ周知 研修受講者申し込み締め切り 8/6（93名申し込み再受験者2名） 講師　テキスト原稿依頼　試験問題作成依頼　テキスト印刷修了配布済　約190冊 10/22　研修前レポート提出 11/16～11/30　多面評価（93名分663名へ発送）GWテーマ（有事にびくともしない組織つくり）＊研修受講修了者：90名 12/14筆記試験：受験者92名、試験会場5カ所で実施 看護部面接試験：対象者35名（離島zoom利用） 12/8～12/23　診療支援部・事務部面接試験：対象者57名 12/29　判定会議　合格：70名、条件付き合格者8名、不合格14名 1/4　条件付き合格者8名へ課題発送 ＊1/11提出締切：8名合格 1/12・1/18　理事長面談（診療支援部・事務部：46名） 1/25 理事長面談（看護部：32名） 1/26　合格証書発送（78名） 1/31　講師へ研修アンケート・講義アンケート送付 2/18　研修後レポート提出締切日	2．選考制度はこれまで診療支援部と事務部は研修受講前に多面評価を実施し、多面評価で基準を満たしたものが受講していくシステムであった。今年度から実務4級以上、看護部はキャリア開発ラダーレベルⅣ以上であることとし、希望者が受講した。研修受講中に多面評価実施した。筆記試験、多面評価、面接の試験それぞれに6割以上取得すると合格となる制度とした。.選考制度を一元化し、窓口を教育開発センターへ一本化したが特に問題はない。 多面評価と筆記試験の結果により不合格者は14名であった。試験後のフォローが課題である。今後は多職種からも看護部門と同様、質の均てん化ではキャリア開発ラダーレベルⅣ以上を受講対象基準とする提案があり、今後は職能給とともにキャリア開発ラダーレベルの認定評価も受講基準とする。	2．令和4年度、管理者任用候補者選考研修 11/15.11/16.11/24.11/25 4日間 筆記試験　12/13 合格率のアップ 研修受講対象基準にキャリア開発ラダーレベルⅣ以上を追加し、全職員キャリア開発ラダーを活用する。 3．4/1新入職オリエンテーション 4/28　6/9　6/23　8/25 10/20　12/22　2/16　中途入職者オリエンテーション

中長期計画		2021年度事業計画（Stage5）	実施　2021.4月～2022.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
教育開発センター	中間管理者のマネジメント力向上	1．ミドルマネジメント研修開催 1）各部門の部署長の研修 （2020年度受講者の継続教育） 2．目標管理の構築 1）ミドルマネジメント研修と並行してBSCの進捗を共有 2）共有フォルダ活用 （各部署長のマネジメントの見える化） 3）次年度に向けたSWOT/クロス分析とBSC作成 3．目標管理評価会開催 1）BSCを基に目標管理実施状況を報告する会開催 2月に開催 発表者は各部門から選出	1．ミドルマネジメント研修 10/2（土）開催 新型コロナウイルス感染拡大のため日程（9/11予定）変更し開催 研修目標：管理者としてのマネジメントとリーダーシップを図るための中間管理者の育成 今年度のポイント 組織分析の理解と活用 評価・人事考課者研修 目標管理の徹底 チャレンジプランシートの全職種導入 開催場所：自治会館 （リモート：奄美病院、徳之島病院） 参加者：137名 ファシリテーター　19名 受講者　115名 （事務部27名　診療支援部43名　看護部45名） 受講者の所属内訳は後掲Ｐ183 ⇒研修目的ほぼ達成した 課題 1．研修効果を高めるためのICT整備 2．研修対象者の選定（ミドルマネジャー） 3．研修内容の職員周知	1．昨年度の研修内容を活用し、さらに組織分析を具体的に行い第3次マスタープランに繋げていった。ミドルマネジャーは社会状況を見据え部門の目標を明確にしながら取組めた。 各部門の代表者から各部門が今後取り組むべき課題を発表してもらうことで多職種の目指すものを共有でき多職種協働の方向性も見いだせた。 次年度から各部門が取り組む目標管理や人事考課についてもしっかりと理解を深め職員への教育に活かせた。今後は管理者がいかに次年度の目標を明確に示していくか、5か年を見据えた第3次マスタープランに明確にして職員個々のレベルに落としていかなければならない。管理者の職員に対する支援が重要である。 一人一人が組織目標に向かって達成目標を明確に働くことで達成感や満足感を得ることになる。適切な目標管理がそれぞれ出来るように継続して取り組んでいく。 看護部は管理者任用候補者選考に合格し昇任時研修を企画しているが他部門は研修企画はない。役割意識が高く意欲のある時期に動機づけの研修は有意義であると考える。次年度から初めて昇任した役職者の研修を企画する。 職員能力開発プログラムは各部門作成できたが、看護部以外の部門はマネジメントラダーが未作成である。部門のマネジメントラダー作成に着手し、マネジメント者の計画的人材育成を目指す。 2．現在使用している目標管理シートは看護部と診療支援部事務部は異なるものを活用していた。目標を明確にしそれぞれが目標達成する上で自己が何を目指し成果を出すのかがプロセスをおって計画できるチャレンジシートを改訂し全職員で活用していく。上司によるコーティングや組織目標の明確化と周知、管理者の理解と活用を目指して職員一人ひとりにの働き甲斐につながるよう取り組む。	1．ミドルマネジメント研修　令和4年9月10日（土） 2．初期キャリア支援（昇任者研修）　令和4年7月1日（金） 3．看護部他管理者育成プログラム（マネジメントラダー）作成検討・活用 2．目標管理シートは全職員統一したチャレンジシートを導入し目標達成に向けて取り組む。
	慈愛会学会の質向上	1．運営委員会・理事会の開催 1）運営委員会：毎月第4水曜日定期開催 2）理事会：必要時開催 2．学術集会開催 1）第１回学術集会開催：7月10日（土） 3．学会誌：かごしま慈愛会ジャーナル発行 1）学術集会発表から選出し発行 電子ジャーナルと製本発行 12月	【運営委員会】開催日ごとの内容は後掲Ｐ184 4/21、5/19、6/16、7/7（臨時）、7/21、7/28、9/10、9/28、11/2、1/18、3/15 ※7/10　第1回慈愛会学会学術集会開催 会場：自治会館 口演24　ポスター 39 参加者：会場　約250名、Zoom 約150名 ※9/28～11/1　第2回学術集会案内ポスター募集 応募：10作品 ※11/10　第2回学術集会開催案内ポスター表彰式 会場：かごしまオハナビル 最優秀作１，佳作２ 【かごしま慈愛会ジャーナル編集委員会開催】　開催日ごとの内容は後掲Ｐ186 9/27、11/29（掲載論文） ・学術集会優秀発表10演題 ・トピックス2題（寄稿依頼） 12/1　かごしま慈愛会ジャーナル論文投稿募集 ＊各施設へ文書発送、周知依頼 募集期間2021.12/1～2022.1/24 1/17　寄稿・投稿論文の確認依頼者決定 2/14　原稿校正　雑誌構成の検討 4/30　かごしま慈愛会ジャーナル第1巻発行 ・関係各所へ820部配布・送付	1．第1回　慈愛会学会は令和3年7月10日（土）に開催できた。運営委員の協力、各施設の協力をいただき準備から開催まで大きな問題もなく挙行できた。 Zoomに関しては質問等が各施設に音声として届かない場面も多々あったので、音響設備について事前調整が重要である。次年度の会場について川商ホールを当初企画したが、音響設備が整った鹿児島県市町村自治会館に変更して開催予定。 今年度より慈愛会各施設より運営委員として選出していただき、各施設の意見収集や職員への周知など強化できている。次年度に向けてさらに充実した取り組みになると考える。 次年度の企画ではパネルディスカッション等を企画にもりこみ、慈愛会の取り組みを共有しさらに交流を深めていく。 学会企画により、慈愛会内での各施設の取り組みを理解し各職種の研究を通して知見を広げることにもつながった。職員の満足感も高かった。 オンラインでの参加も多く、会場での参加が難しい職員にとって貴重な機会となるため、次年度からもオンラインでの参加を継続する。 2．かごしま慈愛会学会ジャーナル編集委員会を発足し9月から活動を開始した。 ジャーナル編集、原稿依頼、校正等を行い3月中には印刷業者への依頼もできた。4月30日第1巻創刊号を発行できた。当初トピックスとして2論文を企画していたが途中で変更となった。 次年度はトピックス3～4題、一般演題を公募していく。 初年度のみ各施設へ広報として送付するがその後は電子ジャーナルとして発行していく。	1．学会運営委員会継続 慈愛会全体での取り組みとして、演題応募数は職員数に応じて応募数の基準化を図り全職員が取り組む体制とする。 2．2022年4月30日　第1巻創刊号発行 慈愛会内外820部印刷送付

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

2021年度は主な事業として、「診療部門を除く全ての部門の職員のキャリア開発」「管理者任用候補者選考」「全部門のミドルマネジメント研修」「慈愛会学会」について活動した。

キャリア開発支援においては、各部門の教育プログラムの構築とラダー認定制度の整理ができた。

「全部門のミドルマネジメント研修」は、前年度学んだ組織分析を活用し、第3次マスタープランへの動機づけとなる研修となるよう内容を精選し実施した。人事考課制度や目標管理と人材育成についても再認識の機会となった。

「管理者任用候補者選考」はこれまで診療支援部・事務部、看護部で制度が異なっていた。評価方法など見直し全職種統一した。受講希望者も増加しており、管理者任用候補者選考研修後の意義が法人内で認識されている。

「慈愛会学会」が発足し、第1回学術集会を2021年7月10日に開催できた。学術集会開催後、かごしま慈愛会ジャーナル編集委員会が発足し、発行準備を行った。2022年4月発行予定である。

下記に各事業実施状況をまとめた。

職員のキャリア開発推進委員会活動

1）会議開催と内容

開催月日	討議内容	備考　活動内容	出席者
第１回 5月11日	1．2021年度キャリア開発推進委員会の目標・重点的な取り組みについて 2．能力開発プログラム　各部門の現状と課題について 3．教育研修計画について 4．慈愛会学会について 5．その他：会議に対する意見・要望	年間教育研修プログラムに応じた教育研修の実践、キャリア開発ラダー認定に向けての体制作りについて説明	32名
第２回 7月13日	1．キャリア開発ラダー認定制度について スタッフへの周知と運用の現状と課題 2．キャリア開発ラダー認定証発行手続き、キャリア開発体系図について 3．その他 1）慈愛会学会について 2）心に届く慈愛の看護を語る会について	「心に届く慈愛の看護を語る会」は次回（2022年度開催）より「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」と名称を変更し多職種の参加とする	29名
第３回 9月14日	1．クリニカルラダー運用と認定について 2．多職種共同教育開発プログラムの必要性と具体的計画の検討 3．その他 1）慈愛会学会第２回学術集会について 2）ミドルマネジメント研修について 3）管理者任用候補者選考について		28名
第４回 11月9日	1．多職種合同教育開発プログラム（研修計画）について 合同研修の具体的内容検討 2．キャリア開発ラダー運用と認定について 3．その他 1）管理者任用候補者選考について 2）慈愛会学会第２回学術集会について	管理者任用候補者選考制度について説明 ・研修日 ・選考日	30名
第５回 1月11日	1．多職種合同教育開発プログラム（研修計画）について 2．キャリア開発ラダーについて 3．その他：慈愛会学会学術集会について	多職種合同研修開催 ・ラダーレベルに応じた研修 ・キャリア開発推進委員研修	24名

開催月日	討議内容	備考　活動内容	出席者
第６回 3月８日	１．多職種合同研修について ２．2022年度の研修計画について ３．2021年度ラダー申請者の認定について ４．2022年度能力開発プログラムについて ５．その他 　１）慈愛会学会第２回学術集会について 　２）かごしま慈愛会ジャーナル発行について 　３）管理者任用候補者のリストアップについて		26名

合同研修会

１．管理者任用候補者選考における研修

１）研修開催日

2021年11月16日（火）8：30 ～ 17：30
11月17日（水）8：30 ～ 17：30
11月24日（水）8：30 ～ 17：30
11月25日（木）8：30 ～ 12：30

２）選考日

2021年11月16日（火）～ 11月30日（火）多面評価
12月８日（水）～ 12月15日（水）個人面接試験
12月14日（火）　筆記試験
2022年１月12日（水）～ 1月25日（火）理事長面談

３）研修受講者

90名（看護部：35名、診療支援部：41名、事務部：16名）

４）選考受験者

92名（再受験者含む）、合格者78名（合格率：84.8%）

５）選考結果

	受験者	合格者	合格率
看護部	35	32	91.4%
診療支援部	41	33	80.5%
事務部	16	13	81.3%
計	92	78	84.8%

２．ミドルマネジメント研修

１）目的管理者としてのマネジメントとリーダーシップを図るための中間管理者の育成

２）研修日時　2021年10月2日（土）8：30 ～ 17：30

３）受講者　137名

４）研修内容

(1) 組織分析（SWOT分析、クロスSWOT分析）、目標・BSCの考え方

(2) グループワーク

第３次マスタープランのキーワード「進化・深化」を基に、「医療サービスの質をあげ、慈愛会ファンをいかに増やすか」

(3) 目標管理（チャレンジプラン）について

(4) 人事考課（多面評価の考え方）について

５）施設別受講者人数と研修会場

施設名（受講者人数）	研修会場
今村総合病院・七波クリニック（38名）	鹿児島県市町村自治会館 会議室401号
いづろ今村病院（15名）	
鹿児島中央看護専門学校（1名）	
法人事業本部（6名）	
谷山病院・併設事業所（20名）	鹿児島県市町村自治会館 会議室402号
愛と結の街・併設事業所（14名）	
奄美病院・併設事業所（13名）	奄美病院　会議室
徳之島病院（12名）	徳之島病院　会議室

技能・能力向上に向けた取り組み

1．慈愛会学会

1）運営委員会開催と内容

開催月日	討議内容	備考
4月21日	1．抄録原稿の確認について 2．タイムスケジュールの検討 3．催事出演者について 4．参加者募集について	＊各施設へ係を依頼
5月19日	1．口演発表座長決定 2．感染対策について検討 3．抄録集：構成について、送付先について 4．優秀発表の審査及び表彰について 5．第２回学術集会開催日の検討	
6月16日	1．抄録集完成と送付について報告 2．参加者申し込み状況について 3．各施設リモート（Zoom）会場について 4．運営・係マニュアル内容について検討 5．参加者アンケートの内容について検討 6．第２回学術集会開催日の決定	＊抄録集170冊印刷 ＊リモート参加申込者：151名→各施設へリモート会場設営を依頼 ＊第２回学術集会開催日：2022年７月９日（土）
7月7日	1．学術集会開催に係る事項について検討 　1）会場準備について 　2）係の来場方法・駐車場代について 　3）記録写真撮影について	＊係の来場方法については安全第一で考える ＊駐車場代は本部に相談
7月21日	1．第１回学術集会開催について 　1）参加者人数報告 　2）アンケート結果 2．優秀発表の選出 　口演発表：最優秀１・優秀３ 　ポスター発表：最優秀１・優秀４ 　全ての中から特別賞１題を選出 3．かごしま慈愛会ジャーナルの発行について 4．第２回学術集会開催に向けて課題検討	＊優秀発表を参事会・理事会において承認 ＊表彰式８月５日開催
8月17日	＊運営委員長交代 木佐貫涼子教育開発センター長へ 1．慈愛会学会の運営と運営委員について検討 2．かごしま慈愛会ジャーナル編集委員会について検討	＊25日参事会にて①理事会・運営委員会・編集委員会の構成・位置づけ②慈愛会学会運営委員・編集委員の選出を協議・決定
9月28日	＊運営委員12名（委員長含む）体制となる 1．運営委員会の位置づけ、慈愛会学会規程、運営委員会要綱の確認 2．第１回学術集会開催状況報告 3．第２回学術集会開催について検討 　1）大会テーマの決定 　2）開催案内ポスター募集 　3）企画	＊開催案内ポスターデザイン募集10月１日発出 締め切り：11月１日
11月2日	1．開催案内ポスターについて 　優秀賞・佳作の選出 2．演題登録基準・抄録作成要項について 3．演題募集の周知案内について	＊運営委員の投票により優秀賞１点・佳作２点を選出 ＊表彰式：11月10日開催

開催月日	討議内容	備考
1月18日	1．演題応募体制・システムについて検討 各施設演題登録数の目安を決定 2．企画について検討 3．会場（川商ホール）について再検討	＊ハイブリッド開催のため、会場を鹿児島県市町村自治会館へ変更 ＊各施設へ会場変更の周知と、開催案内ポスター修正シール貼付を依頼
3月15日	1．演題登録状況と発表形式の決定 75演題（口演24題、ポスター 51題） 2．口演発表座長について 運営委員より推薦頂き、内諾を得る 3．学術集会プログラムについて 1）シンポジウム・パネルディスカッション企画 コーディネーターを依頼し詳細を決定 2）昼食休憩時の画像投影を企画	

2）第1回学術集会開催

(1) 開催日

2021年7月10日

(2) 会場

鹿児島県市町村自治会館4階

(3) 発表演題と詳細

63題：口演発表24題、ポスター発表39題（うち3題は抄録集掲載のみ）

施設別　演題収録数

いづろ今村病院	17
今村総合病院	14
谷山病院	14
奄美病院	2
徳之島病院	4
愛と結の街	7
看護学校	2
クリニック	1
慈愛会本部	2

職種別　演題登録数

診療部		7
診療支援部		14
	薬剤部	(3)
	栄養部	(1)
	リハビリテーション部	(6)
	画像診断部	(1)
	臨床検査部	(1)
	医療福祉相談部	(2)
看護部		36
	看護師	(31)
	介護福祉士	(5)
事務部		4
専任教員		2

(4) 参加者

402名（会場参加者245名、各施設リモート会場参加者157名）

3）かごしま慈愛会ジャーナル編集委員会発足

(1) 編集委員：7名（委員長1名、副編集委員長1名、委員5名）

(2) 会議開催と内容

開催月日	討議内容	備考
9月27日	1．ジャーナル掲載内容について検討 2．投稿規程について検討 3．発行までのスケジュール確認	10月：学術集会優秀発表者へ論文執筆依頼
11月29日	1．投稿規程について決定 2．寄稿依頼・投稿募集について検討 3．原稿査読・校正について検討 4．誌面構成について検討 5．発行数・配布先について検討	掲載論文:学術集会優秀発表10演題、トピックス2題（寄稿依頼） 投稿募集：12月1日各施設へ案内文書を発出 （締切：1月24日）
1月17日	1．寄稿・投稿論文の内容確認と校正について 1）編集委員以外の第三者へ内容確認を依頼 2）編集委員による校正の後、最終校正 2．発行数・配布先について検討	＊原稿確認依頼者へ諾否確認、受諾の返事を受けて原稿を送付
2月14日	1．原稿体裁について決定 2．雑誌構成について決定 3．雑誌発行数・配布先について検討	2月22日参事会にて雑誌発行数・送付先を協議・決定
2月28日	1．雑誌構成・表紙デザインの決定 2．発行数・配布先と発送方法について 3．電子ジャーナル（PDF）公開について検討	＊各施設分は印刷会社より直接発送

2．慈愛会認定・特定看護師会　活動支援

2021年度の慈愛会認定・特定看護師会は、慈愛会の認定看護師及び認定看護師教育課程修了者、並びに特定看護師で構成されている。

メンバーは29名（うち3名は認定看護師・特定看護師の両方を修了している）で、領域・区分は次の通りである。

◇認定看護師21名

がん化学療法看護1名、がん性疼痛看護1名、感染管理4名、緩和ケア2名、救急看護2名、クリティカルケア1名、糖尿病看護1名、脳卒中リハビリテーション1名、皮膚排泄ケア2名、精神科6名

◇認定看護師教育課程修了者

がん放射線療法看護教育課程1名、緩和ケア教育課程1名

◇特定看護師9名（うち3名は再掲）

以上のメンバーが5つのグループに分かれ活動を行った。コロナ禍で制限がある中での活動であったが、リソースナースとしての役割を自覚し組織や地域のへの貢献を意識しながら活動を継続することができた。

1）会議開催状況

開催月日	討議内容	出席者
5月22日（土） 全体会議	1．認定看護師・特定看護師会の歴史 2．会議開催の趣旨 3．グループワーク「グループ活動活性のために」 4．グループワークの全体討議・グループ編成 5．今年度のグループの活動計画発表	21名
8月6日（金） リーダー会議	1．各グループの活動状況報告 2．会の名称変更について	8名
11月13日（土） 全体会議	1．会の名称変更について 「慈愛会認定看護師・特定看護師会」へ名称変更 2．各グループの活動状況報告 3．グループワーク	19名
2月26日（土） リーダー会議	＊メンバーのアンケート結果を基に協議 1．認定看護師・特定看護師会の運営について 2．委員長、副委員長の選出について 3．会の運営、活動のあり方について	8名

2）活動チームと活動内容・まとめ　（★チームリーダー）

活動名称 メンバー	活動実績	まとめ
救急分野チーム 〔名称〕 クリティカルケアチーム 〔メンバー〕 濱崎★ 小濱 中村 平川	PAT 研修開催 1. 研修方法：YouTube による研修 1)「急変を予測するためのフィジカルアセスメントと急変時の対応」 内容：急変前変化、迅速評価・一時評価を用いたアセスメント方法、急変時対応など 講師：平川あゆみ救急看護認定看護師 2)「患者さんが転んだ～頭部打撲後のフィジカルアセスメント～」 内容：転倒後の観察のポイント・頭部外傷・急性頭蓋内血腫について・意識障害の鑑別評価など 講師：濱崎彩脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 2. 研修対象者： 慈愛会標準クリニカルラダーⅢ申請者 3. YouTube 視聴期間： 2022 年 1 月 31 日～ 2 月 19 日 4. 結果 1）受講者：慈愛会標準クリニカルラダーⅢ申請者 112 名 2）視聴回数：225 回 3）テスト結果： 研修 1）平均点 3.21/5 ポイント 研修 2）平均点 3.38/5 ポイント	PAT 研修の目的は、「後輩を育成する中堅看護師のフィジカルアセスメント能力向上」である。昨年度より教育委員と共同し慈愛会標準クリニカルラダーⅢ申請者の必須研修として、急性期、回復期、精神科、在宅などの幅広い看護を担っている慈愛会全体を対象としている。対象者の年代は、３～５年目の看護師が６割以上、６年目以上の看護師が４割を占めている。 研修内容は、受講者の看護実践だけではなく、後輩育成に繋げるための復習の機会という位置付けで動画を作成した。また、今回から、習得した知識の確認として受講後のテストを取り入れた。テスト内容の検討も必要ではあるが、臨床で実践・指導につなげるためにも、回答だけではなく、フィードバックするなど、学習機会を増やすことで、更なる学習効果の向上を期待できると考える。 YouTube 研修では、座学がメインになり、さまざまな場所で活躍する受講生の実践・指導に関する評価が難しい。受講が手軽である一方で、送り手からの一方向の研修になりがちな印象もある。内容の理解については、テストで把握することが可能であるが、実際に臨床での指導の場面に活かせているのか評価することは困難であった。より実践内容を反映した評価方法を取り入れるには、教育委員とさらに協働しながら、臨床での受講生の反応を評価すること、ひいては、その評価を行う指導者の能力向上が必要と考える。 慈愛会標準クリニカルラダーの研修としての PAT 研修を継続するにあたり、教育委員との協働方法、受講生の評価方法などが、引き続き、今後の検討課題となる。
がん分野チーム 〔名称〕 チームつん 〔メンバー〕 長瀧★ 中窪 水流 前田 小波津 長野	・ELNEC-J ２回開催（７月、11 月） （参加者）計 33 名 今村総合病院：21 いづろ今村病院：5 谷山病院：6 愛と結の街：2 ・部署ケアカンファレンス参加 ・部署倫理カンファレンス参加 ・がん治療中の患者の看護ケア実践・スタッフ指導 ・ケアやジレンマなどへのコンサルテーション対応 ・がん患者指導管理料イ・ロ算定 ・いづろ今村病院との合同カンファレンス（緩和）	がん関連認定看護師協働で初めての研修企画・開催ができた。2022 年度は、子育て世代のスタッフの声を参考に日曜開催を行うなど工夫し参加者増に繋げたい。 個々の認定看護師が分野の特性を活かして部署カンファレンス参加やケア指導、相談対応などを行うことで現場の力の底上げに取り組んでいる。 算定対象となっている意味を特に外来スタッフに説明し、専門的介入の機会を増やしている。

活動名称 メンバー	活動実績	まとめ
精神科チーム 〔名称〕 チーム IYASI 〔メンバー〕 内田★ 今村 加藤 平江 鶴田	1．災害支援 今年度チーム立ち上げ時に「安定した精神科医療が提供できる」ことを目標の一つに挙げた。コロナ感染を災害として捉え、地域に向けて何ができるのか検討し、ひとつとしてクラスター発生時の職員のメンタルケアを提供することを目的とした。数名の精神科認定看護師はクラスター発生施設に赴き職員を中心としたメンタルケアの面接を実施した。そこで災害時のメンタルケアの実際を情報共有することと面接スキルについてチーム内の勉強会を企画実施した。 日時：7 月 12 日　15:15 ～ 15:50 8 月 16 日　15:20 ～ 15:45 内容：与論島のクラスターの実際とストレスコーピング 指宿市の病院のクラスター内におけるメンタルケア 災害時におけるメンタルケア 参加：加藤・今村・鶴田・杉田・平江・内田 2．広報活動 精神科認定看護師として地域で暮らす方々が心身共に健康的に生活するための活動について検討した。その結果「こころの健康作り」への意識を高めることを目的にメンタルケアに関する情報を掲載した広報紙を作成し、地域に配布することとした。 発刊日：12 月 15 日 テーマ：ストレスについて 発刊枚数：592 枚 配布場所：今村総合病院・いづろ今村病院・愛と結の街・谷山病院・奄美病院・徳之島病院・鴨池新町・小原町・奄美市浜里町 次回発刊：4 月上旬予定	2 日間にわたって勉強会を実施し、クラスターが起こった施設でメンタルケアを展開していく方法などを学ぶ機会となった。面接をまだ実施していない参加者にとって実際の体験談を聴き情報を共有できることでイメージしやすいなど感想があった。 今後の課題としては、さらに踏み込んだ面談スキルを学ぶことや自施設でできる災害時のメンタルケアに視野を広げ活動拡大していく必要がある。そのためにチームとして何ができるのか検討していきたい。 公益財団法人として地域に暮らす方々に何ができるのかを検討し情報誌として発刊を企画運営してきた。木佐貫統括看護部長のご支援を受けながら 12 月には発刊することができた。 今後も年に 3 回の発刊を計画しており、地域の方々に読んでいただき感想などを聴取しながらニーズに応える広報誌を作成していく。
組織横断チーム 〔名称〕DEKIRU 彦チーム 〔メンバー〕 切手★ 米澤 吉森 上野 尾堂 福留	・第 1 回研修　対象：愛と結の街・訪問看護ステーション 2021 年 10 月 23 日（土）14 時～ 17 時 参加人数：9 名 ・第 2 回研修　対象施設：精神科病院 2021 年 11 月 6 日（土）14 時～ 17 時 参加人数：17 名 ・第 3 回研修　対象施設：一般病院 2021 年 12 月 11 日（土）14 時～ 17 時 参加人数：16 名 第 1 ～ 3 回まで下記の内容で研修を構成した。また、施設のニーズをくみ取り内容に追加した。 研修内容：注射療法に関連する知っておくべき知識・技術予防を含めたスキンケア、新型コロナウイルス感染症・標準予防策・疥癬等 研修方法：Zoom による配信	糖尿病看護・皮膚排泄ケア・感染管理の領域において、研修内容を構成し研修会を開催することができた。研修内容においては、施設のニーズをくみ取ることで受講者の満足度は高かった。しかし、受講人数が少なく、DVD を作成し施設での視聴など研修方法を検討することで多くの慈愛会職員へ伝える機会を持つことができると考える。 領域を超えて研修会を開催することで、関連する内容を学び、研修に活かす事ができた。
特定看護師チーム 〔名称〕特定 〔メンバー〕 谷村★ 今井 村岡 田原春 西森 郡田	1. 慈愛会看護部から特定行為推進マニュアルを各病院に配布しているため、病院毎に特定行為の組織図作りや手順書のあり方などついて検討している 2. 広報活動について 院内掲示の作成・看護部への説明等、病院毎に行っている。 3. 後輩育成 今年度慈愛会内で 8 人（再受講も含め）研修生を輩出することが出来た。	今年度マニュアル作成などに着手し少しずつ生産性のある活動が出来るようになってきている。 現時点で病院毎に活動内容が違うため、統括出来る部署の要否検討が必要である。 次年度より特定看護師会として運営する予定であるので会の運営の内容・組織をどのようにするか検討が必要である。

2021年度　新たな取り組み

慈愛会学会学術集会開催

慈愛会学会運営委員会　前委員長　**中重　敬子**

【第１回　慈愛会学会学術集会（2021. ７. 10）運営を通して】

創設 87 年を迎え、1,589 床を有する医療・福祉の組織となった公益財団法人慈愛会は、多くの医療職員が業務改善や研究的取り組みを積み重ねて成長してきたと言えます。当法人が今後さらに発展するために、それぞれの専門的立場が、病院・施設を超え、また、職種を超え、一堂に会する機会が必要とされ、この度、第１回の学術集会が開催されました。

第１回の大会長は、今村英仁理事長が務めました。大会長として発信されたのは、最初からあまり無理をせず開催するということでした。コロナ禍での開催は、感染の機会とならないよう、感染制御チーム（ICT）の意見を聴きつつ、充分な感染対策を講じ、参加は慈愛会の職員に限定することなどを決め、大会長としての方針や指示の下、進めることができました。

大会長決定の後は、学術集会のポスターの募集でした。慈愛会の原点や歴史、発展性をイメージしたシンプルで躍動感のあるポスターに決まりました。

演題登録は、締め切りぎりぎりまで検討していただき、口演発表は 24 演題、ポスター発表は、39 演題の登録数となり、診療部から７演題、診療支援部から 14 演題、看護部から 36 演題、事務部から４演題、看護学校から２演題の発表となりました。どの発表も独自性があり、専門性を活かした素晴らしい内容でした。

参加登録人数（の内の参加人数）は、会場 264（245）リモート 166（157）の合計 430（402）名でした。

会場は、72 名の運営協力員による自前の学術集会となりました。施設係の方が作成した立て看板は、どこの学会にも負けない今後も継続使用できる立派なものでした。また、全体の司会進行や座長の方たちの進め方もとても素晴らしく、発表者のスライドの準備なども第１回とは思えないほど、スムースな運営をしていただきました。

開催についてのアンケート結果（回収率 79.8％）は、参加の理由では、活用できる情報を得るため（148）と演題に関心があった（105）が上司の勧め（57）を超え、上位であったことは、主体的で学習意欲の兆候が伺えると思われます。満足度（５点満点）については、プログラム（4.35）口演発表（4.31）ポスター発表（4.07）催事（4.22）ランチョンセミナー（4.27）運営（4.07）と高い評価でしたが、リモート参加者のポスター発表満足度は 3.85 であり、リモートの満足度は 3.12 でありました。参加者の声としては、「多種多様な発表で良かった」「他の施設の取り組みが良く分かった」「皆が頑張っている姿を見て刺激された」「未来を見据えた学会だった」「慈愛会で働いている方々が素晴らしい活動をしていることに感動し誇りに思った」「発表の合間にスライドショー、三味線や唄が入り、気分転換が図れた」「慈愛会の独自性があった」「ポスターの１分間発表は、概要が分かり、効率的に見に行けた」など多くのよい意見があり、「今後も続けて欲しい」という意見に運営委員会として後押しされました。一方、リモート中継をするためのマイク・カメラの設備や性能に不備があり、第２回への課題として残されました。

試行錯誤しながら、多くの方々のご意見ご助言を頂き開催した第１回は、慈愛会の方々の一致団結と底力によるものであり、どんな逆境にも向かっていける体力のある組織として再認識できる学術集会だったと思います。

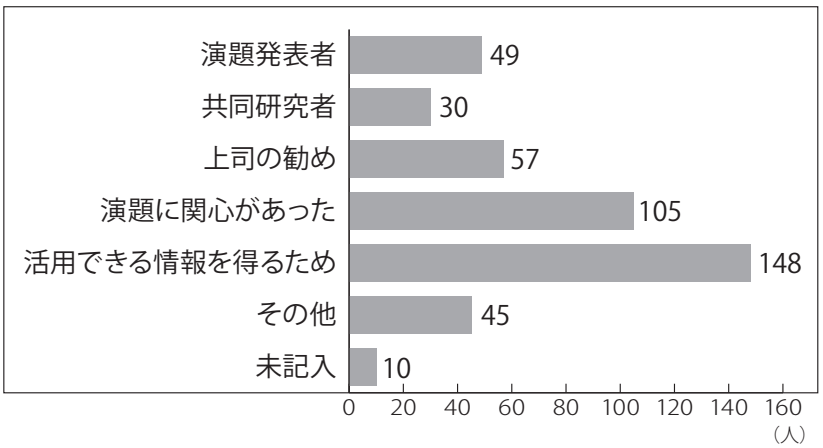
【アンケート結果】

回収率

79.8%（321/402）

診療部	13人
診療支援部	134人
看護部	120人
事務部	48人
未記入	6人

参加理由



満足度　5段階評価

	全体	会場参加	リモート参加
プログラムについて	**4.35**	4.54	4.15
口演発表について	**4.31**	4.42	4.19
ポスター発表について	**4.07**	4.28	3.85
ランチョンセミナーについて	**4.27**	4.37	4.17
催し物について	**4.22**	4.40	4.04
運営について	**4.07**	4.26	3.87
リモート参加の満足度（映像・音声等含む）	**3.12**	—	3.12

一年のあゆみ

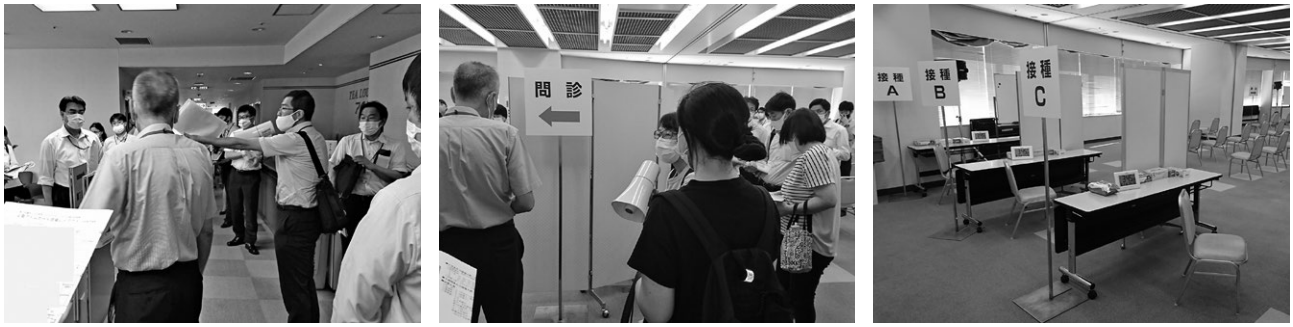
1．慈愛会の新型コロナ対応

前号の2020年度報告に続き、2021年度の慈愛会各施設における新型コロナウイルス感染症への対応を月別／施設別に集約します。

	鹿児島県の動向	慈愛会各施設のCOVID-19対応状況
2021年 3月 （再掲）	警戒基準ステージⅡ	【今村総合病院】 感染症内科を標榜開始 基本型接種施設として医療従事者向けワクチン接種開始（3/8） 【谷山病院、奄美病院、徳之島病院】 連携型接種施設として医療従事者向けワクチン接種開始
2021年 4月		【いづろ今村病院】 職員向けワクチン接種開始（4/22） 【愛と結の街】 谷山病院にて職員向けワクチン接種開始（4/20） 【鹿児島中央看護専門学校】 3年課程今村総合病院講師オンライン授業 2年課程宮崎県の緊急事態宣言によりオンライン授業 【法人事業本部】 コロナ対策会議隔週開催（継続中）
5月	警戒基準ステージⅢに引き上げ（5/17） 「感染拡大警報」発令（5/7～5/23） 「感染拡大警報」発令延長（5/24～6/6）	【今村総合病院、いづろ今村病院】 地域高齢者向けワクチン接種開始（5/26） 【愛と結の街】 谷山病院にて職員向け2回目ワクチン接種開始 【鹿児島中央看護専門学校】 いづろ今村病院・今村総合病院にて教職員ワクチン接種開始 【高麗町クリニック】 職員2回目ワクチン接種開始 訪問診療患者等、1回目ワクチン接種開始
6月	「感染拡大警報」再延長 （6/7～6/20）	【いづろ今村病院】 休日における一般向けワクチン接種実施（6/20、7/4、11、25） 【愛と結の街】 老健入所者向け1回目ワクチン接種開始 【鹿児島中央看護専門学校】 今村総合病院にて学生のワクチン接種開始
7月	警戒基準ステージⅡに引き下げ（7/1）	
8月	警戒基準ステージⅢに引き上げ（8/6） 「爆発的感染拡大警報」発令（8/6～8/22） 警戒基準ステージⅣに引き上げ（8/13） 「緊急事態宣言」発令（8/13～9/12） 「鹿児島県独自の緊急事態宣言」発令 （8/13～8/31） （8/18に9/12までの延長決定） 鹿児島市、霧島市、姶良市を 「まん延防止等重点措置区域」に指定 （8/20～9/12）	【今村総合病院】 受け入れ病床数8床→20床（フェーズ4以上の場合）へ増床 【徳之島病院】 感染病棟（1北病棟）の設置 【奄美病院】 平江将樹精神科認定看護師をクラスター発生の徳之島の医療機関へ派遣 （8/25～8/27） 【今村総合病院、いづろ今村病院】 鹿児島商工会議所ワクチン職域接種1回目へスタッフ派遣 （アイムビルにて8/9～8/22） 【鹿児島中央看護専門学校】 3年課程8/30～9/10オンライン授業、講師会議中止 2年課程臨地実習1,207人の内249人を学内実習に変更

	鹿児島県の動向	慈愛会各施設の COVID-19 対応状況
9月	「緊急事態宣言」 「まん延防止等重点措置」 延長 （～9/30解除）	【今村総合病院】 鹿児島県コンクリート製品協同組合ワクチン職域接種１回目 （今村総合病院にて 9/4、5、11、12） 【今村総合病院、いづろ今村病院】 鹿児島商工会議所ワクチン職域接種２回目（アイムビルにて 9/6 ～ 9/19） 鹿児島県による集団接種にスタッフ派遣（Li-Ka19･20 にて 9/13 ～ 10/9） 【いづろ今村病院】 秋恒例の「健康まつり」中止決定 【愛と結の街】 感染対策委員会で対応していたコロナ対策について、コロナ感染予防対策実行委員会（定例週１回）を立ち上げ対応 【鹿児島中央看護専門学校】 コロナ感染拡大により教務主任会議の書面開催 ３年課程 9/13 対面授業再開
10月	警戒基準ステージⅢに引き下げ（10/1） 「鹿児島県独自の緊急事態宣言」から 「感染拡大警戒期間」に移行（10/1） 警戒基準ステージⅡに引き下げ（10/7） 病床フェーズ３→２へ（10/11）	【今村総合病院】 県コンクリート製品協同組合ワクチン職域接種２回目 （今村総合病院にて 10/2、3、9、10、16） 【愛と結の街】 実地研修（全老健）中止 【鹿児島中央看護専門学校】 ３年課程戴灯式延期
11月	警戒基準をレベル０～４の5段階に見直し（11/25）。同日付で、警戒基準を「レベル0」とし、「感染拡大警戒期間」を「感染防止対策徹底期間」に移行。	
12月	警戒基準レベル１へ引き上げ（12/20） 病床フェーズ　沖永良部→4、与論→３に引き上げ。鹿児島県全体はフェーズ1	【今村総合病院】 職員向け３回目ワクチン接種（12/1、2、3、7、8）
2022年 1月	オミクロン株鹿児島県内初確認 奄美大島５市町村が独自に警戒基準を レベル3へ引き上げ（1/2） 病床フェーズ２へ引き上げ、 沖永良部島はフェーズ３、 奄美大島はフェーズ４へ（1/5） 奄美大島5市町村の警戒基準を レベル４へ引き上げ（1/5） 奄美大島5市町村へ鹿児島県独自の 緊急事態宣言（1/8） 鹿児島県全域に「爆発的感染拡大警報」発令、 警戒基準レベル２へ引き上げ（1/19） 「まん延防止等重点措置」適用（1/27～2/20） 病床フェーズ３へ引き上げ（1/27）	【今村総合病院】 職員の感染判明についてホームページで公表（1/21 第１報 -1/22 第２報） 【いづろ今村病院】 職員向け３回目接種開始（1/5） 入院前もしくは入院時の PCR 検査開始（1/20 ～） 【奄美病院】 職員の感染判明についてホームページで公表（1/4 第１報 -1/24 第４報） 【愛と結の街】 利用者陽性判明により通所サービス一時中止 【鹿児島中央看護専門学校】 ３年課程１年生（19 期生）1/17 ～ 2/3 オンライン授業 感染拡大により県指導調査中止、書面監査となる（1/25） ３年課程 1/31 ～ 2/10 学内実習、現地オリエンテーションやカンファレンスをオンラインで実施 ２年課程国家試験対策をオンラインで実施 【高麗町クリニック】 職員向け３回目ワクチン接種開始 【法人事業本部】 職員向け３回目ワクチン接種を今村総合病院にて実施
2月	「まん延防止等重点措置」適用延長 （～3/6） 病床フェーズ3から４へ引き上げ	【今村総合病院】 職員の感染判明についてホームページで公表 （2/4 第１報 -2/5 第２報） 【いづろ今村病院】 一般向け３回目ワクチン接種開始（2/5 ～毎週土曜） 【谷山病院】 職員の感染判明についてホームページで公表（2/2 第１報 -2/7 第４報） 【徳之島病院】 コロナ陽性者宿泊療養施設へ看護師派遣 オンライン面会開始 【愛と結の街】 職員向け３回目のワクチン接種開始 職員の感染判明についてホームページで公表（2/1、2/25） 入退所の制限実施 【鹿児島中央看護専門学校】 ２年課程国試オリエンテーションを書面開催

	鹿児島県の動向	慈愛会各施設の COVID-19 対応状況
3月	「まん延防止等重点措置」適用修了（3/6） 鹿児島県全域 「爆発的感染拡大警報」継続中	【今村総合病院】 職員の感染判明についてホームページで公表（3/25 第 1 報 -4/5 第 4 報） 入退院と救急受け入れ、外来の休止（3/25 ～ 3/29） 【いづろ今村病院】 一般向け 3 回目ワクチン接種の平日対応（3/8 ～、月～金） 【谷山病院】 職員の感染判明についてホームページで公表（3/29） 【奄美病院】 職員の感染判明についてホームページで公表（3/10） 【愛と結の街】 老健入所者向け 3 回目ワクチン接種始まる 【鹿児島中央看護専門学校】 卒業式及び修了式の参加者を縮小 3 年課程 2 年生（18 期生）臨地実習は 3/25 まで学内実習 【高麗町クリニック】 訪問診療患者、3 回目ワクチン接種開始 職員の感染判明についてホームページで公表（3/7）



鹿児島商工会議所 ワクチン職域接種 実施医療機関合同のシミュレーションの様子（鹿児島市のアイムビル）

いづろ今村病院での一般向けワクチン接種会場の様子

今村総合病院での一般向けワクチン接種会場の様子

２．新型コロナウイルス感染症陽性患者（入院）、診療・検査医療機関（発熱外来）の受け入れ、ワクチン接種（個別接種、職域・集団接種）への対応

	陽性患者の入院受け入れ	診療・検査医療機関（発熱外来）診療実績	ワクチン個別接種
今村総合病院 〔即応病床数〕* フェーズ２移行後：８床 フェーズ４移行後：20床	49名 （2020.7/4 ～ 2021.3/31） 167名 （2021.4/1 ～ 2022.3/31）	453名 （2020.11/1 ～ 2021.3/31） 2,347名 （2021.4/1 ～ 2022.3/31）	901名 （2021.3/8 ～ 2021.3/31） 14,013名 （2021.4/1 ～ 2022.3/31）
谷山病院 〔即応病床数〕* フェーズ２移行後：10床	12名 （2020.7/1 ～ 2021.3/31） 37名 （2021.4/1 ～ 2022.3/31）	9名 （2020.11/1 ～ 2021.3/31） 23名 （2021.4/1 ～ 2022.3/31）	20名 （2021.3/12 ～ 2021.3/31） 1,084名 （2021.4/1 ～ 2022.3/31）
いづろ今村病院		223名 （2020.11/1 ～ 2021.3/31） 1,203名 （2021.4/1 ～ 2022.3/31）	6,295名 （2021.5/26 ～ 2022.3/31）

＊即応病床＝受け入れ要請があれば、即時患者を受け入れる病床。
（参照）鹿児島県病床確保計画　URL：https://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/covid19/pref-torikumi/documents/80945_20220520164911-1.pdf
フェーズ１（平常時）においては、「準備病床」＝一定の準備期間内に受け入れを行う病床＝として、今村総合病院が８床、谷山病院が10床を設定している。
（2022年3月現在）

（１）職域接種への対応

①鹿児島商工会議所（中小企業への共同接種）　13,000名

・今村総合病院・いづろ今村病院・谷山病院　スタッフ総数230名

2021.8/9－8/22、9/6－9/19

※慈愛会以外２病院が職員派遣

②鹿児島県コンクリート製品協同組合（組合員企業および家族への接種）　1,650名

・今村総合病院　スタッフ総数143名

2021.9/4－10/9

（２）県による集団接種への対応

①かごしま県民交流センター

・今村総合病院　スタッフ18名派遣（医師６名・研修医12名）

2021.7/1－7/31

②Li-Ka19・20

・今村総合病院・いづろ今村病院 スタッフ計16名派遣（医師５名・研修医11名）

2021.9/13－10/24

（３）障害者支援施設への対応

①社会福祉法人慈愛会「愛の浜園」の利用者・職員114名への２回ワクチン接種

・奄美病院　医師１名派遣　2021.7/1－8/5

②社会福祉法人慈愛会「愛の浜園」の利用者・職員111名への３回目ワクチン接種

・奄美病院　医師１名派遣　2022年2－3月

３．地域医療機関支援等コロナ対応にかかる人材派遣

（１）今村総合病院　看護師長　吉森みゆき（感染管理認定看護師）

鹿児島県新型コロナウイルス感染症対策本部

「感染症チーム」「介護・福祉施設班」「医師会運営の相談窓口チーム」委員

【鹿児島県の要請による派遣実績と活動概要】

①鹿児島市の医療機関　2021.5/18

・入院患者陽性に伴う院内ラウンドと感染対策支援

②出水市の医療機関　2021.6/5・7・9・11・13・16・23、7/1（計８日）

・新型コロナウイルス感染症によるクラスター対応支援

③徳之島町の医療機関　2021.8/17・18、9/26・27（計４日）

・新型コロナウイルス感染症によるクラスター対応支援

・クラスター収束のための評価ラウンド（鹿児島県感染症チーム）

④予防活動：障害者施設等（４施設）への派遣　2021.11/27・12/2－12/4（計４日）

・施設の感染予防対策及びゾーニング等の指導・助言

⑤鹿児島市の医療機関　2022.1/23

・新型コロナウイルス感染症によるクラスター対応支援

⑥薩摩川内市の高齢者施設　2022.2/5

・新型コロナウイルス感染症によるクラスター対応支援（ゾーニングや職員復帰の目安、症候性サーベイランス等の重要性や検査のタイミング及び検査方法について）

⑦鹿児島市の高齢者施設　2022.2/12・13、3/13（計３日）

・新型コロナウイルス感染症によるクラスター対応支援

・新型コロナウイルス感染症によるクラスターの収束評価

⑧鹿児島市の医療機関　2022.3/1・5（２日間）

・新型コロナウイルス感染症によるクラスター対応支援

【講演】

・2021.5/15 第33回鹿児島感染制御ネットワーク学術講演会（鹿児島感染制御ネットワーク・テルモ株式会社共催）
パネルディスカッション「鹿児島でのクラスター事例を共有し、次にそなえる」総合進行

・2021.7/11 第９回多職種連携シンポジウム（鹿児島県薬剤師会主催）
「感染対策チームの動向」シンポジスト

・2021.7/31 看看連携「共に考えよう！共有しよう！新型コロナ感染症対策」Zoom研修（鹿児島県看護協会鹿児島地区主催）
「新型コロナウイルス感染症対策の支援について」シンポジスト

・2021.11/22 日置・南薩地区養護教諭研修会（鹿児島県教職員互助組合依頼）
「感染予防について」講師

・2021.11/24-25 感染管理研修会（徳之島徳洲会病院依頼）
「感染対策について」講師

・2021.12/8 鴨池地区公民館「感染症について」講話

・2022.2/4 鹿児島市老施協直接処遇職員研修会（鹿児島市老人福祉施設協議会主催）
「新型コロナウイルス感染症について」講師

【会議】

・2021.4/23　鹿児島県新型コロナウイルス感染症調整本部 感染症チーム会議

・2021.6/15　2021年度新型コロナウイルス感染症対策の打ち合わせ会（鹿児島県看護協会依頼）
新型コロナウイルス感染症に伴う障害者、児童福祉施設などの感染対策支援

・2021.6/21、29、7/14鹿児島県地域防災計画検討有職者会議
「避難所管理運営マニュアル～新型コロナウイルス感染症対策指針～」改訂のための専門的観点からの助言・提言
・2021.7/16　鹿児島県新型コロナウイルス感染症調整本部 感染症チーム会議
・2021.8/17、9/28、10/1・18、11/30、12/15・20　鹿児島県・市との連絡会（鹿児島県看護協会依頼）
「障害者支援施設等の感染防止対策のための相談・支援」事業について
・2021.8/22　鹿児島県「重点医療機関」会議
・2022.2/25　鹿児島県新型コロナウイルス感染症調整本部 介護・福祉施設班第11回会議（Web開催）
・2022.3/8　2021年度新型コロナウイルス感染症対策についての打ち合わせ（鹿児島県看護協会依頼）
・2022.3/25　鹿児島県・市との連絡会（鹿児島県看護協会依頼）
事業報告及び意見交換会

【その他】（鹿児島県看護協会依頼）
・2022.2/15　感染管理認定看護師による感染防止対策への現場支援報告会への参加
内容①：感染管理認定看護師からの現場支援を実施しての現状報告
内容②：感染管理認定看護師からの現場支援を体験しての障害者支援施設等からの報告
・2022.3.17　地区別感染管理認定看護師と地区長等との意見交換会への参加
テーマ「令和３年度の振り返りと今後に向けて」

（２）今村総合病院　看護師長　鶴田奈緒美（精神科認定看護師）

【派遣実績と活動概要】

①与論町の医療機関および与論町町民福祉課・保健センター　2021.8/4－8/6（３日間）
・職員のメンタルヘルス支援（面接）
・ストレスセルフチェック実施とストレス対処方法（セルフケアとラインケア）

（３）奄美病院　副看護師長　平江将樹（精神科認定看護師）

【派遣実績と活動概要】

①徳之島町の医療機関　2021.8/25－8/27（３日間）
・職員のメンタルヘルス支援（面接）
・ストレスセルフチェック実施とストレス対処方法（セルフケアとラインケア）

（４）今村総合病院　副看護師長　切手康加（感染管理認定看護師）

【派遣実績と活動概要】

①障害者施設（２施設）　2021.12/1
・施設の感染予防対策及びゾーニング等の指導・助言

②鹿児島県看護協会　2022.2/15
・感染管理認定看護師による感染防止対策への現場支援報告会への参加

（５）いづろ今村病院　看護師長　大宮司直美、副看護師長　山元恵子、看護師　茶圓倫子、松下鮎美

【派遣実績と活動概要】

①感染者宿泊療養所（鹿児島市のホテル）　2021.5/13-2022.2/1（延べ20日間）
・ホテル療養患者の症状管理

（6）徳之島病院　看護部長　宮本陽子、副看護師長　中尾明美、永瀬千里、看護師　今田安沙美、芳田真由美

【派遣実績と活動概要】

①感染者宿泊療養所（徳之島町のホテル）2022.2/2-2/14（延べ8日間）

・ホテル療養患者の症状管理

（7）今村総合病院　看護師　越口晋伍、竹山龍二、川端美穂、池田慎、榎本時子

【派遣実績と活動概要】

①鹿児島県医師会COVID-19 JMAT派遣看護師宿泊施設（鹿児島市内のホテル）2022.2/9-3/27（延べ14日間）

・健康管理、入所者への対応、個人用診療記録の記載等

4．慈愛会各施設の一年のあゆみ

	主なできごと
2021年 4月	【今村総合病院】 一般病棟 14 床増床（414 床→ 428 床） いづろ今村病院より IBD センター移転 看護師特定行為研修センター開講式 【いづろ今村病院】 皮膚科開設（4/1） 【鹿児島中央看護専門学校】 放送大学連携ダブルスクール開始、入学生 7 人
5月	【愛と結の街】 住宅型有料老人ホーム あいゆいの家 開設
6月	【今村総合病院】 肝臓内科標榜 常盤光弘副院長　院長代行を兼任 【徳之島病院】 中学生職場体験開催（6/29-30） 【愛と結の街】 科学的介護情報システム（LIFE）データ提出開始 【鹿児島中央看護専門学校】 イブニングガイダンス開催（6/9、第 2 回：9/17））
7月	【慈愛会】 第 1 回慈愛会学会学術集会　開催（7/10） 【今村総合病院】 東京オリンピックメディカルスタッフとして看護師、理学療法士の計 2 人参加 【徳之島病院】 外国人技能実習生 N3 試験 日本医療機能評価機構認定施設の更新 【鹿児島中央看護専門学校】 3 年課程 1 年目サポートキャンパス開催（7/3） オープンキャンパス開催（7/31、第 2 回：8/6）
8月	【慈愛会】 第 2 回「心に届く慈愛の看護」を語る会　開催（8/27）
9月	【高麗町クリニック】 下本地優院長退任、10 月より新院長に斧渕泰裕医師就任

住宅型有料老人ホーム あいゆいの家

徳之島病院　中学生の職場体験

第 1 回慈愛会学会学術集会

鹿児島中央看護専門学校　サポートキャンパス

第2回「心に届く慈愛の看護」を語る会　全リモート会場

	主なできごと
10月	【愛と結の街】 敬老会を部署毎に開催（10/3） 【鹿児島中央看護専門学校】 3年課程新カリキュラム変更承認申請を鹿児島県に提出 2022年度推薦入学選考試験（10/23）
11月	【谷山病院】 労災保険指定医療機関に指定 【徳之島病院】 秋祭りカラオケ大会開催（11/5） 【鹿児島中央看護専門学校】 2022年度入学選考試験（11/27） 新カリキュラム「臨床判断能力の育成に向けて」各施設指導者との学習会開催（2022年1月迄4回）
12月	【今村総合病院】 常盤光弘院長代行　慈愛会急性期病院統括副院長を兼任 看護師特定行為シンポジウム　開催（12/4） 【奄美病院】 株式会社ゆいわーく様より電動車いすの寄贈 【鹿児島中央看護専門学校】 3年目サポートキャンパス開催（12/18） 第19期生戴灯式（12/20）
2022年 1月	【いづろ今村病院】 第32回看護研究発表会（1/22）
2月	【鹿児島中央看護専門学校】 看護師国家試験　3年課程40人、2年課程174人受験
3月	【いづろ今村病院】 黒野明日嗣院長退任（3/31） 【鹿児島中央看護専門学校】 3年課程卒業式（3/4） 学則の変更（教育課程）の変更承認通知（3/7） 2年課程修了式（3/9） 看護師国家試験合格発表　3年課程40人、2年課程145人合格 2年課程（通信制）看護科　閉課程（3/31） 修了生総数2,282人、看護師免許取得者数2,110人

徳之島病院　秋祭り

今村総合病院　看護師特定行為シンポジウム

鹿児島中央看護専門学校　戴灯式

奄美病院へ電動車いすの寄贈

いづろ今村病院　第32回看護研究発表会

鹿児島中央看護専門学校２年課程通信制　最後の修了式

編 集 後 記

慈愛会年報作成委員会　副委員長
公益財団法人慈愛会今村総合病院　名誉院長兼臨床研究センター長
宇都宮 與

2017年に創刊された慈愛会法人年報は、はや第６号となりました。慈愛会年報作成委員会の納委員長を中心に各施設の作成委員のメンバーの努力によって素晴らしい年報へと進化を続けています。慈愛会組織の発展とともに法人年報も年々量、質ともに充実してきており、大所帯になりました法人の活動を把握するのに最も優れたツールとなっております。

2020年に理事長先生の悲願でありました慈愛会学会が創設され、2021年７月10日には第１回学術集会が今村英仁大会長のもとコロナの制限を受けながら盛大かつ成功裏に開催されました。学術集会の発表内容もすべて網羅され、法人の研究活動や改革の実態が詳しく記載されております。また、一年のあゆみのところには慈愛会が取り組んだ新型コロナ対応が詳細に記載され、慈愛会の組織力を感じ取ることができます。今後ますます法人の活動が活性化され、結果、法人年報が充実・発展することを祈念しております。ぜひ法人年報に目をお通しください。

慈愛会年報作成委員会
委 員 長　納 光弘（公益財団法人慈愛会 会長）
副委員長　宇都宮 與（公益財団法人慈愛会今村総合病院 名誉院長 兼 臨床研究センター長）
委　　員　有馬 理恵（今村総合病院）、細川 貴子（いづろ今村病院）、松山 匡博（谷山病院）、白原 弘紀（奄美病院）
芳 あずさ（徳之島病院）、前田 有架・高橋 千秋（愛と結の街）、濵下 千浪（鹿児島中央看護専門学校）
黒瀬 寛（高麗町クリニック）、内田 良慶・中馬 敦志・瀬涯 里花（法人事業本部）

公益財団法人慈愛会　年報
── 第６号 ──

発 行 日　2022年７月
発 行 者　今村 英仁
発 行 所　公益財団法人慈愛会
鹿児島県鹿児島市鴨池新町６番４号
TEL 099(256)0311
編　　集　慈愛会年報作成委員会
制作・印刷　株式会社イースト朝日
鹿児島県鹿児島市南栄3丁目30-7
TEL 099(266)5522

医療の原点は慈愛にあり